DS AUTOMOBILES

DS 5
取扱説明書

ごあいさつ

このたびはDS 5をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は､DS 5の取り扱いについて記載してあります。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、ご理解を深めるようお願い申し上げます。
本書は車内に保管し、いつでも読み返すことができるようにしてください。
車に添え付けられているメンテナンスノート（整備手帳）は、携行が義務付けられています。この取扱説明書とともに常時携行していただくようお願い申し上げます。

おことわり

・この取扱説明書は、発売時点の車両仕様をもとに作成しております。
オートモビル・シトロエン社では絶えず製品の改良を行っており、予告なく仕様が変更されることがあります。お客様の車両と装備品、仕様等が本書に掲載されている写真、イラスト、仕様等と細部が異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。
・本書は、オプション装備を含む当モデルの全ての装備の説明を記載しております。各装備の有無については車両の仕様によって異なるため、お求めいただいた車両に装備されていない物が記載されていることがありますのであらかじめご了承ください。

重要安全情報

この取扱説明書には、車を安全に取り扱うために必要な情報が記載されています。
また、車を取り扱う上での危険性や注意点などについても説明されており、それに伴う事故を避けるためのアドバイスも含まれています。これらの警告や注意を守らない場合には、死亡を含む人的な傷害や車の破損などにつながる可能性があります。
危険に関する警告や注意は、車体各部に貼り付けた3種類の警告ラベルで表示されています。さらに、本書は注意に関する記載を、人身と物損に分けています。

⚠警 告

指示に従わなかった場合、乗員や第三者が死亡または重度の傷害を負うおそれがあることを示しています。

⚠注 意

指示に従わなかった場合、乗員や第三者が傷害を負うおそれがあることを示しています。

注 意

指示に従わなかった場合、車を破損させるおそれがあることを示しています。

MEMO

取り扱い上で、重要な点や注意点、アドバイスなどを示しています。

⚠ このマークが付いた指示に従わなかった場合、人身に関わる(死亡や傷害の)おそれがあることを示しています。

車をご使用いただく前に

●消耗品、アクセサリーについて

DS 5に使用する消耗品やアクセサリー類は、当社の純正部品をご使用ください。市販されている汎用の消耗品やアクセサリー類のなかには、車の機器に適合しなかったり正常な作動を妨げる可能性がある製品が含まれていることがあります。DSシリーズ車本来の安全性や耐久性を損なわないためにも、純正の部品やアクセサリー類のご使用をお勧めします。

●改造について

DS 5の非合法な改造は、法に触れるだけでなく車の安全性や耐久性を著しく損なうおそれがあります。また、車の保証修理が受けられなくなることがありますので、むやみな改造を行わないでください。本書に記載のない整備や修理については、当社指定サービス工場にご用命ください。

この車の電気配線には、多重通信システムの制御信号が流れています。当社純正以外のナビゲーションシステムやラジオなどのアクセサリー類の取り付けのために車の配線に加工や接続をすると、エンジンやブレーキの制御に障害を与え、その結果、機器の故障や事故にいたるおそれがあります。これらの取り付けにあたっては、当社指定サービス工場にご相談ください。

また、当社が供給していないアクセサリー類の取り付けや、あるいは当社の指示に従わない装着方法によって発生した、車または機器の不具合もしくは事故等に関わる損害の補償をいたしません。

●エコノミーモード

エンジンが停止してからも、オーディオ機器などへの電源供給を最大30分間行います。電源が切れると、メッセージが表示されます。

引き続きアクセサリーを使用したいときは、エンジンを始動して数分間まわしてください。エンジンをかけていた時間が10分以下のときは、約5分間アクセサリーを使用できます。エンジンをかけていた時間が10分以上のときは、約30分間アクセサリーが使用できます。

環境・リサイクルへの取り組み

●自動車リサイクル法

自動車リサイクル法は、使用済自動車（廃車）を適正に処理して、資源の再利用を促進することでゴミを減らすことを目的に作られた法律です。
具体的には、廃車することで発生する再利用できないシュレッダーダストの削減、環境に有害な物質（フロン等）の適正処理などを行い、環境保護に役立てるものです。そのため、車の所有者、自動車会社（輸入事業者を含む）、自動車関連事業者それぞれに役割が定められています。

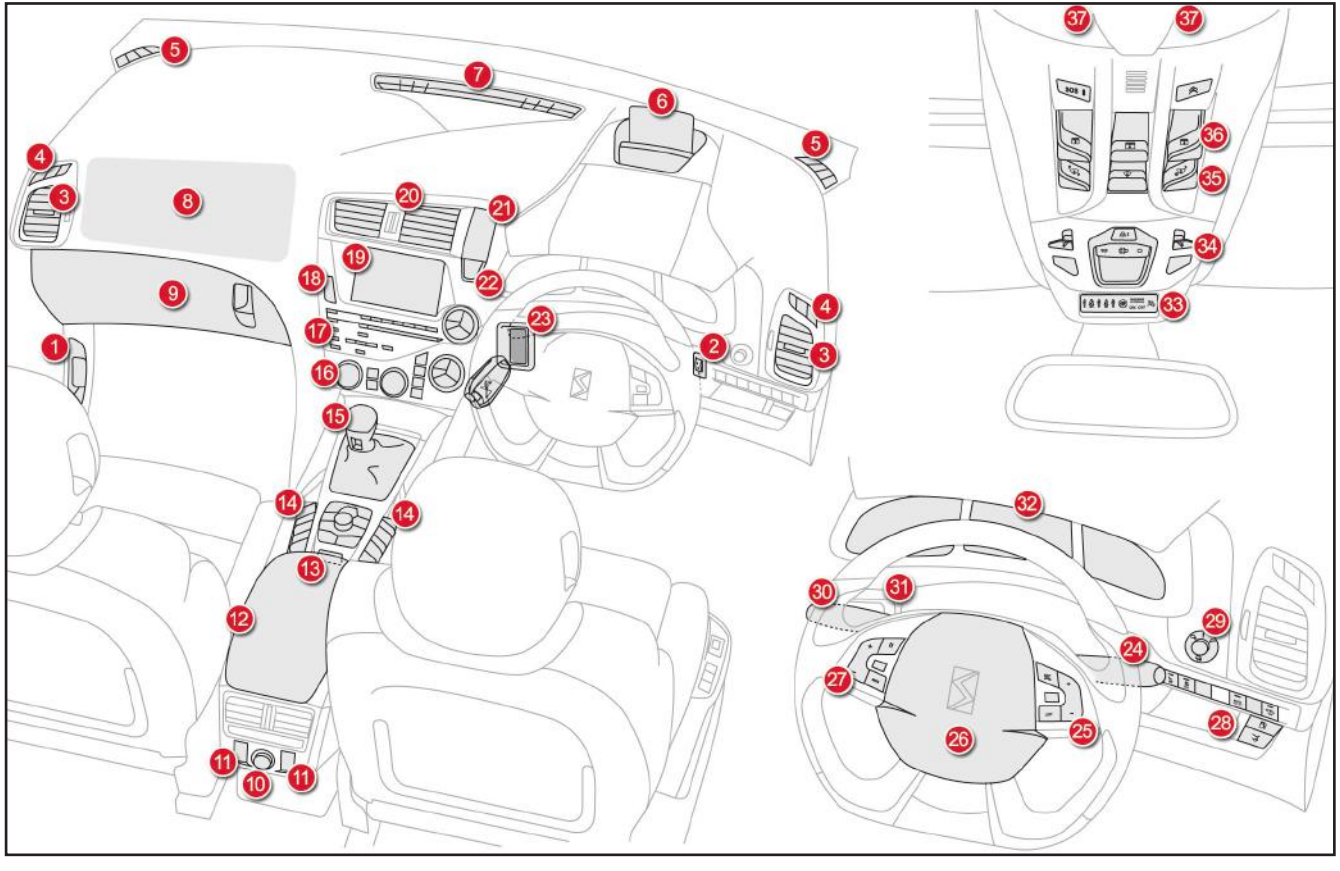
●リサイクルへの取り組み

当社では、自動車リサイクル法が制定される以前から環境保護を行うためのリサイクルに関して対応してきております。
DS 5は、リサイクル可能な素材を車体の多くの部分や部品に採用しています。
車の総重量のうち、90%は何らかの形でリサイクルすることが可能です。
すべてのプラスチック部品には、素材を表す記号がつけられており、簡単に取りはずしや分解ができるように考慮されています。そのほとんどは熱可塑型を使用していますので、熔解したり粉砕して別の自動車部品として蘇らせることができます。
金属部品も同様に、100%の再利用が可能です。この中にはアルミニウムを始め、プラチナやロジウムといった貴重な金属も含まれます。
なお、アスベストやカドミウムといった有害物質は、設計の段階から使用を除外しています。

●環境への配慮

当社指定サービス工場での定期点検整備をきちんと行うことは、環境保護と公害発散の防止につながります。
当社指定サービス工場では、交換済みのオイルや油脂類、損耗部品などを正しく処理することによって環境保護のために貢献しています。
特にエアコンに使用されている冷媒ガス（フロン：HFC134a）は、地球温暖化につながるため大気に放出してはなりません。回収や破壊などの適正な処置をとるためにも、車を廃車にするときは当社指定サービス工場にご相談ください。
環境保護は、たとえキーレスエントリーのリモコンの電池1個であっても、お客様のご協力によって実践することができます。

DS 5操作・使用方法早わかり



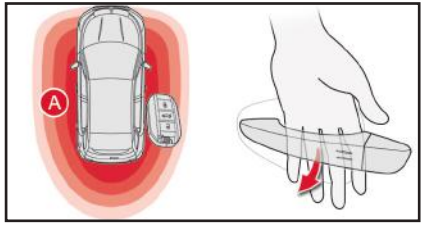
①：ボンネット解除レバー
②：ヘッドランプ光軸調整*
③：ダッシュボード左右吹き出し口
④：サイドウィンドウ吹き出し口
⑤：フロントクォーターウィンドウ吹き出し口
⑥：ヘッドアップディスプレイ*
⑦：フロントウィンドウ吹き出し口
⑧：助手席エアバッグ
⑨：助手席エアバッグキャンセルスイッチ、グローブボックス
⑩：12V電源ソケット
⑪：後席左右ウィンドウ開閉スイッチ
⑫：フロントアームレスト、センターコンソール、USBボックス、AUXソケット
⑬：エレクトリックパーキングブレーキ
⑭：パワーウィンドウスイッチ、チャイルドセーフティボタン、集中ドアロックスイッチ
⑮：シフトレバー
⑯：空調コントロールパネル
⑰：オーディオコントロールパネル
⑱：ハザードランプスイッチ
⑲：マルチファンクションディスプレイ
⑳：ダッシュボード中央吹き出し口
㉑：アナログ時計
㉒：START／STOPスイッチ
㉓：スマートキー挿入スロット
㉔：ワイパーコントロールレバー、ドライブコンピューター表示切り替えスイッチ
㉕：オーディオ用ステアリングスイッチ
㉖：ホーン、運転席エアバッグ
㉗：クルーズコントロール、スピードリミッター
㉘：サイドスイッチパネル(11ページ参照)
㉙：ドアミラースイッチ
㉚：ライトコントロールスイッチ、方向指示器スイッチ
㉛：サイド／バックカメラ切り替えスイッチ
㉜：インストルメントパネル
㉝：シートベルト／助手席エアバッグ警告ディスプレイ
㉞：ルームランプ
㉟：ヘッドアップディスプレイスイッチ*
㊱：コックピットルーフスライディングサンバイザースイッチ*
㊲：コックピットルーフ小物入れ

*仕様により異なります。

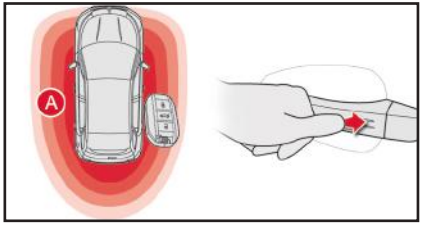
オーディオ関係のスイッチの操作については、巻末の付録をご参照ください。

本書のイラストは日本仕様ではないため、実車と異なることがあります。

●スマートキー（→P.2-2）



車の解錠
スマートキーを携帯してドアハンドルに手を通すと、車が解錠されます。ドアハンドルをそのまま引くとドアを開けることができます。

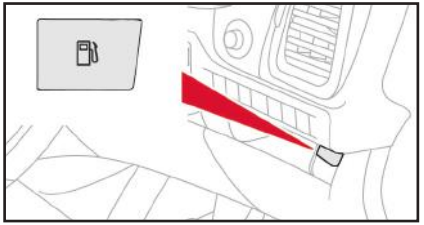


車の施錠
車両周辺の検知エリア**A**にスマートキーがあるときに、ドアハンドルのスイッチまたはテールゲートのスイッチを押すと、車が施錠されます。

MEMO

リモコンとしてスマートキーのボタンを使って施錠・解錠することもできます。

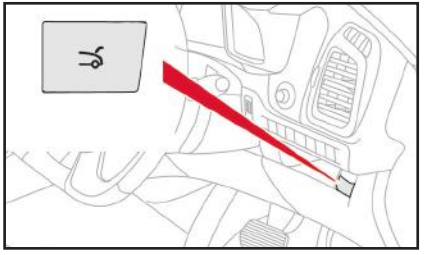
●フュエルリッド（給油口）オープナー（→P.2-20）



1. 運転席側ダッシュボードのスイッチを押してフュエルリッドフラップを開きます。

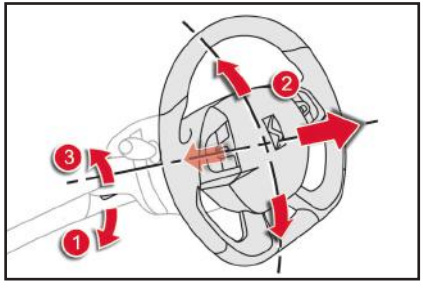
燃料タンクの容量は約60リットルです。

●テールゲートオープナー（→P.2-18）



1. 運転席側ダッシュボードのスイッチを押してテールゲートを解錠します(テールゲートのロックがはずれる音が聞こえるまで押し続けてください)。

●チルトステアリング（→P.3-36）

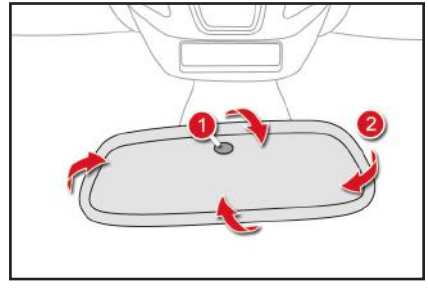


1. チルトステアリングのロックを解除します。
2. ステアリングの高さ、奥行きを調整します。
3. チルトステアリングをロックします。

⚠警 告

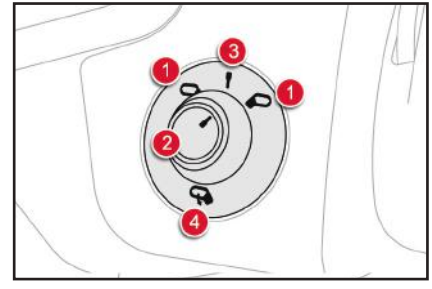
チルトステアリングの調整は、車を停止して行ってください。

●バックミラーの調整（→P.1-8）



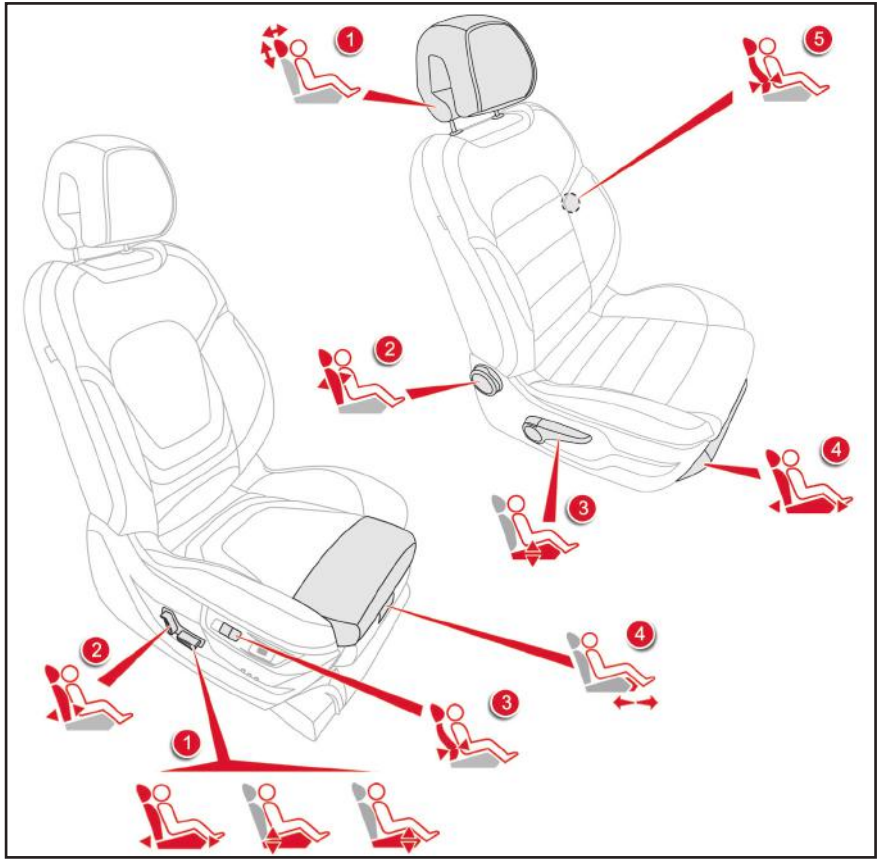
1. 自動防眩ミラー
2. ミラーの角度を調整します。

●電動ドアミラーの調整と格納（→P.1-7）



1. スイッチを回して、調整するドアミラーを選択します。
2. スイッチを上下左右に動かして、ドアミラーの角度を調整します。
3. スイッチを中央の位置に戻して、ドアミラーの選択を解除します。
4. スイッチを180˚下向きに回すと、ドアミラーが格納されます。

●フロントシートの調整（→P.1-2、1-3）



手動

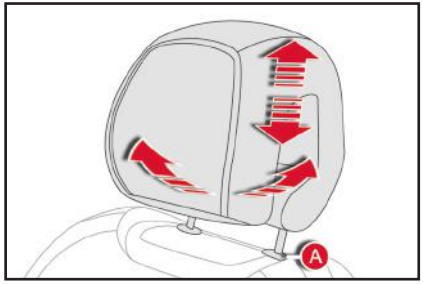
①：ヘッドレストの調整
②：バックレストの角度調整
③：シートの高さ調整
④：シートの前後調整
⑤：ランバーサポートの調整*

電動

①：シートの角度／高さ／前後調整
②：バックレストの角度調整
③：ランバーサポートの調整*
④：シートクッションの奥行き調整
(手動)

*仕様により異なります。

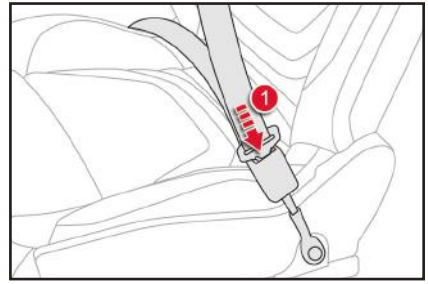
●フロントヘッドレストの調整 (→P.1-4)

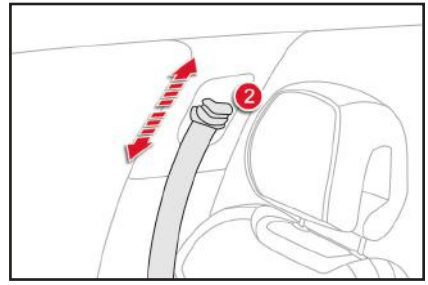


ヘッドレストの上端と乗員の頭の上が揃うように、ヘッドレストを上下および前後に動かして調整します。

下げるときは、ボタン**A**を押しながらヘッドレストを押します。

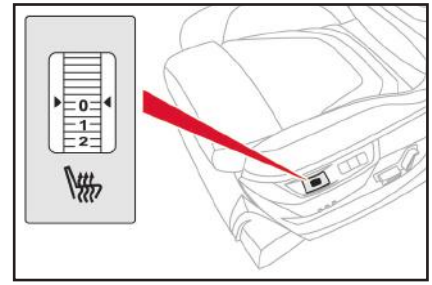
●フロントシートベルト (→P.1-14)





1. シートベルトのプレートをバックルに差し込みます。
2. シートベルトの高さを調整します。

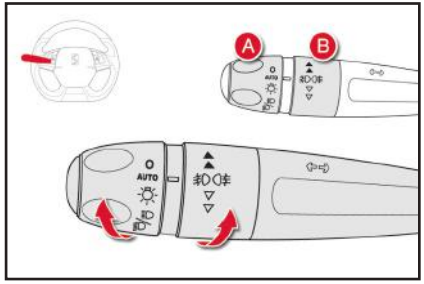
●シートヒーター*(→P.1-6)



ダイヤルで設定した温度に自動調整されます。

0：オフ
1：低
2：中
3：高

●ライトスイッチ（→P.4-19）



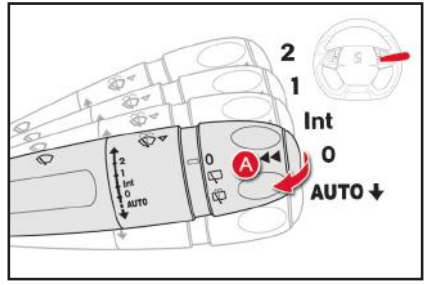
リングA

0	すべてのランプが消灯します。
AUTO	オートライトモード
	ポジションランプおよびテールランプが点灯します。
	ヘッドランプのロービーム／ハイビームが点灯します。ハイビームに切り換える場合はスイッチレバーを手前に引きます。

リングB

	フロントフォグランプ、リアフォグランプが点灯／消灯します。

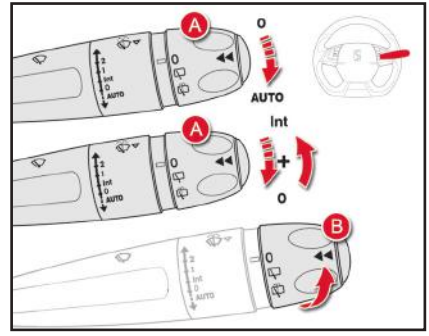
●ワイパー／ウォッシャー（→P.4-28）



レバーA　フロントワイパー

2	高速作動
1	通常作動
Int	間欠作動
0	停止
AUTO↓	自動作動（雨滴感知式）／1回作動

ウィンドウウォッシャー
レバー**A**を手前に引きます。



AUTOモードにする
レバー**A**を押し下げます。

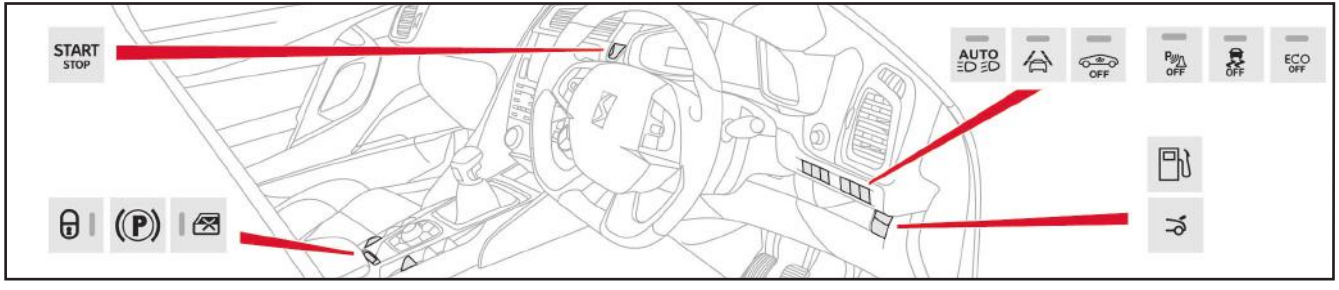
AUTOモードを解除する
レバー**A**を**0**以外のポジションにすると**AUTO**モードが解除されます。

リングB　リアワイパー

0	停止
	間欠作動
	ウォッシャー

*仕様により異なります。

●サイドスイッチパネル



パーキングアシスタンス
キャンセルスイッチ
(→P.3-34)

レーンデパーチャーウォーニ
ングオン／オフスイッチ
(→P.3-25)

START/STOPスイッチ
(→P.3-2)

ESCキャンセルスイッチ
(→P.3-16)

アラーム室内感知キャンセル
スイッチ* (→P.2-12)

集中ドアロックスイッチ
(→P.2-11)

ECO OFFスイッチ
(→P.3-22)

フューエルリッドオープナー
スイッチ
(→P.2-20)

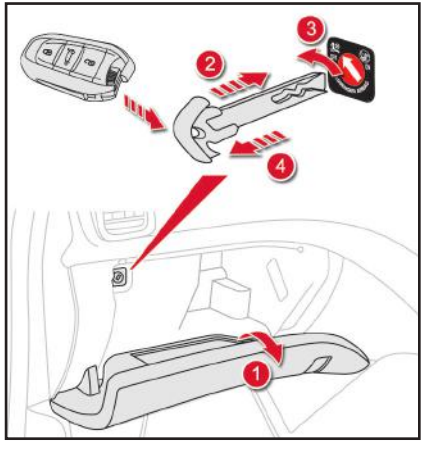
エレクトリックパーキング
ブレーキ作動スイッチ
(→P.3-9)

インテリジェントハイビーム
オン／オフスイッチ*
(→P.4-21)

テールゲートオープナー
スイッチ (→P.2-18)

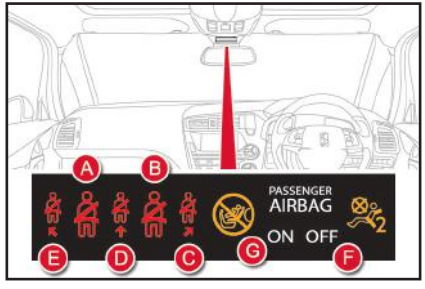
チャイルドセーフティスイッチ
(→P.2-15)

●助手席エアバッグキャンセルスイッチ（→P.1-23）



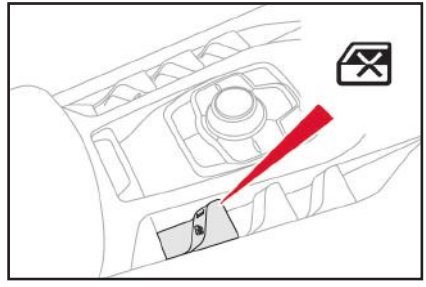
1. スマートキーから緊急用キーを取り出します。
2. グローブボックスを開けて緊急用キーを差し込みます。
3. 助手席に大人が乗車しているとき、もしくは前向きチャイルドシートを取り付けた場合、**ON** にします。後ろ向きチャイルドシートを取り付けた場合には必ず **OFF** にします。
4. そのまま緊急用キーを抜きます。

●シートベルト／助手席エアバッグ警告ディスプレイ（→P.1-15）



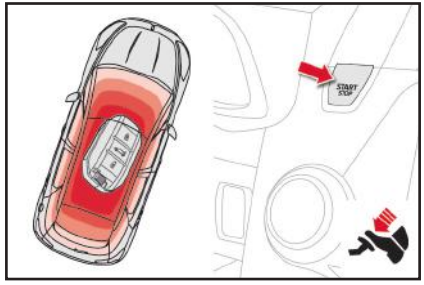
A. 助手席側シートベルト警告灯
B. 運転席側シートベルト警告灯
C. 後席右側シートベルト警告灯
D. 後席中央シートベルト警告灯
E. 後席左側シートベルト警告灯
F. 助手席エアバッグOFF警告灯
G. 助手席エアバッグON警告灯

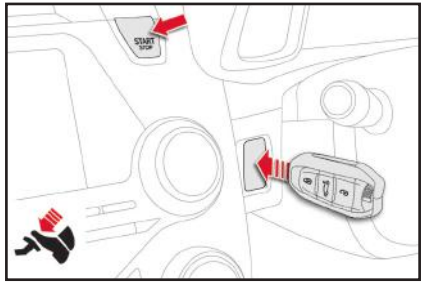
●チャイルドセーフティ（→P.2-15）



チャイルドセーフティボタンを押すと、以下の操作ができなくなります。
・ 車内から後席ドアを開ける
・ 後席でパワーウィンドウスイッチを操作する

●エンジンの始動（→P.3-2）





スマートキーが車内の検知エリアにあるとき、またはスロットにスマートキーが挿入されているときに、エンジンを始動および停止することができます。

エンジンの始動

1. スマートキーを携帯して乗車します(任意でスマートキーをスロットに挿入します。)。
2. シフトレバーを**P**の位置にします。
3. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
4. ブレーキペダルを踏みながら**START/STOP**スイッチを押します。
5. スターターが回り、エンジンが始動します。

ディーゼル車は、予熱表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します。

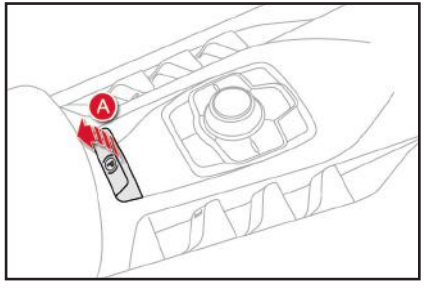
エンジンの停止

1. 車を完全に止めます。
2. シフトレバーを**P**の位置にします。
3. **START/STOP**スイッチを押します。
4. エンジンが停止します。
5. スマートキーをスロットに挿入してある場合は、抜きます。

START／STOPスイッチの役割

スイッチの状況	運転者の操作内容	車両の動作内容
アクセサリーポジション	ブレーキペダルを踏まずに、**START/STOP**スイッチを押します。スイッチを押すたびに、イグニッションのオン／オフが切り替わります。	イグニッションがオンとなり、警告灯類が点灯します。 しばらくの間、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。
スタートポジション	ブレーキペダルを踏みながら、**START/STOP**スイッチを押します。	エンジンが始動します。 ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

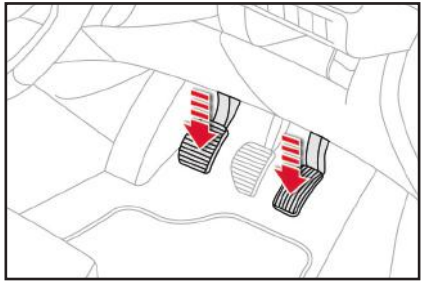
●エレクトリックパーキングブレーキ（→P. 3-9）



手動操作

エンジンの作動状態に関わらず、停車中にパーキングブレーキスイッチ**A**を手前に引くと、パーキングブレーキがかかります。

イグニッションがオンのとき、またはエンジン作動中にブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキスイッチ**A**を手前に引いて放すと、パーキングブレーキが解除されます。



自動作動

エンジンが停止すると自動的にパーキングブレーキがかかり、アクセルペダルを踏んで発進すると自動的にパーキングブレーキが解除されます。

AUTO (P) OFF

この表示灯が点灯しているときは、パーキングブレーキの操作をすべて手動で行う必要があります。

⚠警 告

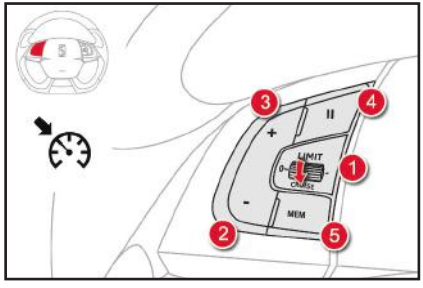
- ●駐車してお車を離れるときは、ブレーキ警告灯およびパーキングブレーキスイッチ**A**のインジケーターが点灯している(点滅でない)ことを確認してください。
- ●エレクトリックパーキングブレーキは、お子さまでも簡単に解除できます。イグニッションをオンにしたままの状態で、お子さまを車内に残して車を離れないでください。

MEMO

エンジンをかけたまま車を離れるときは、手動でパーキングブレーキをかけてください。

*仕様により異なります。

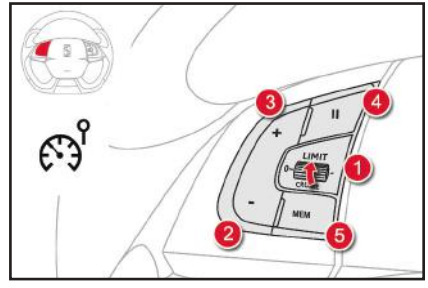
●クルーズコントロール（→P.3-28）



①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
②：速度設定／設定速度の減少
③：速度設定／設定速度の増加
④：システムのオン／オフ
⑤：登録されている速度の呼び出し

速度の設定およびシステムの作動は、2速以上で、時速40km以上のときに可能です。

●スピードリミッター（→P.3-31）



①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
②：設定速度の減少
③：設定速度の増加
④：システムのオン／オフ
⑤：登録されている速度の呼び出し

エンジン運転時に設定してください。

●ディスプレイ（→P.3-28、3-31）

クルーズコントロールとスピードリミッターの機能はインストルメントパネル内のディスプレイおよびヘッドアップディスプレイ*に表示されます。

クルーズコントロール

スピードリミッター

目　次

安全なドライブについて
安全装置について
運転装置について
もしものとき
その他

第１章　安全に運転するために

フロントシート……1-2
ミラー……1-7
液晶ディスプレイ（カメラモニター）……1-8
バックアイカメラ／サイドビューカメラ……1-9
リアシート……1-11
シートベルト……1-14
チャイルドシート……1-17
エアバッグ……1-22
走行する前に……1-27
使用燃料について……1-27
冬季の取り扱い……1-28
保安炎筒……1-29
触媒コンバーター……1-29

第２章　各部の開閉のしかた

スマートキー……2-2
イモビライザー（盗難防止システム）……2-8
ドア／ドアロック……2-10
アラーム……2-12
パワーウィンドウ……2-14
チャイルドセーフティ……2-15
コックピットルーフ……2-16
ボンネット……2-17
テールゲート……2-18
フュエルリッド（給油口）……2-20

第３章　運転装置の使いかた

エンジンの始動……3-2
オートマチックトランスミッション（シフトレバー）……3-5
シフトタイミングインジケーター……3-8
エレクトリックパーキングブレーキ……3-9
ヒルスタートアシスタンス……3-13
ESC(エレクトロニックスタビリティコントロール)……3-16
SCR（選択式還元触媒）システム（ディーゼル車）……3-18
FAP（ディーゼルパティキュレートフィルター）
（ディーゼル車）……3-21
ストップ&スタート……3-22
レーンデパーチャーウォーニング……3-25
ヘッドアップディスプレイ……3-26
クルーズコントロール／スピードリミッター……3-28
パーキングアシスタンス……3-34
ステアリング／ホーン……3-36

第 4 章　メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

インストルメントパネル…… 4-2
表示灯類…… 4-3
警告灯類…… 4-7
冷却水温度計……4-14
エンジン油量インジケーター……4-15
サービスインジケーター……4-16
インストルメントパネルの調整（リセット、明るさ調整）……4-18
ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、
ハザードランプ)……4-19
ワイパー／ウォッシャー……4-28

第 5 章　室内装置の使いかた

エアコンディショナー…… 5-2
マルチファンクションディスプレイ…… 5-8
ドライブコンピューター……5-14
ルームランプ……5-16
インテリア……5-18
ラゲッジルーム……5-22

第 6 章　お手入れ・メンテナンス

外装のお手入れ…… 6-2
内装のお手入れ…… 6-3
エンジンルームの点検…… 6-4
電球の交換…… 6-9
ヒューズの交換……6-14
燃費の改善について……6-18
推奨交換時期……6-19
推奨油脂類……6-19
推奨点検時期……6-20

もしものとき

ホイール（タイヤ）の交換…… 7-2
パンク修理キット…… 7-8
バッテリーが上がったとき……7-14
けん引されるとき……7-17
AdBlue® (尿素水）の補充(ディーゼル車) ……7-19
燃料切れしたとき(ディーゼル車) ……7-21

車両データ・アクセサリー類・索引

識別表示…… 8-2
外形寸法…… 8-3
アクセサリー類…… 8-4
索引…… 8-6
付録……8-13

安全のために

重大な事故や車両火災に及ぶおそれのある内容と回避方法、一般的な注意事項などについて記載してあります。重要な内容ですので、必ずお読みください。

点検整備のお願い

点検整備を必ず実施してください

- 車を安全に使用していただくため、お客様の責任において日常点検と法定定期点検の実施が法律で義務付けられています。
- 点検内容については、別冊の「**メンテナンスノート**」をお読みください。
- 日常点検を行い異常があるときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

走行する前の注意

燃えやすいものは積まないでください

- 燃料が入った容器や可燃性のガスが入ったスプレー缶などは積まないでください。炎天下の駐車で室内が高温になったときや万一のとき、引火や爆発するおそれがあります。

安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

運転席足元・運転席下にはものを置かないでください

・空き缶などを置くと、ブレーキペダルやアクセルペダルに挟まり、走行中にペダル操作ができなくなるおそれがあります。思わぬ事故につながりますので、絶対に行わないでください。

フロアマットはしっかりと固定して使用してください

・運転前にフロアマットが正しく取り付けられていることを点検してください。また、フロアマットを重ねて敷くことはしないでください。フロアマットがペダル操作の妨げになり、重大な事故につながるおそれがあります。

スピードメーターの速度の単位は必ずkm/h表示を使用してください

・誤って mph 表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ダッシュボードなどにものを取り付けたり、置かないでください

・ダッシュボードなどにものを置いたまま運転すると、視界の妨げや移動して安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
・また、アクセサリー品を取り付けたり、シールを貼り付けると、エアバッグ作動の妨げやエアバッグ作動時にアクセサリー品が飛ばされて、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

荷物は確実に固定してください

・助手席や後席に荷物を積むと、急ブレーキのときなど荷物が放り出されて乗員に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。荷物はできるだけラゲッジルームに積み、アクセサリー品（オプション）のネットやベルトを使用して固定してください。
・荷物の積み重ねによる後方視界の妨げがないようにしてください。

燃料補給時の注意

指定以外の燃料を使用しないでください

- 燃料は、ガソリン車には無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）ガソリン、ディーゼル車には超低硫黄軽油（サルファーフリー／S10ppm 以下）を給油してください。
- ガソリン車に有鉛ガソリンや粗悪なガソリン、指定以外の燃料（軽油、高濃度アルコール含有燃料など）を給油したり、ディーゼル車にガソリンや灯油を給油すると、エンジンなどに悪影響を与えますので使用しないでください。
- ディーゼル車に指定以外の軽油を補給すると、白煙が発生し続けることがあります。また、FAP（ディーゼルパティキュレートフィルター）の故障につながるおそれがあります。

燃料補給時には次のことをお守りください

セルフ式のガソリンスタンドで給油するときは、十分に注意して給油してください。

1. エンジンは必ず止めて、ドアやウィンドウを閉めます。
   タバコなどの火気は近付けないでください。
2. フュエルリッドを開けるなどの給油作業を行う前に、車体や給油機などの金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。
   身体に静電気が帯電していると、放電による火花で燃料に引火し、やけどをするおそれがあります。また給油口には、身体の静電気を除去した方以外の人を近付けないでください。
3. 給油作業中は、車内に戻ったり、帯電している人やものに触れないでください。再び帯電するおそれがあります。
4. 燃料を車体にこぼさないように注意してください。塗装面を傷めるおそれがあります。
5. 給油時に気化した燃料を吸いこまないように注意してください。燃料の成分には、有害物質を含んでいるものがあります。
6. 給油後は、フュエルリッドが確実に閉まっていることを確認してください。
7. その他、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

走行するときの注意

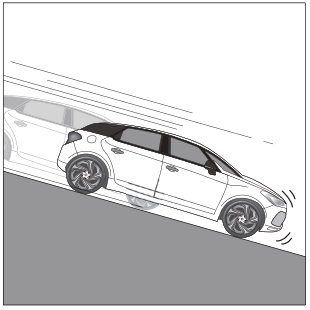
走行中はSTART/STOPスイッチを押さないでください

・ 走行中に START/STOP スイッチを押し続けるとエンジンが停止して、ブレーキ倍力装置やパワーステアリングが働きません。そのためにブレーキの効きが悪くなり、ハンドル操作も重くなるために思わぬ事故につながるおそれがあります。非常に危険なので、絶対に行わないでください。

長い下り坂ではエンジンブレーキ*を併用してください

・ ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあります。坂の勾配に応じて、適切なギアを選択し、エンジンブレーキを併用してください。

* エンジンブレーキ
走行中にアクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ



安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

車を移動するときはエンジンをかけてください。

・ エンジンがかかっていないときは、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドル操作も重くなります。ハンドルがロックされて操作ができなくなることもあります。
車を少し移動させるときでも、必ずエンジンをかけてください。車を押したり傾斜を利用して車を移動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキペダルに足を乗せたまま走行しないでください

・ ブレーキパッドが早く摩耗したり、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転中にハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しないでください

・ ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を、運転中に操作することは法律で禁止されています。
・ ハンズフリーであっても注意力が散漫になり、事故の原因につながるおそれがありますので、車を安全な場所に停車して使用することをお勧めします。

カーナビゲーションシステム等の操作は停車時に行ってください

・ 運転中にカーナビゲーションシステム等を操作しないでください。操作は安全な場所に停車して行ってください。

雨天の走行は次のことに注意してください

・濡れた路面では、タイヤのグリップが低下して滑りやすくなります。通常より注意して安全運転に心がけ、急加速、急ブレーキ、急激なエンジンブレーキ、急ハンドルを避けてください。
・わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、ハイドロプレーニング現象 * を起こしてハンドル操作やブレーキが効かなくなります。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起きやすいので注意してください。

* ハイドロプレーニング現象
水たまりを高速で走行しているときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になり、車がコントロールできなくなる現象。

・水たまり走行後や洗車後は、ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキの効きが悪いときは、周囲の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキの効きが回復するまで繰り返しブレーキペダルを軽く踏んでください。

冠水した道路の走行は避けてください

・冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、水を吸い込んでのエンジン破損などの車両故障につながるおそれがあります。

やむを得ず冠水した道路を走行するときは次のことをお守りください。ただし、冠水した道路の水面が15cmを超えるような場合は走行しないでください。

・ストップ&スタートを解除する
・エンストしない程度に速度を落とし、時速 10km 以上で走行しない
・車を停止したり、エンジンを停止したりしない

冠水した道路から脱出したら、できるだけ早く安全な場所で、ブレーキペダルを軽く数回踏み、ブレーキの湿りを乾かしてください。お車の状態に不安がある場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

霧で見えにくいときはフォグランプを併用してください

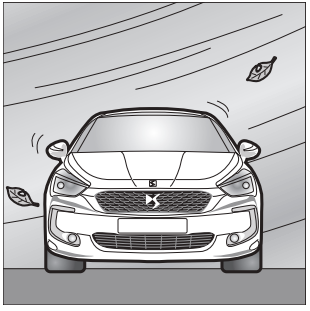
・霧で視界が悪いときは、昼間でもヘッドランプ（下向き）とフォグランプを点灯して、周囲の車や歩行者に車の存在を知らせてください。走行は、センターライン、ガードレール、前の車のテールランプを目安にして十分な車間距離をとってください。
・オートライトシステムは、周囲が明るい昼間はヘッドランプが点灯しません。手動で点灯してください。

雪が降っているときの滑りやすい路面に注意してください

・雪道や路面が凍結しているときは、非常に滑りやすくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。冬用タイヤまたはタイヤチェーン／ネットを使用していても急加速、急ブレーキ、急激なエンジンブレーキ、急ハンドルを避け、十分な車間距離をとり低速で走行してください。

横風が強いときに走行が乱れないように注意してください

・横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に下げてください。
・特にトンネルの出口、橋や土手の上、大型車の追い越しや追い越されたときなどには、横風の影響を受けやすいので注意してください。

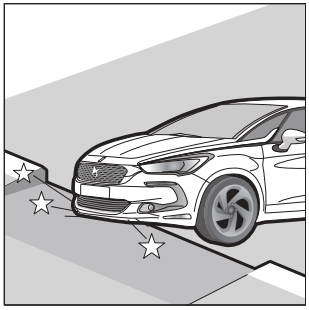


高速道路に入る前には燃料などの確認をしてください

・燃料は十分に給油してあるかを確認してください。
・タイヤの空気圧を確認してください。空気圧不足で高速走行すると、タイヤがバースト（破裂）するおそれがあります。
・万一のために、停止表示板（停止表示灯）を車に用意しておいてください。（法律で義務付けられています。）

段差ではフロントスポイラーのこすれに注意してください

・ 段差のある場所は、速度を落としてゆっくりと進んでください。路面の状態によっては、フロントスポイラーがこすれることがあります。
・ フロント側から進入すると車止めにこすれたり当たることがありますので注意してください。



車を後退させるときは周囲に注意してください

・ バックミラーには確認できない死角があります。車を後退させるときは、前もって車から降りて後方の人や障害物を確認してください。

お子さまを乗せるときの注意

お子さまは後席に座らせてください

・ お子さまを助手席に乗せないでください。走行中にお子さまの動作が気になったり、運転装置のいたずらなど事故につながるおそれがあります。
・ また、万一の事故などで助手席の SRS エアバッグが作動したときに、ケガをするおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを着用させてください

・ お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを膝の上に抱いての乗車は、絶対にしないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときにお子さまを支えることができず、ケガをするおそれがあります。
シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨にかからないなどで正しく着用できない小さなお子さまには、ベビーシートやチャイルドシートを使用してください。

安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

チャイルドシートは後席に正しく取り付けてください（→P. 1-17）

・ チャイルドシートの使用は 6 歳未満のお子さまに法律で義務付けられています。6 歳以上のお子さまでもシートベルトが正しく着用できないときは、チャイルドシートを使用してください。お子さまの安全のため、短時間の走行でも身体に合った当社純正品のベビーシートやチャイルドシートを使用してください。
・ 取り付け方法は、シートに付属している取扱説明書に従って後席に正しく取り付けてください。乳幼児用のベビーシートは進行方向に対して後ろ向きに、チャイルドシートは前向きに取り付けてください。
・ やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、助手席の位置を中間部に移動して前向きに取り付けてください。ベビーシートタイプで後ろ向きに装着するときは、助手席エアバッグキャンセルスイッチを **OFF** にしてください。衝撃でケガをしたり、最悪の場合死亡するおそれがあります。キャンセルスイッチがない車では、進行方向に対して後ろ向きに装着しないでください。
・ 当社純正のベビーシート、チャイルドシートの詳細については、当社販売店にお問い合わせください。

ドア、ウィンドウなどの開閉は大人が操作してください

・ ドアやウィンドウなどの開閉は、お子さまに操作させないでください。開閉時に手や首、足などをはさみ、思わぬケガをするおそれがあります。また、同乗者が操作するときも十分に注意してください。
・ 後席にいるお子さまが操作できないように、室内からリアドアを開けられなくするチャイルドセーフティ機能を必ずご利用ください。

ウィンドウから手や顔を出さないでください

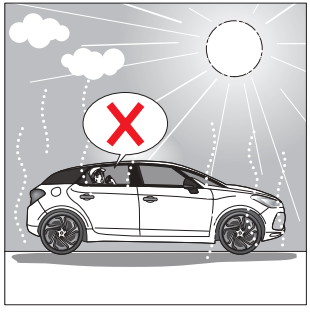
・ 急ブレーキ時に窓枠にぶつけたり、車外の障害物に当てたりして、思わぬケガをするおそれがあります。

シートの可動部分に気をつけてください

・ お子さまが、リアシートやフロントシートの隙間に手を入れたり、可動部分に触れたりして思わぬケガにつながるおそれがあります。同乗者の方が十分に注意をしてください。
・ 走行中は必ずベビーシートやチャイルドシートに座らせるか、シートベルトをさせてください。

お子さまだけを車内に残さないでください

・車から離れるときは、エンジンを止め、キーを携行して必ずお子さまも一緒に降ろしてください。
・お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
・炎天下の車内は 50℃以上の高温になり、脱水症状、熱射病などの生命の危険に関わるおそれがあります。



駐停車するときの注意

燃えやすいものや植え込みに注意してください

・紙や枯草、木材などの燃えやすいものの上や近くには駐停車しないでください。特に走行後の排気管や排気ガスは高温になるため引火するおそれがあります。
・車両後方に燃えやすいものや植え込みがあるときは、車両後端から十分に距離を取って駐車してください。すき間が少ないと、排気ガスによる変色や着火、生育への悪影響につながるおそれがありますので、車の向きも配慮してください。

ハンドルをいっぱいに回した状態を続けないでください

・車庫入れなどで、エンジンをかけたままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、ハンドル操作力が重くなることがありますが異常ではありません。

車から離れるときはエンジンを止め、施錠してください

・ シフトレバーを P(パーキング) にし、エンジンを止めてパーキングブレーキがかかっていることを確認してからドアを施錠してください。無人で車が動き出して、思わぬ事故につながるおそれがあります。坂道では、状況に応じてタイヤに輪止めをしてください。
貴重品を車内に残さないでください。施錠しても盗難につながるおそれがあります。
・ お子さまや介護の必要な方だけを車内に残さないでください。車の発進や車内の高温／低温による思わぬ傷害などが発生するおそれがあります。

炎天下での駐車時は、ライター、スプレー缶、炭酸飲料などを車内に放置しないでください

・ 車体やシート、ステアリングなどが高温となり、やけどをするおそれがあります。駐車後に乗車されるときは注意してください。
・ 車内にお子さまやペットなどを乗せたまま車から離れることは、絶対におやめください。車内の温度が 50℃を超えることもあり、大変危険な状態になります。
・ ライターやスプレー缶、炭酸飲料などは、自然発火や破裂を起こすおそれがあります。車内に放置しないでください。
・ ガスライターを床やシートのすき間に落としたままにすると、シートを動かしたときに着火して火災につながるおそれがあります。
・ メガネをダッシュボードなどに置いたままにすると、変形やひび割れのおそれがあります。また、レンズにより火災を起こすことがあり危険です。

仮眠するときは必ずエンジンを止めてください

・ 無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして車が発進するおそれがあります。
・ エンジンや排気管の異常過熱により火災が発生するなどの思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ 車内で仮眠するときは、エンジンを止め、助手席または後席でしてください。
・ 排気管が損傷していたり、風向きや風通しの悪い場所では、排気ガスが車内に侵入し一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

エンジンルーム内に可燃物を放置しないでください

・ エンジンルーム内に燃えやすい物の置き忘れに注意してください。引火のおそれがあります。
・ 車両を長時間使用しなかった場合は、小動物や鳥類に持ち込まれた小枝等がないことを確認してください。もし走行中に焦げた臭いを感じたときは、直ちに停車して確認してください。

走行中に異常を感じたとき

警告灯が点灯・点滅したときは、直ちに停車して適切な処置をしてください

- 走行中に警告灯が点灯や点滅したときは、直ちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。（第 4 章の「メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた」を参照）
  そのまま走行すると故障の原因になるだけでなく、重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行中は車の状態に気を配り、いつもと異なる音や臭い、振動などを感じたときは、直ちに当社指定サービス工場で点検を受けてください。
- 故障等でやむを得ず路上に停車するときは、ハザードランプの他に停止表示板を使用して、他の車両に停止していることを知らせてください。

走行中にタイヤがパンクやバーストしたときは、あわてずに安全な場所に停車してください

- 走行中、タイヤに異常があったときは、あわてずにハンドルをしっかり握り、徐々に速度を下げて安全な場所に停車してください。
  急ブレーキや急ハンドルは、車のコントロールができなくなるおそれがあります。

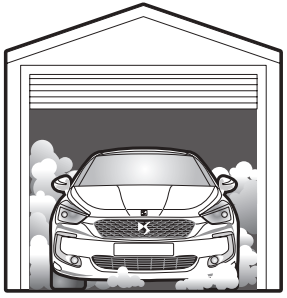
走行中に床下やタイヤなどに大きな音や衝撃を感じたときは車の下部を点検してください

- 直ちに安全な場所に停車し、車の下部を点検してください。
  ブレーキ液や燃料の漏れ、サスペンション部品、タイヤ関係、駆動系部品などの変形や損傷は、そのまま使用すると思わぬ事故につながるおそれがあります。漏れや損傷を見つけたときは、運転を中止して当社指定サービス工場にご連絡ください。

排気ガスについての注意

換気が悪い車庫や屋内ではエンジンをかけたままにしないでください

- 車庫や屋内などの換気が悪い場所では、排気ガスが充満しやすいのでエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスには無色無臭の有害な一酸化炭素が含まれており、吸い込むと排気ガスによる一酸化炭素中毒になり重大な障害におよぶか死亡につながるおそれがあります。
- 排気管に腐食などによる穴や亀裂がないかをときどき点検してください。走行中に排気ガスが車内に侵入するおそれがあります。



- 降雪時や雪が積もった場所では、エンジンをかけたままにしないでください。まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入する恐れがあります。

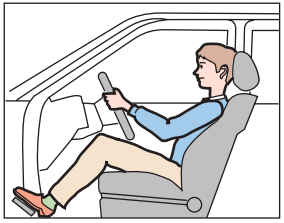
車内で排気ガスの臭いがしたら次のことをしてください

- 直ちにすべてのウィンドウを全開にする。
- エアコンの内外気の切り替えを外気にして風量を最大にする。
- すみやかに当社指定サービス工場で点検を受けてください。
  放置すると、排気ガスによる一酸化炭素中毒になり重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

シート位置についての注意

正しい運転（乗車）姿勢がとれるシート位置に設定してください

・ 運転操作を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ 万一衝突したときにシートベルトや SRS エアバッグ、ヘッドレストなどの乗員保護装置の効果が軽減されて、重大な傷害を受けるおそれがあります。



・ 前後位置は、各ペダルが楽に踏めるシート位置を調節し、腿はシートクッションに乗るようにします。運転中は右足をアクセルペダルに、左足をフットレストに置きます。
・ バックレストの角度は、楽に支えられるよう調節します。シートベルトの効果を発揮させるため、バックレストを倒しすぎないようにしてください。
・ ヘッドレストが安全装置としての役割を果たせるよう、上面の高さが乗員の頭頂部と同じ高さかそれ以上になるように調節します。これができない場合、ヘッドレストを一番高い位置に上げて使用してください。

走行中はバックレストを倒しすぎないようにしてください

・ 急ブレーキをかけたときや万一衝突したときにシートベルトなどの乗員保護装置の効果が十分に発揮されず、身体がシートベルトの下に潜り込んだり、シートベルトが首にかかり傷害を受けるおそれがあります。

シートベルトについての注意

シートベルトは正しく着用してください

・ 乗車した全員が正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しなかったり、正しく着用していないと、万一衝突したときにプリテンショナー *、フォースリミッター ** 付きシートベルト、エアバッグなどの乗員保護装置の機能が適切に発揮されず、重大な傷害を受けるおそれがあります。

* プリテンショナー
前方からの強い衝撃を受けたときに、瞬間的にシートベルトを引き込み身体を固定して乗員保護装置の効果を高める装置。

** フォースリミッター
シートベルトに一定以上の衝撃を受けたときに、身体にかかる衝撃を減少させる装置。

妊娠中の方や疾患のある方も必ずシートベルトを正しく着用してください

・ 医師に注意事項をご確認ください。
・ 腰部ベルトが腹部にかからないように、腰骨のできるだけ低い位置にしてください。また、肩部ベルトは腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。

損傷のあるシートベルトは直ちに交換してください

・ 損傷したシートベルトを使用すると、衝突したときなどに十分な効果を発揮できず、重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトやプレートを、シートやドアに挟まないでください。傷が付くおそれがあります。
・ 万一重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見受けられなくても、シート、シートベルトを交換してください。
・ プリテンショナー付きシートベルトの取り外しや交換・廃棄は当社指定サービス工場以外では行わないでください。

SRS エアバッグについての注意

- SRS エアバッグシステムは（SRS = Supplemental Restraint System）補助拘束のことです。
- SRS エアバッグは、センサーが一定以上の衝撃を感知したときにのみ作動します。衝突などで車が大きく変形しても、衝撃吸収ボディ構造により衝撃が段階的に吸収されたときは、SRS エアバッグが作動しないことがあります。

フロントエアバッグの効果は正しい姿勢とシートベルトとで発揮します

- SRS エアバッグシステムはシートベルトを補助するシステムで、シートベルトに代わるものではありません。このシステムではシートベルトを必ず着用してください。
- シートに正しく座りシートベルトを正しく着用していないと、衝突などで身体が前方に放り出されたときに SRS エアバッグシステムがふくらみ、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。
- 運転者とステアリングホイールとの間には、適当な距離を確保してください。あまり近すぎると、エアバッグの効果が低下したり、エアバッグそのものでケガを負うおそれがあります。
- ステアリングホイールは、9 時と 3 時の位置を外側から両手で持ってください。他の位置（12 時の位置や真ん中、内側）を持つと思わぬケガにつながったり、エアバッグが作動した際に重大なケガを負うおそれがあります。

安 全 装 置 に つ い て

フロントエアバッグは車両前方からの衝撃を緩和します

・ SRS フロントエアバッグは、イグニッションがオンのときに車両前方から乗員に重大な危害が及ぶような強い衝撃を受けたときに瞬時にふくらみ、乗員の頭や胸にかかる衝撃を緩和するシステムです。

フロントエアバッグの保護性能が発揮されるために次の点に注意してください

・ 運転者が顔や胸をステアリングに近付けすぎると、SRS エアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け非常に危険です。常に正しい運転姿勢で座り、ステアリングに近付きすぎないようにしてください。
・ 助手席に乗車する人は、シート前端に座ったり、ダッシュボードに足を乗せていたりすると、SRS エアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け非常に危険です。常に正しい乗車姿勢で座り、ダッシュボードに近付きすぎないようにしてください。

エアバッグの近くにものを置いたり、ステッカーなどを貼り付けないでください

・ ステアリングを交換したり、ステアリングのパット部にステッカーなどを貼り付けないでください。
・ 助手席側エアバッグの周辺（ダッシュボード）にカー用品や芳香剤を置いたり、傘などを立てかけないでください。エアバッグが正常に作動しなかったり、エアバッグがふくらんだときに飛ばされて、ケガをするおそれがあります。

SRS サイドエアバッグ／カーテンエアバッグについての注意

・SRSサイドエアバッグ／カーテンエアバッグは、車両側面から乗員に重大な危害が及ぶような強い衝撃を受けたときに瞬時にふくらみ、乗員の頭や胸にかかる衝撃を分散、緩和させる乗員保護装置です。

サイドエアバッグ／カーテンエアバッグは車両側面からの衝撃を緩和します

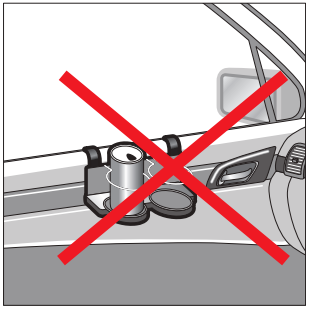
・ サイドエアバッグは、前席のバックレスト側面（ドア側）に収納されています。カーテンエアバッグは、ドアピラー部から天井にかけて収納されています。
・ シートの側面周囲には、ものを置かないでください。
・ シートにシートカバーや上着をかけたり、ベルトを巻きつけないでください。

ドアやウィンドウにもたれかからないでください

・ SRS サイドエアバッグ収納部に手、足、顔を近付けたり、ドアやウィンドウにもたれかかるような姿勢でシートに座らないでください。エアバッグがふくらむときに強い衝撃を受け、非常に危険です。

ドアやサイドエアバッグの近くにカップホルダーなどのカー用品を取り付けないでください

・ SRS サイドエアバッグ収納部の近くにカップホルダーなどのカー用品を取り付けたり、ステッカーなどを貼らないでください。エアバッグが正常に作動しなかったり、エアバッグがふくらんだときに飛ばされてケガをするおそれがあります。



運 転 装 置 に つ い て

ABS と ESC ／ ASR についての注意

ABS（アンチロックブレーキシステム）を過信しないでください

・ ABS は Antilock Brake System の略で、急ブレーキをかけたときに車輪がロックするのを防ぎ車の操縦性を確保しようとする装置で、制動距離を短くするための装置ではありません。

・ 次のような路面では、ABS なしの車よりも制動距離が長くなることがあります。速度は控えめにして車間距離を十分にとってください。
- 砂利道や雪道、凍結路などを走行しているとき
- タイヤチェーン／ネットを装着しているとき
- 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
- 石だたみなどの悪路を走行しているとき

ESC／ASR（エレクトロニックスタビリティコントロール／アンチスケーティングレギュレーション）を過信しないでください

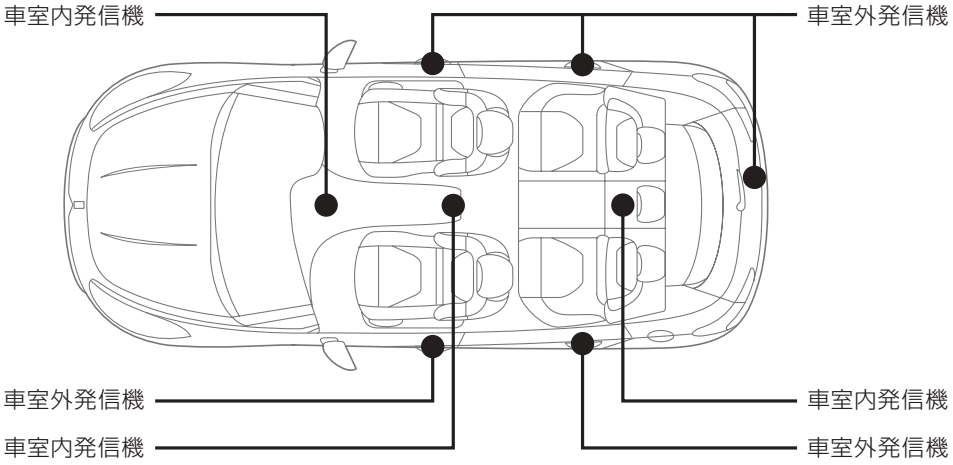
・ ESC システムは、滑りやすい道路での旋回時などに、車の動きと運転者が意図するコースとに著しい差が発生したとき、自動的にブレーキやエンジンの出力を制御して車の走行安定性を確保しようとするシステムです。
・ ASR は滑りやすい道路での発進や急加速時に生じる空転を防ぎ、車の走行安定性を向上させようとするシステムです。
・ ESC ／ ASR が作動した状態でも、車の走行安定性には限界があります。ESC ／ ASR を過信せずに速度を下げて、車間距離を十分にとって安全運転を心がけてください。

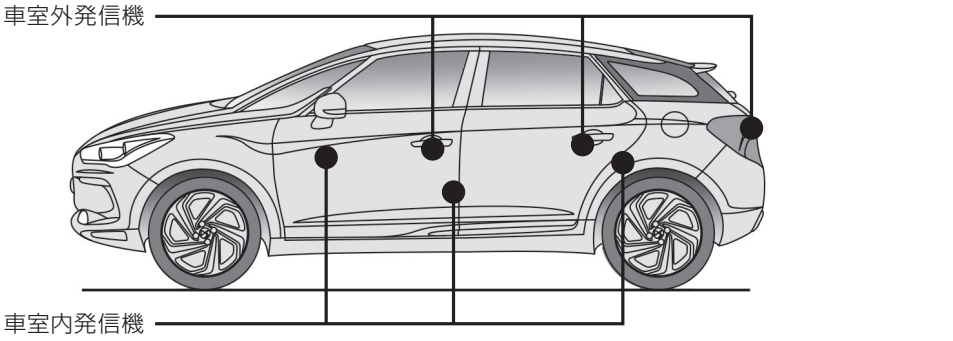
スマートキーについての注意

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用されている方は、スマートキー検知用の車室内発信器・車室外発信器から約22cm以内に近付かないようにしてください

・ 電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
・ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

アンテナ位置





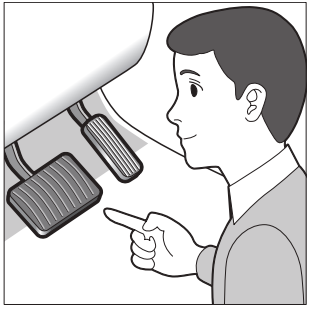
オートマチック車についての注意

クリープ現象に注意してください

・ クリープ現象とは、エンジンがかかっているときにシフトレバーを P または N 以外にすると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出すことです。
・ 停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ 特にエンジンの始動直後やエアコン作動時のエンジン回転が上っているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

ブレーキとアクセルのペダル位置に注意してください

・ ペダルの踏み違いは、思わぬ事故につながります。エンジンをかける前にペダルの位置を確認してください。
・ また、アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。



発進前／停車後のシフトレバーの操作はブレーキを踏んでください

・ エンジンをかけるときはシフトレバーが P にあることを確認し、ブレーキペダルをしっかり踏み込んでください。
・ シフトレバーの操作は、エンジン始動直後やエアコン作動時などはクリープ現象が強くなるので、特にしっかりとブレーキペダルを踏んで行ってください。
・ 発進時のシフトレバーの操作は、ブレーキペダルをしっかり踏み込んで行ってください。急発進して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アクセルペダルはゆっくり踏んでください

・ アクセルペダルを急激に踏み込むと、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中はギアをNに入れないでください

・ 走行中にシフトレバーを N にすると、エンジンブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ オートマチックトランスミッション内のオイルの潤滑が悪くなり、故障するおそれがあります。

運 転 装 置 に つ い て

後退したあとはギアをN に戻してください

・後退したあとは、すぐシフトレバーを R から N に戻す習慣をつけてください。

シフトレバー位置は目で確認してください

・エンジンをかけるときは P、前進するときは D、後退するときは R にあることを目で確認してください。

追い越しにはキックダウンを利用してください

・D または 2 速以上（マニュアルシフトポジション）で走行中に、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むと自動的に低速ギアに切り替わり、急加速が得られます。
・滑りやすい路面や急カーブなどでは使用しないでください。タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車はシフトレバーをPに入れてください

・駐車するときはシフトレバーを P にして、パーキングブレーキをしっかりかけてください。クリープ現象などで無人で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込み、急発進したりし、事故につながるおそれがあります。

無用な空ぶかしはしないでください

・万一、シフトレバーが P、N 以外に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

クルーズコントロールについての注意

クルーズコントロールを使用しないときはメインスイッチをオフにしてください

誤ってクルーズコントロールを作動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ストップ & スタートについての注意

車から離れるときは、必ずイグニッションをオフにしてキーを携行してください。ストップ& スタート機能が作動していると、シートベルトを外したりドアを開けたときに自動的にエンジンが始動して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

オーバーヒートについての注意

オーバーヒートの症状について

・次のような症状が現れるとともに、インストルメントパネルの **STOP** 警告灯が点灯します。
・冷却水温度計がレッドゾーンに入ったり、エンジンの出力が急に低下する。
・ボンネット（エンジンルーム）から蒸気が出てくる。

オーバーヒートの対応について

・ボンネットから蒸気が出ているときは、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっているため、やけどなどをするおそれがあります。
・冷却水温度が下がるまで、冷却水タンクのキャップを開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出して、やけどをするおそれがあります。
・オーバーヒートを起こしたまま走行を続けると、エンジンなどに重大な損傷を起こすおそれがあります。安全な場所に停車し、当社指定サービス工場にご連絡ください。

故障したとき／事故が起きたときの注意

走行中に路上で故障したとき

・一般道では、車を路肩などの安全な場所へ移動させ、非常点滅灯を点滅させます。必要に応じて、車の後方に停止表示板を置いてください。
・高速道路や自動車専用道路では、車を路肩などの安全な場所へ移動させ、車内の乗員を安全な場所に避難させてください。次に非常点滅灯を点滅させ、車の後方に停止表示板を置いて（法律で義務付けられています）ください。

路上で動けなくなったとき

・車を移動するときは、シフトレバーを **N** にしてパーキングブレーキを解除し、安全な場所へ移動させてください。

踏切内で動けなくなったとき

・同乗者や付近の人に協力してもらい安全な場所まで押してもらってください。車を移動するときは、イグニッションをオンにして、シフトレバーを **N** にしてパーキングブレーキは解除します。
・車を移動できないときは、乗員を安全な場所へ避難させ、直ちに踏切警報機に設置してある非常ボタンを押します。緊急を要するときは、保安炎筒を使用して列車に車が踏切内に停車していることを知らせます。

事故が起きたとき

・事故が起きてしまったときは、あわてずに次の処置をとります。

1. 続発事故を防ぐために、他の交通の妨げにならない安全な場所へ車を移動し、エンジンを止めます。
2. 負傷者がいるときは、救急車の出動を要請するとともに負傷者に応急手当を行います。
   ただし、頭部を負傷しているときは動かさないようにしますが、続発事故のおそれがあるときは安全な場所へ避難させます。
3. 警察に連絡します。
   事故が発生した場所、事故状況、負傷者の有無、負傷の程度を報告し、指示を受けてください。
4. 事故の相手があるときは、相手側の氏名や住所、電話番号、自動車保険の番号などを確認してください。
5. 車をご購入された販売店と保険会社に事故状況をご連絡ください。

そ の 他

盗難についての注意

キーは必ず携行してください

・車から離れるときは、必ずエンジンを停止し、キーを携行してください。
・また、スペアキーを車内に置いたり、バンパーや車体の一部に貼り付けておくことは、盗難のおそれがありますので絶対におやめください。

ドア、ウィンドウを確認してください

・車から離れるときは、すべてのドアが正しくロックされていることを確認してください。また、ウィンドウもきちんと閉じているかを確認してください。

路上駐車は絶対におやめください

・短時間の駐車でも、いたずらや盗難を防ぐために違法な路上駐車を避け、明るく管理の行き届いた駐車場に入ることを心がけてください。

車内に現金や貴重品は絶対に置いたままにしないでください

・現金や貴重品、携帯電話、バッグ、上着などを車内に置いたまま車を離れないでください。

こんなことにもご注意を

車の改造は禁止されています

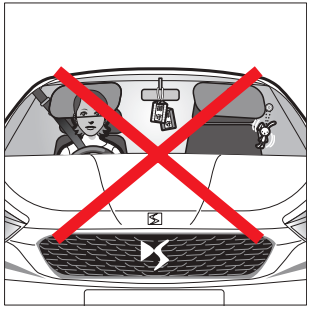
・車の改造や当社純正部品以外の使用は、車の性能が十分に発揮できないだけでなく、思わぬ事故の原因につながるおそれがあります。また、保証の適用外になるだけでなく、故障の原因になることがあります。
・電装品や無線機などの取り付け、取りはずしは、当社指定サービス工場にご相談ください。
取り付け、取りはずしが適切でないと、電子機器部品に悪影響を及ぼすだけでなく、故障や火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ハンドルの取りはずしや交換は、絶対に行わないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されていますので、正常に作動しなかったり不意に作動して思わぬ事故になるおそれがあります。

タイヤ、ホイールは指定サイズを使用してください

・タイヤ、ホイールは指定された規格の製品を使用してください。指定以外の製品を装着すると、ブレーキシステムに悪影響を及ぼしたり、走行安定性を損なうおそれがあります。
・交換は当社指定サービス工場で行ってください。

ウィンドウにアクセサリーを取り付けないでください

- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けると、視界の妨げになったり、走行中に飛んでケガをするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセサリーの吸盤がレンズの働きをして、火災を起こすことがあり危険です。



夏季はバッテリー上がりが起きやすくなります

- 電装品の使いすぎは、バッテリー上がりにつながります。特に夏季は、エアコンなどの電装品の使用が増えますのでバッテリーにも負担がかかります。渋滞時の走行では充電量が不足してバッテリー上がりを起こしやすくなりますのでこまめな点検と早めの交換を心がけてください。

冬季はタイヤの滑り止めや解凍剤などをご用意ください

- 冬季のトラブルを軽減するために、冬用タイヤチェーン／ネットや解凍剤などの準備およびバッテリーの点検を行っておくことをお勧めします。詳しくは当社指定サービス工場にご相談ください。
- 積雪や凍結した道路を走行するときは、安全のため冬用タイヤを装着してください。
  冬用タイヤに交換するときは、必ず指定サイズで同じメーカーの同じ銘柄のものを 4 輪に装着してください。
- タイヤチェーン／ネットは、タイヤサイズに合ったものを前輪に取り付けてください。
- タイヤチェーン／ネットの装着は、安全な場所に停車し、各取扱説明書に従って確実に取り付けてください。装着後は 100m くらい走行して、緩みや車体に当たっていないかを再度確認してください。
- バッテリーは、気温が低くなると性能も低下します。バッテリー液や比重、充電状態を点検してください。
- ウォッシャー液の凍結を防ぐために、夏季よりも混合割合を高くしてください。

タバコの吸殻の火は消して灰皿へ入れてください

- タバコやマッチなどの火は、確実に消して灰皿へ入れてフタを閉めてください。
- 灰皿の中に吸殻を入れすぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。思わぬ火災につながるおそれがあります。

オーディオについての注意

このオーディオは Bluetooth® の機能を備えています。植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用されている方は、オーディオから約 22cm 以内に近付かないようにしてください

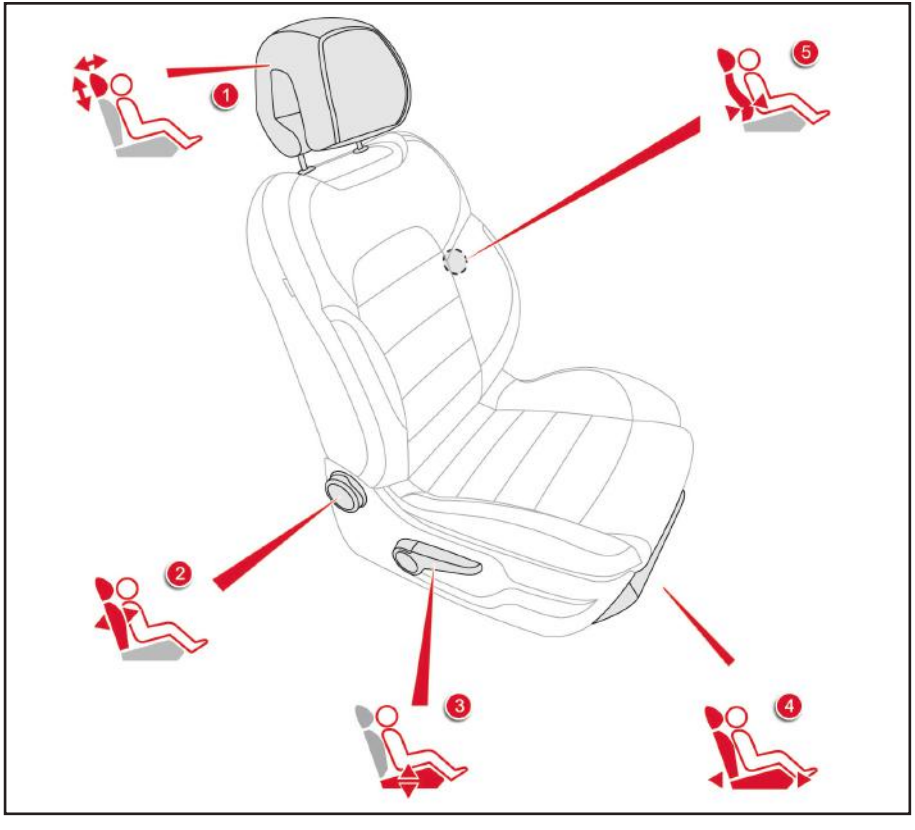
- 電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

第1章　安全に運転するために

フロントシート ····· 1-2
ミラー ····· 1-7
液晶ディスプレイ（カメラモニター） ····· 1-8
バックアイカメラ／サイドビューカメラ ····· 1-9
リアシート ····· 1-11
シートベルト ····· 1-14
チャイルドシート ····· 1-17
エアバッグ ····· 1-22
走行する前に ····· 1-27
使用燃料について ····· 1-27
冬季の取り扱い ····· 1-28
保安炎筒 ····· 1-29
触媒コンバーター ····· 1-29

フロントシート

●フロントシートの調整（手動）



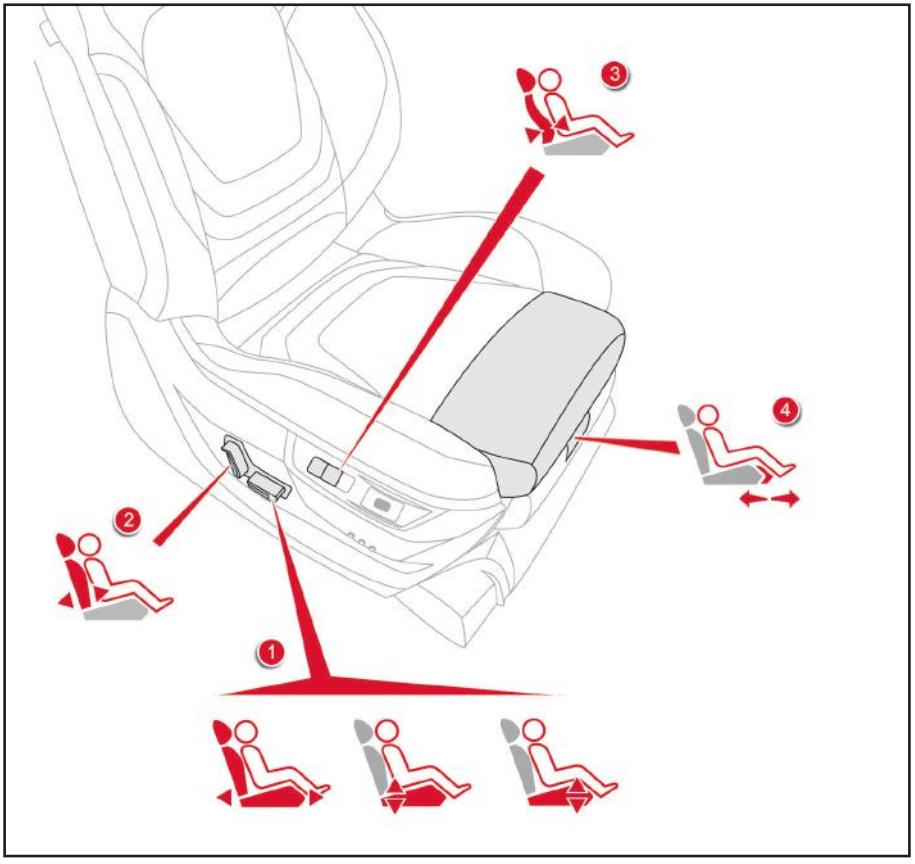
①：**ヘッドレストの調整**
高さおよび角度の調整ができます。
②：**バックレストの角度調整**
ダイヤルを回します。
③：**シートの高さ調整**
レバーを上下に動かします。
④：**シートの前後調整**
バーを引き上げながら、シートを前後にスライドさせます。
⑤：**ランバーサポートの調整 ***
ダイヤルを回します。

⚠警 告

●運転席のシート調整は、安全のため停車中に行ってください。
●レバーの操作は正しい位置で行い、シートの移動で指などを挟まないようにしてください。
●シートを元に戻すときには、身体の一部や障害物が妨げにならないように注意し、正しい位置に固定してください。

* 仕様により異なります。

●フロントシートの調整（電動）



①：**シートの角度／高さ／前後調整**
- 角度：スイッチの前端を上下します。
- 高さ：スイッチの後端を上下します。
- 前後：スイッチを前後にスライドします。

②：**バックレストの角度調整**
スイッチを前後に倒します。

③：**ランバーサポートの調整 ***
スイッチの前後を押します。

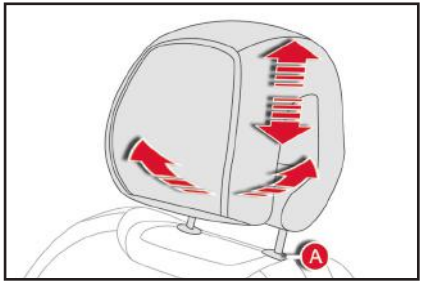
④：**シートクッションの奥行き調整（手動）**
グリップを引き出します。

MEMO

フロントドアを開けてから約45秒間、運転席側シートの調整ができます。イグニッションをオフにしてから約45秒後およびエコノミーモードに入ると調整ができなくなります。
さらに調整したいときは、イグニッションをオンにするかエンジンを始動してください。

●ヘッドレストの高さと角度調整

調整は、ヘッドレストの上端と前席乗員の頭の上が揃うようにします。



高さ調整

ヘッドレストを引き上げると上がります。ラグ**A**を押しながらヘッドレストを押すと下がります。

角度調整

ヘッドレストの前半分の下部を前後させます。

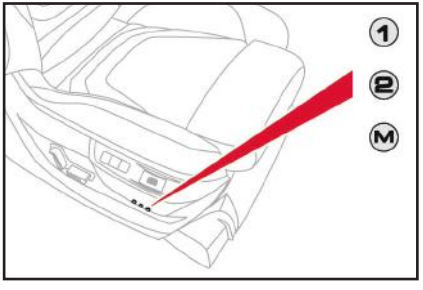
ヘッドレストの脱着

1. バックレストを倒して、ヘッドレストを最上の位置に移動します。
2. 根元のラグ **A** を押しながら引き上げます。
3. ヘッドレストを戻すには、ヘッドレストの支柱をシートの穴に合わせて押し込みます。ヘッドレストを引き上げて確実に固定されていることを確かめてください。

⚠警 告

- ●ヘッドレストは衝突の際にはずれないように、支柱によって支えられています。
- ●高さはヘッドレストの上端と前席乗員の頭の上が揃うように調整してください。
- ●ヘッドレストをはずして運転しないでください。

●シートポジションメモリー*



お好みのシートポジション（運転席の位置、ヘッドアップディスプレイの角度*）を登録し、ワンタッチで呼び出すことができます。シートポジションは運転席シートにあるボタンに2人分まで登録できます。

* 仕様により異なります。

シートポジションを登録する

1. イグニッションをオンにします。
2. 運転席の位置およびヘッドアップディスプレイ * の角度を調整します。
3. ボタン **M** を押して4秒以内に、登録したいボタン**1**または**2**を押します。登録が完了すると、チャイムが鳴ります。

MEMO

新しいシートポジションを登録すると、前の登録に上書きされます。

登録ポジションを呼び出す

車が停止状態で、イグニッションがオンまたはエンジンが作動中のときにボタン**1**または**2**を短く押します。
呼び出しが完了すると、チャイムが鳴ります。

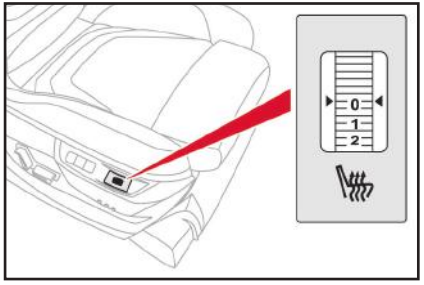
MEMO

- 登録ポジションの呼び出し中にボタン **M**、**1** または **2** を押すか、シートの調整を行うと呼び出しはキャンセルされます。
- 走行中は登録ポジションの呼び出しはできません。
- イグニッションをオフにしてから 45 秒後、登録ポジションの呼び出しができなくなります。

⚠警 告

シートポジションメモリーの操作は、安全のため停車中に行ってください。

●シートヒーター*



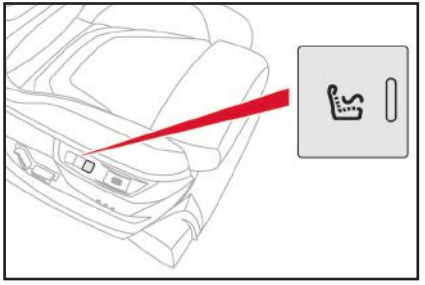
シートヒーターは運転席と助手席に装備され、別々に作動させることができます。
シート横にあるダイヤルを回すとヒーター温度が調整できます。
設定した温度は自動的に保たれます。

0：オフ
1：低
2：中
3：高

MEMO

シートヒーターはエンジンが作動しているときのみ使用できます。

●アクティブランバーサポート*

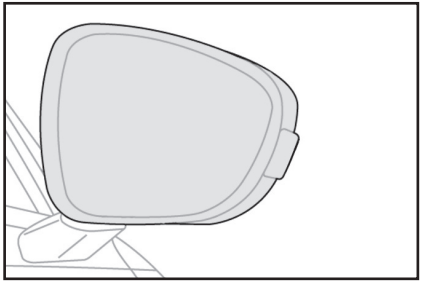


オンにするには
エンジン作動中にスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、運転席背部のランバーサポートがぼう張、収縮を繰り返します。
6分1サイクル（4分作動、2分休止）で1時間（10回）作動します。

オフにするには
1時間経過するとインジケーターが消灯し、アクティブランバーサポートが停止します。
途中で停止したいときは、スイッチを押します。ランバーサポートが元のポジションに戻って停止します。

* 仕様により異なります。

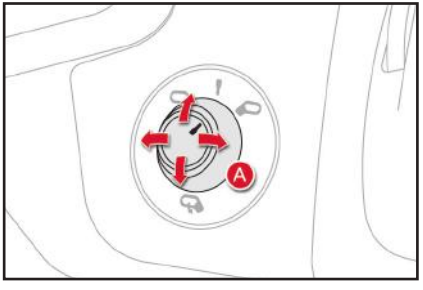
ミラー



⚠注 意

ミラーで見た距離感覚と実際の車との距離が異なります。車との感覚を判断する際には、この点に十分ご注意ください。

電動ドアミラー



1. 調整するミラーに合わせて、スイッチ **A** を左側または右側に回します。
2. スイッチ **A** を上下左右に動かして、ミラーの角度を調整します。
3. 調整が終わったら、スイッチ **A** を中央の位置に戻します。

●ドアミラーの展開／格納

自動：スマートキー機能でドアを解錠すると展開し、施錠すると格納されます。

手動：イグニッションをオンにして、スイッチ**A**を上に回すと展開し、下に回すと格納されます。

手などを挟まないように、安全を確認してから操作してください

⚠注 意

電動ドアミラーを手で倒したり、戻したりしないでください。

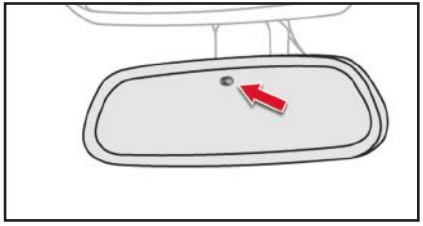
注 意

自動洗車機を使用するときは、ドアミラーを格納してください。

MEMO

- ●スイッチ **A** を使用してドアミラーを格納した場合は、車を解錠してもドアミラーは展開しません。スイッチ **A** を使用してドアミラーを展開してください。
- ●エアコンコントロールパネルのリアウィンドウデフォッガーボタンは、ドアミラーの曇り取りも兼用しています。

自動防眩バックミラー

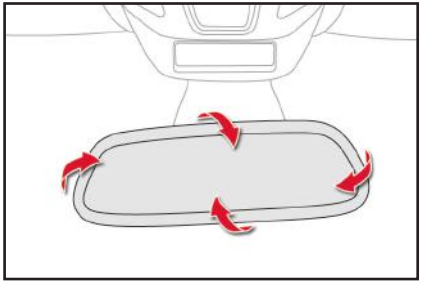


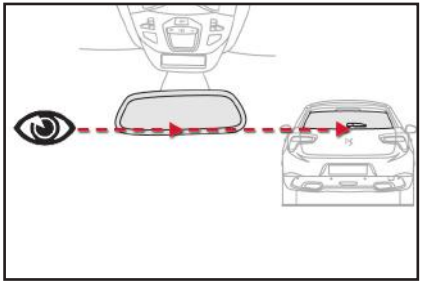
センサーでミラーにあたる光を感知し、昼と夜で自動的にミラーの明るさを調整します。また、夜間に後続車のヘッドランプがミラーに反射した場合も、自動的に暗くなって後方の視界を確保します。なお、シフトレバーをR位置にすると、後方視界を確保するために一時的に明るくなります。

⚠注 意

安全のため、ミラーは後方がよく見える位置に調整してください。

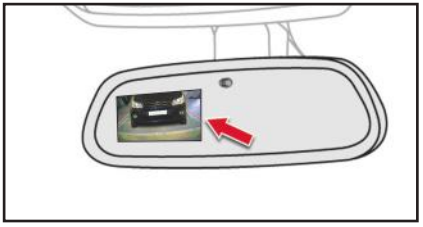
●後方視界の確保





バックミラーを調整するときに、バックミラーの下端とリアウィンドウの下端が合うようすると、より広い後方視界が得られます。

液晶ディスプレイ（カメラモニター）



バックミラーの左部分には液晶ディスプレイが内蔵されていて、バックアイカメラおよびサイドビューカメラの映像を表示するカメラモニターとなっています。

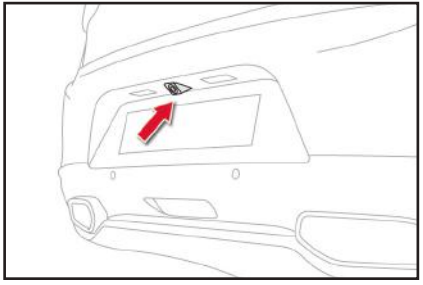
MEMO

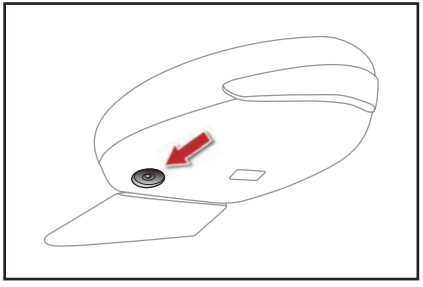
油膜などがミラーに付着していると、映像が見えにくくなります。やわらかい布で水拭きして定期的に汚れを落としてください。

注 意

ミラーの清掃には、溶剤や研磨剤入り洗剤などを使用したり、荒い布などで強くこすったりしないでください。

バックアイカメラ／サイドビューカメラ





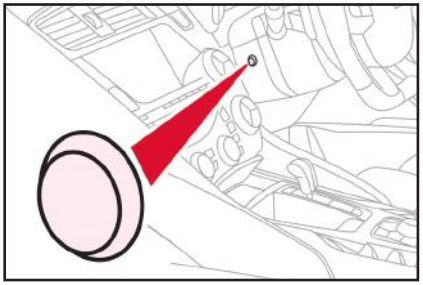
カメラが捉えた車両周囲の映像を、バックミラー左部分のカメラモニターに表示することで、運転操作を補助するシステムです。

各カメラは、以下の操作で作動します。

- **バックアイカメラ**
  シフトレバーを **R** 位置にすると自動的に作動します。

- **サイドビューカメラ**
  イグニッションがオンになると自動的に作動します (1 分間)。
  その後はスイッチを押すたびに 1 分間作動します。
  バックアイカメラ作動時でもスイッチを押すと作動します。

●サイド&バックカメラ作動スイッチ



ステアリングコラム左側にあるスイッチを押すたびにオン/オフ、サイド/バック(後退時)が切り換わります。
サイドビューカメラは約1分、バックアイカメラは約5分経過すると自動的にオフになります。

MEMO

●気象条件などにより、映像が見えにくくなることがあります。また、夜間など暗い場所では画質が低下します。
●強い光がカメラに当たると、映像が白くぼやけたり、光の筋が映り込む場合があります。
●携帯電話や無線機などの電波により、映像にノイズが入る場合があります。
●車両の積載状況などにより、映像範囲が変わる場合があります。
●映像を鮮明に保つために、カメラレンズ部は定期的に清掃してください。

⚠警 告

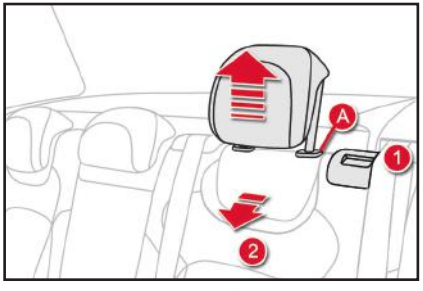
●周囲の安全は、必ず目視やミラーなどで直接確認してください。モニターだけを見ての運転は絶対におやめください。
●映像範囲には限界があり、車両周辺の人や障害物が全て映るわけではありません。
●カメラレンズの特性により映像がゆがむため、モニター上での見かけの距離感は実際と異なります。急勾配など特定の路面状況下では、その差が特に大きくなります。
●ドアミラーを格納した状態では、適切な映像範囲を得られません。

注 意

●カメラ本体やその周辺に、強い衝撃や力を加えないでください。また高圧洗浄は避けてください。
●カメラレンズ部の清掃には、溶剤や研磨剤入り洗剤などを使用したり、荒い布などで強くこすったりしないでください。やわらかい布で水拭きすることで、十分汚れが落ちます。
●異常が発生した場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。

リアシート

●リアヘッドレスト



ヘッドレストは2つの高さを選択できます。

収納位置
シートを使用していないときは、低い位置にします。

通常位置
乗員が乗るとき、またはリアシートにチャイルドシートを前向きに取り付けるときは、安全のためヘッドレストをロックするまで引き上げます。

上げるとき
ヘッドレストをロックするところまで引き上げます。

下げるとき
ラグ**A**を押しながら、ヘッドレストの上部を押します。

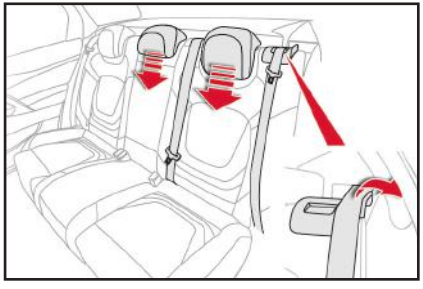
取りはずし
1. バックレストのレバーを手前に引き、バックレストのロックを解除します。
2. バックレストを前方へ少し倒します。
3. ヘッドレストをロックするところまで引き上げます。
4. ラグ **A** を押しながらヘッドレストを取りはずします。

⚠警 告

リアシートに乗るときは、ヘッドレストを通常位置に調整してください。また、ヘッドレストを取りはずしたまま走行しないでください。事故などのときにケガをする危険性があります。

●リアシートの折りたたみ

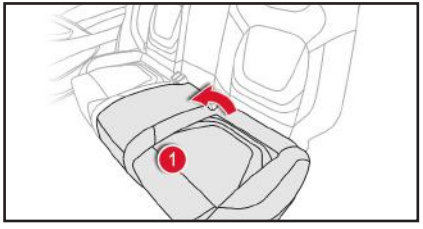
左右分割式のリアシートは折りたたむことができます。

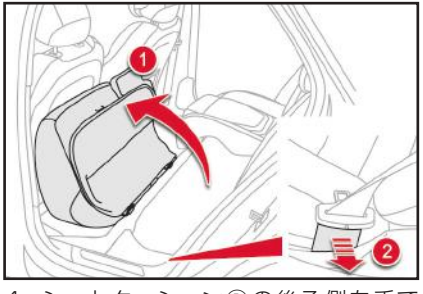


1. フロントシートを前にずらします。
2. ヘッドレストを一番下まで下げるか、取りはずします。
3. シートベルトをガイドからはずします。

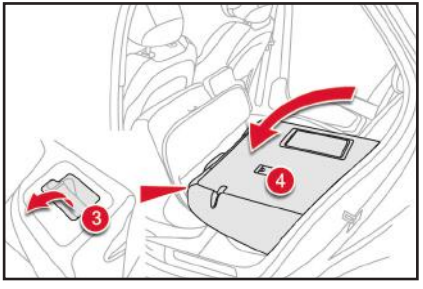
⚠警 告

リアシートを操作するときは、車を安全な場所に停車させてから行ってください。





4. シートクッション①の後ろ側を手で引き上げ、フロントシート方向に完全に引き起こします。
5. シートベルトガイド②を車体側に寄せておきます。

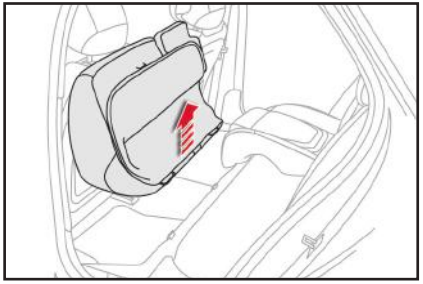


6. レバー③を手前に引き、バックレスト④のロックを解除します。
7. バックレスト④を前方へ倒します。

⚠注 意

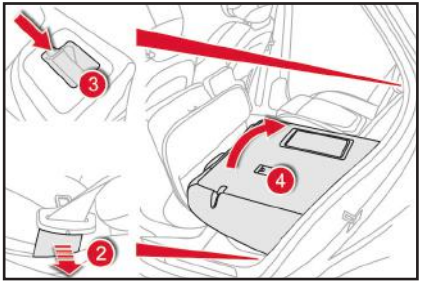
シートのまわりに障害物がないか確認してください。また、体が挟まれないように充分注意してください。

●リアシートクッションの取りはずし

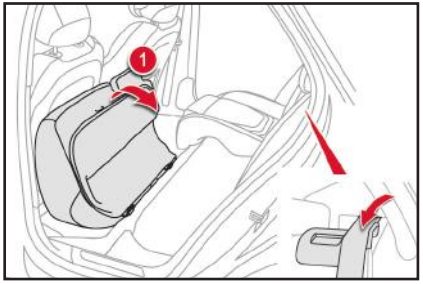


リアシートクッションは、はね上げた状態から更に上に引き上げて固定をはずすと、取りはずすことができます。
取り付けるときは、真っすぐ下に下げて固定させます。

●リアシートの戻しかた



1. シートベルトが巻き込まれないようにするため、シートベルトガイド②を車体側に寄せておきます。
2. バックレスト④を起こして元の位置に戻します。
3. ヘッドレストを通常位置に戻します (取りはずしていた場合は再度取り付けてください)。
4. バックレストが確実に固定され、レバー③横の赤い目印が見えないことを確認します。



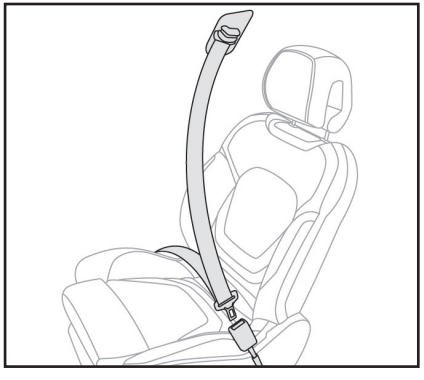
5. シートクッション①を倒して元の位置に戻します。
6. シートベルトガイド②を元の位置に戻します。
7. シートベルトをガイドに戻します。

注 意

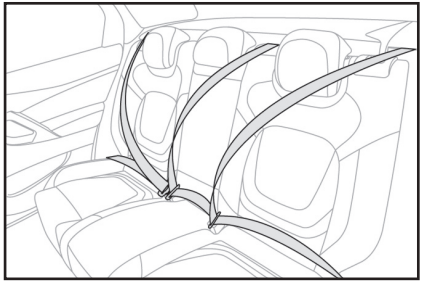
リアシートを戻すときは、シートベルトを巻き込まないように注意してください。

シートベルト

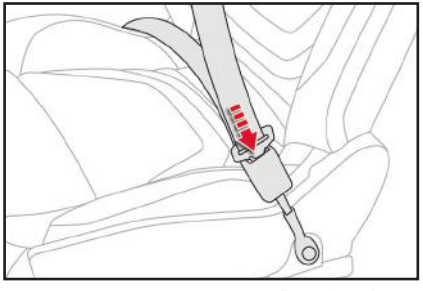
フロントシートベルト(3点式)



リアシートベルト(3点式)



●シートベルトの着用



シートベルトのストラップを引き出し、カチッと音がするまでプレートをバックルに差し込みます。
ストラップを引っ張って、正常に装着されたかを確認します。
バックルの赤いボタンを押すとはずれます。

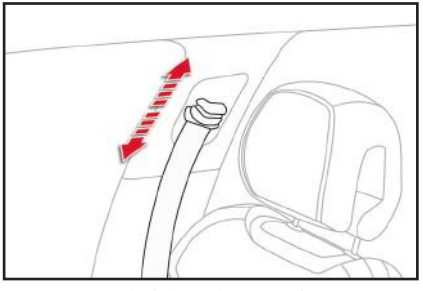
注 意

シートベルトを戻すときは、プレートを持ってゆっくりと戻してください。

MEMO

水平方向にあるベルトは、腹部でなく腰骨に当たるようにしてください。

●フロントシートベルトの高さ調整



アンカーの中央部を押しながらアンカーを上下にスライドさせて、ベルトが肩先と首との間に当たるように合わせます。

⚠警 告

安全のため、これらの操作は停車中に行ってください。

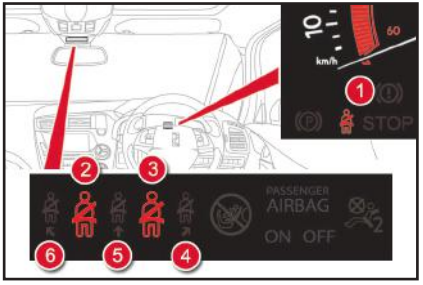
フォースリミッター付シートベルトプリテンションシステム

車体が強い衝撃を受けたとき、瞬間的にシートベルトを引き込み、身体を拘束する効果を高める装置です。
この機構は、イグニッションがオンのときに作動します。
フォースリミッターは、事故の際に身体にかかるシートベルトの衝撃を和らげる働きをします。
フロントシートおよびリアシートの両サイドのシートベルトにこの機構が付いています。

●シートベルトの着用警告

イグニッションスイッチがオンのとき、運転席または助手席のシートベルトを着用していない、または後席のシートベルトをはずすと、警告メッセージが表示され、インストルメントパネルの警告灯が点灯します。
時速20km以上で走行中にシートベルトを着用していないと、約2分間段階的に変化する警告音とともに警告灯が点滅します。2分経過後は警告灯のみが点灯します。
上記の警告は、シートベルトを着用すると解除されます。

●シートベルト着用／非着用警告ディスプレイ



イグニッションをオンにすると、警告灯が点灯／消灯してシートベルトの着用状況を表示します。
①：シートベルト着用／非着用警告灯
②：助手席側シートベルト警告灯
③：運転席側シートベルト警告灯
④：後席右側シートベルト警告灯
⑤：後席中央シートベルト警告灯
⑥：後席左側シートベルト警告灯

警告灯が赤く点灯した場合、点灯した席のシートベルトが締められていません。シートベルトが締められていると消灯します。
後席の警告灯④⑤⑥のいずれかが赤く点灯したままであっても、リアシートに着座していない場合は、エンジン始動後30秒経過すると警告灯が消灯します。
時速20Km以上で走行中にリアシートベルトをはずすと、警告灯④⑤⑥のシートベルトが締められていない警告灯が赤く点灯し、警告音とともにメッセージが表示されます。

●着座検知

助手席の座面に圧力センサーがあり、約35kg以上の重量が加わった状態でシートベルトを着用していないと警告灯は赤く点灯します。

MEMO

シートに重い荷物を置いて走行する場合は、シートベルトのストラップを引き出してバックルを差し込むと警告灯が点灯しなくなります。

⚠警 告

●運転席のシート調整は、安全のため停車中に行ってください。
●乗車中、短時間のドライブといえどもシートベルトを必ず着用してください。
●妊娠中の女性も必ずシートベルトを着用してください。ただし、医師に注意事項をご確認願います。
●シートベルトは、正しい姿勢で身体に密着させなければ効果がありません。
●バックルを逆にしてバックプレートを差し込まないでください。また、差し込むときには、ねじらないでください。
●シートベルトは、上部を肩にしっかりとかけ、下部は腰骨のできるだけ低い位置にかけてください。
●シートベルトを 2 人以上で共有しないでください。
●お子さまを膝の上に抱いて走行しないでください。

⚠警 告

●シートベルトの部品をむやみにはずしたり改造しないでください。衝突の際に作動しなくなるおそれがあります。また、誤ってプリテンションシステムを作動させると、ケガをするおそれがあります。
●シートベルトにほつれや傷跡があるようなときは、当社指定サービス工場にご相談ください。部品交換が必要になることがあります。
●シートベルトを修理、交換する場合は当社指定サービス工場にご相談ください。
●シートベルトプリテンションシステムは、一度しか作動しません。作動後は必ず部品交換が必要になりますので、当社指定サービス工場で整備を受けてください。
●シートベルトプリテンションシステムは、エアバッグとは関係なく作動します。大きな衝撃を受けたときは、当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

MEMO

●降車時には、シートベルトを確実に収納させてください。
●シートベルトがロックして引き出せないときは、ベルトを強く引いてから、ゆるめてください。
●シートベルトが汚れた場合は、せっけん水や洗剤で洗ってください。

チャイルドシート

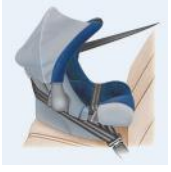
当社では、お子さまが乗る場合の安全を十分配慮して車の設計と製造を行っておりますが、お子さまが同乗するときの安全対策については、常に大人の方が十分ご注意いただくようお願いします。

⚠警 告

- ●短時間の乗車でも、チャイルドシートとシートベルトを着用してください。
  また、思わぬ事故を防ぐためにも、室内からリアドアを開けられなくするチャイルドセーフティ機能をご利用ください。
- ●お子さまの体格に合った正式に認可されたチャイルドシートを使用してください。適切なチャイルドシートにより、お子さまが守られます。
- ●お子さまを膝に乗せての運転はしないでください。大ケガや致命傷を負うおそれがあります。
- ●お子さまが正しい着座位置に座っていないと、急ブレーキや事故の際に大けがや致命傷を負うおそれがあります。また、エアバッグが作動した場合にも、思わぬケガを負うおそれがあります。

●3点式シートベルトを使用したチャイルドシート

新生児から体重 13kg まで



このタイプのシートは、体重13kg位までのお子さまに適しています。減速時に首に負担がかからないように、進行方向とは反対向きに取り付けてください。

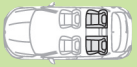
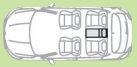
体重 9kg から 36kg まで

体重9kg ～18kg 位までのお子さまにお勧めするタイプです。

体重15kg～36kg位までのお子さまにお勧めするタイプです。

●チャイルドシートの推奨取り付け位置

以下の表は、お子さまの年齢と車のシート形状により、シートベルトを使用してどの位置に一般的なチャイルドシートを取り付けるかを示しています。取り付けは、後ろ向き、前向きともに可能です。

シート	体重グループ			
	13kgまで （グループ0、0+）	9～18kg （グループ1）	15～25kg （グループ2）	22～36kg （グループ3）
助手席	○	○	○	○
後席左右 	○	○	○	○
後席中央 	×	×	×	×

※グループ0（10kgまで）の乳児用チャイルドシートおよびキャリコットは助手席に取り付けられません。
※助手席に取り付ける場合、バックレストを元の位置に戻して、シートの高さを一番高い位置に調整してください。
※当社では可能なかぎり、すべてのチャイルドシートにおいてリアシートに設置することを奨励しています。

⚠警 告

助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大けがを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。

MEMO

チャイルドシートは、メーカーの取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。

●助手席へのチャイルドシートの取り付け（3点式シートベルトを使用）

後ろ向きチャイルドシート

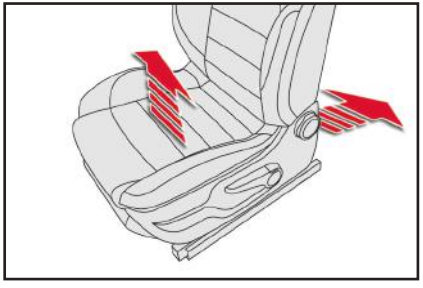
後ろ向きチャイルドシートは助手席に取り付けてください。その際、助手席エアバッグの機能をキャンセルすることが必要です。

⚠警 告

後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大けがを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。

前向きチャイルドシート

前向きチャイルドシートを助手席に取り付けた際、助手席を一番後ろの位置までずらしてください。エアバッグがふくらんだ際の影響を少なくします。



シートの位置は一番後ろ、高さは一番上です。

⚠警 告

シートベルトがしっかりと締まっていることを必ず確認してください。

●ISOFIXチャイルドシート（当社推奨）

体重 9kg から 18kg まで

前向きチャイルドシート、アッパーストラップ付き。
シートの角度を3段階に調節できます。

⚠注 意

チャイルドシートに着席したとき、お子さまの足が前席と接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。

●ISOFIXチャイルドシートの推奨取り付け位置

右の表は、ISOFIXチャイルドシートに関し、車内シート位置と一般的に認可された体重グループの関係を示しています（欧州安全規格に基づいています）。ISOFIXユニバーサルチャイルドシートまたはセミユニバーサルチャイルドシートでは、A～GのアルファベットによるISOFIXサイズコードがチャイルドシートの“ISOFIXロゴ”の横に表示されています。

	体重グループ									
	10kgまで (グループ0) 約6ヶ月まで		10kgまで、13kgまで (グループ0、0+) 約1歳まで			9～18kg (グループ1) 約1歳～3歳				
ISOFIXチャイルドシートのタイプ	乳児用*		後ろ向き			後ろ向き		前向き		
ISOFIXサイズコード	F	G	C	D	E	C	D	A	B	B1
助手席	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
後席左右	IL-SU		IL-SU			IL-SU		IUF IL-SU		
後席中央	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X

IUF： ISOFIX ユニバーサルチャイルドシート（トップテザー対応アッパーストラップを備える ISOFIX「前向き」チャイルドシート）の取り付けに適しているシート位置。

IL-SU： ISOFIX セミユニバーサルチャイルドシート（トップテザー対応アッパーストラップまたはバーを備える ISOFIX「後ろ向き」チャイルドシート、バーを備える ISOFIX「前向き」チャイルドシート、およびトップテザー対応アッパーストラップまたはバーを備える ISOFIX「乳児用」シート）の取り付けに適しているシート位置。

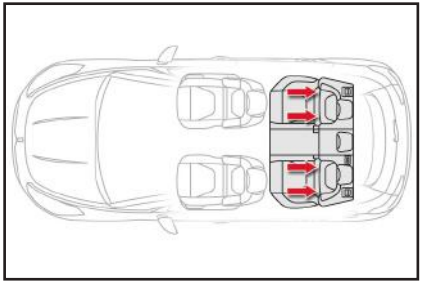
X： このサイズコードの ISOFIX チャイルドシートの取り付けはできません。

※乳児用チャイルドシートおよびキャリコットは助手席には取り付けられません。

* ISOFIX乳児用チャイルドシートは、リアシート2座席分のスペースを利用して、ボトムリングへ固定します。

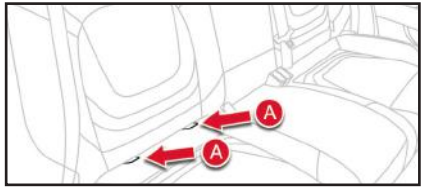
●ISOFIXチャイルドシートの取り付け方

取り付け可能シート位置

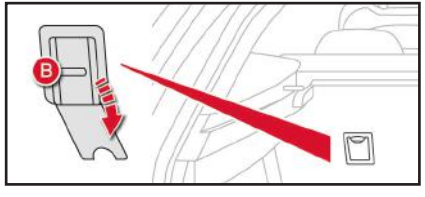


ISOFIX規格のチャイルドシートを取り付けることができるシートを表しています。取り付けが可能なシート位置にはそれぞれ3つの金具が装備されています。

取り付け金具



シートのバックレストとシートクッションの間に2つの金具**A**があります。



トップテザー対応のシートは、ストラップをシート裏側のトップテザーアンカー**B**に装着してください。
このとき、リアシートのヘッドレストを引き上げ、フックを支柱の間に通してからストラップを**B**に固定してしっかり張ります。

ISOFIX規格のチャイルドシートをワンタッチで固定するための金具が、リアシートに設置されています。

取り付け方法については、チャイルドシートの説明書に従ってください。

MEMO

リア左側シートにチャイルドシートを取り付けるときは、リア中央シートベルトを車内中央に寄せ、チャイルドシートがシートベルトの使用の妨げにならないようにしてください。

⚠警 告

- チャイルドシートは正しく取り付けてください。事故などの場合に十分な保護ができなくなるおそれがあります。
- チャイルドシートは製造メーカーの指定に従って正しくご使用ください。チャイルドシートに指定された適正な年齢や体格を無視すると、シートベルトにより傷害を受けるおそれがあります。

エアバッグ

エアバッグはイグニッションがオンのときだけ作動します。
エアバッグは致命的な事故の際にフォースリミッター付シートベルトを補助して乗員を最大限守るよう設計されています。
万一の際、エアバッグシステムが急激な減速を感知してそれがある到達点にまで達していたら即座にシステムが起動して乗員の保護を行います。
その直後エアバッグはしぼんで乗員が脱出しやすい空間を確保します。
エアバッグはシートベルトが十分フォローできる範囲内の衝撃では開きません。

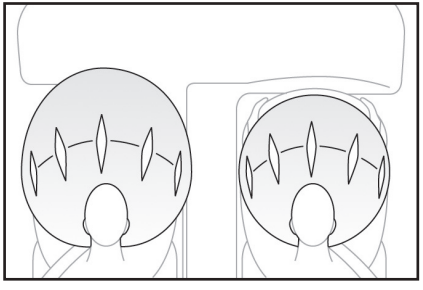
⚠警 告

展開後のエアバッグ構成部品は熱くなっておりますので、やけどを負う可能性があります。

MEMO

展開後のエアバッグはガスが抜けてすぐしぼむようにできています。このガスには若干の刺激性があります。

フロントエアバッグ

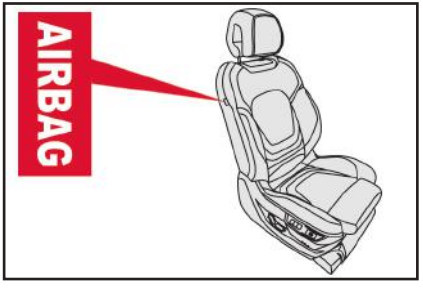


運転席エアバッグはステアリング中央部に収納されています。
助手席エアバッグはダッシュボード内に収納されています。
助手席エアバッグキャンセルスイッチがOFFのときは展開しません。

⚠警 告

- ステアリングのスポーク部を握って運転したり、センターパッド部に手をおいて運転しないでください。
- 助手席に座る人は、ダッシュボードに足を乗せないでください。
- ステアリングをはずしたり、物を突き刺したり、激しく物を当てないでください。

サイドエアバッグ



運転席および助手席のバックレスト側面（ドア側）に収納されており横からの衝撃に対してのみ、左右が独立して展開します。

⚠警 告

- シートカバーは当社が推奨するものだけを使ってください。
- シートバック部にアクセサリー等をつけたり、貼ってはいけません。
- ドア側に近付きすぎた座り方をしないでください。

カーテンエアバッグ

ドアピラー部から天井にかけて収納されており、横からの衝撃に対し前席と後席の乗員を保護するために左右が独立して展開します。

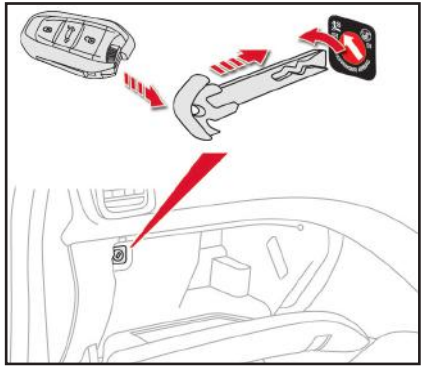
⚠警 告

- ●天井やピラーにアクセサリー等を取り付けたり貼ったりしないでください。
- ●天井に取り付けられているグリップハンドルをはずさないでください。カーテンエアバッグが機能するための一部になっています。

●故障しているときは

インストルメントパネルのエアバッグ警告灯が点灯し、警告音とともにメッセージが表示されます。
当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

助手席エアバッグキャンセルスイッチ



チャイルドシートを進行方向とは逆向きに助手席へ取り付けるときは、助手席のエアバッグが作動しないようにします。
これはエアバッグが作動してふくらんだときの衝撃からお子さまを守るためです。

ON

助手席に大人が着席しているときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチを**ON**にします。助手席エアバッグが作動します。チャイルドシートを進行方向とは逆向きに取り付けないでください。

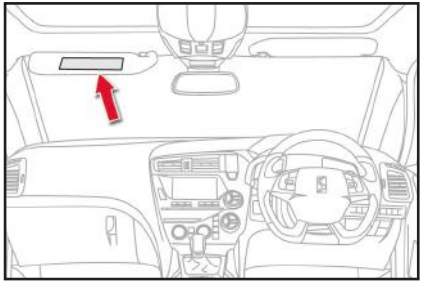
作動中は、イグニッションをオンにすると、シートベルト／助手席エアバッグ警告ディスプレイの警告灯が約1分間点灯します。

OFF

チャイルドシートを進行方向とは逆向きに取り付けたときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチを**OFF**にします。助手席エアバッグは作動しません。

1. イグニッションをオフにします。
2. 助手席エアバッグキャンセルスイッチにキーを差し込み、**OFF** の位置にします。
3. そのままキーを抜きます。

キャンセル中は、イグニッションをオンにすると、インストルメントパネルまたはシートベルト／助手席エアバッグ警告ディスプレイの警告灯が点灯します。



助手席サンバイザーに警告ラベルが貼り付けられています。

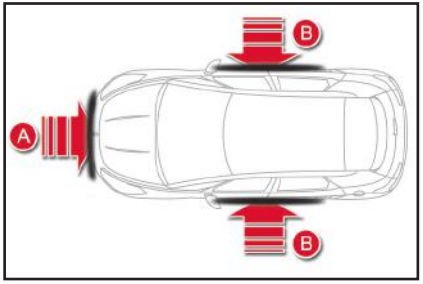
⚠警 告

作動停止設定をしていない前側エアバッグで保護されている座席には、**絶対に**チャイルドシートを後向きに装着しないでください。**お子様の死亡**または**重症**の原因になることがあります。

⚠警 告

- 安全のためチャイルドシートはなるべく後席に取り付けてください。
- 助手席エアバッグが作動する状態で、後ろ向きチャイルドシートを助手席に装着しないでください。
- 助手席エアバッグ OFF 機能は、助手席にチャイルドシートを装着するときのみ使用し通常助手席エアバッグは ON の状態にしてください。車両に装着された助手席エアバッグスイッチを OFF の位置にして、チャイルドシートを使用する場合は、助手席エアバッグ OFF の警告灯が点灯していることを確認してください。この場合助手席エアバッグは作動しません。

エアバッグの作動条件



A. フロント衝撃ゾーン
B. サイド衝撃ゾーン

フロントエアバッグの作動条件

フロント衝撃ゾーン**A**に、車両前方から後方へ縦方向の強い衝撃を水平に受けたときに、運転席エアバッグと助手席エアバッグが連動して作動します。
助手席エアバッグの作動を解除しているときは、助手席エアバッグは連動して作動しません。

サイドエアバッグの作動条件

サイド衝撃ゾーン**B**に、車両外側から内側へ横方向の強い衝撃を水平に受けたときに、衝撃を受けた側が作動します。

カーテンエアバッグの作動条件

サイド衝撃ゾーン**B**に、車両外側から内側へ横方向の強い衝撃を水平に受けたときに、サイドエアバッグと連動して作動します。

⚠警 告

●車両側面への衝撃や衝突が弱いとき、および横転、転覆したときは、サイドエアバッグおよびカーテンエアバッグが作動しないことがあります。
●正面衝突したとき、または、追突されたときは、サイドエアバッグやカーテンエアバッグは作動しません。
●エアバッグ単独では衝撃を吸収する効果が十分ではありません。必ず、シートベルトを正しく着用してください。
●エアバッグ警告灯および助手席エアバッグ警告灯のどちらかが点灯しているときは、後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付けないでください。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
●エアバッグシステムの改造は絶対に行わないでください。

⚠警 告

●ステアリングホイールと助手席ダッシュボードには、エアバッグが組み込まれています。正しく作動させるために次のことをお守りください。
・エアバッグの組み込まれた箇所にカバーをかけたり、ステッカーなどを貼らないでください。
・助手席側のダッシュボードの上に足や物を置いたり、立てかけたりしないでください。エアバッグがふくらむときに置いた物が飛び、ケガをするおそれがあります。
・エアバッグや近くにある部品をむやみにはずさないでください。衝突の際に作動しなくなるおそれがあります。また、誤ってエアバッグを作動させるとケガをするおそれがあります。
・喫煙中にエアバッグが作動するとケガややけどをするおそれがあります。
●ステアリングホイールやダッシュボードに近付きすぎる乗車姿勢では、作動したエアバッグによりケガをするおそれがあります。

MEMO

エアバッグは一度しか作動しません。フロントエアバッグ、サイドエアバッグやカーテンエアバッグが作動した場合は、シートや内装部材、コントロールユニットなどの交換が必要になります。事故の後は、必ず当社指定サービス工場で点検や部品の交換を行ってください。

走行する前に

●タイヤの点検

空気圧の確認

タイヤの空気圧は、スペアタイヤも含めて毎月一回ないし長距離を走行する前に点検してください。
適正値は、運転席側のドアピラー部に表示されています。表示されている値は、タイヤの温度が低いときの値です。空気圧は走行してタイヤの温度が上昇すると増加しますので、暖まっている状態で空気圧が高いからといって空気を抜かないでください。

外観の点検

タイヤの接地面や両サイドに、著しい損傷や亀裂、釘や針金などの異物が刺さっていないかを点検してください。
また、タイヤの接地面に部分的な異常摩耗がないかも点検してください。

スリップサイン

タイヤには、摩耗の限度を示すスリップサインが設けられています。タイヤの表面とスリップサインが同じ高さになったら、新品と交換してください。

使用燃料について

ガソリン車には、オクタン価が95オクタン（リサーチ法）以上の無鉛ガソリンを使用してください。
ガソリンスタンドにおける公称オクタン価は安定していないので、無鉛プレミアム（ハイオク）ガソリンの使用をお勧めします。
ディーゼル車には超低硫黄軽油（サルファーフリー／S10ppm以下）を使用してください。

注 意

ガソリン車に粗悪ガソリンや有鉛ガソリン、有鉛プレミアムガソリン、アルコール含有燃料を使用したり、ディーゼル車にガソリンや灯油を使用しますと、エンジン・触媒装置などに悪影響を与えるので、絶対に使用しないでください。

ディーゼル車の燃料について

軽油は外気温が低温になると凍結してしまい、燃料配管の詰まりなどの故障の原因となります。寒冷地へ行くときは、現地へ到着するまでに燃料残量を半分以下にし、現地でできるだけ早く寒冷地用の燃料を補給してください。

使用燃料	使用限界温度の目安
JIS 特 1 号軽油	-
JIS 1 号軽油	-1℃
JIS 2 号軽油	-5℃
JIS 3 号軽油	-12℃
JIS 特 3 号軽油	-19℃

冬季の取り扱い

冬季用タイヤ

積雪や凍結した道路を走行するときは、安全のため冬季用タイヤを装着することをお勧めします。
冬季用タイヤに交換するときは、必ず納車時に装着されていたタイヤと同じサイズのものをご使用ください。
当社販売店では、車に適した性能の冬季用スタッドレスタイヤも用意しております。
スタッドレスタイヤは、車のバランスを保つために4輪全部に装着してください。
雪道や凍結した道路では、スタッドレスタイヤでも万全ではありません。運転には十分ご注意ください。

スノーチェーン、スノーネット

スノーチェーン、スノーネットは、タイヤサイズに合ったものを前輪に装着してください。
取り付けは、平坦な安全な場所で、それぞれの取扱説明書に従って確実に行ってください。
チェーンやネットの装着後は、100m程度走行して緩みや車体への当たりがないかを確認してください。
当社販売店では、それぞれのタイヤに合わせた専用チェーンやネットを用意しております。

MEMO

市販されているタイヤチェーンの中には、サイズが合っていても装着できないものがあります。

スタッドレスタイヤやスノーチェーンは、当社販売店でお求めください。

●その他

- 冬季には、バッテリーに高い負荷がかかります。バッテリーは常にフル充電にしてください。
- 非常に冷え込んだ天候のときは、パーキングブレーキが凍結することがあります。温度が非常に低い日は、パーキングブレーキを解除し、シフトレバーをPの位置に入れて輪止めをかけてください。
- ライト類や方向指示器などは、冬季は非常に汚れやすくなります。定期的に清掃するように心がけてください。
- キーシリンダーには、潤滑剤を使用して注油しておいてください。
- ドアのゴム製シールには、凍結を防ぐためにシリコン潤滑油を塗付します。
- 空気取り入れ口は、いつもきれいに保つようにしてください。
- 雪隔け時には特に車が汚れます。また、融雪剤には塩分を含んでいるものがあります。こまめに車全体を洗浄し、車体の下やホイールアーチ部もよく洗ってください。

保安炎筒

助手席足元に備えつけてあります。
踏み切りや高速道路などの危険な場所で故障したときに使用します。
使用方法は、保安炎筒に記載してあります。あらかじめよく読んでおいてください。
発炎時間は約5分間です。
保安炎筒に表示してある有効期間が切れる前に、新品をお求めになり交換してください。

⚠警 告

●お子さまにさわらせないでください。いたずらなどによる発火で、思わぬ事故になるおそれがあります。
●ガソリンなどの可燃物の近くでの使用は危険です。また、炎を顔や体に向けるとやけどの危険があります。

⚠注 意

●非常用信号としてのみご使用ください。
●トンネル内ではハザードランプを使用してください。トンネル内で使用すると、煙により視界が悪くなり危険です。

触媒コンバーター

DS 5には、日本の排気ガス基準に適合させるために、触媒コンバーターが装着されています。

●触媒コンバーター装着車についてのご注意

・燃料は、ガソリン車には必ず無鉛ガソリンを使用し、ディーゼル車には指定の軽油を使用してください。指定以外の燃料は触媒をいためます。
・燃料は早めに補給してください。
・ミスファイヤ等のエンジン不調のときは、運転を避け、故障箇所を直ちに修理してください。

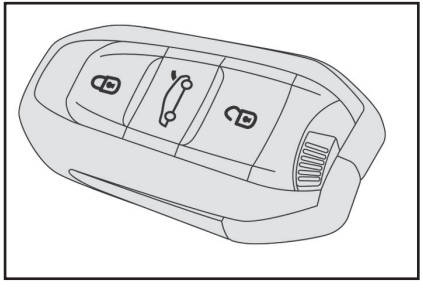
⚠警 告

長時間のエンジンの空ぶかしはしないでください。触媒コンバーターが過熱して発火、火災にいたることがあります。

第2章　各部の開閉のしかた

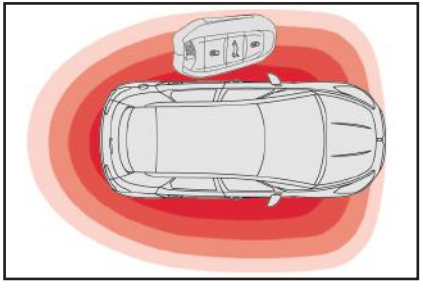
スマートキー ····· 2-2
イモビライザー（盗難防止システム）····· 2-8
ドア／ドアロック ····· 2-10
アラーム ····· 2-12
パワーウィンドウ ····· 2-14
チャイルドセーフティ ····· 2-15
コックピットルーフ ····· 2-16
ボンネット ····· 2-17
テールゲート ····· 2-18
フュエルリッド（給油口）····· 2-20

スマートキー



スマートキーを携帯しているだけで、ドアやテールゲートの施錠・解錠やエンジンの始動をすることができます。
リモコンとしてボタンを使って施錠・解錠することもできます。

●スマートキー機能の作動範囲



スマートキー機能で施錠または解錠するときの検知エリアの範囲は、車両から周囲約1m以内です。
車両周辺の検知エリアにスマートキーがあれば、スマートキーを携帯していない人でもドアを操作して解錠することができます。

注 意

検知エリアにスマートキーがある場合は盗難に注意してください。

MEMO

●スマートキーが車両に近付きすぎているときは作動しないことがあります。
●スマートキーは微弱な電波を使用しています。以下の場合は、正常に作動しなかったり、不安定な動作になったりすることがあります。
・近くに強い電波を発する設備があるとき
・携帯電話、無線機、パソコンなどの製品と一緒にスマートキーを携帯しているとき
・スマートキーが金属に接していたり、覆われたりしているとき

●解錠

解錠の仕様を、以下の2つから選択することができます。

1. 通常解錠モード
   すべてのドア、テールゲートを同時に解錠する
2. 選択解錠モード
   最初に運転席ドアのみ、2 回目でその他のドアおよびテールゲートを解錠する

設定はマルチファンクションディスプレイのメインメニューから変更します。

MEMO

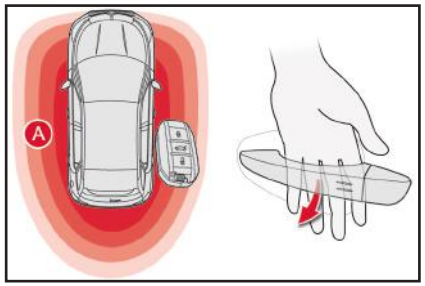
初期設定は通常解錠モードになっています。

通常解錠モード

リモコンを使用する

車に向けてリモコンの解錠ボタンを押します。すべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。

スマートキー機能を使用する



車両周辺の検知エリア**A**内でスマートキーを携帯してドアハンドルに手を通すと、すべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。ドアハンドルをそのまま引くとドアを開けることができます。

MEMO

- ●解錠するとハザードランプが約 2 秒間点滅し、同時にドアミラーが展開します。
- ●解錠した後、30 秒以内にドアを開かないと、自動的に再度施錠されます。

選択解錠モード

選択解錠モードに変更する

ドアの解錠の仕様を選択解錠モードに変更することができます。運転席ドアのみ解錠し、他のドアやテールゲートは施錠したままになります。
設定はマルチファンクションディスプレイのメインメニューから変更します。

リモコンを使用する

車に向けてリモコンの解錠ボタンを1回押します。運転席ドアのみが解錠されます。
もう1度解錠ボタンを押すと、その他のドアおよびテールゲートが解錠されます。

スマートキー機能を使用する

スマートキーを携帯して運転席のドアハンドルに手を通すと、運転席ドアのみが解錠されます。また、運転席ドア以外のドアハンドルに手を通すと、すべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。
ドアハンドルをそのまま引くとドアを開けることができます。

MEMO

- ●解錠するとハザードランプが約 2 秒間点滅します。ドアミラーは最初の解錠と同時に展開します。
- ●解錠した後、30 秒以内にドアを開かないと、自動的に再度施錠されます。

●テールゲートの解錠

リモコンを使用する

テールゲートオープナーボタンを長押しします。ドアおよびテールゲートが解錠されます。

スマートキー機能を使用する

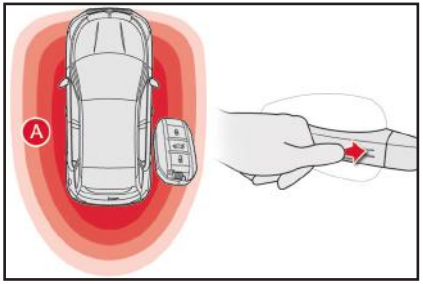
車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、テールゲートのスイッチを押します。ドアおよびテールゲートが解錠されます。

●施錠

リモコンを使用する

車に向けてリモコンの施錠ボタンを押すと、すべてのドアおよびテールゲートが施錠されます。施錠ボタンを押し続けると、開いているウィンドウが閉まります。

スマートキー機能を使用する



車両周辺の検知エリア**A**にスマートキーがあるときに、ドアハンドルのスイッチまたはテールゲートのスイッチを押します。すべてのドアおよびテールゲートが施錠されます。

MEMO

- ●スマートキーを携帯して車両から離れても自動的に施錠されることはありません。
- ●施錠操作するリモコンのボタンまたはドアハンドルのスイッチを押し続けると、パワーウィンドウが自動的に閉まります。
- ●施錠するとハザードランプが約 2 秒間点灯し、同時にドアミラーが格納します。
- ●車内にスマートキーがあるときは、施錠することができません。
- ●長期間（3 週間以上）車両を使用しないと、バッテリー消費を抑えるために、スタンバイモードとなってスマートキー機能が自動的に停止します。スマートキー機能を復帰させるには、リモコンのボタンを押してください。これは車外に保管しておいた予備キーでも同様です。

MEMO

- ●スマートキーが家電製品の近くにあると電磁波の影響を受けて反応し、電池を著しく消耗します。これを防止するため自動的にスタンバイモードになることがあります。
  機能を復帰させるには、リモコンのボタンを押してください。
- ●以下のときは、集中ドアロックが作動しません。
  - ・いずれかのドアまたはテールゲートが完全に閉まっていないとき
  - ・スマートキーが車内にあるとき

⚠警 告

リモコンのボタンまたはドアハンドルのスイッチを使用してパワーウィンドウを閉めるときは、乗員が手などを挟まれないように確認してから操作してください。

●スーパードアロック*

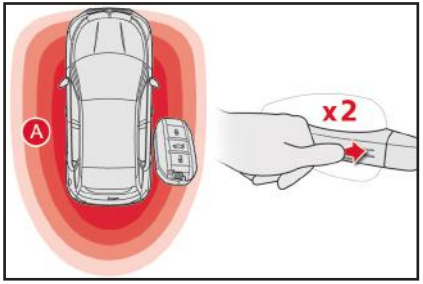
盗難防止のために、仮にガラスを壊すなどしても内側からドアロックが解除できなくなる機能です。

リモコンを使用する

施錠ボタンを押して、すべてのドアおよびテールゲートを施錠します。

5秒以内に再度施錠ボタンを押します。

スマートキー機能を使用する



車両周辺の検知エリア**A**にスマートキーがあるときに、ドアハンドルのスイッチまたはテールゲートのスイッチを押します。5秒以内に再度スイッチを押します。

MEMO

スーパードアロックをすると、ハザードランプが約2秒間点灯します。

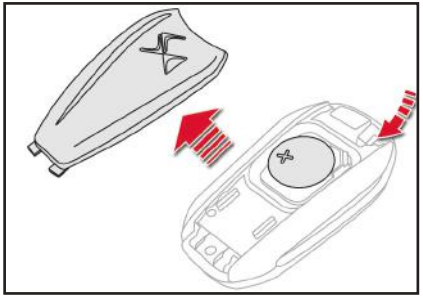
⚠警 告

●車内に人がいるときは、スーパードアロックをかけないでください。車内からドアロックが解除できず、閉じ込められてしまいます。

●お子さまだけを車内に残して車を離れないでください。思わぬ事故やケガのもととなります。

* 仕様により異なります。

●電池（CR2032 3V）の交換

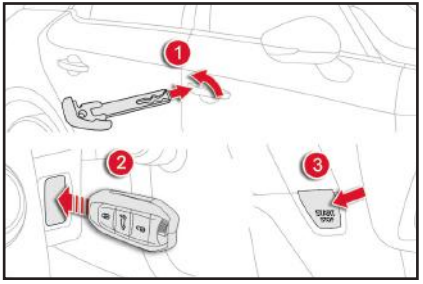


リモコンの電池が消耗するとメッセージが表示されます。
すき間に先が細い工具を差し込んでケースを開け、電池を交換してください。

⚠警 告

- ●電池交換の際には、お子さまが誤って飲み込むなどしないよう注意してください。
- ●リモコンの電波が心臓ペースメーカーなど医療用機器に影響をおよぼすおそれがあります。事前に医療用機器メーカーなどに確認してください。

●リモコンの初期化



車両バッテリーの接続をはずした後やリモコンの電池を交換した後、またはリモコンが作動しなくなった場合は、以下の手順で初期化をしてください。

1. 運転席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで解錠します。
2. スロットにスマートキーを挿入します。
3. START/STOP スイッチを押してイグニッションをオンにします。

初期化の手順を行ってもリモコンが作動しないなど、不具合が解消しない場合は、当社指定サービス工場へご連絡ください。

MEMO

- ●キーナンバーの付いたタグを保管しておいてください。キーを紛失して、新しいキーを作成する際にこの番号が必要となります。
- ●車を離れる際、ポケットの中などでリモコンのボタンを誤って押さないようご注意ください。気がつかないうちに車のロックが解除されてしまうおそれがあります。
  また、車から離れたところで何度もボタンを押すと、認識されなくなることがあります。その際は初期化をしてください。
- ●交換用電池は当社指定サービス工場でお求めいただけます。
- ●環境汚染防止のため、使用済みの電池は正しく廃棄してください。

イモビライザー（盗難防止システム）

DS 5には、エンジンイモビライザー（盗難防止装置）が装備されています。
これはスマートキーの内部に車を識別する装置が内蔵されており、車側とのコードが合致しないときは、エンジンの始動ができないようにするものです。

イモビライザーコード

車とともにお渡しするスマートキーの内部（プラスチック部分）には、車を識別する電子装置が内蔵されています。
それぞれのキーは、車ごとに個別のコードが登録されています。イグニッションをオンにすると、車のイモビライザーシステムがこのコードを読みとって、エンジンの始動を可能にします。
もしコードが設定されていなかったり異なるコードのときは、エンジンを始動することはできません。
イグニッションをオフにすると、システムは直ちにエンジンをロックします。

SERVICE システムに異常が発生したときは、イグニッションをオンにすると、メッセージが表示されます。
エンジンは始動しません。
当社指定サービス工場で点検を受けてください。

注 意

- エンジンイモビライザーの改造をしないでください。故障の原因になるおそれがあります。
- キーの内部には電子装置が組み込まれています。強い電磁波や高温にさらしたり、強い衝撃を与えたり、水に濡らしたりしないでください。故障の原因となります。

スペアキー

お車とともにお渡しするスペアキーにもコードが登録されています。
もし予備のキーが必要なとき、あるいはキーを取り替えるときには、すべてのキーを登録し直す必要があります。お手持ちのすべてのキーを当社指定サービス工場にご持参の上、登録作業をお申し付けください。

注 意

万一、スマートキーを紛失したり盗難にあった場合は、安全のために他のキーを登録し直して失ったキーを無効にする（エンジンをかけられなくする）ことをお勧めします。お近くの当社指定サービス工場にご相談ください。

MEMO

キーを複製しても、イモビライザーシステムにコードを登録しないかぎり、そのキーでエンジンを始動することはできません。

ドア／ドアロック

●車内からドアを開ける

内側ドアハンドルを引くと、すべてのロックが解除されます。

MEMO

スーパードアロックされているときはドアハンドルでは一切ドアを開けることができません。

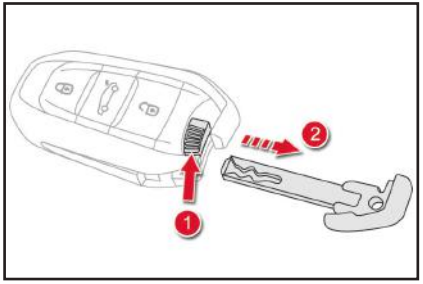
●車外からドアを開ける

2-2ページの「スマートキー」項を参照してください。

●半ドア警告

ドアを完全に閉めずにエンジンを始動させると、メッセージが数秒間表示されます。そのまま走行すると、時速10km以下では警告音とともにメッセージが数秒間表示されます。

緊急用キー



以下のようにスマートキーの機能が使用できないときは、運転席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで施錠／解錠します。

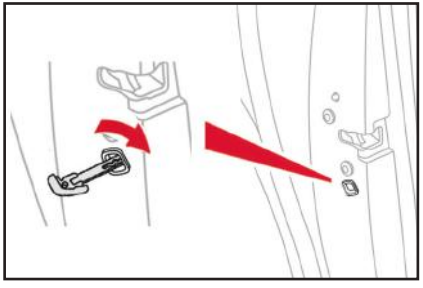
・バッテリーが上がっているとき
・バッテリーの接続をはずしているとき
・スマートキーの電池がないとき
・車両が強い電磁波などを受けているとき

1. スマートキーのレバー①を引いて、緊急用キー②を取り出します。
2. 運転席または助手席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで、車両を施錠または解錠します。

MEMO

●緊急用キーを使用した後は、スマートキーに戻してください。
●アラームがセットされているときに緊急用キーを使用して解錠すると、警報が鳴ります。警報を止めるにはエンジンを始動させてください。

マニュアルロック（非常時）



バッテリー上がりなどで、集中ドアロックが作動しないときには次の方法でドアをロックすることができます。

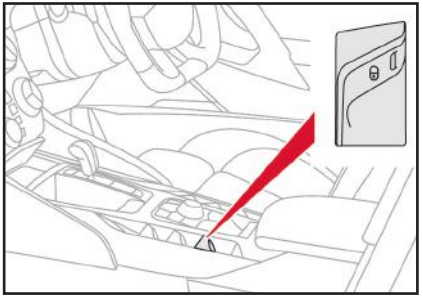
フロントドア

緊急用キーをドアの鍵穴に差し込み施錠または解錠します。

リアドア

1. チャイルドセーフティ機構が働いていないことを確認します。
2. 緊急用キーをドア端部にある穴に差し込み、左側のドアは右方向に、右側のドアは左方向に回します。

ドアロック／オートドアロック



ロックボタンを操作すると、車両の施錠ができます。
施錠するとインジケーターが点滅します。
ただし、ドアのいずれかが開いている場合には集中ロックはできません。
解錠するときはロックボタンを再度操作してください。

MEMO

スーパードアロックがかかっている場合は、ロックボタンを押しても解錠しません。
このような場合には、リモコンもしくはスマートキー機能を使って解錠してください。

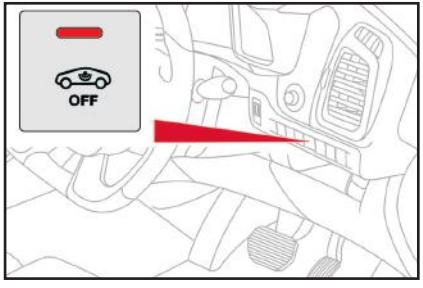
●オートドアロック機能

時速10km以上で走行すると、自動的に施錠されます。
この機能をオンまたはオフにするときは、メッセージが表示されるまでロックボタンを操作し続けます。

⚠警 告

オートドアロックされている状態では、非常時に救助活動のため外部からドアを開けることが困難な場合があります。

アラーム*



DS 5には、車の盗難や車の内外へのいたずらを防止するアラームシステムが備えられています。

外部検知： 監視状態で、ドアやテールゲート、ボンネットが開けられると作動します。

内部検知： 監視状態で、ウィンドウが壊されたり、車内の動きを感知すると作動します。

傾き検知： ジャッキアップされたりレッカー車などで持ち上げられて、傾きや振動を感知すると作動します。

改ざん検知： サイレンやコントロールユニット、バッテリーの接続が切断されると作動します。

●アラームのセット

1. イグニッションをオフにして、車の外へ出ます。
2. リモコンまたはスマートキー機能を使用してロックします。
3. アラームボタンのインジケーターが1秒間に1回点滅して、アラームがセットされます。

MEMO

●アラームがセットされるまでに以下の時間がかかります。
- 外部検知：5 秒
- 内部検知：45 秒
- 傾き検知：1 分 30 秒

●完全に閉まっていないドアやトランク／テールゲートがあると、リモコンまたはスマートキー機能を使用して施錠してもドアロックは作動しません。ただし、45 秒経過後に外部検知、内部検知および傾き検知が同時に作動します。

●アラームの解除

1. リモコンまたはスマートキー機能を使用して解錠します。
2. アラームボタンのインジケーターが消灯して、アラームが解除されます。

●アラームの作動

約30秒間、警報が鳴ってハザードランプが点滅します。その後、アラームは停止しますが、引き続きセット状態が維持されます。

* 仕様により異なります。

●外部検知アラームだけのセット

次の場合は、内部検知／傾き検知をキャンセルする必要があります。

- ウィンドウを少し開けた状態で車を離れるとき
- 洗車するとき
- ホイールを交換するとき
- けん引されるとき
- 海上運送するとき

1. イグニッションをオフにしてから10秒以内に、アラームボタンのインジケーターが連続点灯するまでアラームボタンを押します。
2. 車の外へ出ます。
3. リモコンまたはスマートキー機能を使用してロックします。
4. アラームボタンのインジケーターが1秒間に1回点滅して、外部検知アラームだけがセットされます。

MEMO

内部検知／傾き検知は、アラームを解除すると回復します。キャンセルする必要があるときは、イグニッションをオフにする度に設定してください。

●リモコン／スマートキー機能の故障

アラームのセット状態でリモコンまたはスマートキー機能による解錠ができないときは、次のようにアラームを解除します。

1. 緊急用キーを使用して運転席ドアを解錠します。
2. ドアを開けます。（アラームが作動）
3. イグニッションをオンにします。（アラームが停止しアラームボタンのインジケーターが消灯）

●アラームの故障

イグニッションをオンにしたとき、アラームボタンのインジケーターが点灯する場合は、アラームに異常があります。
当社指定サービス工場で点検を受けてください。

●アラームの自動セット*

ドアまたはトランク／テールゲートを閉じてから2分経過すると、アラームが自動的にセットされます。
ドアまたはトランク／テールゲートを開けたときに、偶然アラームが作動することのないように、開ける前にリモコンまたはスマートキー機能を使用してもう一度解錠操作を行ってください。

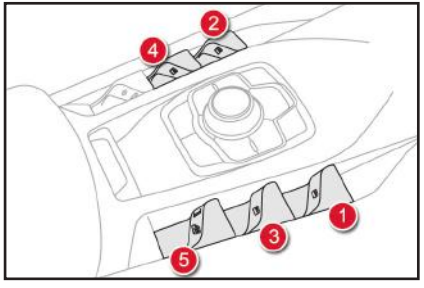
注 意

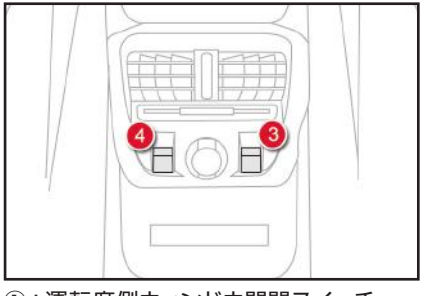
アラームシステムの改造をしないでください。

MEMO

- ●アラームがセットされているときに緊急用キーを使用して解錠すると、警報が鳴ります。警報を止めるにはエンジンを始動させてください。
- ●アラームが連続して10回作動すると、11回目で作動が停止します。
- ●アラームボタンのインジケーターが早く点滅しているのは、車を離れている間にアラームが作動したことを示しています。
- ●以下のときは、アラームが作動するのを防ぐために、緊急用キーを使用して施錠するなど、アラームをセットしないでください。
  - 洗車するとき
  - バッテリーを取りはずすとき

パワーウィンドウ





①：運転席側ウィンドウ開閉スイッチ
②：助手席側ウィンドウ開閉スイッチ
③：後席右側ウィンドウ開閉スイッチ
④：後席左側ウィンドウ開閉スイッチ
⑤：チャイルドセーフティボタン

●マニュアルウィンドウ開閉

スイッチを軽く押したり引いている間だけウィンドウが開閉します。スイッチから手を離すと同時にウィンドウも停止します。

●ワンタッチ開閉*

スイッチを1回強く押すか引くと、スイッチから手を離しても、ウィンドウは自動的に全開閉します。

途中で止めるときは、再度スイッチを押すか引きます。

MEMO

- ●イグニッションをオフにしてから約45秒間、パワーウィンドウの操作ができます。それ以降は、再度イグニッションをオンにしてから操作をしてください。
- ●運転席側のスイッチで運転席以外のパワーウィンドウの操作ができないときは、開閉したいウィンドウにあるスイッチを操作してください。

挟み込み防止機能

パワーウィンドウには、挟み込み防止機能が付いており、障害物があると上昇をやめて数センチ下降します。
冬期など氷結のために挟み込み防止機能が働いてしまい、ウィンドウを閉じることができないときは、以下のようにしてください。

1. 一度完全にウィンドウを下げます。
2. 直ちにウィンドウが完全に閉まるまでスイッチを引き続けてください。

パワーウィンドウ挟み込み防止機能が機能しなくなったら、直ちに当社指定サービス工場へご連絡ください。

●パワーウィンドウの再初期化

バッテリーをはずした後など正常に動作しないときは、以下の手順で初期化をしてください。

1. スイッチを押してウィンドウを全開にします。
2. ウィンドウを閉じる操作をします。（1 回の操作で 2 ～ 3cm 程度しか動きません）
3. ウィンドウが全閉するまで手順 2 の操作を繰り返します。
4. ウィンドウが全閉したら、さらにスイッチを 2 秒以上引き続けてください。

⚠警 告

●運転者が運転席以外のウィンドウを操作する場合は、ウィンドウを閉めるのに障害物がないか確認をしてください。
●ウィンドウを閉めているとき、誤って障害物などが接触したときは、直ちにウィンドウを開けてください。
●乗員がウィンドウを閉める際には運転者がその操作に対して注意を払ってください。
●お子さまにはウィンドウの操作をさせないでください。
●車から離れるときは、短い時間であってもスマートキーを持ち出してください。

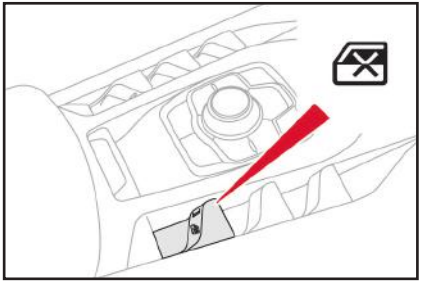
⚠注 意

初期化中は挟み込み防止機能は働きません。安全に配慮してください。

注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも50センチ以上ウィンドウやドアシールから離してご使用ください。

チャイルドセーフティ



チャイルドセーフティボタンを押すと、車内から後席ドアを開けられなくなり後席のパワーウィンドウスイッチによる操作もできなくなります。お子さまの危険防止に有効です。
運転席での操作はいつでも可能です。

イグニッションがオンのときにチャイルドセーフティボタンを押すと、インジケーターが点灯し、メッセージが表示され、チャイルドセーフティがオンになります。

注 意

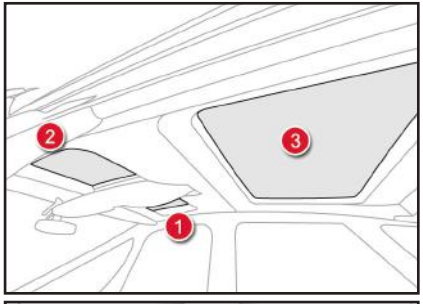
インジケーターが点灯／消灯以外のときは、チャイルドセーフティに異常があります。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

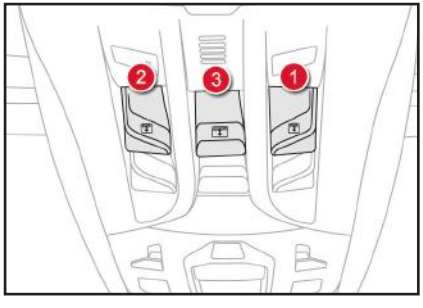
MEMO

チャイルドセーフティは、ドアロックの作動とは別に独立して作動します。車両が強い衝撃を受けると、チャイルドセーフティは自動的に解除され、非常時に、後席からの脱出を可能にします。

* 仕様により異なります。

コックピットルーフ*





①：運転席スライディングサンバイザーとスイッチ
②：助手席スライディングサンバイザーとスイッチ
③：後席スライディングサンバイザーとスイッチ

開閉したいスライディングサンバイザーに対応するスイッチを操作します。

●スライディングサンバイザーを手動で開閉する

スイッチを軽く押したり引いたりしている間だけスライディングサンバイザーが開閉します。スイッチから手を離すと、スライディングサンバイザーは約2cm動いてから停止します。

●スライディングサンバイザーを自動で開閉する

スイッチを1回強く押すか引くと、スライディングサンバイザーが自動的に全開閉します。途中で止めるときは、再度スイッチを押します。スライディングサンバイザーは約2cm動いてから停止します。

挟み込み防止機能

スライディングサンバイザーには、挟み込み防止機能が付いており、自動閉作動中に障害物があるとスライディングサンバイザーが止まって少し開きます。スライディングサンバイザーが止まったまま動かない場合は、挟み込み防止機能を初期化してください。

初期化

バッテリーをはずした後など正常に動作しないときは、以下の手順で初期化をしてください。

1. スイッチを押してスライディングサンバイザーを全閉します。
2. スライディングサンバイザーが全閉したら、さらにスイッチを 3 秒以上押し続けてください。初期化されると、スライディングサンバイザーがわずかに動きます。

スライディングサンバイザーが閉じているとき、または閉じた後にスライディングサンバイザーが自動的に開いたときは、以下のようにしてください。

1. スイッチを引いてスライディングサンバイザーを全開します。
2. スイッチを押してスライディングサンバイザーを全閉します。

⚠注 意

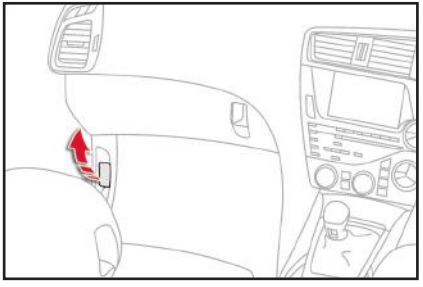
この操作中、挟み込み防止機能は働きません。

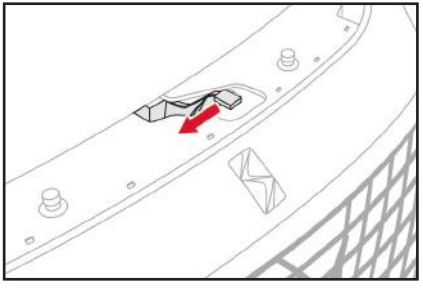
* 仕様により異なります。

⚠警 告

●スライディングサンバイザーを操作するときは、障害物がないか確認をしてください。誤って接触したときは、直ちにスライディングサンバイザーを開けてください。
●同乗者がスライディングサンバイザーを操作するときも十分に注意してください。
●お子さまにはスライディングサンバイザーの操作をさせないでください。

ボンネット





●ボンネットを開けるには

1. 助手席ドアを開き、ドアシル部にあるレバーを引きます。
2. ボンネットの下のロックレバーを左へ動かします。

ボンネットを開ける際には、6-5ページの警告をお読みください。

⚠警 告

エンジンルームでのどのような作業を行うときも、あらかじめストップ＆スタートの作動を解除しておいてください。エンジンが急に始動して、思わぬケガをするおそれがあります。

⚠注 意

●ボンネットを開ける操作は、必ず停車してから行ってください。
●強風時はボンネットが風であおられないようご注意ください。

●ボンネットを閉めるには

ボンネットを引き下げ、下から10cmぐらいの位置で手を離して、自然に閉めてください。
上から押さないでください。

⚠警 告

ボンネットを閉めた後、ロックされたことを確認してください。

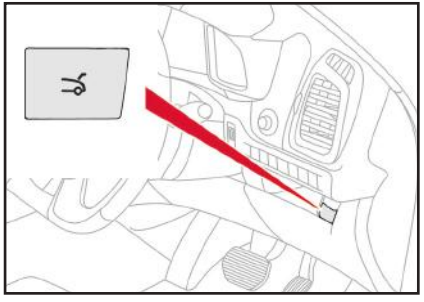
テールゲート

●テールゲートを開ける

車外から開ける

2-2ページの「スマートキー」項を参照してください。

車内から開ける

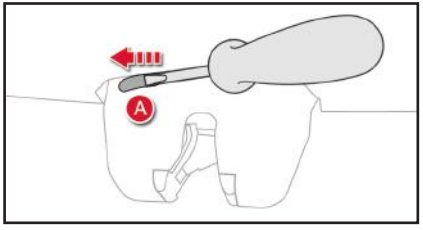


1. スイッチパネルにあるテールゲートオープナースイッチを押します。
2. テールゲートを持ち上げて開きます。

●テールゲートを閉める

テールゲート内側のハンドルを持って引き下げます。

●テールゲートが解錠しないとき



バッテリーや集中ドアロックシステムの不具合によってテールゲートのロックが解錠できないときは、次のように行います。

1. リアシートを倒し、テールゲートの内側からロック機構にアクセスできるようにします。
2. 小さいドライバーを **A** に差し込んで中のバーを左に動かして解錠します。

MEMO

- ●水没など予期せぬトラブルで車内に閉じ込められた場合、この方法でテールゲートを開けて脱出できます。ドライバーの代わりにボールペン、ヘアピン、クリップなどの先が細いものが使用できます。
- ●この方法でロック機構を解錠しても、不具合を解決しないままテールゲートを閉めると、テールゲートが再び施錠されることがあります。

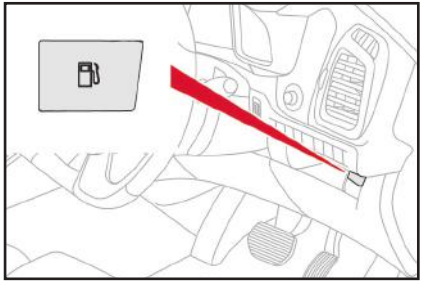
●テールゲート閉め忘れ警告

テールゲートを確実に閉めずにエンジンを始動させると、メッセージが数秒間表示されます。
そのまま走行すると、時速10km以上では警告音とともにメッセージが数秒間表示されます。

⚠警 告

- ●安全上、操作上、法律上の理由で、テールゲートを開けた状態での走行はしないでください。
- ●テールゲートを閉める時には、指などを挟まないよう充分に注意してください。また、開閉の際はまわりの人などにぶつからないことを確認してください。

フュエルリッド（給油口）

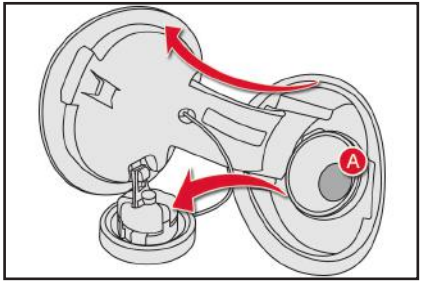


フュエルリッド

運転席側ダッシュボードにあるスイッチを押すとフュエルリッドが自動的に開きます。

MEMO

スイッチはエンジン停止後も数分間使用できます。それ以上経過したときは、再度イグニッションをオンにしてください。



フュエルキャップ

1. キャップを左（反時計方向）に1／4回転させます。
2. はずしたキャップは、フックに引っかけておきます。
3. 給油口には、金属製のバルブ**A**が付いています。このバルブに給油ノズルをそのまま差し込みます。
4. 給油ノズルのオートストップが3回働いたら、それ以上給油口にあふれるまで給油しないでください。燃料タンクの容量は約60リットルです。
5. 給油が終わったら右（時計方向）に1／4回転させてキャップを閉めます。

警告音とともにこの警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、燃料が少なくなっています（約6リットル）。早めに燃料を補給してください。
もし燃料をすべて使用してしまった場合、少なくとも5リットル以上は給油してください。

⚠警 告

- 給油中はエンジンを停止してください。
- 給油口にあふれるまで給油しないでください。燃料が熱で膨張し、あふれて火災を起こすおそれがあります。
- 給油後は、フュエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。

⚠注 意

指定の燃料を使用してください。

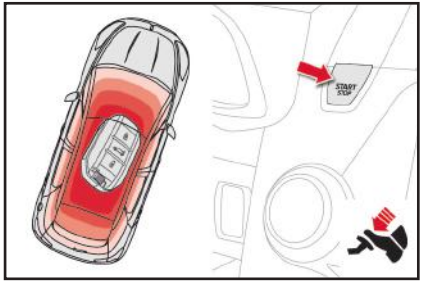
燃料遮断装置

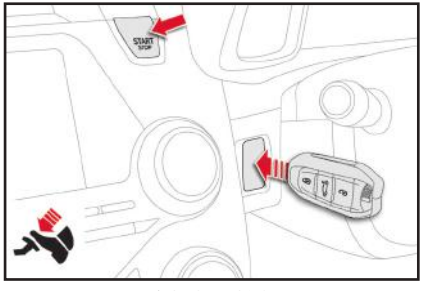
DS 5には、衝突したときに燃料供給を停止させる安全装置が装備されています。

第3章　運転装置の使いかた

エンジンの始動 …… 3-2
オートマチックトランスミッション（シフトレバー） …… 3-5
シフトタイミングインジケーター …… 3-8
エレクトリックパーキングブレーキ …… 3-9
ヒルスタートアシスタンス …… 3-13
ESC(エレクトロニックスタビリティコントロール) …… 3-16
SCR(選択式還元触媒）システム（ディーゼル車） …… 3-18
FAP(ディーゼルパティキュレートフィルター)
（ディーゼル車） …… 3-21
ストップ&スタート …… 3-22
レーンデパーチャーウォーニング …… 3-25
ヘッドアップディスプレイ …… 3-26
クルーズコントロール／スピードリミッター …… 3-28
パーキングアシスタンス …… 3-34
ステアリング／ホーン …… 3-36

エンジンの始動





スマートキーが車内の検知エリアにあるとき、またはスロットにスマートキーが挿入されているときに、エンジンを始動および停止することができます。

⚠警 告

- ●エンジンを始動するときは、必ずパーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷つけるおそれがあります。
- ●換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ●エンジンがかかっている間は、車から離れないでください。

●エンジンの始動

1. スマートキーを携帯して乗車します(任意でスマートキーをスロットに挿入します。)。
2. シフトレバーを **P** の位置にします。
3. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
4. ブレーキペダルを踏みながら **START/STOP** スイッチを押します。
5. スターターが回り、エンジンが始動します。

ディーゼル車は、予熱表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します。

●エンジンの停止

1. 車を完全に止めます。
2. シフトレバーを **P** の位置にします。
3. **START/STOP** スイッチを押します。
4. エンジンが停止します。
5. スマートキーをスロットに挿入してある場合は、抜きます。

MEMO

- ●エンジンの始動条件を満たしていない場合は、メッセージが表示されます。
- ●エンジン始動後は、不必要に長い時間の暖機運転は必要ありません。
- ●スマートキーがスロットに挿入された状態で運転席ドアを開けると、キー抜き忘れの警告メッセージが表示されます。

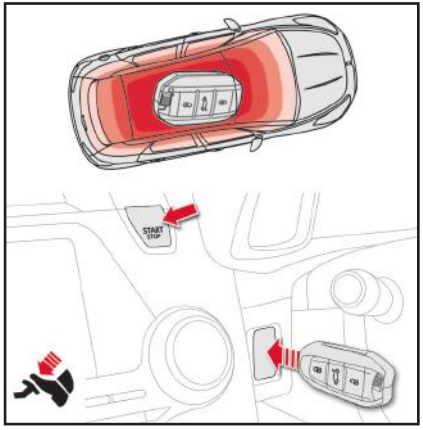
●START/STOPスイッチの役割

スイッチの状況	運転者の操作内容	車両の動作内容
アクセサリーポジション	ブレーキペダルを踏まずに、START/STOPスイッチを押します。スイッチを押すたびに、イグニッションのオン／オフが切り替わります。	イグニッションがオンとなり、警告灯類が点灯します。 しばらくの間、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。
スタートポジション	ブレーキペダルを踏みながら、START/STOPスイッチを押します。	エンジンが始動します。 ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

注 意

アクセサリー装備の使いすぎは、バッテリー上がりにつながります。

●エンジンの緊急始動



スマートキーが車内の検知エリアにあるにも関わらず、**START/STOP**スイッチを押してもエンジンが始動しない場合は、以下の手順でエンジンを始動します。

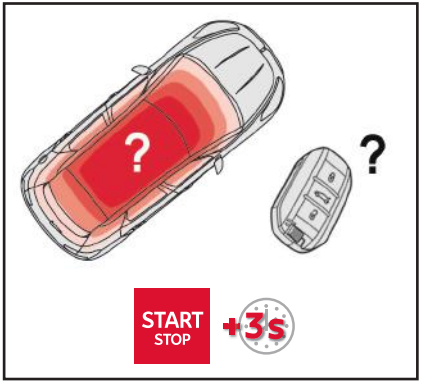
1. スマートキーをスロットに挿入します。
2. シフトレバーを **P** の位置にします。
3. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
4. ブレーキペダルを踏みながら **START/STOP** スイッチを押します。
5. スターターが回り、エンジンが始動します。

ディーゼル車は、予熱表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します。

MEMO

●スマートキーがスロットに挿入された状態で運転席ドアを開けると、キー抜き忘れの警告メッセージが表示されます。

●エンジンの緊急停止



スマートキーが車内の検知エリアにないときでも、エンジンを強制的に停止することができます。

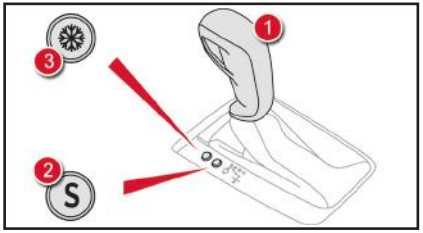
START/STOPスイッチを約3秒間押し続けます。車両が停止すると同時にステアリングがロックされて動かなくなります。

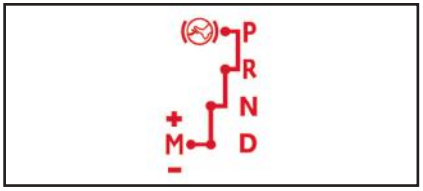
MEMO

●緊急時以外は使用しないでください。
●エンジンを停止した後は、スマートキーがなければ始動することはできません。

オートマチックトランスミッション（シフトレバー）

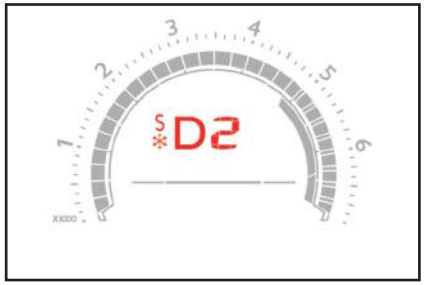
シフトゲート





①：シフトレバー
②：スポーツモードボタン
③：スノーモードボタン

シフトポジション



シフトポジションは、インストルメントパネル内のインジケーターに表示されます。

P. パーキング：駐車するときに使用します。
エンジンを始動できます。パーキングブレーキを併用してください。

R. リバース：後退します。
エンジンがアイドリング状態で、車が停止しているときにシフトしてください。

N. ニュートラル：エンジンを始動できます。
パーキングブレーキを併用してください。

D. ドライブ：1速からオーバードライブまで、走行に応じて自動的にギアが切り換わります。

M. マニュアルシフトポジション：+方向に動かすとシフトアップし、−方向に動かすとシフトダウンします。

1 この表示が点灯したときは、マニュアルモードで正しいギアが選択されていません。

注 意

Nから**R**や**D**にシフトするときは、エンジン回転がアイドリングまで下がっていることを確認してください。

MEMO

マニュアルモードのシフト操作は、エンジン回転の許容範囲内でのみ行うことができます。その範囲を超えるときは、一時的にオートマチックモードになります。

モードセレクター

DS 5のティプトロニックタイプオートマチックトランスミッションでは、スポーツ、スノーの2つのモードの選択が可能です。シフトゲートのスイッチを押してください。選択されたモードは、インストルメントパネルに表示されます。
選択したモードを解除するには、もう一度同じスイッチを押してください。

スポーツモード：エンジンのパフォーマンスを最大限に発揮する変速パターンになります。

スノーモード：滑りやすい雪道に合わせた穏やかな変速パターンが選択されます。

MEMO

マニュアルモードで走行しているときは、スポーツやスノーモードの選択操作はできません。

クリープ現象

停車中にシフトレバーをD、RまたはM位置にすると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。
特にエンジン始動直後やエアコン作動時などエンジン回転が高いときには車が動こうとする力が強くなります。そのため、お子さまが乗車しているときは、エンジンを始動したままお子さまだけを残して車を離れないでください。
点検のためにエンジンをかけたまま車外に出るときは、パーキングブレーキをかけてシフトレバーをPに入れてください。

キックダウン

追い越しなどで急加速したいときは、シフトレバーには手を触れずにアクセルペダルをいっぱいに踏みこんでください。シフトダウンが起こり、エンジン回転が最高に達するまでそのギアを維持し、より短い時間で加速することができます。
ある一定の速度に達すると、自動的にシフトアップします。またブレーキを踏むと、エンジンブレーキを効かせるためにシフトダウンします。ただし、安全のため、急にアクセルペダルを離してもシフトアップはしません。

エンジンブレーキ

長い下り坂などブレーキを踏み続ける状態では、Dレンジでもより効果的にエンジンブレーキを効かせるため自動的に低いギアに切り替わりますが、状況に応じて随時、シフトレバーをMレンジにして低いギアを選択することができます。(たとえばD→3、3→2)
ただし、2から1への切り換えは急激な減速を伴いますので、滑りやすい道路条件(雪道や凍った道路)では十分にご注意ください。

シフトロック

急発進防止のため、ブレーキペダルを踏んでいないとPの位置からほかにレバーを動かすことはできません。

注 意

シフトレバーが **P** に入っているときにバッテリーが上がると、シフトロックは解除されず、レバーを動かすことができません。無理にレバーを動かすと破損するおそれがあります。

SERVICE 警告音とともにこの警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、システムはセーフモードに入り3（3速）に固定されて走行します。
PやNからRにシフトしたときに、大きなショックを伴うことがありますがトランスミッションを損傷することはありません。時速100km以下の速度で走行して、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警告

- 走行中は、シフトレバーをN位置に入れないでください。エンジンブレーキが効かなくなり、ブレーキのフェード現象が起きやすくなり事故を起こすおそれがあります。
- 車から離れるときは、シフトレバーをPの位置に入れてパーキングブレーキをかけてください。クリープ現象で車がひとりでに動いて、人や物に衝突するおそれがあります。
  停車後、シフトレバーがP以外の位置にあるとドアを開けるかイグニッションをオフにして45秒経過した場合に、警告音とともにメッセージが表示されます。
- エンジンがかかっているときは、お子さまを車内に残して車を離れないでください。急発進して人や物を傷つけるおそれがあります。

⚠注意

- エンジンを始動するときは、シフトレバーをPの位置に入れ、ハンドブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷つけるおそれがあります。
- シフトレバーをNからDまたはRに入れるときは、ブレーキペダルをしっかりと踏みながら行ってください。急発進して人や物を傷つけるおそれがあります。

注意

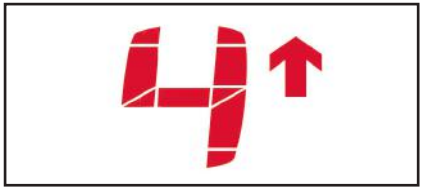
車が完全に停止する前にシフトレバーをPやRに入れないでください。トランスミッションを破損するおそれがあります。

MEMO

渋滞時などエンジンをかけたまま停車する場合は、シフトレバーをNに入れてパーキングブレーキをかけることにより、燃料消費を抑えることができます。

シフトタイミングインジケーター*

燃費向上のためにシフトアップをうながして燃費向上のアドバイスをします。



アクセルペダルを軽く踏んで運転している状況で、システムが燃費向上の観点から現在のギアよりも1段または2段高いギアを使用した方が良いと判断した場合、インストルメントパネルに矢印のマークと推奨ギアが表示されます

⚠警 告

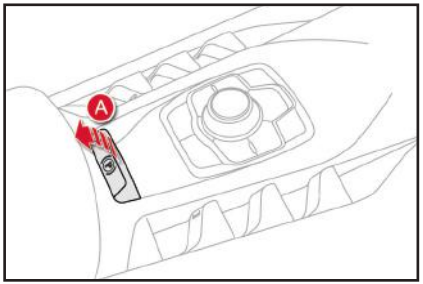
シフトタイミングインジケーターはあくまで燃費向上のための機能です。実際のギアシフトは運転者が周囲の交通量や安全性に応じて判断して行ってください。誤った変速は事故につながるおそれがあります。

MEMO

- ●シフトタイミングインジケーターの機能をオフにすることはできません。
- ●追い越しするときなどアクセルペダルを強く踏み込んだときは表示されません。
- ●シフトタイミングインジケーターは、以下の変速はうながしません。
  - ・1速への変速
  - ・リバースギアへの変速
  - ・シフトダウン
- ●ディーゼル車は、ストップ&スタートの停止モードへ移行するために、シフトレバーを **N** にするようにうながす場合があります。

* 仕様により異なります。

エレクトリックパーキングブレーキ



エレクトリックパーキングブレーキには、以下の機能があります。

- エンジンが停止したときに自動的にパーキングブレーキをかけ、パーキングブレーキ作動中にアクセルペダルを踏むとパーキングブレーキが自動的に解除されるオートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能
- パーキングブレーキスイッチ **A** の操作でパーキングブレーキの作動／解除をいつでも手動で行うことができる手動作動機能

●オートマチックエレクトリックパーキングブレーキの作動

パーキングブレーキをかける

エンジンを停止するとエレクトリックパーキングブレーキが自動的にかかります。

パーキングブレーキがかかると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチ**A**のインジケーターが点灯します。また、“**Parking brake applied**（パーキングブレーキ作動）”と表示されます。

⚠警 告

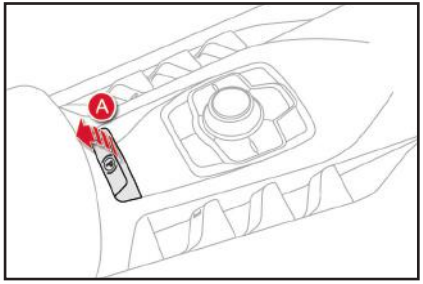
駐車してお車を離れるときは、ブレーキ警告灯およびパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯していることを確認してください。

パーキングブレーキを解除する

シフトレバーが**D**、**M**または**R**の位置でアクセルペダルを踏むとエレクトリックパーキングブレーキが自動的に徐々に解除されます。

パーキングブレーキが完全に解除されると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチ**A**のインジケーターが消灯します。また、“**Parking brake released**（パーキングブレーキ解除）”と表示されます。

●パーキングブレーキの手動操作



パーキングブレーキをかける

エンジンの作動状態に関わらず、停車中にパーキングブレーキスイッチ**A**を手前に引くと、パーキングブレーキがかかります。

パーキングブレーキがかかると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチ**A**のインジケーターが点灯します。また、“**Parking brake applied**（パーキングブレーキ作動）”と表示されます。

MEMO

エンジン作動中にシフトレバーが**P**以外の位置でパーキングブレーキをかけずに運転席ドアを開けると、警告音とともにメッセージが表示されます。

パーキングブレーキを解除する

イグニッションがオンのとき、またはエンジン作動中にブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキスイッチ**A**を再度手前に引くと、パーキングブレーキが解除されます。

パーキングブレーキが完全に解除されると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチ**A**のインジケーターが消灯します。また、“**Parking brake released**（パーキングブレーキ解除）”と表示されます。

MEMO

ブレーキペダルを踏まずにパーキングブレーキスイッチ**A**を手前に引くと、パーキングブレーキは解除されず、メッセージが表示されます。

最大制動力が必要な場合

以下のような場合は、前輪を歩道側に向け、パーキングブレーキの制動力を最大にして駐車してください。

1. トレーラー等をけん引しているときに、オートマチック機能が作動状態でパーキングブレーキを手動で操作する場合
2. 重い荷物を積んだりトレーラー等をけん引している状態で、勾配のある場所に駐車する場合

最大制動力でパーキングブレーキをかけるには、“ **Parking brake applied fully** (パーキングブレーキ最大制動力)”と表示され、アラーム音が鳴るまでパーキングブレーキスイッチ**A**を引き続けます。

MEMO

最大制動力でパーキングブレーキをかけた後は、パーキングブレーキの解除に通常より時間がかかります。

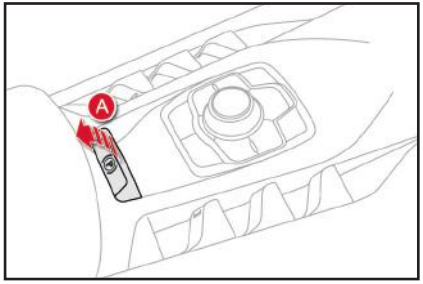
⚠警 告

- エンジンをかけて停車しているときは、誤ってアクセルペダルを踏まないように注意してください。ブレーキが解除され、お車が飛び出すおそれがあります。
- 駐車してお車を離れるときは、ブレーキ警告灯およびパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯していることを確認してください。
- エレクトリックパーキングブレーキは、お子さまでも簡単に解除できます。イグニッションをオンにしたままの状態で、お子さまを車内に残して車を離れないでください。

MEMO

- 坂道に駐車するときには、タイヤを路肩に斜めにあて、最大制動力でパーキングブレーキをかけてください。
- パーキングブレーキの作動／解除の連続操作は、保護機能により８回までに制限されています。連続操作を続けると“Parking brake fault (パーキングブレーキ故障)”と表示され、ブレーキ警告灯が点滅します。

●非常ブレーキ



ブレーキシステム（フットブレーキ）が故障したり、運転者が運転不能な状態に陥ったときなどの緊急時には、パーキングブレーキスイッチ**A**を引き続けて車両を停止します。
非常ブレーキ作動中は、ESCが作動して、車の安定性を確保します。

この警告灯が点灯しているときは、ESCシステムに異常があり、ESCによる車の安定性は確保されません。パーキングブレーキスイッチ**A**を繰り返し操作して安定性を確保してください。

非常ブレーキが故障すると、“**Parking brake control fault**（パーキングブレーキ制御故障）”と表示されます。

⚠警 告

非常ブレーキの使用は、緊急時のみにとどめてください。

MEMO

エレクトリックパーキングブレーキを修理した後やバッテリー不良の後は初期化する必要があります。ブレーキ警告灯が点滅するまでパーキングブレーキスイッチを引き続けます。その後、ブレーキ警告灯が点灯するまでパーキングブレーキスイッチをもう一度引きます。

ヒルスタートアシスタンス

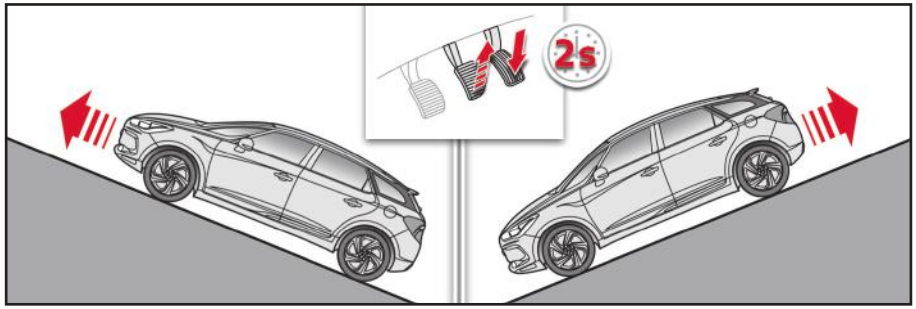
ヒルスタートアシスタンスは坂道発進を補助するための機能で、ブレーキペダルから足を離しても一定時間（ブレーキペダルからアクセルペダルまで足を移動する間）ブレーキがかかった状態を維持します。

この機能は以下の条件がすべてそろったときに作動します。

- 坂道で車が完全に停止してブレーキペダルが踏まれている。
- 運転席ドアが閉まっている。
- 坂道の勾配が適正である。

⚠警 告

ヒルスタートアシスタンス作動中は、車から出ないでください。やむをえずエンジンをかけたまま駐車して車を離れるときは、パーキングブレーキをかけ、インストルメントパネルのブレーキ警告灯が点灯していることを確認してください。



●登り坂で前方へ発進するとき

シフトレバーがDまたはMのとき、ブレーキペダルから足を放すと一定時間ブレーキがかかった状態を保ちます。

MEMO

ヒルスタートアシスタンスの機能を解除することはできません。

●下り坂で後方へ発進するとき

シフトレバーがRのとき、ブレーキペダルから足を離すと一定時間ブレーキがかかった状態を保ちます。

ヒルスタートアシスタンスの故障

ヒルスタートアシスタンスに異常が発生した場合に点灯します。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

故障表示一覧

⚠警 告

エレクトリックパーキングブレーキ故障警告灯が点灯し、つぎのいずれかが表示されたときは、車を安全な場所に停車し、直ちに当社指定サービス工場にご連絡ください。

故障表示	影響／対処方法
・バッテリー上がり 	・バッテリー警告灯が点灯したときは、直ちに安全な場所に停車してください。必要に応じて輪止めをしてください。 ・エンジンを停止する前にエレクトリックパーキングブレーキをかけてください。
・“Parking brake fault（パーキングブレーキ故障）”表示 ・以下が点灯 	・オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能は作動しません。 ・ヒルスタートアシスタンスは使用できません。 ・エレクトリックパーキングブレーキは手動操作のみ可能です。
・“Parking brake fault（パーキングブレーキ故障）”表示 ・以下が点灯 	・ブレーキペダルを踏むことによりエレクトリックパーキングブレーキを手動で解除することができます。 ・ヒルスタートアシスタンスは使用できません。 ・オートマチックまたは手動操作でエレクトリックパーキングブレーキをかけることができます。

故障表示	影響／対処方法
・“Parking brake fault（パーキングブレーキ故障）”表示 ・以下が点灯 ・場合により以下が点滅 	・オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能は作動しません。 ・ヒルスタートアシスタンスは使用できません。 エレクトリックパーキングブレーキをかけるには、以下の操作をしてください。 1. 車を停止してイグニッションをオフにします。 2. パーキングブレーキスイッチを少なくとも 5 秒以上引き続けて最大制動力をかけます。 3. イグニッションをオンにして、ブレーキ警告灯が点灯していることを確認します。 注意： ・パーキングブレーキが作動するまでに通常より少し時間がかかる場合があります。 ・イグニッションをオンにしたとき、ブレーキ警告灯が点滅する、または消灯したままのときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。車は平らな場所に駐車してください。 エレクトリックパーキングブレーキを解除するには、以下の操作をしてください。 1. イグニッションをオンにします。 2. パーキングブレーキスイッチを約 3 秒間引き上げてから離してください。
・“ Parking brake fault（パーキングブレーキ故障）”表示 ・以下が点灯 ・場合により以下が点滅 	・エンジン停止時の自動締結およびアクセルを踏んだときの自動解除のみ作動します。 ・エレクトリックパーキングブレーキの手動締結／解除ができません。 ・非常ブレーキは作動しません。

ESC(エレクトロニックスタビリティコントロール)

ESCは急なハンドル操作や急ブレーキ時および滑りやすい路面の走行時などに、次の機能を総合的に制御して運転を補助し車両の安定性を高めます。

- ABS（アンチロックブレーキシステム）
- EBFD（電子式制動力制御装置）
- EBA（ブレーキアシスト）
- ASR（トラクションコントロール）

ABS(アンチロックブレーキシステム)

電子式制動力制御装置(EBFD)を備えたABSシステムは、ホイールがロックしそうになるとABSが作動して、滑りやすい路面での操縦安定性を向上させます。

EBA(ブレーキアシスト)

ブレーキアシストシステムは、急ブレーキ時のペダルの動きに応じて作動し、ブレーキの効きを最大限に高めて停止距離を短縮する装置です。

ASR(トラクションコントロール)

急加速時のホイールスピンを防止して、車の走行安定性を向上させる機能です。

SNOW MOTIONシステム

SNOW MOTIONシステムは、深い新雪や圧雪路面を走行中にASRシステムより優先的に作動し、路面状況に合わせてトラクションを制御することで雪道での走行安定性を向上させます。

MEMO

- イグニッションをオンにしたまま、ホイールやタイヤ交換などの作業を行い、シャフトを回転させると、メモリーに故障情報が入力されてABS 警告灯が点灯する場合があります。当社指定サービス工場にご相談ください。
- ABS や EBA が作動するとブレーキペダルが振動することがありますが、正常な作動であって故障ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 凍結した路面や砂地などのオフロードを走行するときは、ESC システムを解除してください。

システムの異常

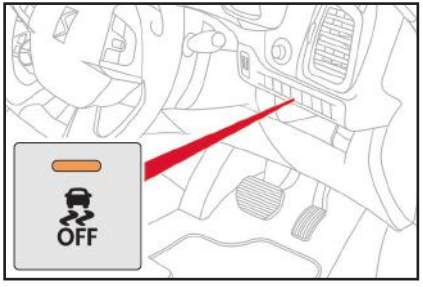
警告音とともにこの警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときはABSの機能に異常があります。ブレーキをかけたときに車のコントロールを失う可能性があります。直ちに停車して当社指定サービス工場にご連絡ください。

警告音とともにこの警告灯とSTOP警告灯が点灯し、さらにメッセージが表示されたときはブレーキシステムに異常があります。直ちに停車して当社指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

ABSやEBAは、どのような状況下でも制動距離を短くする装置ではありません。路面の摩擦によっては、かえって制動距離が伸びることがありますので、滑りやすい路面では慎重に運転してください。この装置は、正しい仕様のタイヤを適正な状態で使用したときに効果を発揮します。

ESC システムの作動



エンジンを始動すると、ESCシステムは自動的に作動可能状態になります。車両の走行安定性に問題が生じたときは、システムが作動して車両を制御します。

ESC 警告灯（インストルメントパネル）

ESCシステムが作動すると、この警告灯が点滅して運転者に注意を促します。

ESC システムの解除

雪道や泥道で動けなくなったときなどに、ある程度ホイールスピンをさせてタイヤの接地力を回復させる必要が発生します。このようなときに、手動でESCシステムの解除ができます。

ステアリングホイール横のESC OFFボタンを押すとインジケーターランプが点灯して、ESCシステムは作動しなくなります。

ESC システムの復帰

解除したシステムは、次の状態で自動的に復帰します。
・イグニッションをオフにする。
・時速 50km 以上で走行する。

手動で復帰させるときは、もう一度ESC OFFボタンを押します。

ESC システムの異常

システムに異常が発生したときは、警告音が鳴り、警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

3

⚠警 告

●ESC システムは、通常の運転状況下において安全性を向上させるもので、オーバースピードや危険な運転を補正する装置ではありません。急カーブや滑りやすい路面では、従来と同じく慎重に運転してください。この装置は、タイヤやホイール、ブレーキ部品、電子部品などの仕様が正しく、かつ当社指定サービス工場で適正な整備や修理を受けた状態で使用したときに効果を発揮します。事故の後や大きな衝撃を受けたときは、当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
●この装置は、正しい仕様のタイヤを適正な状態で使用したときに効果を発揮します。

SCR(選択式還元触媒）システム(ディーゼル車)

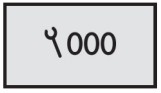
DS 5 は SCR（選択式還元触媒）システムと FAP（ディーゼルパティキュレートフィルター）を採用しています。
SCR は、AdBlue® を使用することで、排気ガス中の窒素酸化物を低減します。

MEMO

- AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。AdBlue® の補充は早めに行ってください。AdBlue® の補充は、当社指定サービス工場にお申し付けください。
- SCR に異常が発生したまま走行を続けるとエンジンを始動できなくなります。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

走行可能距離の表示

AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。
イグニッションをオンにすると、エンジンを始動できなくなるまでの走行可能距離を表示します。



走行可能距離は、インストルメントパネルのボタンを押しても表示させることができます。

走行可能距離が 2400km 以上の場合
イグニッションをオンにしてもインストルメントパネルに走行可能距離は表示されません。

MEMO

インストルメントパネルのボタンを押すと走行可能距離を表示させることができます。

走行可能距離が 600km から 2400km の場合

イグニッションをオンにすると、警告音が鳴り、**UREA** 警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。

MEMO

AdBlue® の補充をしないと、走行中は、300km 毎にメッセージが表示されます。

走行可能距離が 600km 以内の場合

イグニッションをオンにすると、警告音が鳴り、**UREA** 警告灯が点滅し、**SERVICE** 警告灯が点灯するとともに、メッセージが表示されます。

MEMO

- AdBlue® の補充をしないと、走行中は、30 秒毎にメッセージが表示されます。
- AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。すみやかに当社指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。

AdBlue® の残量がなくなった場合

イグニッションをオンにすると、警告音が鳴り、**UREA** 警告灯が点滅し、**SERVICE** 警告灯が点灯するとともに、メッセージが表示されます。

AdBlue® の残量がなくなったため、エンジンを始動できません。直ちに当社指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。

SCRシステムの異常

SCR システムに異常が発生したら、次のような警告が表示されます。
警告が続けて表示される場合は、直ちに当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
そのまま走行を続けると、約 1100km 走行した後は、エンジンを停止すると、再始動できなくなります。

SCR システムに異常がある場合

SCR システムに異常が発生した場合は、警告音が鳴り、**UREA** 警告灯、**SERVICE** 警告灯および自動診断警告灯が点灯するとともに、メッセージが表示されます。

MEMO

一時的に警告が表示されることがありますが、その後、警告灯が消灯すれば SCR システムの異常は解消されています。
SCR システムの異常が解消されない場合は、エンジンを始動するたびに警告が表示されます。
当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

SCR システムの異常により、走行可能距離が 1100km 以内になった場合

SCR システムに異常が発生した後、そのまま約 50km 走行すると、警告音が鳴り、**UREA** 警告灯が点滅し、**SERVICE** 警告灯および自動診断警告灯が点灯するとともに、メッセージが表示されます。
この警告が表示されると、走行可能距離は約 1100km 以内です。
そのまま走行を続けると、約 1100km 走行した後は、エンジンを停止すると、再始動できなくなります。直ちに当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

MEMO

SCR システムの異常が解消されない場合は、走行中は、30 秒毎にメッセージが表示されます。
また、エンジンを始動するたびに警告が表示されます。

SCR システムの異常によりエンジンを始動できなくなった場合

イグニッションをオンにすると、警告音が鳴り、**UREA** 警告灯が点滅し、**SERVICE** 警告灯および自動診断警告灯が点灯するとともに、メッセージが表示されます。
SCR システムの異常によりエンジンを始動できません。直ちに当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

FAP(ディーゼルパティキュレートフィルター)(ディーゼル車)

FAP (ディーゼルパティキュレートフィルター) は排気ガス中に含まれるススを捕集し、燃焼 (再生) 処理します。
捕集したススが一定量堆積し、警告が表示されると、60km/h 以上の速度で走行し、堆積したススを燃焼 (再生) 処理することが必要です。

注 意

FAP の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
- ススが一定量堆積し、警告が表示されたまま長時間走行しないでください。
- 指定以外の燃料を補給しないでください。
- 指定以外のエンジンオイルを使用しないでください。

ススの燃焼 (再生) 処理

SERVICE FAP にススが一定量堆積すると、**SERVICE** 警告灯が一時的に点灯し、メッセージが表示されます。
警告が表示されたら、道路状況を見て、すみやかに 60km/h 以上で走行してください。ススの燃焼 (再生) 処理が行われます。
燃焼 (再生) 処理が終了すると、**SERVICE** 警告灯が消灯します。

MEMO

- 60km/h 以上の速度でしばらく走行しても **SERVICE** 警告灯が消灯しない場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。
- ご購入いただいてから最初の燃焼(再生) 処理中は、焦げたようなにおいがすることがありますが、異常ではありません。
- 長時間の低速走行後やアイドリング運転後の発進や加速時に、排気管から白い煙 (水蒸気) が出ることがありますが、異常ではありません。

ストップ&スタート

ストップ&スタートには交通渋滞や赤信号などで停止しているときにエンジンを止める停止モードと、発進するときにエンジンをかけるスタートモードがあります。
エンジンの始動は瞬時で騒音もなく、都市部での使用において燃費と排出ガスの削減を可能にします。

●停止モードへの移行

シフトレバーを**N**にしたりブレーキペダルを踏んで停止したときに停止モードに移行します。

ECO エンジンが停止すると、インストルメントパネルの**ECO**警告灯が点灯します。

ECO タイマーが停止時間の積算を行います。時間は、イグニッションをオンにするたびにゼロにリセットされます。
エンジン停止時間の積算はドライブコンピューターに表示されます。

⚠警 告

停止モードのまま給油しないでください。必ずSTART/STOPスイッチを押してエンジンを停止してください。

MEMO

- ●車庫入れなど、**R** からギアを入れ替えたときは、エンジンは数秒間停止モードになりません。
- ●停止モードによって、ブレーキの効きやパワーステアリングに影響が出ることはありません。

停止モードにならないとき

以下のときは、エンジンは停止モードになりません。

- 運転席のドアが開いているとき
- 運転席のシートベルトが締められていないとき
- **START/STOP** スイッチを押してエンジンを始動してから時速 10km を超えていないとき
- 坂道の勾配が急なとき
- エレクトリックパーキングブレーキが作動しているとき、または操作したとき
- エアコンが曇りとりモードのとき
- 客室の温度を快適に保つためにエンジンの運転が必要なとき
- 充電その他エンジンの運転がシステム上必要なとき

ECO インストルメントパネルの**ECO**警告灯が数秒間点滅して消灯しますが、異常ではありません。

●スタートモードへの移行

以下のいずれかのときにスタートモードに移行します。

- ギアを D か M にしてブレーキペダルを放したとき
- ギアが N でブレーキペダルを放し、ギアを D か M に入れたとき
- ギアを R に入れたとき

ECO エンジンが始動すると、インストルメントパネルのECO警告灯が消灯します。

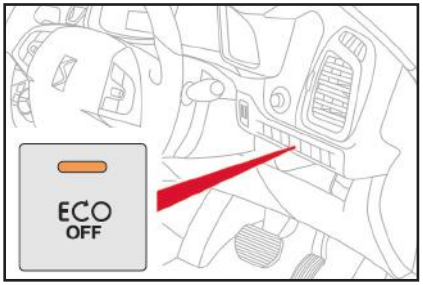
自動的にスタートモードになるとき

以下のときは、運転者への注意喚起や制動力の確保、バッテリー電圧の維持などのためにエンジンが自動的にスタートモードになります。

- 運転席のドアを開けたとき
- 運転席のシートベルトを外したとき
- 時速 1km を超えているとき
- エレクトリックパーキングブレーキを操作したとき
- 充電その他エンジンの運転がシステム上必要なとき

ECO インストルメントパネルのECO警告灯が数秒間点滅して消灯しますが、異常ではありません。

●ストップ&スタートの解除



ECO OFFスイッチを押すことにより、いつでも作動を解除できます。インジケーターが点灯し、メッセージが表示されます。

注 意

停止モードのときに作動を解除すると、ただちにエンジンが始動します。

●ストップ&スタートの再作動

再度ECO OFFスイッチを押すと、システムが作動します。インジケーターが消灯し、メッセージが表示されます。

MEMO

START/STOPスイッチを押してエンジンを始動すると、システムは作動状態になります。

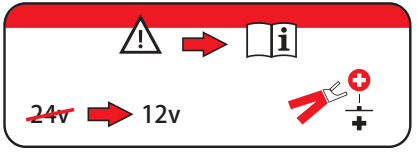
ストップ&スタートの故障

ECO OFFスイッチのインジケーターが点滅したのち連続点灯したときは、システムに故障が発生しています。当社指定サービス工場で点検を受けてください。
停止モードのときに故障した場合は、警告灯が点灯してエンジンが始動しません。
イグニッションをオフにしてエンジンを始動してください。

点検時の注意点

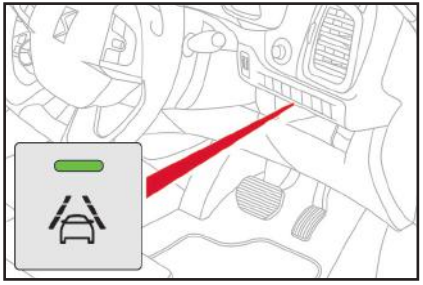
エンジンルームでのどのような作業を行うときも、あらかじめストップ&スタートの作動を解除しておいてください。エンジンが急に始動して、思わぬ怪我をするおそれがあります。

また、このシステムではストップ&スタート専用に設計されたバッテリーを使用しています。不適当なバッテリーの使用はシステムの故障につながります。バッテリーの交換は当社指定サービス工場にご相談ください。



ストップ&スタート車では一度バッテリーの接続を外すと数時間は停止モードになりませんが、これは異常ではありません。

レーンデパーチャーウォーニング



カメラが走行車線の車線マーカーを検知し、車両が右方向へ車線を逸脱したと判断したときは運転席のシートクッションの右側が振動し、車両が左方向へ車線を逸脱したと判断したときは運転席のシートクッションの左側が振動し、ドライバーに注意を促します。
システムは時速80km以上で走行中に作動します。

以下の場合は作動しません。
- 方向指示器が作動しているとき
- 方向指示器を解除した後約 20 秒間

レーンデパーチャーウォーニングの作動／解除

ステアリングホイール横のレーンデパーチャーウォーニングオン／オフスイッチを押すとインジケーターランプが点灯して、レーンデパーチャーウォーニングが作動します。もう一度レーンデパーチャーウォーニングオン／オフスイッチを押すとスイッチのインジケーターが消灯して、レーンデパーチャーウォーニングが解除されます。

⚠警 告

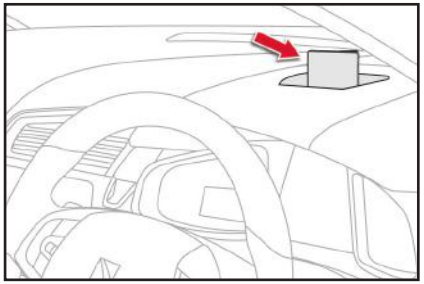
システムは前方不注意や雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。前方に注意し安全運転に努めて走行してください。安全の確保は運転者の義務です。

以下のような場合は、システムが正常に作動しないことがあります。
- 車線マーカーが不明瞭な場合
- 雨天や降雪時などの悪天候の場合
- 太陽光などの強い光が当たっている場合
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があった場合
- 影などで暗い場所
- フロントウィンドウが汚れている場合

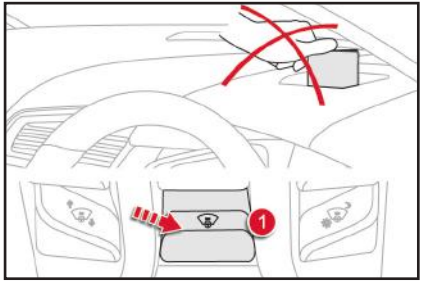
●システムの異常

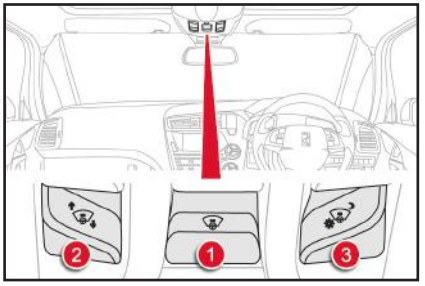
システム異常がある場合、レーンデパーチャーウォーニングオン／オフスイッチのインジケーターが点滅します。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

ヘッドアップディスプレイ*



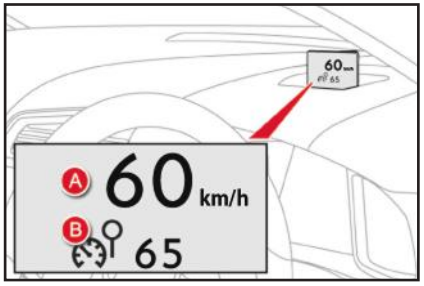
運転者が前方を見ながら計器を確認できるように、ディスプレイにいろいろな情報を表示します。
エンジンがかかっているときに操作することができます。





1. オン／オフスイッチ
2. ディスプレイ角度調整スイッチ
3. 照度調整スイッチ

表示パネル

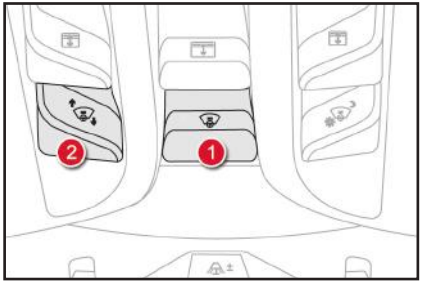


ディスプレイ作動時は、以下の情報が表示されます。

A. スピードメーター
B. クルーズコントロール／スピードリミッター表示

* 仕様により異なります。

ディスプレイの作動

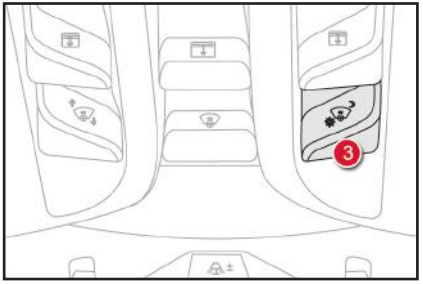


エンジンがかかっているときにスイッチ①を操作すると、ディスプレイを起動／格納できます。
ディスプレイは、イグニッションをオフにして3秒経過すると、自動的に格納されます。

ディスプレイ角度調整

エンジンがかかっているときにスイッチ②（⬆=上、⬇=下）を操作します。見やすい状態になるよう、ディスプレイの角度を調整できます。

照度調整



エンジンがかかっているときにスイッチ③（太陽=明、月=暗）を操作します。ディスプレイの明るさを調整できます。

MEMO

イグニッションをオフにしたときのディスプレイの状態は、次回にイグニッションをオンするときまで残ります。

⚠警 告

ディスプレイは停車中に操作してください。

注 意

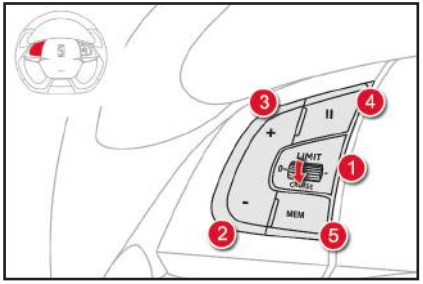
- ダッシュボード上のディスプレイ付近に物を置いたり、ディスプレイ出入口を覆ったりしないでください。ディスプレイ作動時の妨げになります。
- 気象条件（雨、雪、光など）によっては、ディスプレイが見づらかったり、一時的に影響を受ける場合があります。
- お使いのメガネ（サングラス、偏光レンズなど）によっては、ディスプレイの表示が読み取りづらい場合があります。
- お手入れするときは、硬い布、表面が粗い布、洗剤などは使用しないでください。ディスプレイが破損したり、反射防止のコーティングが傷付いたりするおそれがあります。
  メガネ拭きのようなやわらかい布を使用してください。

クルーズコントロール／スピードリミッター

クルーズコントロールは、ドライバーによって時速40km以上で設定された速度を、アクセルペダルを踏まなくても道路の状態にかかわりなく常に一定に保って走行する機能です。
シフトレバーが**D**、または**M**の場合は2速以上の位置にあるときに有効になります。

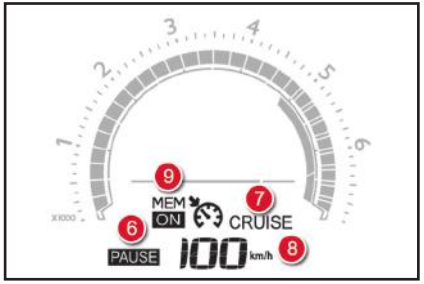
スピードリミッターは、あらかじめドライバーが設定した速度（最低時速30km以上）を越えて走行しないようにする機能です。設定速度以上にアクセルペダルを踏み込んでも加速しません。

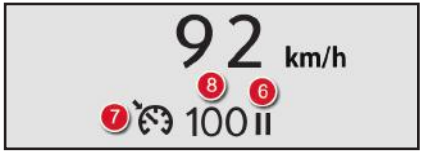
クルーズコントロール



クルーズコントロールは、ステアリング左側のスイッチを使用して設定します。
①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
②：速度設定／設定速度の減少
③：速度設定／設定速度の増加
④：システムのオン／オフ
⑤：登録されている速度の呼び出し

表示パネル

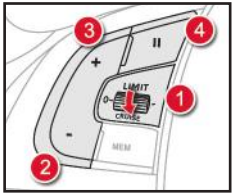




クルーズコントロールの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイおよびヘッドアップディスプレイ*に表示されます。
⑥：クルーズコントロールオン／オフ状況表示
⑦：クルーズコントロールモード選択表示
⑧：設定スピード表示
⑨：設定スピード登録

* 仕様により異なります。

クルーズコントロールの設定



ステアリングコラムのスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ①を**CRUISE**側に回すと、クルーズコントロール機能が使用可能になりますが、速度は設定されていません。**O**または**LIMIT**の位置に回すとオフになります。

走行速度の設定

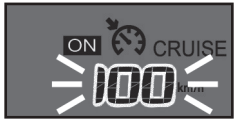
希望する速度（時速40km以上）で走行中にスイッチ②か③を押すと、その速度が記憶されて自動的にその速度を維持して走行します。

⚠警 告

クルーズコントロールを過信せず、走行速度には十分注意してください。

MEMO

クルーズコントロールを使用中でも、アクセルペダルを踏んで加速することができます。その際、速度の表示が点滅します。アクセルペダルから足を離すと元の速度で走行します。
急な下り坂など、アクセルペダルを踏まなくても設定の速度を超えてしまう場合にも速度表示が点滅します。



設定速度の変更

定速走行中に、スイッチ②を押すと設定速度が減少し、スイッチ③を押すと増加します。短く押すと1km／hずつ、押し続けると5km／hステップで速度が変化します。
またはアクセルペダルを踏んで加速した後にスイッチ②か③を押すと、あらためてその速度にセットされます。

設定速度の解除

スイッチ④を押すか、ブレーキペダルを踏むと、クルーズコントロールが解除されます。また、最低速度や使用ギアの範囲を超えたとき、ESCが作動したときにも解除されます。
解除後、再度スイッチ④を押すと最後の設定速度に戻ります。

設定速度の消去

イグニッションをオフにしたり、スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチを**O**にすると設定速度の記憶が消去されます。

システムの異常

速度表示が消えてーが数秒間点滅しているときは、システムに異常があります。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警 告

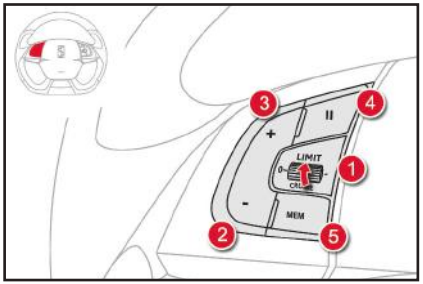
●スイッチ②または③を押し続けて速度を変更する時、急加速または急減速することがありますので十分注意してください。

⚠警 告

●とっさのときでもすぐに操作できるよう、定速走行中でもアクセルペダルやブレーキペダルの近くに足を置いてください。
●交通量が多い道路や滑りやすい路面では、クルーズコントロールを使用しないでください。思わぬ事故を起こすおそれがあります。
●クルーズコントロールシステムを作動させている場合においても、適切な車間距離を保って走行してください。前を走行している車両との車間距離を適切に保つのは、運転者の義務です。
●クルーズコントロールシステムを使用しない場合には、クルーズコントロール機能をオフにしてください。誤ってシステムが働いてしまうのを防止します。
●道路状況や交通状況に応じた車速を設定してください。誤った速度設定は事故につながる恐れがあります。

＊仕様により異なります。

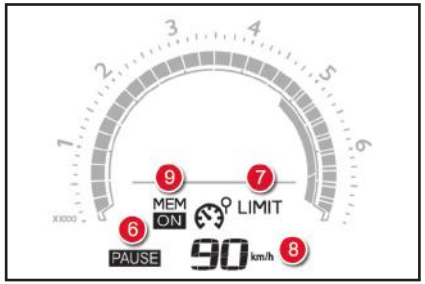
スピードリミッター



スピードリミッターは、ステアリング左側のスイッチを使用して設定します。

①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
②：設定速度の減少
③：設定速度の増加
④：システムのオン／オフ
⑤：登録されている速度の呼び出し

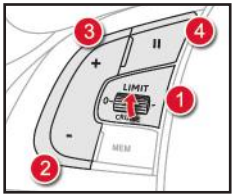
表示パネル



スピードリミッターの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイおよびヘッドアップディスプレイ*に表示されます。

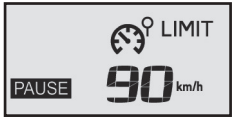
⑥：スピードリミッターオン／オフ状況表示
⑦：スピードリミッターモード選択表示
⑧：設定スピード表示
⑨：設定スピード登録

スピードリミッターの設定



ステアリングコラムのスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ①を**LIMIT**側に回すと、スピードリミッター機能が使用可能になり、設定速度が表示されます。
イグニッションをオフにしたり、スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチを**O**または**CRUISE**にするとシステムはオフになりますが、設定速度の記憶は残ります。

最高速度の設定



スイッチ②か③を押して、希望する速度を設定します。スイッチ②を押すと設定速度が減少し、スイッチ③を押すと増加します。
短く押すと1km／hずつ、押し続けると5km／hステップで速度が変化します。

スピードリミッターの作動

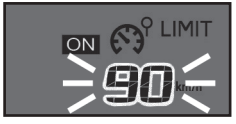
スイッチ④を押すと、設定速度がディスプレイに表示されてスピードリミッターが作動します。アクセルペダルを踏み込んでもその速度以上では走行しません。
再度スイッチ④を押すと、解除されます。

⚠警 告

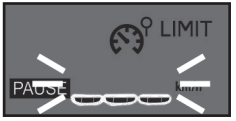
スピードリミッターを過信せず、走行速度には十分注意してください。

MEMO

スピードリミッターが作動中でも、アクセルペダルをいっぱいに踏みこむことで一時的に加速することができます。その際、速度の表示が点滅します。
アクセルペダルから足を離すと元の速度で走行します。
急な下り坂など、アクセルペダルを踏まなくても設定速度を超えてしまう場合にも速度の表示が点滅します。



システムの異常

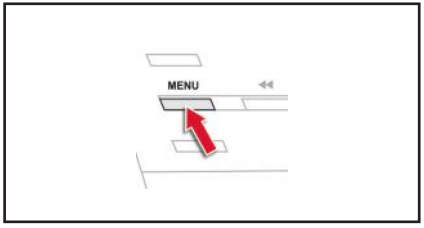


速度表示が消えてーが数秒間点滅しているときは、システムに異常があります。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

●設定速度の登録

クルーズコントロールおよびスピードリミッターの設定速度を5件まで登録することができます。

登録



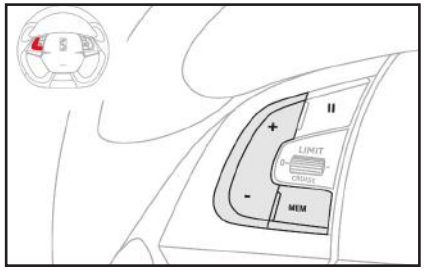
登録はマルチファンクションディスプレイの**Vehicle parameters**メニューで行います。

操作方法は、5-8ページの「マルチファンクションディスプレイ」を参照してください。

MEMO

- ●走行中は登録の操作をすることができません。
- ●初期設定として、あらかじめいくつかの速度が登録されています。

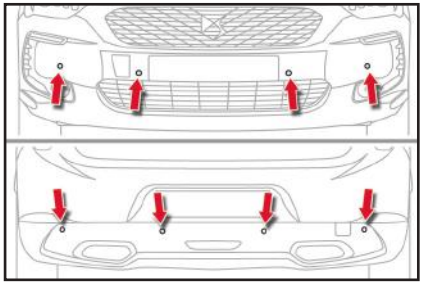
呼び出し



1. ボタン **MEM** を押すと、登録した速度のリストが表示されます。
2. ボタン**+**またはボタン**−**を押すと、登録されている中で走行速度に一番近い速度が表示されます。
3. 再度ボタン**+**またはボタン**−**を押し続けると、別の登録されている速度を選択することができます。

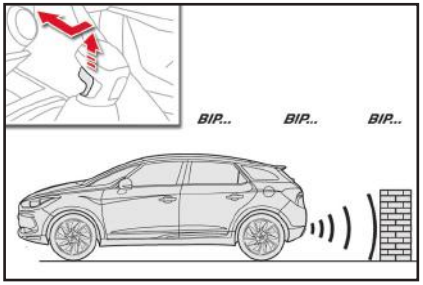
設定速度およびクルーズコントロール／スピードリミッターの作動状況はインストルメントパネルに表示されます。

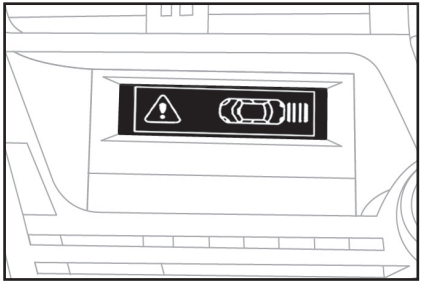
パーキングアシスタンス



フロント／リアバンパーに埋め込まれたセンサーが障害物（歩行者、車、立木、門など）を検知します。

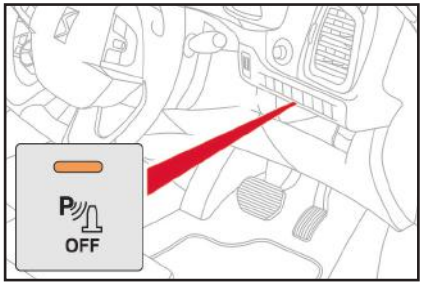
システムは、エンジン回転中にシフトレバーをRに入れると作動します。





障害物に接近すると警告音の頻度が上がり、およそ30cm以内に接近すると連続した警告音に変わり、危険を表すアイコンが表示されます。
システムは、シフトバーをR以外に入れると解除になります。

●パーキングアシスタンスの強制解除



ダッシュボード上のスイッチを押すことで、このシステムは機能しなくなります。
再度スイッチを押すと、再び作動しはじめます。

●システムの異常

SERVICE この機能に異常があると、シフトレバーをRに入れると短い警告音とともにインストルメントパネル上に警告灯が表示されます。また、メッセージが表示されます。
当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

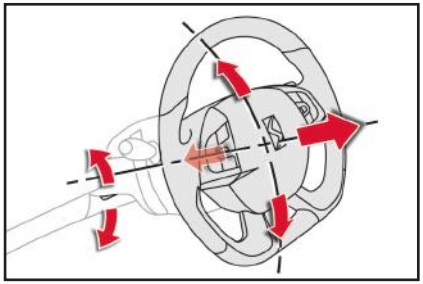
⚠警 告

障害物の形状によってはセンサーが検知できないことがあります。システムを過信せず、目視で障害物の有無を確認してください。

MEMO

- ●フロント／リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。
- ●フロント／リアバンパーの真下付近は検知しません。
- ●けん引するときや自転車用リアキャリアを装着しているときは、システムを停止する必要があります。
- ●走行中に、車、トラック、ドリルなどの騒音によって警告音が鳴ることがあります。

ステアリング／ホーン



●チルトステアリング

ロックレバーを手前に引くと、チルトステアリングのロックが解除されます。
ステアリングホイールの高さや奥行きを調整し、ロックレバーを押し下げてロックしてください。ステアリングがしっかり固定されていることを確かめてください。

⚠警 告

チルトステアリングの調整は、車を停止して行ってください。

⚠注 意

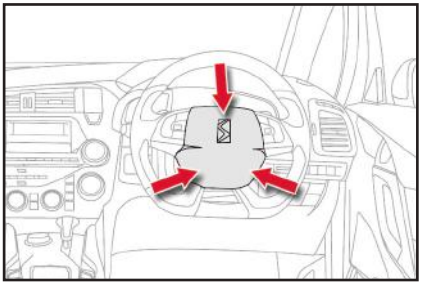
シート位置を調整してからステアリング位置を調整してください。

ステアリングロック

ステアリングロックは電動式です。盗難防止のために、エンジンを止めるとステアリングがロックされて動かなくなります。手動でロック解除を補助する必要がある場合は、メッセージが表示されます。その場合は、ステアリングをわずかに回しながら**START/STOP**スイッチを押します。

⚠警 告

走行中は**START/STOP**スイッチを押さないでください。走行中に**START/STOP**スイッチを押し続けるとエンジンが停止して、ブレーキ倍力装置が作動せず、事故を起こすおそれがあります。



●ホーン

ステアリングの中央を押してください。

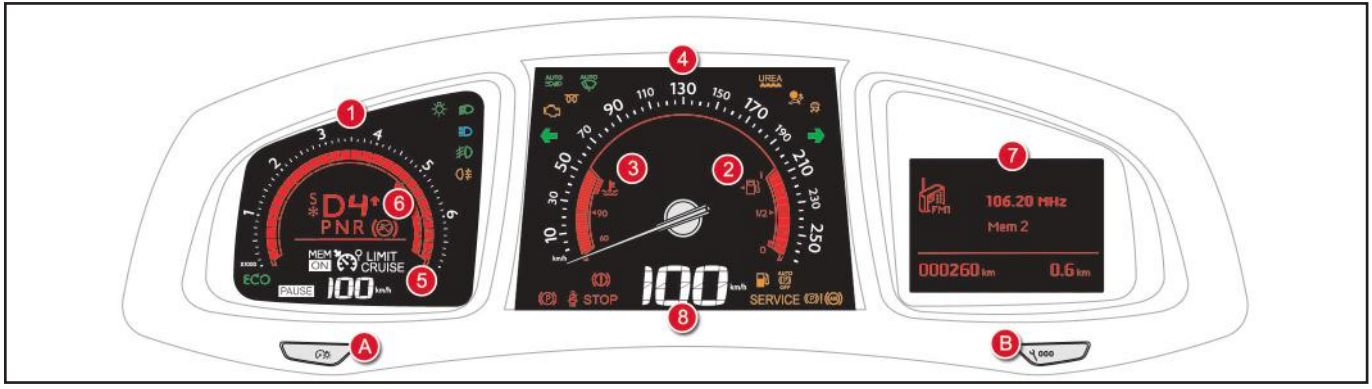
MEMO

ホーンを使用する際には、節度を守り、差し迫った危険を感じるなどの緊急の場合に使用してください。

第4章　メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

インストルメントパネル ····· 4-2
表示灯類 ····· 4-3
警告灯類 ····· 4-7
冷却水温度計 ····· 4-14
エンジン油量インジケーター ····· 4-15
サービスインジケーター ····· 4-16
インストルメントパネルの調整（リセット、明るさ調整）··· 4-18
ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、
ハザードランプ） ····· 4-19
ワイパー／ウォッシャー ····· 4-28

インストルメントパネル



メーター

1. タコメーター
2. 燃料計
3. 冷却水温度計
4. スピードメーター
5. クルーズコントロール表示
   スピードリミッター表示
6. シフトポジション
7. ドライブコンピューター
   警告メッセージ
   機能設定状況
   走行可能距離（ディーゼル車）
8. デジタルスピードメーター

スイッチ

A. インストルメントパネル照度調整

B. サービスインジケーター表示
   走行可能距離表示（ディーゼル車）
   警告メッセージ履歴表示

MEMO

スイッチ**B**は、長押しするとサービスインジケーターおよびトリップメーターのリセットボタンとして働きます。

⚠警 告

スピードメーターの速度の単位は必ずkm/h表示を使用してください。
誤ってmph表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

表示灯類

表示灯は、作動状態を表示するものと機能停止を表示するものがあります。
いくつかの表示灯は、点灯状態と点滅状態で異なる意味を表すものがあります。また、ひとつの表示灯で通常の作動状態を表示している場合と、故障を表している場合とがあります。
例：パーキングブレーキがかかっている／ブレーキシステムに異常がある。

作動状態を表示する表示灯

表示灯		状態	意味	対処方法
	左方向ウインカー	点滅／ブザー	ライトスイッチレバーが下に動かされています。	ライトスイッチレバーを水平にすると消灯します。
	右方向ウインカー	点滅／ブザー	ライトスイッチレバーが上に動かされています。	同上
	ハザードランプ	点滅／ブザー	ハザードランプスイッチを押しました。	ハザードランプスイッチを再度押すと消灯します。
	ポジションランプ	点灯	ライトスイッチがポジションランプの位置にあります。	ライトスイッチレバーを**O**にすると消灯します。
	ロービーム	点灯	ライトスイッチがロービームの位置にあります。 ライトスイッチが**AUTO**の位置にあります。（周囲の明るさに応じて点灯）	同上
	ハイビーム	点灯	ライトスイッチレバーが手前に引かれています。	ライトスイッチレバーを再度手前に引くとロービームに戻ります。

表示灯		状態	意味	対処方法
AUTO	インテリジェントハイビーム	点灯	ライトスイッチレバーが手前に引かれていて、インテリジェントハイビームスイッチが押されています。	インテリジェントハイビーム機能が有効になっています。無効にするには、スイッチをもう一度押します。
	フロントフォグランプ	点灯	ライトスイッチレバーのリングを前方へ回しました。	ライトスイッチレバーのリングを後方へ回すと消灯します。
	リアフォグランプ	点灯	ライトスイッチレバーのリングを2回前方へ回しました。	ライトスイッチレバーのリングを後方へ回すと消灯します。
	予熱表示灯（ディーゼル車）	点灯	START/STOP スイッチを押しました。	予熱表示灯が消灯したら、ブレーキペダルを踏んでいるときにエンジンが始動します。 予熱表示灯の点灯時間は、気温によって変化します（最長約30秒）。 エンジンがかからないときは、イグニッションをオフにし、再度エンジン始動の操作を行い、予熱表示灯が消灯するのを待ってください。
(P)	エレクトリックパーキングブレーキ	点灯	エレクトリックパーキングブレーキがかかっています。	アクセルペダルを踏むと、エレクトリックパーキングブレーキが自動的に解除されます。
				ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキスイッチを引いてエレクトリックパーキングブレーキを解除してください。

表示灯		状態	意味	対処方法
AUTO P OFF	オートマチック エレクトリック パーキング ブレーキ	点灯	オートマチックエレクトリック パーキング機能に異常が発生しています。	当社指定サービス工場にご連絡ください。
ECO	ストップ& スタート	点灯	赤信号などで停止したときに、ストップ&スタートによってエンジンが停止しています。	発進時には警告灯が消灯し、自動的にエンジンがかかります。
		数秒間点滅して消灯	停止モードが一時的に使用不可、または自動的にスタートモードになりました。	詳細は「ストップ&スタート」項を参照してください。

機能停止を表示する表示灯

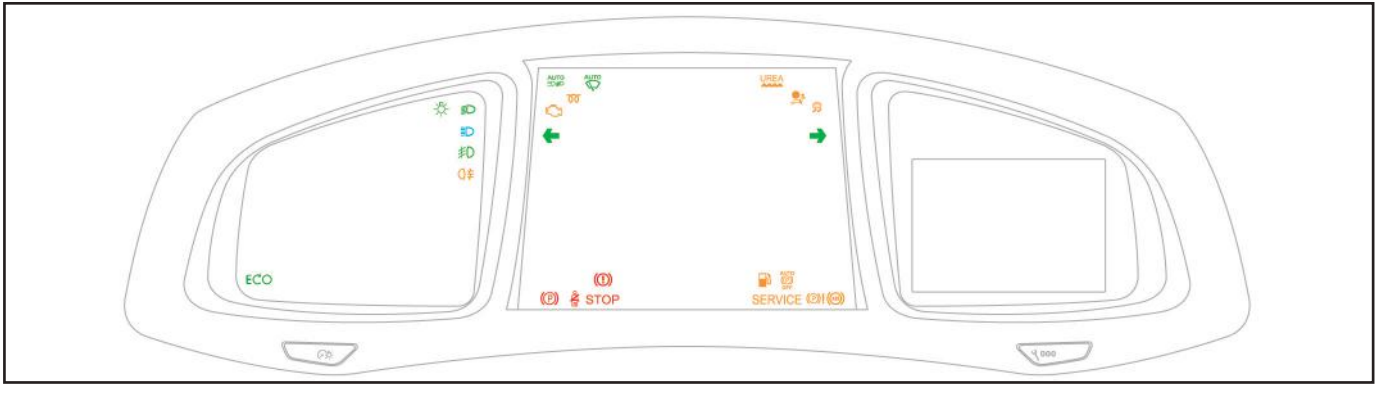
表示灯		状態	意味	対処方法
	オートワイパー	点灯	ワイパーレバーが下に押し下げられています。	オートワイパー機能が有効になっています。 無効にするには、レバーをもう一度押し下げるか、または上に押し戻します。
	助手席エアバッグ	点灯 （シートベルト着用／非着用警告ディスプレイ）	助手席エアバッグキャンセルスイッチが**ON**の位置にあります。助手席エアバッグは作動可能です。チャイルドシートを進行方向に対して後ろ向きに取り付けないでください。	チャイルドシートを進行方向に対して後ろ向きに取り付けたときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチを**OFF**にします。助手席エアバッグは作動しません。
	助手席 エアバッグ	点灯 （シートベルト着用／非着用警告ディスプレイ）	助手席エアバッグキャンセルスイッチがOFF位置にあります。助手席エアバッグは作動しません。	助手席エアバッグを作動するようにしたいときは、ON位置にしてください。この場合、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けないでください。

仕様により、以下の表示灯が装備されています。

表示灯		状態	意味	対処方法
	ESC/ASR	点灯	ESC/ASRシステムが解除されています。	ESC キャンセルスイッチを使用して解除したシステムは、次の状態で自動的に復帰します。 ・イグニッションをオフにする ・時速50km以上で走行する

警告灯類

イグニッションがオンになると、警告灯類が数秒間点灯します。エンジンが始動するとそれらの警告灯は消えます。
いずれかの警告灯が、車が動き出す前まで点灯していたり、走行中に点灯または点滅したときは、関連する情報を参照してください。
いくつかの警告灯は、点灯状態と点滅状態で異なる意味を表すものがあります。また、ひとつの警告灯で通常の作動状態を表示している場合と、故障を表している場合とがあります。
　例 : パーキングブレーキがかかっている／ブレーキシステムに異常がある。
また、警告音やメッセージ表示とともに点灯するものがあります。
　例 : パーキングブレーキがかかっている／ブレーキシステムに異常がある。



警告灯		状態	意味	対処方法
STOP	STOP	点灯／警告音／メッセージ	ブレーキ、パワーステアリング、エンジン油圧、冷却水温に異常が発生しています。	直ちに車を安全で平らな場所に停止させ、エンジンを止め、当社指定サービス工場へご連絡ください。
SERVICE	SERVICE	点灯（一時的）	軽微な不良が発生しているおそれがあります。	表示されたメッセージと連動しています。 ・ドア、テールゲート、ボンネットの開閉状況 ・FAP（ディーゼルパティキュレートフィルター）にススが一定量堆積した（ディーゼル車） ・エンジンオイル油量 ・リモコンの電池切れ　など 解決しない場合は、直ちに当社指定サービス工場へご連絡ください。
		点灯	重大な不良が発生しているおそれがあります。	表示されたメッセージと連動しています。 直ちに当社指定サービス工場へご連絡ください。
	SERVICE（ディーゼル車）	点灯（サービスインジケーターのスパナマークが点滅し、その後点灯）	定期点検整備時期を経過しています。	直ちに当社指定サービス工場で定期点検整備を受けてください。
(P)	エレクトリックパーキングブレーキ	点滅	エレクトリックパーキングブレーキが自動作動せず、異常が発生しています。	直ちに安全で水平な場所に車を停止させ、当社指定サービス工場にご連絡ください。

警告灯		状態	意味	対処方法
	エレクトリックパーキングブレーキ故障	点灯	エレクトリックパーキングブレーキに故障が発生しています。	オートマチックエレクトリックパーキング機能は使用できません。 直ちに停車させ、当社指定サービス工場にご連絡ください。パーキングブレーキは手動操作のみ可能です。
	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ	点灯	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能に異常が発生しています。	エレクトリックパーキングブレーキが自動作動しない場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。
	ブレーキ	点灯	ブレーキ液量が大幅に低下しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、当社推奨のブレーキ液を補給してください。 問題が解消されない場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯	電子式制動力制御装置（EBFD）に異常が発生しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

警告灯		状態	意味	対処方法
	ESC/ASR	点滅	ESC/ASRシステムが作動中です。	システムは正常です。 安定した走行に戻ると消灯します。
		点灯	ESC/ASRシステムに異常が発生しています。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	自動診断	点灯	排気ガス浄化システムに異常が発生しています。	エンジンを始動しても警告灯が消えない場合は、直ちに当社指定サービス工場にご連絡ください。
		点滅	エンジン制御システムに異常が発生しています。	触媒コンバーターが損傷するおそれがあります。 当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	燃料残量	点滅 (目盛の最後2つが点滅)	燃料の残量が約6リットル以下になりました。	早めに燃料を補給してください。(「 MEMO 」を参照) 燃料タンクの容量は約60リットルです。
	シートベルト	点灯 (時速20km未満)	・前席の乗員がシートベルトを着用していません ・前席および後席の乗員が着用していたシートベルトをはずしました。	ベルトを引き出しバックルに差し込んでください。 警告はシートベルトを着用するまで続きます。
		点滅／警告音 (時速20km以上)		

警告灯		状態	意味	対処方法
	エアバッグ	点灯 （一時的）	システムの点検中です。 （数秒間点灯した後に消灯）	エンジンを始動すると消灯します。 警告灯が消えない場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。
		点灯	エアバッグまたはシートベルトプリテンションシステムに異常が発生しています。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	ディレクショナルヘッドライト	点滅	ディレクショナルヘッドライトに異常が発生しています。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	UREA（ディーゼル車）	点灯／警告音／メッセージ	AdBlue® の残量が少なくなっています。 走行可能距離は600kmから2400kmです。	早めに当社指定サービス工場でAdBlue® の補充をしてください。
		点滅／警告音／メッセージ（SERVICE警告灯も点灯）	AdBlue® の残量がわずかになっています。 走行可能距離は600km以内です。	すみやかに当社指定サービス工場でAdBlue® の補充をしてください。
			AdBlue® の残量がなくなりました。 エンジンを始動できません。	直ちに当社指定サービス工場でAdBlue® の補充をしてください。

警告灯		状態	意味	対処方法
	SCR システム（ディーゼル車）	点灯／警告音／メッセージ（**SERVICE**警告灯と自動診断警告灯も点灯）	SCRシステムに異常が発生しています。	一時的に警告が表示されることがありますが、その後、警告灯が消灯すればSCRシステムの異常は解消されています。 SCRシステムの異常が解消されない場合は、エンジンを始動するたびに警告が表示されます。 当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
		点滅／警告音／メッセージ（**SERVICE**警告灯と自動診断警告灯も点灯）	SCRシステムに異常が発生しています。 走行可能距離は1100km以内です。	直ちに当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
			SCRシステムの異常によりエンジンを始動できません。	直ちに当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

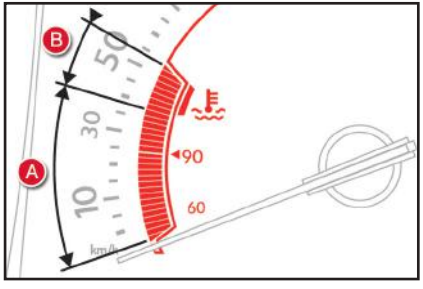
⚠警 告

● STOP 警告灯と連動して警告灯が表示されたときは直ちに車を停止させてください。
●警告灯が表示される故障は、深刻なケガや車両へのダメージを引き起こすおそれがあります。安全な場所に停車し点検してください（ 6-4 ページ参照）。

MEMO

高速道路など自動車専用道路での燃料切れは、道路交通法違反になります。走行前に燃料が十分あることを確認してください。

冷却水温度計



エンジン作動中の冷却水(クーラント)温度を確認できます。

A：冷却水温度は正常です。

B：冷却水温度が高すぎます。警告音とともに、中央の **STOP** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

冷却水温度計の針がゾーンBに達した場合は、**直ちに安全な場所に車を移動させ**、1分間アイドリングを行ってからエンジンを停止してください。
その後は速やかに当社指定サービス工場にご連絡ください。

MEMO

エンジンを始動してから数分間経過すると、冷却水温度と冷却装置内の圧力が上昇しますが、これは正常な状態です。

冷却水の補給が必要な場合は、以下の手順を守ってください。

1. エンジンを停止し、冷却水が冷えるまで待ちます。
2. エンジンルームにある冷却水タンクのキャップを２回回して緩め、圧力を低下させます。
3. 圧力が低下したらキャップを外します。
4. タンクの「**MAX**」印まで冷却水を補給します。

⚠警 告

冷却装置内の圧力が低下する前にキャップをはずすと、高温の冷却水が噴出し火傷の原因になります。

エンジン油量インジケーター

イグニッションをオンにすると、インストルメントパネルに油量の状態が数秒間表示されます。
油量は、車体が水平な場所にあってエンジン停止後30分以上経過しているときに正確に表示されます。

エンジンオイル量は正常です。

エンジンオイル量が少なくなっています。

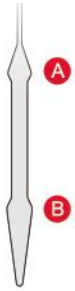
メッセージが表示されます。
エンジンオイルレベルゲージで正確な量を確認し、少ないときは補充してください。
エンジンオイルが少ないまま使用すると、エンジンが損傷するおそれがあります。

オイルレベルセンサーの故障

メッセージが表示されます。
車体を水平な場所に置き、エンジン停止後30分以上経過してからエンジンオイルレベルゲージで測定してください。油量に問題がなければ、オイルレベルセンサーが故障しているので、当社指定サービス工場にご連絡ください。

MEMO

オイルレベルゲージ



ゲージには2ヶ所のマークがあります。

A：オイル量最大
これを超えないようにしてください。

B：オイル量最少
AとBの間になるようにオイルを補充してください。

サービスインジケーター

サービスインジケーターは、お客様に次回のメーカー推奨点検時期がいつ頃かをお知らせするものです。

●作動

イグニッションをオンにした後の数秒間、次回の点検までのおよその残りキロ数が表示されます。
ただし、次回の点検まで3000km以上の場合は、表示されません。

例 1

次回の点検までおよそ2800kmであることを示しています。この表示は数秒間表示されます。

その後は本来の機能に戻り、オドメーターとして機能します。

例 2

次回の点検まで900kmであることを示しています。この表示は数秒間表示されます。

その後はオドメーターとして機能しますが、1000km以内の場合はスパナのマークは残ります。

●点検時期を経過した場合

イグニッションをオンにした後の数秒間、スパナのマークが点滅し、点検時期経過後のおよその走行キロ数がマイナス表示されます。

SERVICE ディーゼル車は、SERVICE警告灯も点灯します。

例

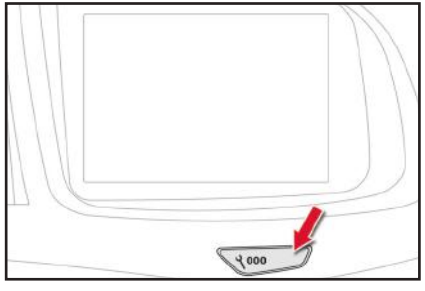
点検時期を経過してからおよそ300km走行したことを示しています。この表示は数秒間表示されます。

その後はオドメーターとして機能しますが、スパナのマークは残ります。

MEMO

●点検時期のお知らせは、走行距離と前回の点検時期から割り出されています。最後の点検から 2 年を経過した場合にもスパナマークが点灯します。
●ディーゼル車は、エンジンオイルの状態からも点検時期のお知らせを割り出しています。
運転の状況により、通常より早くスパナマークが点灯する場合があります。

ゼロリセット



リセットは当社指定サービス工場にて点検終了後に行いますが、お客様がご自分でリセットする際には以下の方法で行います。

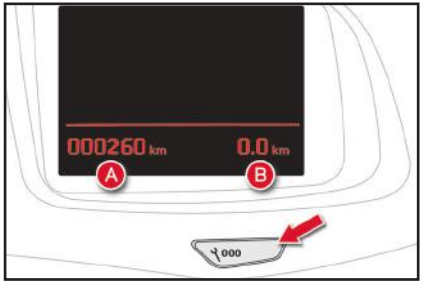
1. イグニッションをオフにします。
2. インストルメントパネルのボタンを押し続けます。
3. イグニッションをオンにします。
4. 数字のカウントダウンが始まります。
5. スパナのマークが消えて、
   Re-initialisation performed
   が表示されます。
6. リセットが完了。押していたリセットボタンを離します。

MEMO

●当社指定サービス工場では、定期点検が完了したときにサービスインジケーターをリセットして、次の定期点検時期をお知らせするようにしています。もし、サービスインジケーターを継続してご使用になりたいときは、車をお預けの際に当社指定サービス工場の担当者にお伝えください。
●リセット直後にバッテリーをはずすと、リセットが無効になります。ドアを施錠して少なくとも 5 分間待ってから、バッテリーをはずしてください。

インストルメントパネルの調整（リセット、明るさ調整）

●オド／トリップメーター



オドメーターAは、以下の場合にも表示されます。

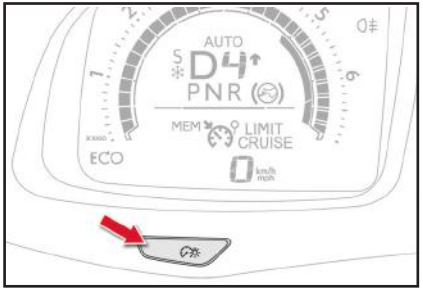
・ イグニッションをオフにしたとき
・ 運転席ドアを開けたとき
・ ドアを施錠／解錠したとき

トリップメーターBをリセットするには、OOOボタンを数秒間押します。

MEMO

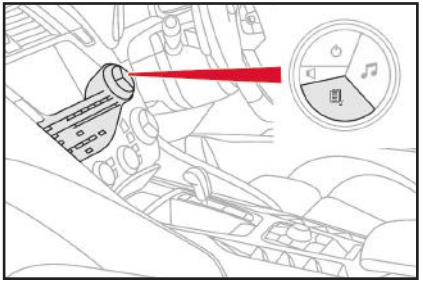
距離の単位は必ずkm表示を使用してください。
設定はタッチスクリーンで行います。

●インストルメントパネル照度調整



インストルメントパネルの明るさを調整することができます。
ライトスイッチをオンにしてボタンを押し続けると、明から暗へまたは暗から明へとインストルメントパネルの明るさが変化します。ボタンを離すと、その明るさに設定されます。

●ブラックパネルモード



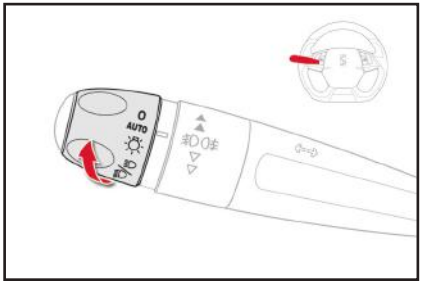
夜間走行時、不要な照明を消して最低限のインストルメントパネルだけを点灯するブラックパネルモードがあります。このモードを使用するには、ラジオのボタンを押し続けてください。

MEMO

警告やメッセージがあるときは、自動的にブラックパネルモードが解除されます。

ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、ハザードランプ）

ヘッドランプ



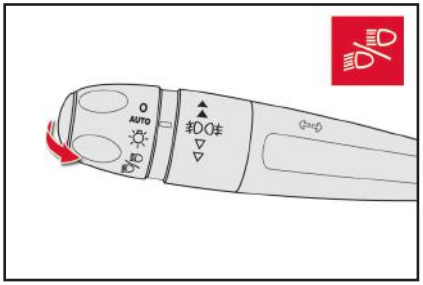
ライトスイッチ（リング）
ヘッドランプの操作は、レバーのリングを回します。

0	すべてのランプが消灯します。
AUTO	オートライトモード
	ポジションランプおよびテールランプが点灯します。
	ヘッドランプのロービーム／ハイビームが点灯します。

⚠警 告

ポジションランプは、他の車からあなたの車を確実に確認できるほどの充分な明るさではありません。事故のおそれがありますので、周囲が暗いときや視界が悪いときは、ヘッドランプを点灯してください。

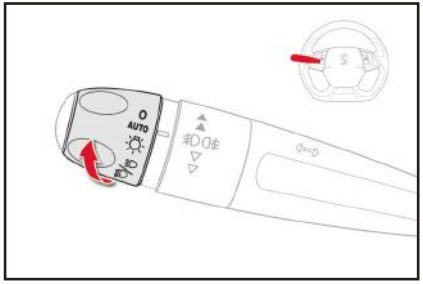
ロービーム／ハイビーム



ヘッドランプをハイビームに切り換えるときは、スイッチレバーを手前に引きます。再度、手前に引くとロービームに切り換わります。

パッシング
スイッチレバーを浅く手前に引くと、パッシングライトとして使用できます。

オートライト



周囲が暗くなったりウィンドウワイパーを連続して使用すると、自動的にポジションランプやヘッドランプが点灯します。周囲が明るくなったりワイパーの使用をやめると、自動的に消灯します。

作動

リングを**AUTO**位置に回します。
オートライトが選択されていることが表示されます。

機能解除

リングを**AUTO**以外の位置に回します。

⚠注 意

- 昼間の霧や雪のときは、周囲が明るいのでオートライトが作動しないことがあります。
  安全のため、手動でライトを点灯してください。
- バックミラーの裏側にある照度センサーを覆わないでください。オートライト機能が正常に作動しません。

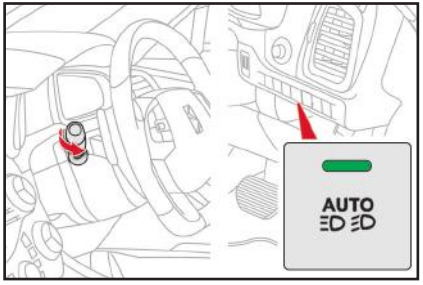
SERVICE 照度センサーに異常が発生した場合は、自動的にヘッドランプが点灯するとともに、警告音とメッセージで故障の発生を通知します。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

MEMO

- イグニッションをオフにすると、すべてのライトは消灯します。（フォローミーホーム機能がオンのときを除く）
  その後に手動でライトスイッチをオンにした場合は、前席ドアを開けるとライト消し忘れブザーが鳴ります。ライトスイッチをオフにするとブザーは止まります。
  イグニッションがオフの状態でライトを点灯したままにすると、エコノミーモードになり一定時間後に消灯します。バッテリー残量により消灯するまでの時間は異なります。
- 低温高湿度のとき、ヘッドランプやテールランプのレンズ内側が曇ることがありますが異常ではありません。点灯して数分後になくなります。

* 仕様により異なります。

インテリジェントハイビーム*



フロントウィンドウに備えられたカメラによって対向車を検知し、ヘッドランプのハイビームとロービームを自動的に切り替える機能です。

⚠警 告

インテリジェントハイビームは操作を補助する機能です。運転者の責任の元で、点灯状態、視界、道路状況などを把握し、他の車の妨げにならないよう、また法律で義務付けられた方法に従って、正しく使用してください。

●機能をオンにする

1. ライトスイッチを **AUTO** ポジションにします。

2. ボタンを押します。
ボタンのインジケーターが点灯します。

●作動させる

1. スイッチレバーを手前に引いてハイビームに切り替えます。

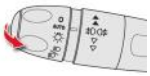
2. インストルメントパネルに表示灯が点灯します。

MEMO

インテリジェントハイビームを作動させると、時速25km以上でハイビームが自動的に点灯します。時速15km以下になるとロービームに切り替わります。

●作動を中断する

システム作動中でも、任意にロービームに切り替えることができます。



1. スイッチレバーを手前に引きます。ロービームになります。

ハイビームに戻したいときは、もう一度スイッチレバーを手前に引きます。

●機能をオフにする

1. ボタンを押します。
ボタンのインジケーターが消灯します。

MEMO

スイッチをオフにしても、ヘッドランプの点灯状態はそのまま保持されます。

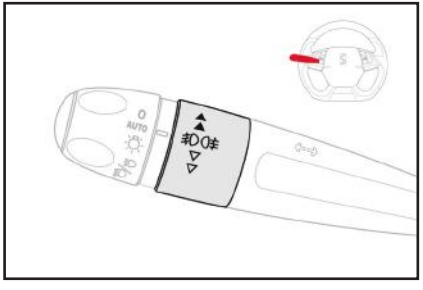
MEMO

●パッシングの操作ではインテリジェントハイビームを解除できません。
●イグニッションをオフにしても、機能の状況は保持されます。
●以下の場合は、機能が正確に作動しない場合があります。
・ 降雪、豪雨、濃霧などの悪環境のとき
・ フロントウィンドウが汚れている、曇っている、ステッカーを貼っているなど、カメラ部分が覆われているとき
・ 看板や標識などに反射した強い光が車両に当たっているとき
●カメラは以下の対象物を検知しません。
・ 歩行者のように光を発しないもの
・ 高速道路の中央分離帯などで光をさえぎられている車両
・ 急勾配な坂の頂上やふもと、曲がりくねった道、交差点などにおける周囲の車両

フォグランプ

ポジションランプまたはヘッドランプがオンのときに使用できます。

フロントおよびリアフォグランプ



リングを前方へ1回まわすとフロントフォグランプが点灯します。リングをさらに前方へ1回まわすとリアフォグランプも点灯します。

⚠警 告

リアフォグランプは晴天時や雨天時には使用しないでください。後続車に眩惑を与えます。

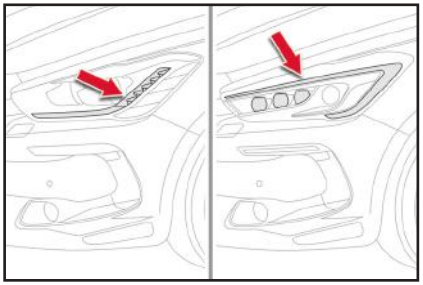
MEMO

エンジン回転中にオートライトで消灯してもフォグランプは点灯し続けます。リングを回して消灯してください。

* 仕様により異なります。

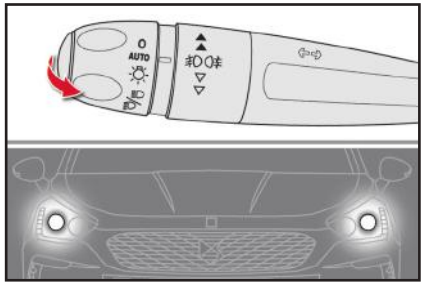
フロントライト*

DS 5には、昼間走行中に点灯するフロントライトが装備されています。



ライトスイッチのリングが**O**か**AUTO**のときにエンジンを始動すると、フロントライトが点灯します。
ポジションランプやヘッドランプを点灯したりオートライトでヘッドランプが点灯すると、フロントライトは減光し、ポジションランプとして機能します。

フォローミーホーム（駐車時照明機能）



周囲が暗いときや夜間にイグニッションキーをオフにした後しばらくの間、ヘッドランプが点灯したままになります。

オート操作

マルチファンクションディスプレイのメインメニューから**Follow-me-home I.**をオンにして、点灯時間を設定してください。
オートライトモードになっていると自動的にこの機能が作動します。

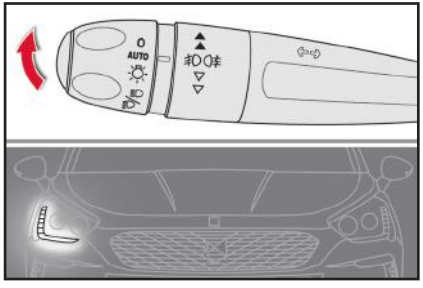
マニュアル操作

オートライトモードでないときも、作動させることができます。
イグニッションをオフにしてから1分以内に、パッシング（スイッチレバーを浅く手前に引く）してから車を降りて施錠してください。

キャンセル操作

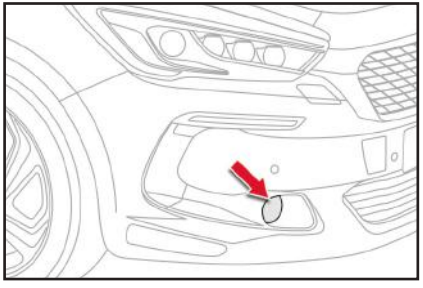
パッシング（スイッチレバーを浅く手前に引く）してから車を降りて施錠してください。

パーキングライト

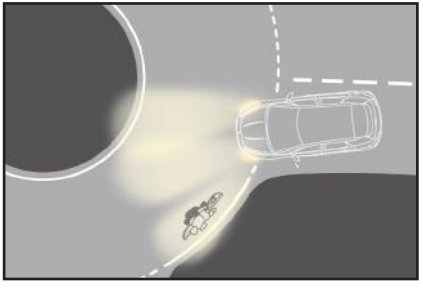


路肩に駐車する場合、ポジションランプを片側（車両通行側）のみ点灯させることができます。
イグニッションをオフにして、1分以内にライトスイッチレバーを点灯させたい方に操作します。警告音とともに表示灯(ウインカー）が点灯します。
レバーを戻す、またはイグニッションをオンにすると、ポジションランプは消灯します。

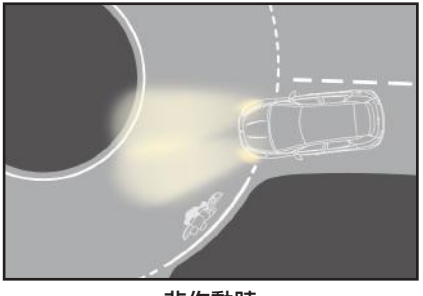
コーナリングライト



カーブの内側を照らし、交差点や駐車中の障害物を発見しやすくする機能です。
時速40km以下で走行中に作動します。



作動時



非作動時

* 仕様により異なります。

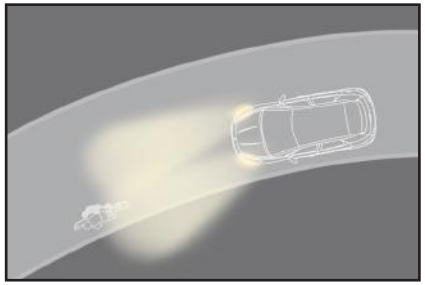
作動条件
・ 方向指示器が作動している
・ ステアリングが一定の角度以上回っている

非作動条件
・ ステアリングが一定の角度まで回っていない
・ 時速 40km を超えている
・ シフトレバーが **R** に入っている

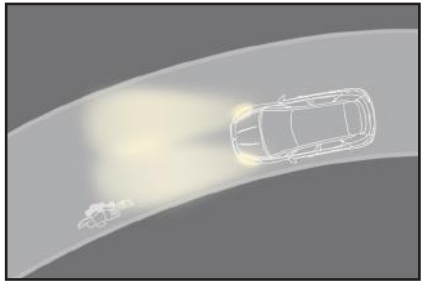
設定
マルチファンクションディスプレイのメインメニューから**Directional headlamps**のオン／オフを切り替えます。

ディレクショナルヘッドライト*

ヘッドランプ点灯時、ハンドルの切れ角にしたがって、照射方向が変わり、障害物を発見しやすくする機能です。（キセノンヘッドランプ装着車）



作動時



非作動時

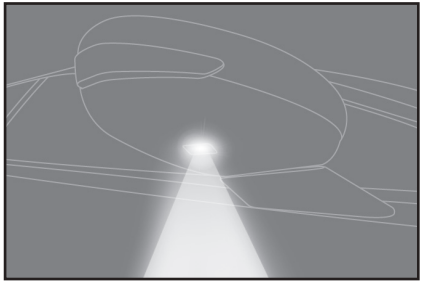
この機能のオン／オフを切り替えるときは、マルチファンクションディスプレイのメインメニューから**Directional headlamps**を選んで設定します。

故障時には、インストルメントパネルの表示灯が点滅し、警告音とともにメッセージが表示されます。
当社指定サービス工場で点検を受けてください。

MEMO

- ●停止中、低速走行中、または、リバースギアに入れたときはこの機能は作動しません。
- ●イグニッションスイッチをオフにしても設定は記憶されます。

エクステリアウェルカムランプ



周囲が暗いときや夜間に車外でリモコンの解錠ボタンを押すと、エクステリアサイドスポットランプが点灯して乗車をサポートします。

点灯

次のときに点灯します。

・ドアのロックを解除したとき
・イグニッションをオフにしたとき
・ドアを開けたとき
・リモコンを操作したとき

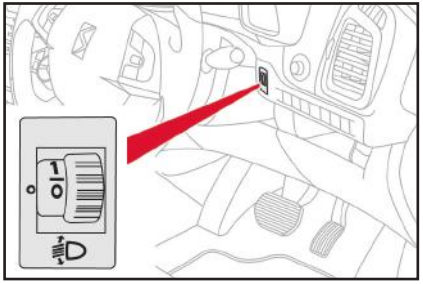
消灯

一定時間経過すると自動的に消灯します。

設定

マルチファンクションディスプレイで点灯時間の設定ができます。

ヘッドライト照射角度調整*

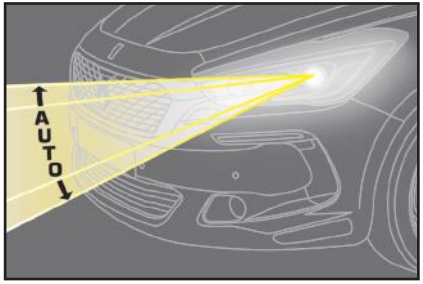


ラゲッジルームに重量物を積んでヘッドランプが上向きになったときは、対向車にまぶしくないよう照射角度を下向きにしてください。

車内から調整するときの目安：

0　前席に 1 人または 2 人乗車したとき
1　フル乗車で、車載制限いっぱいの荷物を積んだとき
2　1 人乗車で、車載制限いっぱいの荷物を積んだとき
3　フル乗車で、ラゲッジルームがいっぱいのとき

照射角度自動調整機能*



車の積載状態に応じて、ヘッドランプの照射角度を自動的に調整します。

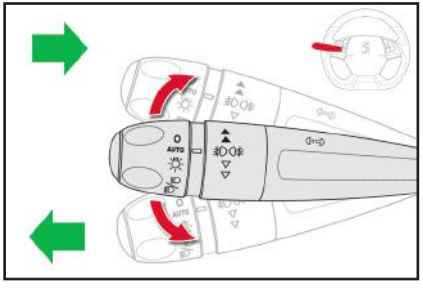
SERVICE　自動調整機能に異常が発生した場合は、インストルメントパネルのサービス警告灯が点灯するとともに、警告音とメッセージで異常の発生を知らせます。このとき、ヘッドランプは一番下向きの位置に自動調整されます。

⚠注 意

異常が発生した場合は、キセノンヘッドランプに触らず、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

* 仕様により異なります。

方向指示器

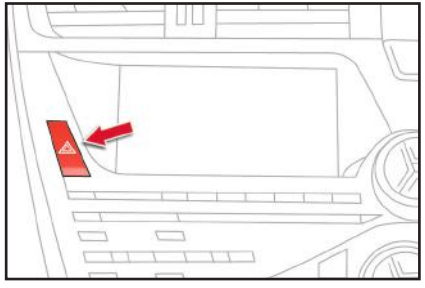


右方向に出す場合：ライトスイッチレバーを上に動かします。
左方向に出す場合：ライトスイッチレバーを下に動かします。
ハザードランプスイッチを押しているときは、方向指示器は作動しません。

MEMO

- ●車線変更などのとき、ライトスイッチレバーを 1 回軽く動かして離すと、動かした方の方向指示器が 3 回点滅します。
- ●時速 60km 以上で走行中に方向指示器を 20 秒以上作動させた場合、作動音が徐々に大きくなります。

ハザードランプ



イグニッションキーの位置に関係なくスイッチを押すと作動します。
他車に緊急停車中であることを示します。

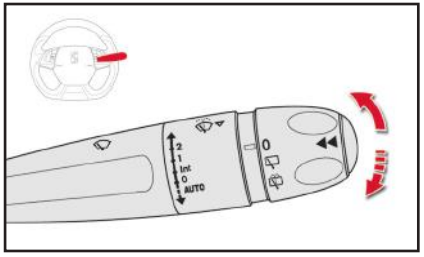
緊急制動表示灯
急ブレーキをかける、ABSが作動する、または衝突が起こると、減速度によってハザードランプが自動的に点滅を始めます。
車が加速を始めると自動的に解除されますが、スイッチを押して解除することもできます。

MEMO

渋滞の最後尾についたときは、手動でハザードランプを点滅させて、他の運転者に警告してください。

ワイパー／ウォッシャー

フロントワイパー



ワイパーレバーは5段階で作動します。

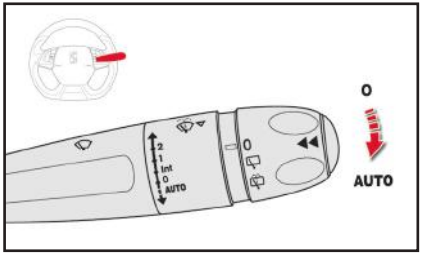
2	高速作動
1	通常作動
Int	間欠作動
0	停止
AUTO↓	自動作動

間欠作動は、車速に応じて休止時間が変化します。

オートワイパー

ワイパーをAUTOモードにしておくと、降る雨の量に応じて自動的にワイパーが作動します。

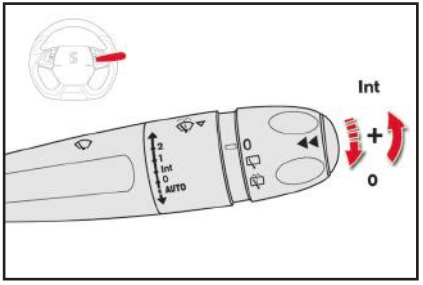
作動



レバーを押し下げるとAUTOモードが作動します。

AUTO インストルメントパネルの表示灯が点灯し、メッセージが表示されます。

解除



レバーをもう一度押し下げるか、もしくは0以外のポジションに動かします。

AUTO インストルメントパネルの表示灯が消灯し、メッセージが表示されます。

MEMO

イグニッションを1分以上オフにすると、AUTOモードは解除されます。AUTOモードを使用する場合は再度レバーを押し下げてください。

* 仕様により異なります。

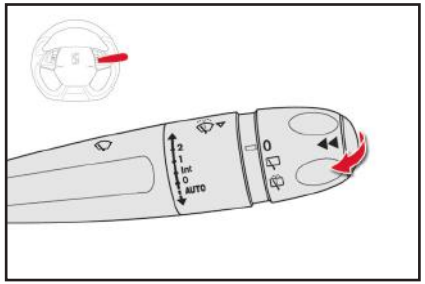
⚠注 意

洗車する際は、オートワイパー機能を解除してください。水滴によってオートワイパーが突然作動して、ケガをしたり、車を損傷するおそれがあります。

注 意

- バックミラーの裏側にある雨滴センサーを覆わないでください。
- フロントウィンドウが凍結しているときは、氷等が完全に溶けるまでオートワイパーの使用を控えてください。

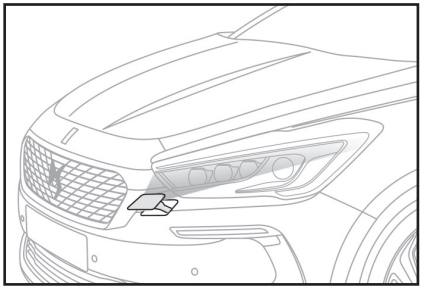
ウィンドウウォッシャー



レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射され、ワイパーが数秒間作動します。

レバーを浅く手前に引くと、ウォッシャー液は噴射されずにワイパーが1回だけ作動します。

ヘッドライトウォッシャー*



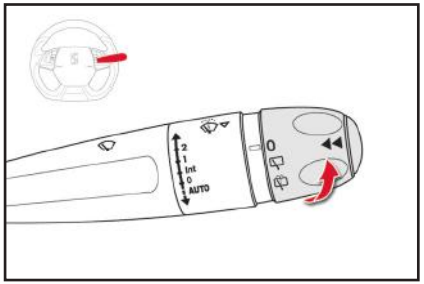
ロービーム点灯時にワイパーレバーを手前に引くと、ウィンドウウォッシャーとともにヘッドライトウォッシャーが作動します。

レベルゲージを使用して、エンジンルームのウォッシャー液タンクの量を点検してください。ウォッシャー液の量が少ない場合は、停車しエンジンを止めてから補充してください。

MEMO

寒冷時には、定期的に点検することをおすすめします。

リアワイパー



リングBを回すとリアワイパーが作動します。

0 停止

間欠作動

ウォッシャー作動

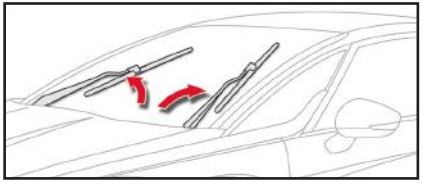
シフトレバー連動機能

フロントワイパーの作動中にシフトレバーをRに入れると、リアワイパーが作動します。
シフトレバーをRから変更すると、リアワイパーは停止します。
この機能のオン／オフを切り替えるときはマルチファンクションディスプレイのメニューから設定します。

MEMO

リアウィンドウに雪が積もっているときやテールゲートにキャリアを取り付けているときは、この機能をオフにすることをおすすめします。

ワイパーブレードの交換



ワイパーブレードの交換は、ワイパーをメンテナンスポジションにしてから行います。

1. イグニッションをオフにしてから１分以内にワイパーレバーを操作するとワイパーが中央に停止します。（メンテナンスポジション）
2. ワイパーブレードを交換するときはこの位置にしてください。
3. イグニッションをオンにしてワイパーレバーを操作すると、ワイパーは元の位置に戻ります。

⚠警 告

傷んだり汚れたワイパーブレードは視界を妨げ、安全性を損ない思わぬ事故につながるおそれがあります。すべてのウィンドウで良好な視界が確保された状態で走行してください。

MEMO

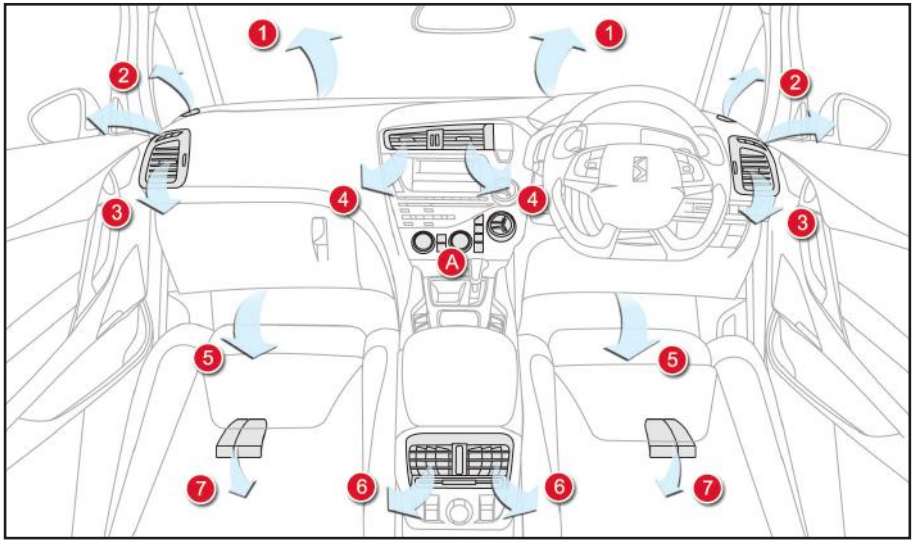
ワイパーブレードを長持ちさせるには、次のことに気をつけてください。

- ・丁寧に取り扱ってください。
- ・せっけん水で定期的に洗ってください。
- ・紙や異物を挟まないでください。
- ・ワイパーゴムが摩耗しているときは早めに交換してください。

第5章　室内装置の使いかた

エアコンディショナー ····· 5-2
マルチファンクションディスプレイ ····· 5-8
ドライブコンピューター ····· 5-14
ルームランプ ····· 5-16
インテリア ····· 5-18
ラゲッジルーム ····· 5-22

エアコンディショナー



A: 空調コントロールパネル
①：フロントウィンドウ吹き出し口
②：サイドウィンドウ吹き出し口
③：ダッシュボード左右吹き出し口
④：ダッシュボード中央吹き出し口
⑤：前席足下吹き出し口
⑥：後席用吹き出し口
⑦：後席足下吹き出し口

ダッシュボード中央、両側、および後席の吹き出し口には、ルーバーやシャッターが付いています。これを使用すると、風向や風量の調整、他の吹き出し口へより多くの風を送るなどができます。

⚠警 告

エアコンを停止させると、空気の循環が全く行なわれません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

⚠注 意

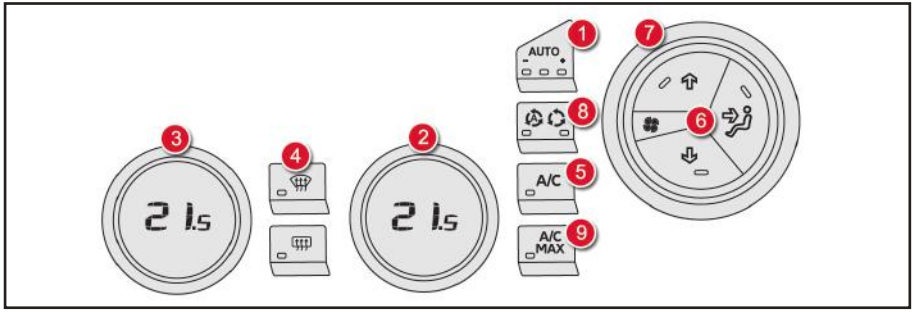
ストップ&スタートによってエンジンが停止しているときは、暖房や冷房も止まります。必要に応じてストップ&スタートを解除してください。

5

MEMO

●室内の空気の入れ替えが十分に行えるように、装置を適切にコントロールしてください。
・室内が設定温度と差があっても、設定温度は変更する必要はありません。自動制御により、できるだけ早く温度差を解消します。
・負荷の多いトレーラーを引くときや、外気温度が高温のとき、エンジンの負荷を軽減するために一時的にエアコンを停止することをお勧めします。
●冬期のエアコンから吹き出す風量は、エンジンが温まる前の冷たいときは少なく、温度が上昇するのに合わせて多くなります。
●空気の流れをスムーズにするために、次のことに注意してください。
・ボンネット内の外気取り入れ口がふさがれてないか。
・前席下のエアダクトや吹き出し口がふさがれてないか。
・ラゲッジルーム内の空気排出口がふさがれてないか。
●ダッシュボードには日射センサーがあります。この上に物を置いたり、布を被せるなどしないでください。エアコンが正しく作動しない場合があります。
●エアコンを長期間、快適に使用するためにも、1ヵ月に1度は5分から10分間の使用を推奨しています。
●長時間、高温の場所に停車すると、室内の温度は非常に高くなります。
吹き出し風量を最大にして数分間、換気を行ってください。
●室内フィルターは定期的に交換してください。2層構造の室内フィルターは、アレルギー物質や悪臭、油汚れの除去に効果を発揮し、室内の空気をよりきれいにします。
●当社のエアコンシステムにはオゾン層破壊の原因となる有害フロンを使用していません。
●エアコンを正しくお使いいただくため、定期的に点検することを推奨しています。
●湿度が高いときなど、エアコンを使用していると車体の下から無色の水が流れ出ることがあります。これは空気中の水分が凝結したもので、異常ではありません。
●エアコンを使用していても冷気が出ないときは、使用を中止して当社指定サービス工場にご連絡ください。

左右独立式オートエアコン



運転席と助手席とで、別々に温度の設定ができます。
オートモードでは、ディスプレイに表示されているそれぞれの数値になるまで、エアコンのオン／オフ、内気／外気の切換えや風量、吹き出し口が選択されます。

5

⚠注 意

寒冷時や雨天時には、ウィンドウの曇りを防ぐためにオートモードを選択してください。

MEMO

●オートモードでは、エアコンが適切に制御できるよう、各吹き出し口を開いた状態にしてください。
●ウィンドウが開いていると設定した温度を保てないことがあります。

オートモード

①：オート設定ボタン

ディスプレイの表示数値を保つよう、自動的にエアコンのオン／オフ、内気／外気の切り替えや風量、吹き出し口が選択されます。

ボタンを押して3つのモードから選択できます。モードによって、インジケーターの点灯状況が以下のように変化します。
弱 = ●
中 = ●●
強 = ●●●

MEMO

後席の温度を快適に保つには、風量を中または強にしてください。

②・③：温度設定ツマミ

ツマミ②：運転席側
ツマミ③：助手席側

ディスプレイの表示を希望の数値に合わせます。ツマミを右に回すと温度が上がり、左に回すと温度が下がります。
この値は室内温度ではなく、快適さのレベルを表しています。
21に設定しておくと、快適な室内となりますが、お好みにより**14**～**28**の間を設定してください。

MEMO

左右の温度設定の差が**3**以上にならないように設定してください。

④：視界確保モードボタン

天候や乗車状況によっては、オートモードを選択していてもウィンドウガラスが曇ることがあります。このようなときにボタンを押すとインジケーターが点灯し、システムは自動的に曇りを取り除くようにエアコンのオン／オフ、内気／外気の切換えや風量、吹き出し口を選択してコントロールします。

このモードを解除するときは再度ボタンを押すか、オート設定ボタン①を押します。インジケーターが消灯し、オート設定ボタン①のインジケーターが点灯します。

⚠警 告

すべてのウィンドウの視界が保たれないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

MEMO

このモードを使用しているときは、ストップ&スタートの停止モードは使用できません。

マニュアルモード

オートモードで設定された条件は個々に変更できます。
変更した条件を元に戻すときは、オート設定ボタン①を押すとオートモードになります。

MEMO

温度を最高に設定したいときは、ディスプレイに**HI**が表示されるまでツマミを右に回し、最低に設定したいときは、**LO**が表示されるまでツマミを左に回します。

⑤：エアコンオン／オフボタン

このボタンを押すとエアコンは停止します。エアコンを作動させるには、再度ボタンを押します。インジケーターが点灯してエアコンが作動します。

⚠注 意

エアコンを停止させると、空気の循環が全く行われません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

⑥：室内送風切換えボタン

1つまたは複数のボタンを組み合わせて、お好みの吹き出し口を選択します。

・上段 = フロントウィンドウ、サイドウィンドウ
・中段 = ダッシュボード中央・左右吹き出し口
・下段 = 足下

⑦：風量調整ツマミ

ツマミを右（時計方向）に回すと風量が増加し、左（反時計方向）に回すと減少します。
リング部のインジケーターが操作に合わせて点灯します。

MEMO

風量調整ツマミ⑦を左（反時計方向）に回してインジケーターが消灯するとエアコンが停止します。室温の調整は行われませんが走行により微量の風が吹き出し口から出ます。
再度エアコンの操作を行うと、エアコンが作動します。

⑧：内／外気切換えボタン

外気が車内に入るのを防ぎます。外のいやな臭いの遮断や急速に冷暖房するときに使用します。

ボタン⑧を押すたびに内気モード／外気モード／オートモードが切換わります。
内気モードでの長時間の使用は避けてください。換気が行われず、ウィンドウが曇ることがあります。

・オートモード

車内に入る外気の汚れをセンサーが感知すると、自動的に内気モードに切換わります。
オートモードに切換わると左側のインジケーターが点灯します。

・内気モード

内気モードに切換わると右側のインジケーターが点灯します。

・外気モード

内気モードのときに、ボタン⑧をもう一度押すと、外気モードに切換わります。
外気モードに切換わると両側のインジケーターが消灯します。外気センサーは作動しません。

⚠警 告

内気循環モードは、必要以外は使用しないでください。ウィンドウが曇るだけでなく、車内の空気が新鮮でなくなり、運転者の集中力が低下したり疲れやすくなるため、事故やケガにつながるおそれがあります。

MEMO

- ●オートモードのときにウィンドウウォッシャーを使用すると、自動的に内気モードに切り替わります。
- ●オートモードで外気温が 5℃を下回る場合は、内気モードには切り替わらず、ウィンドウが曇るのを防ぎます。

⑨：最冷ボタン

室温を急速に冷やしたいときに使用します。
このボタンを押すとエアコンの設定温度が一番低くなり、ディスプレイに“LO”と表示されます。
元の設定温度に戻すには、再度ボタンを押します。

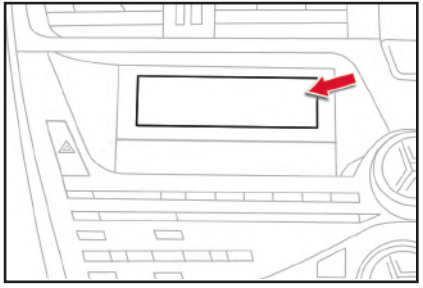
⑩：リアウィンドウデフォッガーボタン

エンジンがかかっているときにボタンを押すと、リアウィンドウやドアミラーの曇りを取ります。スイッチは自動的に切れます。
途中で止めたいときは、ボタンを押します。

⚠警 告

すべてのウィンドウの視界が保たれないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

マルチファンクションディスプレイ



マルチファンクションディスプレイはダッシュボードの上に取り付けられ、外気温や車の設定、設定状況、警告メッセージなどの表示をします。操作はラジオのコントロールボタンで行い、表示項目は次のようになります。

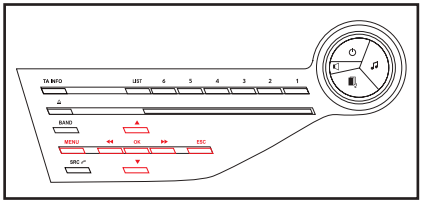
- 時間
- 日付
- 外気温度（氷結のおそれがあるときは点滅します）
- ドア、テールゲートなどの開放状況 *
- 警告／状況メッセージ *
- ドライブコンピューター *
- 車のパラメーター（設定）

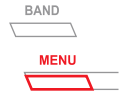
⚠警 告

外気温度が点滅 (氷結のおそれ) していなくても、路面が凍結している場合があります。この表示だけに頼らずに路面状況を確認し走行してください。

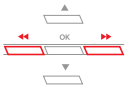
* 仕様により異なります。

●操作方法

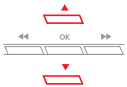




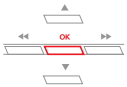
MENUボタン：
トップ画面を表示します。



左右ボタン：
このボタンを押してタブで項目を選択します。



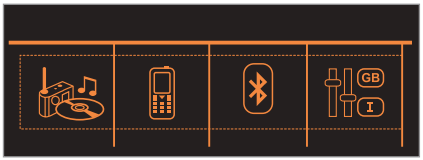
上下ボタン：
このボタンを押して項目や数値を選択します。



OKボタン：
選択した内容を確定します。

ESCボタン：
ひとつ前に戻ります。

トップ画面



MENUボタンを押すとこの画面になります。
このメニューから機能を選択します。「左右ボタン」で希望する機能を選び、「OK」を押して確定します。

・カスタマイズ（各種機能の設定）

ヘッドランプやリアワイパーの設定をします。
また、画面の明るさや時計･単位･言語を設定します。

表示メッセージ一覧（カスタマイズ）

 Personalisation-configuration	Define the vehicle parameters （車のパラメーターの設定）	Access to the vehicle リモコンでロックを解除するドアの設定ができます。	Plip action All doors＝すべてのドア Driver＝運転席ドアのみ OKを選択して確定すると変更が有効になります。
		Driving assistance 運転をサポートする機能の設定ができます。	Speeds memorised ボックスにチェックすると、クルーズコントロール／スピードリミッター使用中に登録した速度を呼び出すことができます。 ・速度は 40 ～ 180km ／ h の間で選択することができます。 OKを選択して確定すると変更が有効になります。
			Rear wipe in reverse gear ボックスにチェックすると、リバース時にリアワイパーが作動します。 OKを選択して確定すると変更が有効になります。

5

＊仕様により異なります。

表示メッセージ一覧（カスタマイズ）

<table>
<tr><td rowspan="3">
Personalisation-configuration</td><td rowspan="2">Define the vehicle parameters
（車のパラメーターの設定）</td><td>Vehicle lighting*
ディレクショナルヘッドライトの作動の設定ができます。</td><td>Directional headlamps
ボックスにチェックすると、ディレクショナルヘッドライトとコーナリングランプが作動します。
OKを選択して確定すると変更が有効になります。</td></tr>
<tr><td>Interior lighting
ライト類の作動の設定ができます。</td><td>Follow-me-home headlamps /Welcome lighting
ボックスにチェックすると、この機能がオンになります。
・点灯時間を 15 秒、30 秒、60 秒から選びます。
OKを選択して確定すると変更が有効になります。</td></tr>
<tr><td>Display configuration
（ディスプレイの設定）</td><td colspan="2">Choice of language（表示言語の設定）
希望する言語を選び、スイッチを押して確定します。
日本語の選択はできません。
OKを選択して確定すると変更が有効になります。

DEUTSCH: ドイツ語　POLSKI: ポーランド語
ENGLISH: 英語　PORTUGUES: ポルトガル語
ESPANOL: スペイン語　PORTUGUES-BRASIL: ポルトガル語（ブラジル）
FRANCAIS: フランス語　TURKCE: トルコ語
ITALIANO: イタリア語 Русскии: ロシア語
NEDERLANDS: オランダ語</td></tr>
</table>

表示メッセージ一覧（カスタマイズ）

 Personalisation-configuration	Display configuration （ディスプレイの設定）	Choice of units 単位の設定ができます。	表示の単位の設定ができます。 ・燃費表示では、100km あたりの消費量、1 ガロンあたりのマイル数、1 リッターあたりの km 数から選びます。* ・温度は摂氏と華氏を選択できます。 OKを選択して確定すると変更が有効になります。
		Date and time adjustment 日付、月、年と時計の設定ができます。	項目を選択して上下ボタンを押して数字を合わせ、OKを押して確定します。 12時間表示と24時間表示の選択ができます。 OKを押して確定すると変更が有効になります。
		Display personalisation 画面の表示に関する設定ができます。	Brightness: －を選択してOKを押すと暗く、＋を選択してOKを押すと明るくなります。 Auto. scrolling long texts: 自動でスクロールします。

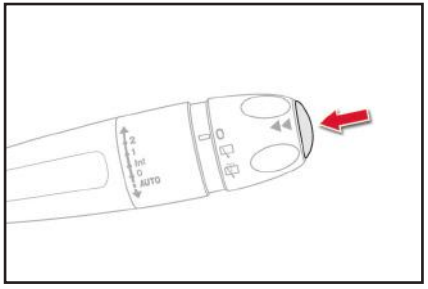
* 仕様により異なります。

ステータス一覧表

Automatic door locking activated	オートドアロック作動中
Automatic door locking deactivated	オートドアロック停止中
Automatic headlamp lighting activated	オートヘッドライト作動中
Automatic headlamp lighting deactivated	オートヘッドライト停止中
ESP system activated	ESC／ESPシステム作動中
ESP system deactivated	ESC／ESPシステム停止中
Automatic screen wipe activated	オートワイパー作動中
Automatic screen wipe deactivated	オートワイパー停止中

ドライブコンピューター

コントロールスイッチ



ドライブコンピューターは、ワイパーレバー先端のスイッチを押すことにより燃費や走行距離の情報を切り替えて表示します。

ルートの選択

ワイパーレバー先端のスイッチを押すことにより、2つのルートの情報を切り替えて表示します。
例えば、ルート1を月間の走行の平均に、ルート2を旅行用に、と使い分けます。

ドライブコンピューター表示

ドライブコンピューターは、マルチファンクションディスプレイ、またはインストルメントパネルのラージディスプレイに以下の情報を表示します。

タブ		1	2
走行可能距離	○		
瞬間燃料消費量	○		
エンジン停止時間	○		
平均速度		○	○
平均燃料消費量		○	○
走行距離		○	○

走行可能距離

タンク内に残っている燃料で、あとどのくらい走行できるかを表示します。
過去数キロに消費された燃料の情報をもとに、今後も同じ割合で燃料が消費されるものと想定して表示します。
走行可能距離が30Km以下になると、距離の表示はされません。
燃料の補給後は、数値が100Km以上になると再度表示されます。

MEMO

走行中に数値のかわりに−が連続して表示されるときは、当社指定サービス工場へご連絡ください。

瞬間燃料消費量

過去数秒間の燃料消費量を表示します。
ただし、車の速度が時速30Km以上の時のみ作動し、表示します。

エンジン停止時間

ECO

ストップ&スタートによってエンジンが停止した時間を表示します。
イグニッションをオンにするたびにゼロにリセットされます。

平均速度

コンピューターをリセットしてから現在までの平均速度を表示します。
ただし、イグニッションスイッチをオン にしている状態の時間をもとに計算します。

平均燃料消費量

コンピューターをリセットしてから現在までの平均燃料消費量を表示します。

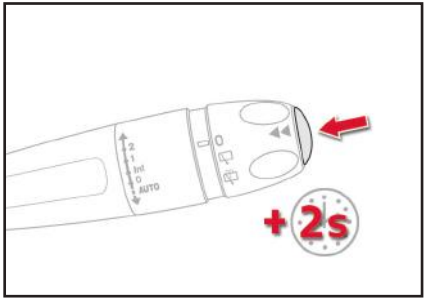
MEMO

ご購入いただいてから最初の5,000kmは、カタログ等の数値より燃料消費量が大きくなることがあります。

走行距離

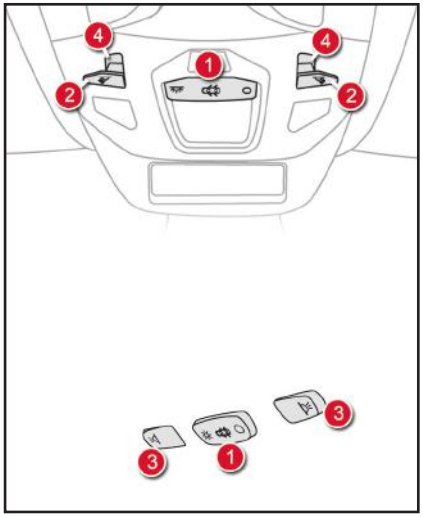
コンピューターをリセットしてから現在までの走行距離を表示します。

リセット



コンピューターをリセットするときは、ワイパーレバー先端のスイッチを2秒以上押し続けます。リセットはルートごとに行うことができます。リセット後しばらくはデータ不足のために正確な値が表示されないことがあります。
数字の代わりに水平なセグメントだけが表示されるときは、当社指定サービス工場にご連絡ください。

ルームランプ



①: フロント／リアルームランプ
②: フロントマップランプ
③: リアマップランプ
④: アンビエンスイルミネーション LED ランプ

フロントルームランプ
リアルームランプ*

フロント／リアルームランプは、スイッチ①の位置を切り換えると点灯条件が変更できます。

次の状況でフロント／リアルームランプは点灯します。

- ドアのロックを解除したとき
- イグニッションをオフにしたとき
- ドアを開けたとき

また、次の状況では徐々に暗くなって消灯します。

- ドアをロックしたとき
- イグニッションをオンにしたとき
- イグニッションがオフで、最後のドアが閉まって 30 秒後

消灯したままになります。

点灯したままになります。

点灯時間は、次の状況で変わります。

- イグニッションをオフにして約 10 分間
- エコノミーモードで約 30 秒間
- エンジンを始動すると無制限

MEMO

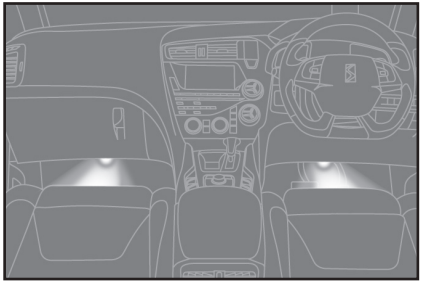
フロントルームランプスイッチが「常時点灯」の位置にあるときは、リアルームランプスイッチが「消灯」以外の位置にある場合、リアルームランプも連動して点灯します。

フロント／リアマップランプ

イグニッションがオンのときにスイッチ②③を押すと点灯／消灯します。

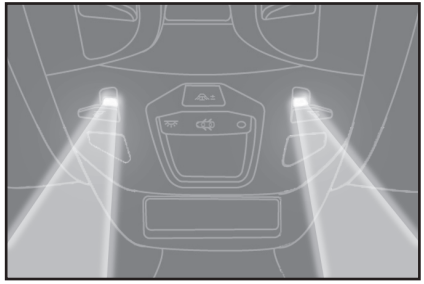
* 仕様により異なります。

足元照明



ドアが開くと、フロント／リアルームランプとともに点灯し、足元を照らします。

アンビエンスイルミネーション*



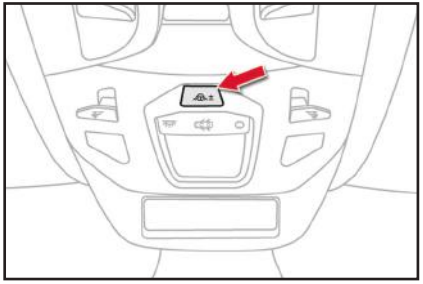
点灯

周囲が暗いときや夜間にポジションランプを点灯すると、照明が自動的に点灯します。

消灯

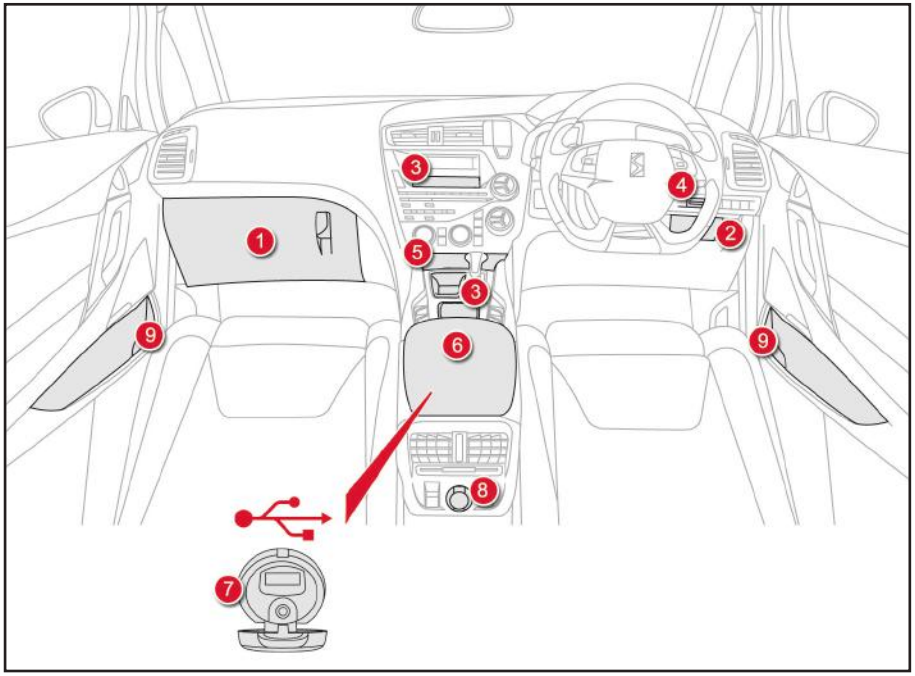
ポジションランプを消灯すると、照明が自動的に消灯します。

照度調整



アンビエンスイルミネーションの明るさは7段階で調整できます。
ボタンを押す毎に明るさが増していき、最も明るいレベル7で1回ボタンを押すと、レベル0になります。また、ボタンを長押しすると現在の明るさに関係なくレベル7になります。

インテリア



各部の名称

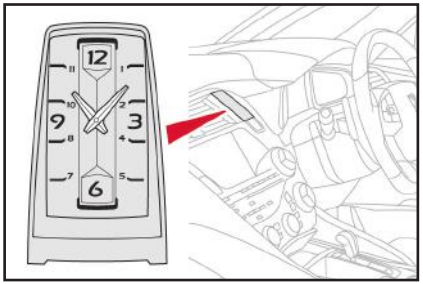
①：**グローブボックス**
②：**運転席小物入れ**
③：**小物入れ***
④：**チケット／カードホルダー***
⑤：**灰皿／シガーライター***
ふたを押すと開きます。
取りはずすときは、灰皿を持ち上げながら引き出します。
⑥：**フロントアームレスト／センターコンソール**
センターコンソールには照明およびクーラー機能が付いています。
⑦：**USB ボックス／ AUX ソケット**
⑧：**12V 電源ソケット**
(最大使用電力 : 120W)
⑨：**カップホルダー**

注 意

12V電源ソケットを使用するときは、最大使用電力を守ってください。規定容量を超える電気製品を使用すると、車両ヒューズが切れることがあります。

* 仕様により異なります。

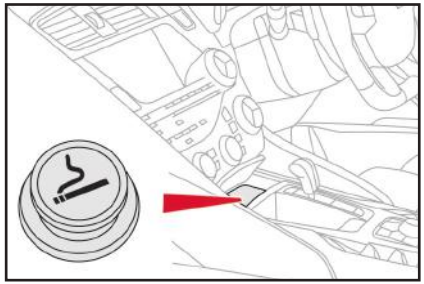
アナログ時計



アナログ時計はマルチファンクションディスプレイと連動しています。

マルチファンクションディスプレイの**Date and time adjustment**で設定した時刻に自動的に同期しますので、個別の調整は不要です。

シガーライター*

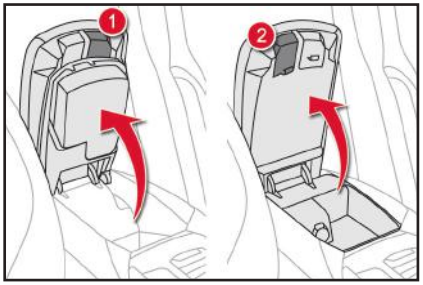


シガーライターは、押してから数秒間経つと自動的に飛び出します。
シガーライターをはずすと、12V電源ソケットとしても使用できます。
使用後は必ずシガーライターを戻しておいてください。

注 意

12V電源ソケットを使用するときは、最大使用電力を守ってください。規定容量を超える電気製品を使用すると、車両ヒューズが切れることがあります。

フロントアームレスト／センターコンソール

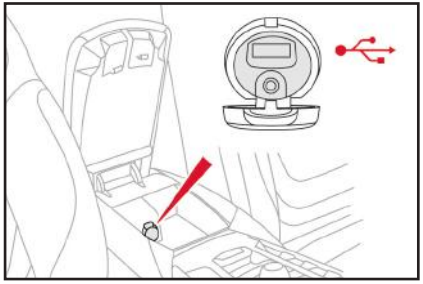


上段の小さな収納ポケットを使用するには、ボタン②を押してフロントアームレストのカバーを引き上げます。
下段の大きな収納ボックスを使用するには、ボタン①を押してカバーと収納ポケットを同時に引き上げます。
ここには冷風が送られるので、飲み物を冷やすことができます。

注 意

冷蔵庫の機能はありませんので、食品の保存には使用しないでください。

USBボックス

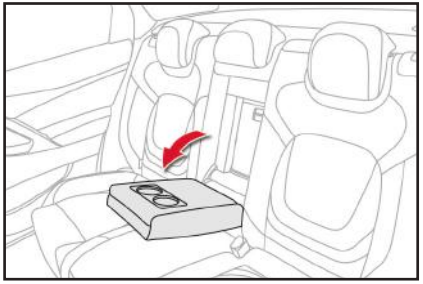


センターコンソールの中にあるUSBポートにさまざまなデバイスをつなげ、保存された音楽を車両スピーカーで楽しむことができます(ファイル形式により再生できないものもあります)。
ステアリングホイールスイッチおよびオーディオシステムのコントローラーで再生操作が行え、情報はインストルメントパネルに表示されます。
USBポートを使用すると、接続したデバイスが自動的に検出されます。

MEMO

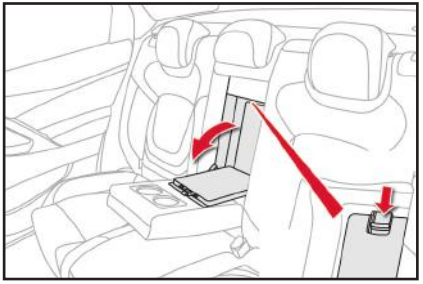
この機能の詳細は、付録「オーディオ」の「USBボックス」を参照してください。

リアアームレスト



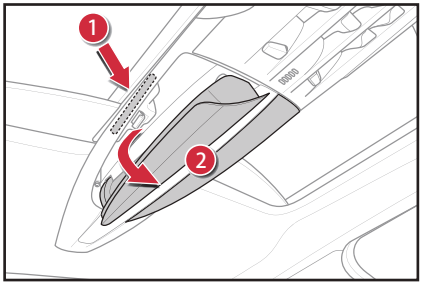
アームレストを手前に引き下ろします。
アームレストにはカップホルダーが付いています。また、その奥にはスキーフラップがあります。

スキーフラップ



スキー板などの長い荷物を載せることができます。
1. リアアームレストを倒します。
2. ラッチを押し下げます。
3. フラップを下げます。
4. ラゲッジルーム側から荷物を入れます。

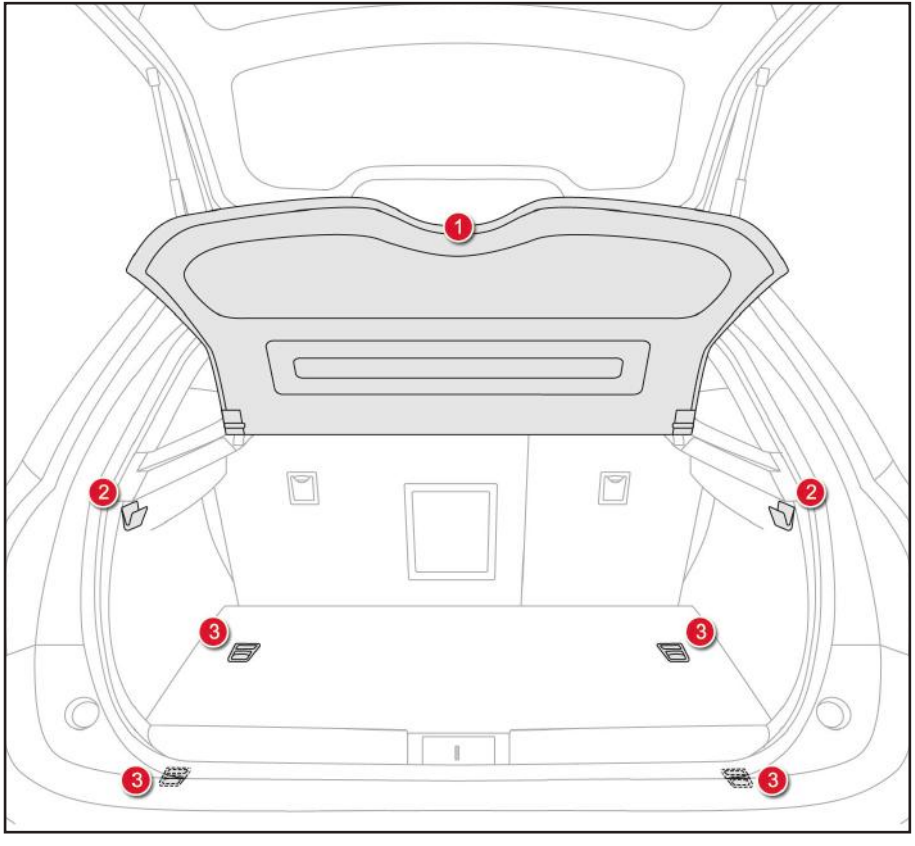
コックピットルーフ小物入れ



レバー①を押すと、ふた②が開きます。

この小物入れは、運転席側と助手席側に
ひとつずつあります。

ラゲッジルーム



各部の名称

①：**リアパーセルシェルフ**
　脱着式です。
②：**フック**
③：**固定リング**

⚠警 告

ラゲッジルームに荷物を積む際には、しっかりと荷物を固定してください。固定されていないと荷物が突然動き、走行に影響を及ぼしたり、急ブレーキや事故の際に、荷物により乗員がケガをするおそれがあります。

第6章　お手入れ・メンテナンス

外装のお手入れ…… 6-2
内装のお手入れ…… 6-3
エンジンルームの点検…… 6-4
電球の交換 …… 6-9
ヒューズの交換 …… 6-14
燃費の改善について …… 6-18
推奨交換時期 …… 6-19
推奨油脂類 …… 6-19
推奨点検時期 ……6-20

外装のお手入れ

自動車の使用される環境はさまざまで、工場地帯の酸を含んだ空気、鉄道沿線の鉄粉、沿岸部の塩分を含んだ風、積雪地帯の融雪剤などは車体に対して腐食、錆といった悪影響を与えます。
長期間にわたって車を美しく安全に使用していただくためには、こまめなお手入れをお勧めします。

●洗車機による洗浄

通常のお手入れは、洗車機による洗浄で十分です。
ただし、ボンネットの合わせ目、ドアの下などは汚れが残ることが多いので、手洗いをお勧めします。

●手による洗浄（手洗い）

まずホースでたくさん水をかけて、ほこりを落とします。
次にスポンジと適当に薄めたカーシャンプーで車体の上から下へと洗います。
最後に車体の下側をホースで水をかけてきれいにします。

注 意

- ●リアクォーターウィンドウはプラスチック製です。溶剤を使用したり、荒い布などで強くこすらないでください。
- ●高圧洗車機を使用するときは、リアクォーターウィンドウ付近に長時間当てないでください。塗装がはがれるおそれがあります。

内装のお手入れ

レザーシート
レザーは、汚したままにしておくと摩耗してもろくなります。
定期的にお手入れすることをお勧めします。
清掃は、水につけてかたくしぼった布で表面を拭き、その後やわらかい清潔な布で空ぶきします。
汚れがひどいときは、市販の皮革用洗剤を使用します。

ビニール（インストルメントパネル、ドアトリムパッド、ヘッドライニング）
やわらかい布に温かい石けん液を含ませ、よくしぼって拭きます。

シートベルト
石けん水をつけた固くしぼった布で、ベルト部分だけを拭きます。
清掃時は、金属部分に水が付かないようにしてください。
当社販売店では、シートベルトに使用できるクリーニング製品を取り扱っています。

ウィンドウガラス、ミラー
市販のガラス専用クリーナーで洗浄してください。

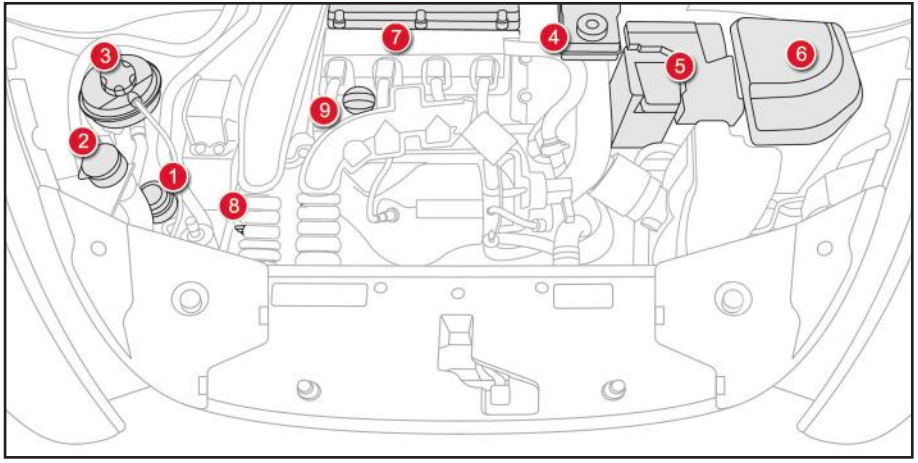
フロアマット、カーペット
車外に取りはずし、ほこりや砂を十分に落として内装用洗剤で洗ってください。

長期間使用しないとき
車を長期間使用しないときは、保管中の故障を防ぐために以下の保守を行ってください。

保管前に行うこと
・タイヤのフラットスポット（変形）を防ぐために、タイヤ空気圧を規準より 30 ～ 50% ぐらい上げてください。
・バッテリーの端子をはずしてください。
・必要に応じて、ボディーカバーをかけてください。

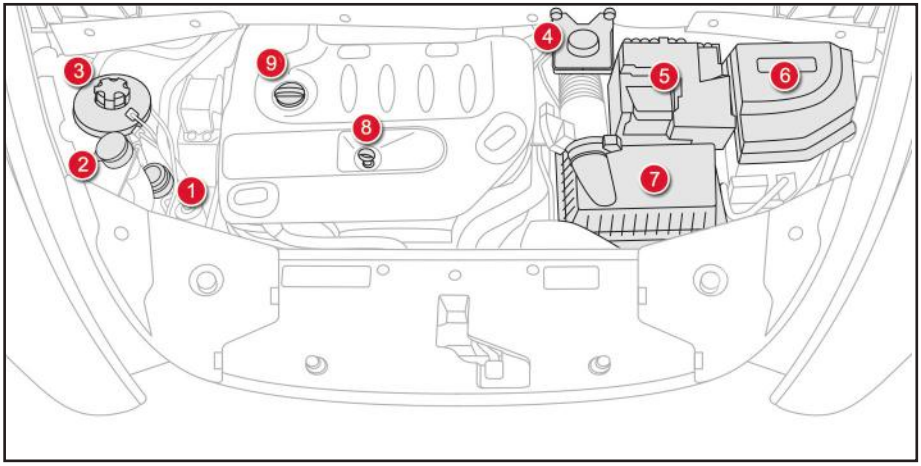
保管中に行うこと
1ヵ月に1回程度、バッテリーの端子を接続してエンジンを数分～数十分かけてバッテリーを充電してください。

エンジンルームの点検



ガソリンエンジン

①：パワーステアリングフルードタンク
②：ウィンドウウォッシャーとヘッドライト
　ウォッシャー液タンク
③：クーラント（冷却水）タンク
④：ブレーキフルードタンク
⑤：バッテリー／ヒューズ
⑥：ヒューズボックス
⑦：エアフィルター
⑧：エンジンオイルレベルゲージ
⑨：エンジンオイル注入口



ディーゼルエンジン

①：パワーステアリングフルードタンク
②：ウィンドウウォッシャーとヘッドライトウォッシャー液タンク
③：クーラント（冷却水）タンク
④：ブレーキフルードタンク
⑤：バッテリー／ヒューズ
⑥：ヒューズボックス
⑦：エアフィルター
⑧：エンジンオイルレベルゲージ
⑨：エンジンオイル注入口

⚠警 告

●エンジンルーム内の点検をする前に、エンジンが冷えていることを確かめてください。
エンジンが熱いときは、イグニッションがオフになっていてもファンが回りだして、思わぬケガをすることがあります。

⚠警 告

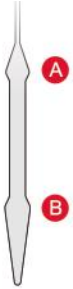
●エンジンルームから蒸気や冷却水が噴き出ている場合は、ボンネットを開けないでください。やけどやケガを負うおそれがあります。
●作業手順が分らない場合や、必要な工具が不足していたり工具の使用方法がわからない場合は、作業を行わないでください。
●エンジンが停止しているのを確認し、キーを車外に出してください。また、シフトレバーを**P**に入れ、パーキングブレーキをかけてください。
●熱くなっているエンジンの部品には触れないでください。また、熱くなっているエンジンやエキゾーストシステムの上に、オイル等の液体をこぼさないでください。やけどや火災のおそれがあります。
●ディーゼルエンジンは高圧の燃料噴射装置を採用しています。点検や整備は当社指定サービス工場にお申し付けください。

⚠注 意

エンジンルームのカバー類を取りはずすときは、止めているクリップを損傷しないように注意してください。また、取り付けるときにも注意して取り付けてください。
カバーがしっかりと取り付けられていないと、走行中にはずれて可動部に巻き込まれるなどして、故障や事故の原因になることがあります。

●エンジンオイルの点検

1. 車を水平な場所に停めます。
2. エンジンを停止して 30 分以上経過してからオイルレベルゲージを抜き取り、布でオイルを拭き取ります。
3. 元の穴にいっぱいに差し込み、再び静かに抜いてゲージに付いたオイルで油量を調べます。



レベルゲージに付着したオイルの汚れ具合も点検します。
オイルはエンジンの回転によって少しずつ消費されていきます。1000kmあたりの消費量は最大で0.5リットルです。
オイルの点検はこまめに行い、必要に応じて補充してください。

A: 上限
B: 下限

オイルの消費量が急に増えたり、汚れがひどくなったときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

注 意

遠方へのお出かけ前だけでなく、日頃からエンジンオイルの点検をしてください。

●エンジンオイルの補給

補充する前に、オイルレベルゲージを抜き取っておきます。オイルレベルが上限を超えないようにしてください。補充が完了した後は、キャップの閉め忘れに注意してください。

●エンジンオイルの交換

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
ただし、市街地や山岳地の走行が多いときには、オイル交換を早めに行います。

注 意

●エンジンを正常な作動状態に保つため、エンジンオイルに添加剤を入れることは避けてください。
●オイルの交換の際は、騒音や排気ガス規制を遵守するためにも、当社純正部品のご使用をお勧めします。

オイルフィルター

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
交換するオイルフィルターは、当社の純正部品をご使用ください。

●冷却水の点検

点検は、エンジンを停止してから1時間以上経過して、冷却水が冷えていることを確認してから行ってください。冷却水が少ないときは、冷却水を補給します。冷却水の減りが著しいときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。冷却水の補給には、当社純正クーラントを使用してください。

⚠警 告

ラジエター内の圧力が低下する前にキャップをはずすと、高温の冷却水が噴出し火傷の原因になります。

MEMO

冷却水の交換は必要ありません。

●ブレーキフルードの量

ブレーキフルードの量は、タンクのMAXレベル付近にあれば適正です。定期的に量を確認してください。

●ブレーキフルードの交換

ブレーキフルードは、時間がたつと吸湿し耐熱温度が低く（ベーパーロックが起こりやすく）なりますので、定期的に交換してください。
交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

⚠警 告

ブレーキフルードが肌に直接触れるのは避けてください。腐食性が強く、健康に害を及ぼすことがあります。

注 意

ブレーキフルードは車の塗装面を傷めますので、付着した際にはすぐに水で洗い流してください。

●パワーステアリングフルードの量

当社指定サービス工場で点検と補給を受けてください。

燃料フィルター（ディーゼル車）

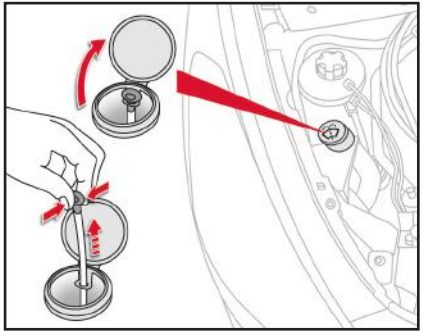
交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
交換する燃料フィルターは、当社の純正部品をご使用ください。

AdBlue® の補充（ディーゼル車）

補充頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
だたし、運転の状況により消費の度合いが変わります。また、AdBlue® 警告が表示されたら、当社指定サービス工場で補充をしてください。
AdBlue® の残量がなくなると、エンジンを始動できなくなります。

ウォッシャー、ヘッドライトウォッシャー液

以下の方法でウォッシャー液の量を確認し、タンク内のウォッシャー液が少ないときは、当社の推奨品を補給してください。



1. 車を水平な場所に停め、エンジンを停止します。
2. エンジンが完全に停止していることを確認してから、ボンネットを開きます。
3. ウォッシャータンクのキャップをはずします。
4. レベルゲージの先端をつまんで通気孔を閉じ、ウォッシャータンクから抜き取ります。
5. レベルゲージの透明な部分で液量を調べます。
6. 必要に応じてウォッシャー液を補充します。
7. タンクのキャップを閉めて、ボンネットを閉めます。

バッテリー

特に寒冷地の使用では、冬になる前に当社指定サービス工場でのチェックをご依頼ください。

エアフィルター、室内フィルター

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
市街地やほこりが多いところでの走行が多いときは、早めに交換してください。交換はお近くの当社指定サービス工場にご依頼ください。

ブレーキパッド

ブレーキパッドは運転の状況により消耗の度合いが変わります。定期的に点検を受けてください。ブレーキパッドが摩耗するとブレーキフルードのレベルも下がります。

ブレーキディスク

ブレーキディスクは消耗部品です。当社指定サービス工場で定期的に点検を受けてください。

エレクトリックパーキングブレーキ

点検の必要はありませんが、異常が発生した場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。

⚠注 意

環境汚染防止のために、使用済みのエンジンオイルやブレーキフルードなどは、絶対に地面や下水に廃棄しないでください。

注 意

- 車のパフォーマンスを最大に引き出すためには、パワーステアリングやブレーキシステム同様、当社が指定する部品を使用することが重要です。
- エンジン本体への高圧洗浄は、電子機器への影響を避けるためにも絶対におやめください。

* 仕様により異なります。

電球の交換

⚠警 告

●作業手順がわからない場合や、必要な工具が不足していたり工具の使用方法がわからない場合は、作業を行わないでください。
●電気回路を改造しないでください。

⚠注 意

電球の表面が冷えてから交換してください。消灯直後は電球の表面が高温になっているため、やけどをするおそれがあります。

注 意

●交換する電球には、油等の汚れを付けないでください。もし指紋などが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
●ヘッドランプの透明レンズはプラスチック製です。溶剤を使用したり、荒い布などで強くこすらないでください。

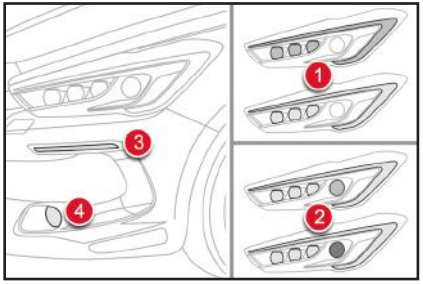
注 意

●高圧洗車機を使用するときは、ヘッドランプ付近に長時間当てないでください。塗装がはがれるおそれがあります。
●交換作業中に電気配線を切断しないように注意してください。
●ヘッドランプを交換するときは、UV カット仕様の電球を使用してください。ヘッドランプのレンズ等が損傷するおそれがあります。
●電球の交換の際は、必ず同じ規格の新しい電球を使用してください。

MEMO

●低温高湿度のときなど、ヘッドランプの透明レンズの内側が曇ることがありますが、異常ではありません。ライトが点灯すると、数分で消滅します。
●LED ランプの交換は、当社指定サービス工場にお申し付けください。

キセノンヘッドランプ*



①：フロントランプ *／ポジションランプ（LED）
②：ロー / ハイビームヘッドランプ(D1S)
③：方向指示器（LED）
④：フロントフォグランプ／コーナリングランプ（LED）

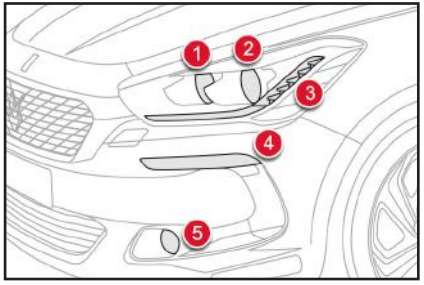
⚠警 告

キセノンヘッドランプバルブ（D1S）の交換は、当社指定サービス工場にお申し付けください。感電する可能性があり危険です。

注 意

キセノンヘッドランプバルブは、片側のみが切れた場合でも、左右両方交換することをおすすめします。

ハロゲンヘッドランプ*

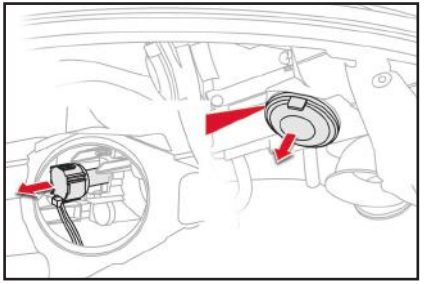


①：ハイビームヘッドランプ（H1）
②：ロービームヘッドランプ（H7）
③：フロントランプ *／ポジションランプ（LED）
④：方向指示器（HY21）
⑤：フロントフォグランプ（H11）

MEMO

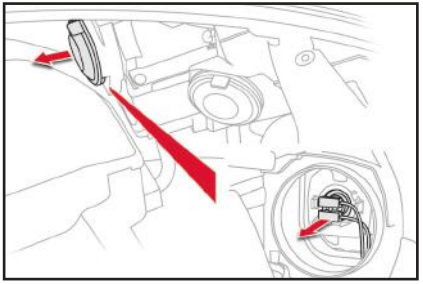
バルブの根元部に突起のある、②ロービームヘッドランプ(H7)および①ハイビームヘッドランプ(H1)は、バルブが適切な向きに固定されるように正しく取り付けてください。

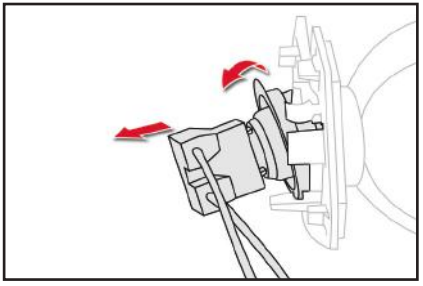
①：ハイビームヘッドランプ（H1-55W）（ハロゲンヘッドランプ装着車）



1. タブを引いて、交換する電球のカバーをはずします。
2. コネクター下部にあるツメを押しながら、コネクターをはずします。
3. 電球を交換します。

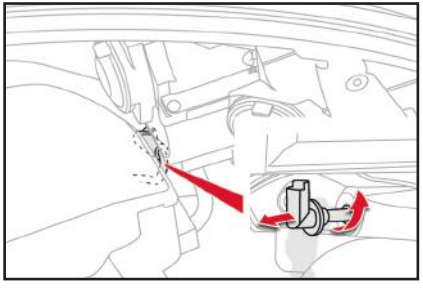
②：ロービームヘッドランプ（H7）（ハロゲンヘッドランプ装着車）





1. タブを引いて、交換する電球のカバーをはずします。
2. コネクター頂部を押して、全体を下に傾けながら引き出します。
3. コネクターを電球からはずします。
4. 電球を交換します。

④：方向指示灯用電球（HY21）（ハロゲンヘッドランプ装着車）

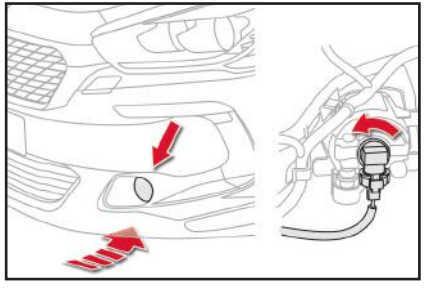


1. バルブホルダーを１／４回転させて引き抜きます。
2. 電球を引き抜きます。
3. 電球を交換します。

MEMO

- ●インストルメントパネルのウインカー表示灯の点滅が早くなったときは、点滅が早い方の方向指示灯の電球切れが考えられます。
- ●交換ができないときは、当社指定サービス工場にお申し付けください。

⑤：フロントフォグランプ（H11）（ハロゲンヘッドランプ装着車）

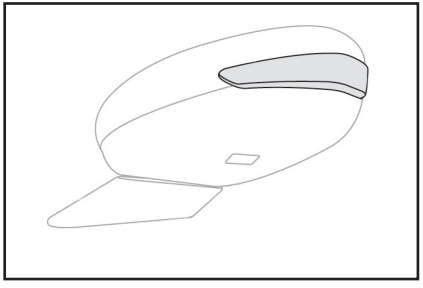


1. エンジンルーム下のデフレクター（整流板）を取りはずします。
2. コネクターをはずします。
3. 電球を１／４回転させて引き抜きます。
4. 電球を交換します。

MEMO

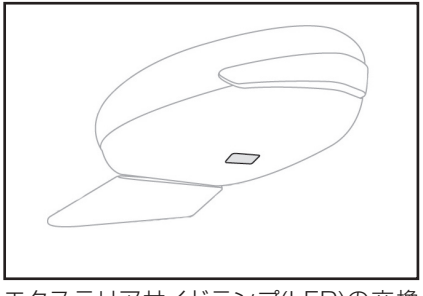
交換ができないときは、当社指定サービス工場にお申し付けください。

ドアミラーウインカー(LED)



ドアミラーウインカーの交換は、当社指定サービス工場にお申し付けください。

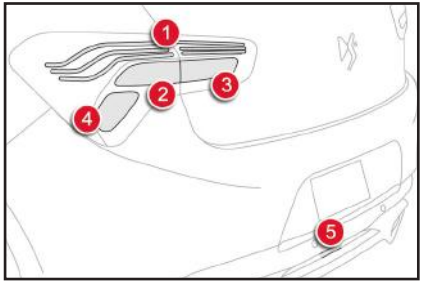
エクステリアサイドランプ(LED)



エクステリアサイドランプ(LED)の交換は、当社指定サービス工場にお申し付けください。

* 仕様により異なります。

テールランプ



①：ポジションランプ (LED)
②：方向指示灯 (PY21W アンバー)
③：リバースランプ (P21W)
④：ストップランプ (P21W)
⑤：リアフォグランプ (P21W)

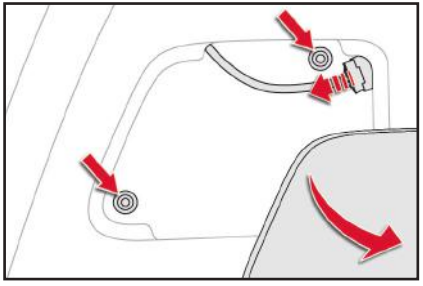
注 意

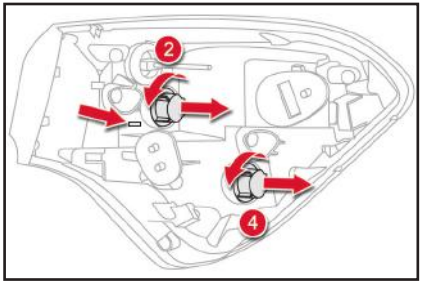
色付きバルブは、同じ規格の同じ色の電球を使用してください。

MEMO

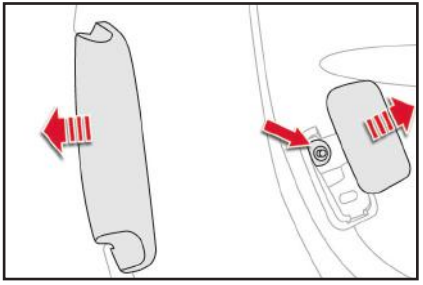
ポジションランプ (LED) の交換は、当社指定サービス工場にお申し付けください。

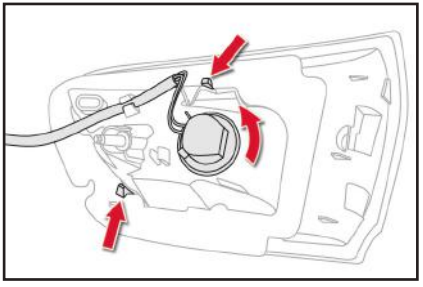
②：方向指示灯(PY21W アンバー)
④：ストップランプ(P21W)





③：リバースランプ(P21W)



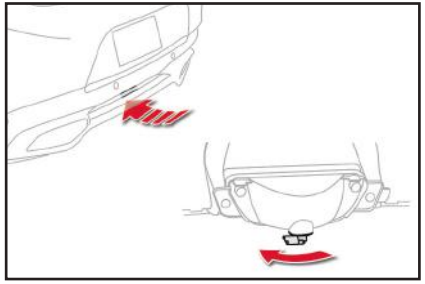


1. テールゲートを開きます。
2. 方向指示灯②／ストップランプ④：
   トリムにあるカバーをはずしてから、コネクターをはずします。
   リバースランプ③：
   ランプユニットの縁およびトリムにあるカバー２つをはずして、カバーを取りはずします。
3. ランプユニットを固定しているナットを取りはずします（方向指示灯②／ストップランプ④：２つ、リバースランプ③：１つ）。
4. 外側からランプユニットを取りはずします(このとき、固定クリップが自動的にはずれます)。
5. バルブホルダーを１／８回転させてはずし、電球を交換します。

注 意

●ランプユニットを取りはずすときは、部品を破損させないよう慎重に行ってください。
●電球を交換した後は、ランプユニットをガイドに固定して車体にしっかりはめ込んでください。

⑤：リアフォグランプ(P21W)



1. バンパーの内側からバルブホルダーを１／８回転させてはずします。
2. 電球を１／８回転させてはずして交換します。

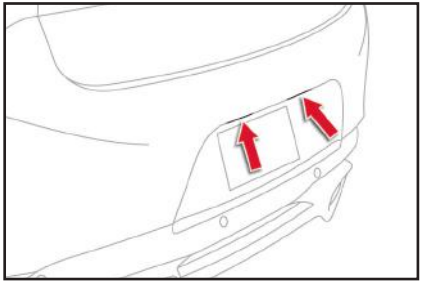
⚠注 意

エンジン停止後の排気管は高温になるため、バルブを交換するときは排気管に触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。

MEMO

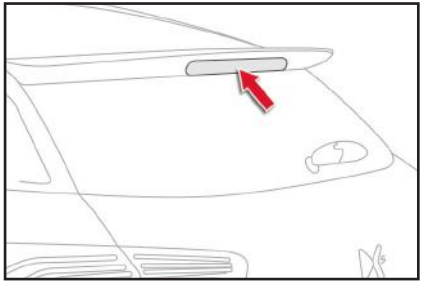
交換ができないときは、当社指定サービス工場にお申し付けください。

番号灯(W5W)



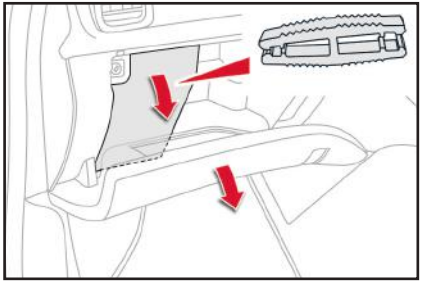
1. マイナスドライバーの先を透明なプラスチックカバーの切り欠き部に差し込みます。
2. ドライバーでこじってランプレンズを浮かせ、ランプレンズを取りはずします。
3. 交換する電球をバルブホルダーから引き抜いて電球を交換します。
4. 戻すときは、バルブホルダーを元に戻し、ランプレンズを押してはめ込みます。

ハイマウントストップランプ (LED)



ハイマウントストップランプの交換は、当社指定サービス工場にお申し付けください。

ヒューズの交換



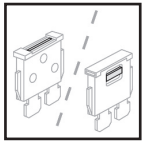
ヒューズボックスは、助手席のグローブボックス内とエンジンルームにあります。

ヒューズ交換を行うときは、エンジンを停止し、すべての電気系統が停止したことを確認してください。

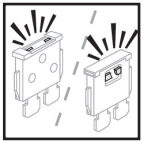
注 意

交換する前に、ヒューズが不良となった原因を見つけて処置をしておいてください。正しい処置をしておかないと、再発するおそれがあります。

ヒューズは容量によって色分けされています。必ず同じ色(容量)のヒューズと交換してください。



正常なヒューズ

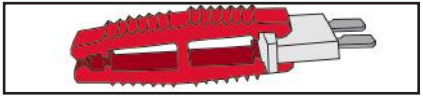


切れたヒューズ

⚠警 告

- 誤った容量のヒューズに交換した場合、不具合を引き起こし、火災の原因となります。
- 次の表に記載されていないヒューズの交換をした場合、車の重大な不具合を引き起こす原因となります。当社指定サービス工場へご連絡ください。

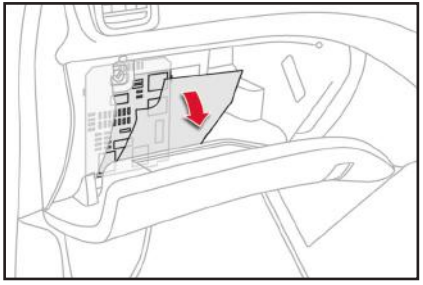
ヒューズを交換するときは、カバーに備えてある専用ピンセットを使用してください。

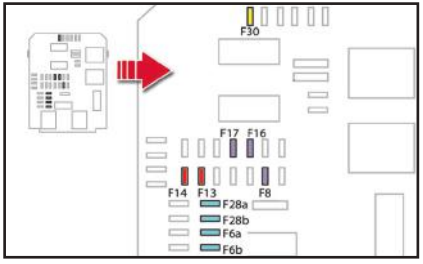


専用ピンセット

室内側ヒューズ

室内側のヒューズボックスは、助手席のグローブボックス内にあります。
ヒューズを交換するときは、グローブボックスを開き、ヒューズボックスカバーの上部左右を引いてカバーを開きます。

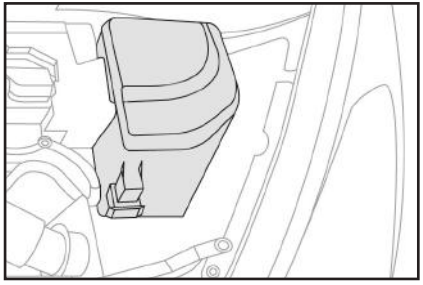


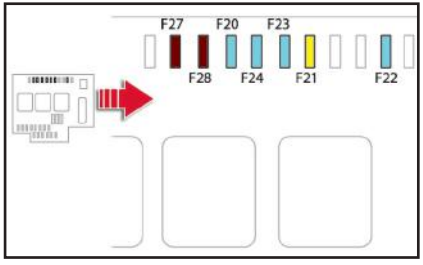


ヒューズ位置	容量	機能(仕様により装備が異なるため、ここでは全車に適合する表記をしています。)
F6A/B	15A	カーステレオ
F8	3A	アラーム
F13	10A	フロントシガーライター、フロント12Vソケット
F14	10A	リア12Vソケット
F16	3A	ルームランプ
F17	3A	リアルームランプ、サンバイザーミラー
F28A/B	15A	カーステレオ
F30	20A	リアワイパー
F32	10A	アンプ

エンジンルーム側ヒューズ

ヒューズボックスは、バッテリーの横に取り付けられています。
ヒューズを点検、交換するときは、ヒューズボックスカバーをはずします。
作業後は、カバーがきちんと掛かっていることを確認してください。





ヒューズ位置	容量	機能(仕様により装備が異なるため、ここでは全車に適合する表記をしています。)
F20	15A	ウィンドウウォッシャーポンプ(フロント、リア)
F21	20A	ヘッドランプウォッシャーポンプ
F22	15A	ホーン
F23	15A	右ハイビームヘッドランプ
F24	15A	左ハイビームヘッドランプ
F27	5A	左ランプユニット
F28	5A	右ランプユニット

⚠注 意

車の電気回路は、出荷時に装着されている装備に合わせて設計、製作されています。
推奨していないアクセサリーの取り付け、アクセサリーの不適切な取り付け、ワイヤーハーネスの加工などは、他の電装品の正常な作動を妨げたり火災の原因となることがあります。
当社では、当社が供給や推奨していない、10mA以上の電流を消費するアクセサリーの取り付けや、当社の指示に従わない装着方法によって発生した車、および機器の不具合の修理については、その費用を負担いたしません。
エンジンルーム内ヒューズボックスにある大容量ヒューズには手を触れないでください。整備が必要な場合は、必ず当社指定サービス工場に依頼してください。
アクセサリーその他の電気製品の取り付けは、当社指定サービス工場にご依頼ください。

注 意

ヒューズボックス内に水が入ると、電気系統が故障する原因になります。次のことに注意してください。
- ヒューズボックスカバーを正しく取り付けてください。
- ヒューズボックス内に水などの液体をこぼさないでください。

燃費の改善について

燃費は、車の設計だけではなく、車の状態や運転方法によって大きく影響を受けます。車を最良の状態に保ち燃費を良くするためにも、定期的に点検整備を行ってください。

エンジンコンディション
主要部品については、少なくとも年に1回は点検を受けてください。

エアフィルター
フィルターがつまるとエンジンの効率が悪化します。ほこりの多い環境や市街地での走行が多いときは、こまめに点検を受けてください。

積載物
ラゲッジルームに不用な積載物が積みっぱなしになっていると、車両重量が増加して、燃費の悪化につながります。
ルーフキャリアやスキーキャリアなどのアクセサリーは、風の抵抗を受けて燃費を悪化させます。
必要がなくなったら速やかに取りはずしてください。

タイヤ
交換するときは、現車と同一サイズで当社が推奨する銘柄、グレードのタイヤを使用してください。

運転方法
エンジン始動後に長時間の暖機運転は必要ありません。
運転時は、ゆっくり発進し、急加速や空ぶかしを避けてください。
走行中はなるべく高いギアを選択し、一定のスピードを保つようにしてください。
走行速度が上がると燃費も悪化します。
法定速度を遵守して、スムーズな運転を心がけてください。
エンジン始動後の数分間は、適正温度の状態と比較して2倍以上燃費が悪化します。
あらかじめ走行経路を考慮して、無駄な走行をなくしましょう。

推奨交換時期

車の使用頻度が高いとき、市街地や高温環境下での使用が多いときは、メンテナンス時期を早めるようにしてください。

エンジンオイル	1年または20,000kmごと
オイルフィルター	1年または20,000kmごと
オートマチックトランスミッションフルード	無交換
ブレーキフルード	2年または60,000kmごと
エアフィルターエレメント	2年または40,000kmごと
スパークプラグ	2年または40,000kmごと
室内フィルター	1年または20,000kmごと
燃料フィルター（ディーゼル車）	4年または20,000Kmごと

●エンジンオイルについて

上記の交換時期は、推奨する化学合成ベースのエンジンオイル（例：TOTAL QUARTZ INEO FIRST (0W-30)）を使用した場合です。

●AdBlue® の補充頻度について（ディーゼル車）

AdBlue® の補充は、1年または10,000Kmごとに当社指定サービス工場で行ってください。

推奨油脂類

エンジンオイル
TOTAL QUARTZ INEO FIRST (0W-30)

ブレーキフルード
DOT4（DOT4）

クーラント
当社純正クーラント

注 意

ターボエンジン車には、必ず指定されたオイルのみを使用してください。

推奨点検時期

車の使用頻度が高いとき、通常よりも厳しい状態の使い方をしたときは、メンテナンス時期を早めるようにしてください。

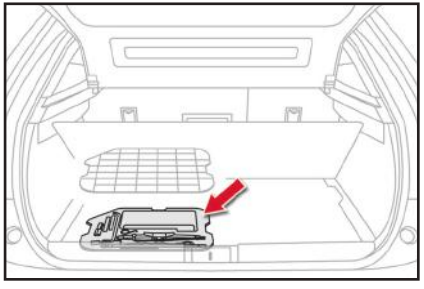
タイミングキットおよびクーラントポンプの点検	100,000Km ごと
補機ドライブベルトキットの点検	初回 3 年、次回から 2 年ごと
クーラント PH の点検	初回 3 年、次回から 2 年ごと

もしものとき

ホイール（タイヤ）の交換 ····· 7-2
パンク修理キット ····· 7-8
バッテリーが上がったとき ····· 7-14
けん引されるとき ····· 7-17
AdBlue® （尿素水）の補充(ディーゼル車) ····· 7-19
燃料切れしたとき(ディーゼル車) ····· 7-21

ホイール（タイヤ）の交換*

●工具の位置



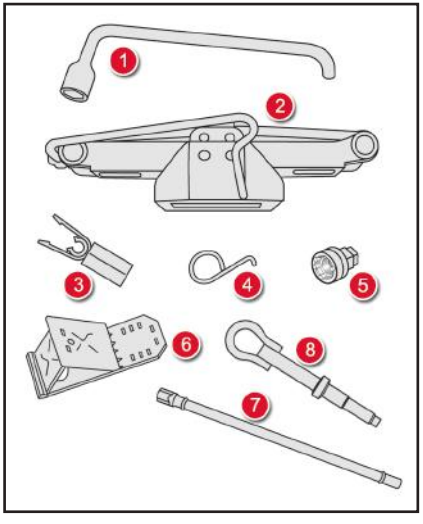
工具はラゲッジルームの中敷板の下に格納されています。

ジャッキと専用ピンセット*はスペアタイヤと一緒に格納されています。

●工具の取り出し

1. 中敷板を引き上げます。
2. 下にある収納ボックスから工具を取り出します。

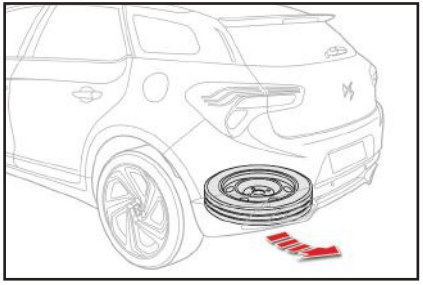
ジャッキと工具



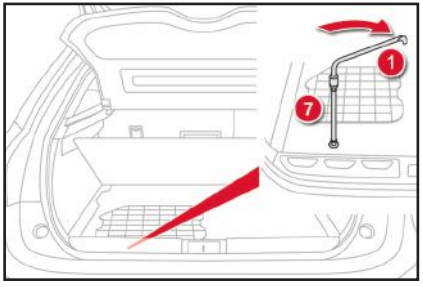
①：ホイールレンチ
②：ジャッキ
③：専用ピンセット *
④：ホイールトリムリムーバー
⑤：ホイールレンチアダプター (盗難防止ボルト用)*
⑥：輪止め *
⑦：エクステンションスパナ
⑧：けん引ボルト

* 仕様により異なります。

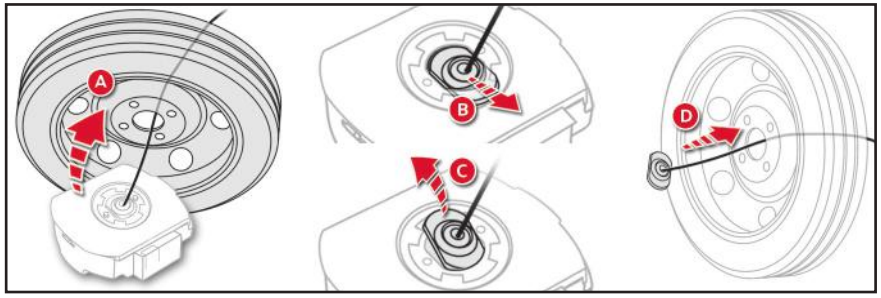
●スペアタイヤとジャッキの取り出し



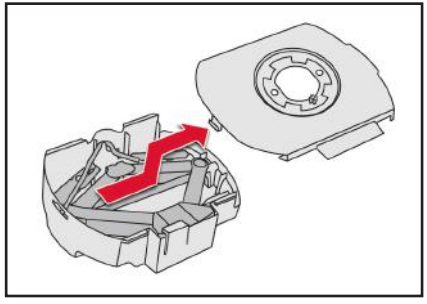
スペアタイヤとジャッキは、車両後方の床下(外側)にキャリアで固定されています。



1. ラゲッジルームの中敷板を上げます。
2. ホイールレンチ①にエクステンションスパナ⑦を組み付けてナット穴へ差し込み、ドライブナットを**時計回りに**回して、スペアタイヤを固定しているケーブルを十分にゆるめます。

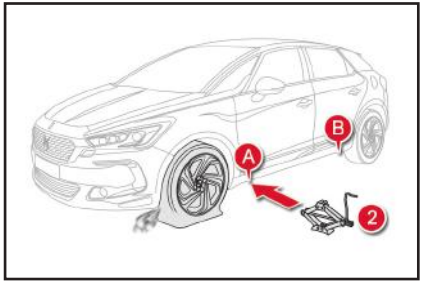


3. スペアタイヤをキャリアごと引き出し、地面に降ろします。
4. タイヤを起こして工具入れを取り出します（A）。
5. イラストのようにプレート付きフックをはずします（B）（C）（D）。



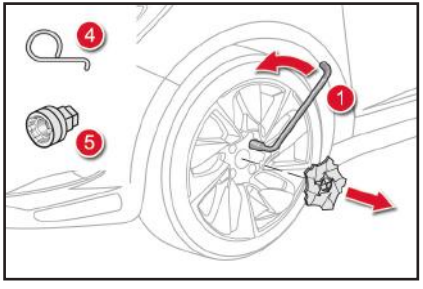
6. 工具入れのカバーをスライドさせてジャッキを取り出します。

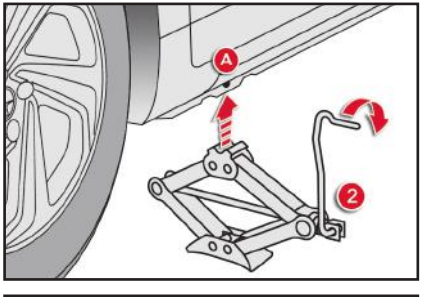
●ホイールの取りはずし

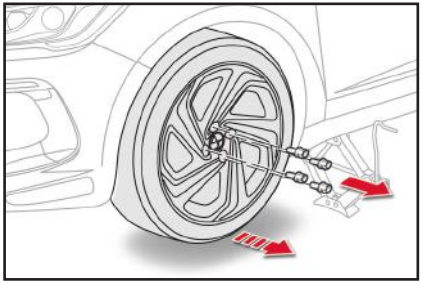


固く平坦な路面で安全な場所に車を停めます。
エレクトリックパーキングブレーキがかかっていることを確認し、シフトレバーをPの位置に入れてイグニッションをオフにします。インストルメントパネルのブレーキ警告灯が点灯していることを確認します。
取りはずすタイヤと対角位置にあるタイヤに、輪止めを当てます。
ホイールカバー装着車は、ホイールレンチ①の柄の部分を使い、タイヤバルブ付近から徐々にホイールカバーをはずしてからホイールを取りはずします。

手順







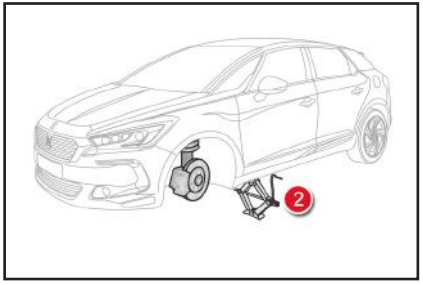
1. ホイールトリムリムーバー④を使用してセンターキャップを、または専用ピンセット③を使用してボルトカバーをはずします。*
2. ホイールレンチアダプター⑤をホイールレンチ①に取り付けて、盗難防止ボルトをゆるめます。*
3. ホイールレンチ①で他のボルトを少しゆるめます。
4. ジャッキ②を車の下側フレーム **A** 部分（リアは **B** 部分）にあてがい、軽くジャッキアップしてジャッキが **A**（もしくは **B**）に確実に収まっていることを確認します。
5. タイヤが地面から完全に離れるくらいまでジャッキアップします。
6. ボルトをはずします。なくさないように注意してください。
7. ホイールをはずします。

注 意

プラスチック仕上げ部分にはジャッキをあてがわないでください。

* 仕様により異なります。

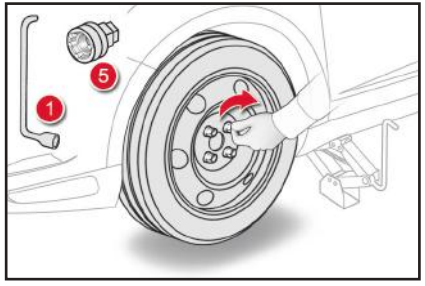
●ホイールの取り付け

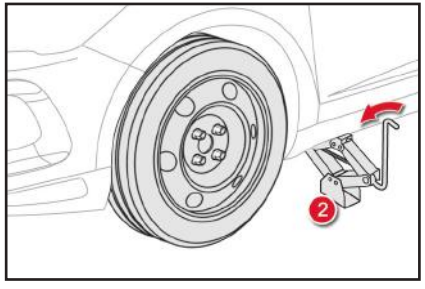


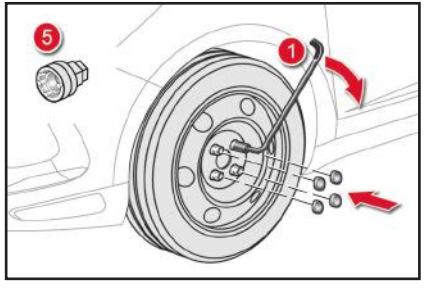
MEMO

ホイールボルトの締め付けトルクは
10daNm（約9.5kgm）です。

手順

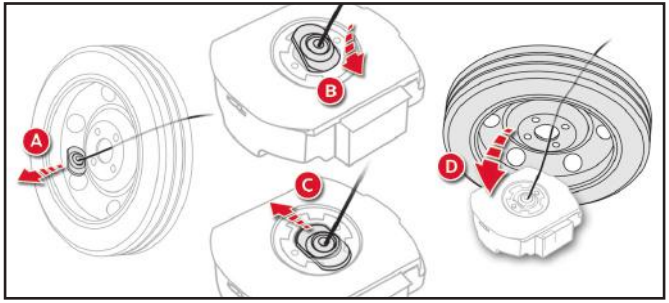


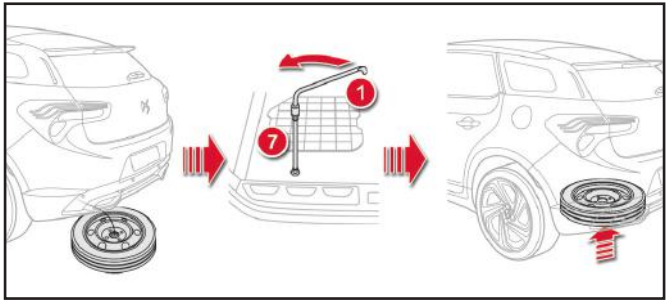




1. ホイールをハブにはめます。
2. ボルトを差し込み、手で止まるまで回します。
3. 盗難防止ボルトをホイールレンチアダプター⑤を取り付けたホイールレンチ①で軽く締めます。*
4. 他のボルトをホイールレンチ①で軽く締めます。
5. ジャッキ②を完全にゆるめ、タイヤを接地させます。
6. ホイールレンチアダプター⑤を取り付けたホイールレンチ①で盗難防止ボルトをしっかり締めます。*
7. 他のボルトをホイールレンチ①を使ってしっかり締めます。
8. はずしたセンターキャップまたはボルトカバーを取り付けます。*

●取りはずしたホイールとジャッキの格納





1. ジャッキを工具入れに格納します。
2. ホイールにプレート付きフックを通します（A）。
3. イラストのように、プレート付きフックを工具入れに取り付けます（B）（C）。
4. ホイールを工具入れの中央にかぶせます（D）。
5. ラゲッジルームの中敷板を上げます。
6. ホイールレンチ①にエクステンションスパナ⑦を組み付けてナット穴へ差し込み、ドライブナットを**反時計回り**に回して、ケーブルを巻き取ります。
7. スペアタイヤがしっかりと床下に平行に固定されていることを確認します。
   スペアタイヤが正しく固定されていない場合は、格納の作業をやり直します。

⚠警 告

キャリアはしっかりと固定してください。緩んでいると、走行中に脱落などが起きて危険です。

MEMO

スペースセーバータイヤの代わりに標準タイヤと同形のタイヤを購入した場合は、床下のスペーサーを取りはずす必要があります。当社指定サービス工場にご連絡ください。

●タイヤ交換後の処理

1. 交換したスペアタイヤの空気圧を確認してください。
2. はずしたタイヤの修理を早急に行い、スペアタイヤと交換してください。

⚠警 告

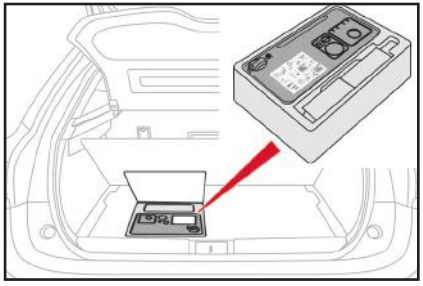
●ジャッキアップするときは、必ず輪止めを使用し、絶対に車の下に入らないでください。バランスが崩れた場合に車がジャッキからはずれ、落下するおそれがあります。
●ホイールボルトとハブのネジ部に注油したり、他のボルトを使用しないでください。走行中にネジが緩み、タイヤがはずれるおそれがあります。
●ジャッキアップするときは、乗員を全員車両から降ろしてください。
●ジャッキアップ中はエンジンを始動させないでください。エンジンの振動により、ジャッキが外れるおそれがあります。
●指定された場所以外にジャッキを装着しないでください。車両が損傷したり、ジャッキが外れるおそれがあります。
●スペースセーバータイヤを 2 本以上同時に使用しないでください。

⚠注 意

●タイヤを交換するときは、必ず同サイズ同種類のタイヤを使用してください。他のタイヤを使用すると、安全走行に悪影響を及ぼします。
●スペースセーバータイヤの空気圧は 420kPa です。定期的に点検してください。また、このタイヤ使用時の最高速度は時速 80km です。
●スペースセーバータイヤは一時的な使用に限られています。常用タイヤのパンクなどで使用したときは、早急にパンクの修理を行い交換してください。
●搭載されているジャッキやレンチ、スペアタイヤは、この車専用です。他の車に使用したり、他の車のものを使用しないでください。

パンク修理キット*

●パンク修理キットの場所

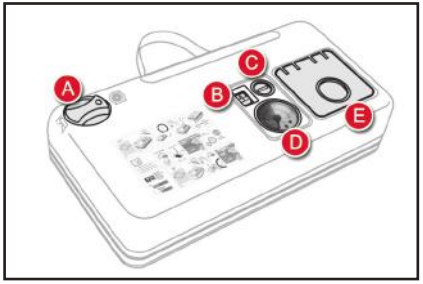


パンク修理キットは、ラゲッジルームの中敷板の下に格納されています。

MEMO

- ●パンク修理キットは当社販売店でお買い求めいただけます。
- ●タイヤのトレッド部またはショルダー部以外の損傷によるパンクは、パンク修理キットを使用して修理することができません。
- ●タイヤに刺さった釘などは抜かずにそのまま応急修理をしてください。
- ●修理キットを使用するときは、すべての手順を行ってください。

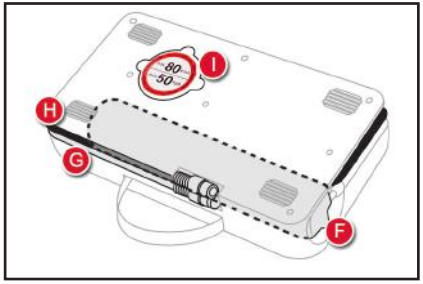
各部の名称



A.「SEALANT」／「AIR」切り替えノブ
B. オン「I」／オフ「O」スイッチ
C. 減圧ボタン
D. 空気圧計 (bars／p.s.i)
E. 収納ボックス
・ケーブル (12V 電源ソケットアダプター)
・各種コンプレッサーアタッチメント

MEMO

パンク修理キットが異なる場合は、パンク修理キットに貼り付けされているシールの手順に従って操作してください。



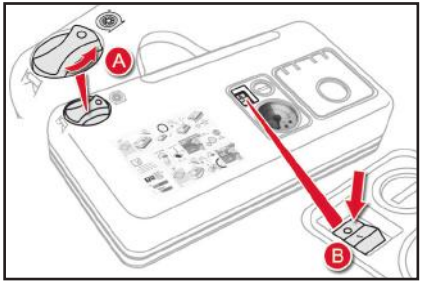
F. 修理剤カートリッジ
G. 白いホース (修理用)
H. 黒いホース (コンプレッサー用)
I. 注意ステッカー

⚠警 告

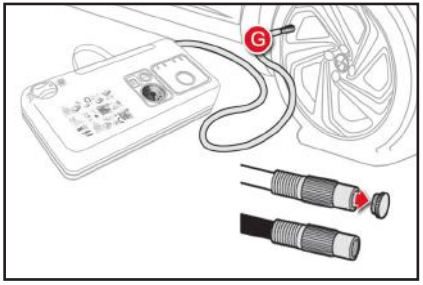
- ●パンク修理キットで修理した後は、ケースに貼付されている注意ステッカーをステアリングホイールに必ず貼り付けてください。
- ●パンク修理キットで修理したタイヤで走行するときは、**時速 80km** 以下で走行してください。

* 仕様により異なります。

●使いかた



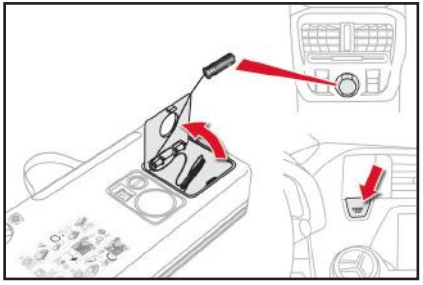
1. イグニッションをオフにします。
2. 切り替えノブ **A** を「**SEALANT**」に合わせます。
3. スイッチ **B** が **O** になっていることを確認します。



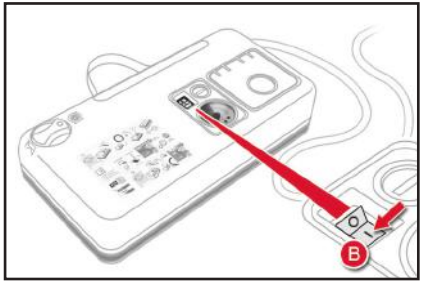
4. 白いホース **G** を引き出し、キャップをはずします。
5. 白いホース **G** を修理するタイヤのバルブに接続します。

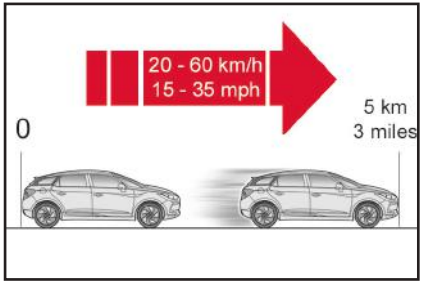
⚠警 告

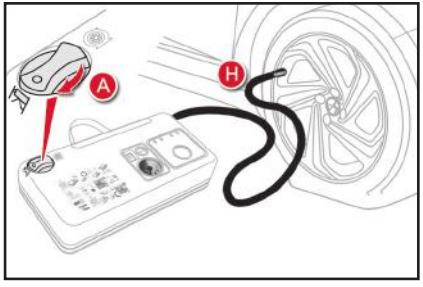
白いホースをつなぐ前に、電源を入れないでください。修理剤が吹き出すおそれがあります。



6. コンプレッサーの電源コードを 12 V電源ソケットに差し込みます。
7. ケースに貼付されている注意ステッカーをはがして、ステアリングホイールに貼り付けます。
8. エンジンを始動します。







9. スイッチ **B** を **I** にして、空気圧を **2.0bars** まで昇圧します。

10. パンク修理キットを取りはずして白いホースにキャップを戻し、直ちに走行してタイヤ内に修理剤を行き渡らせます。このとき、時速 **20** ～ **60km** で約 **5km** 走行します。
11. 空気圧を点検して空気の漏れがないことを確認します。

12. 切り替えノブ **A** を「**AIR**」に合わせます。
13. 黒いホース **H** を引き出し、修理するタイヤのバルブに接続します。

⚠警 告

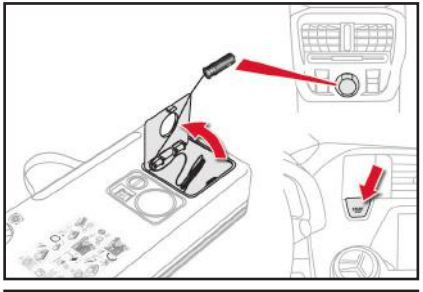
●パンク修理キットはコンプレッサーで圧力をかけて修理剤をタイヤに注入します。修理剤の注入中に白いホースをバルブから抜かないでください。ホースの口から修理剤が吹き出すおそれがあります。
●修理剤にはエチレングリコールなどが含まれています。目や口に入らないように十分注意してください。
●パンク修理キットはお子さまには使用させないでください。

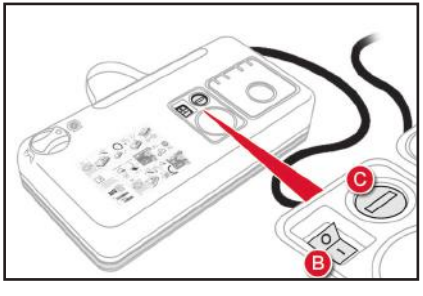
⚠注 意

5～**7**分以内に**2.0bars**まで昇圧しないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。当社指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。

MEMO

パンク修理キットを取りはずすときは、修理剤が車に付着しないように気をつけてください。付着するとシミになるおそれがあります。





14. コンプレッサーの電源コードを12Ｖ電源ソケットに差し込みます。
15. エンジンを始動します。
16. 空気圧が運転席側ドアピラー部に表示されている適正値になるように調整します。
    - 昇圧：スイッチ **B** を **I** にする。
    - 減圧：スイッチ **B** を **O** にしてボタン **C** を押す。
17. 空気の漏れがないことを確認します。
18. コンプレッサーを取りはずし、パンク修理キットを元の位置に格納します。
19. 時速 **80km** 以下で走行し、できるだけ早く当社指定サービス工場でタイヤの修理、交換を行ってください。

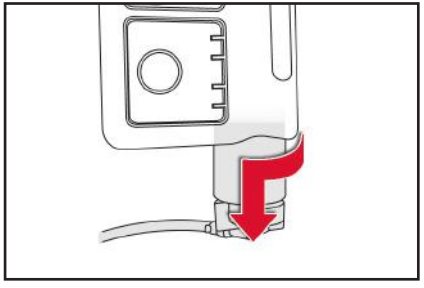
⚠警 告

パンク修理キットで修理した後は、約**200km**以上走行しないでください。できるだけ早く当社指定サービス工場でタイヤの修理、交換を行ってください。

⚠注 意

空気圧が適正値にならないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。当社指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。

●修理剤カートリッジの交換方法



カートリッジのホース出口を反時計方向に回すと外れます。

MEMO

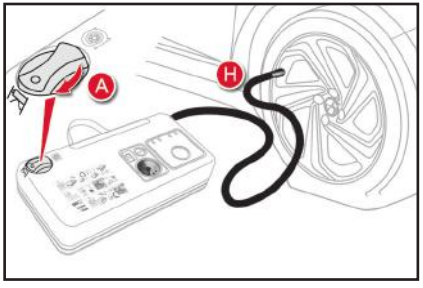
- ●修理剤は一度しか使用できません。使用後は、新品の修理剤を当社指定サービス工場でお買い求めください。
- ●使用済みの修理剤カートリッジは当社指定サービス工場までお持ちいただくか、地域条例に従って廃棄してください。

⚠注 意

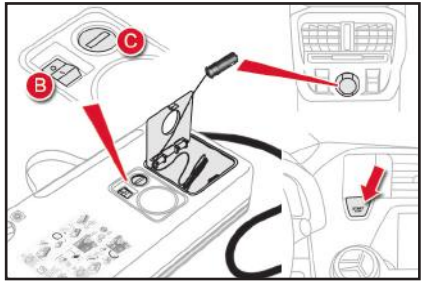
パンク修理剤の有効期限は、製造後約**8**年です。有効期限はカートリッジに表示されています。
例：EXP：04/2024
　　II
　2024年4月まで

●コンプレッサーとして使用する場合／タイヤの空気圧を点検する場合

黒いホースを使用することで、汎用のコンプレッサーとして使用できます。また、タイヤの空気圧を点検することができます。

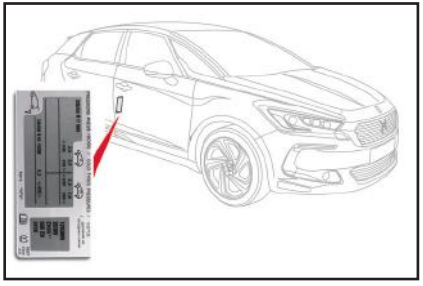


1. 切り替えノブ **A** を「**AIR**」に合わせます。
2. ホース **H** をいっぱいまで引き出します。
3. 黒いホース **H** を車両のタイヤのバルブに接続します。必要に応じて付属のアタッチメントを使用します。



4. コンプレッサーの電源コードを 12V 電源ソケットに差し込みます。
5. エンジンを始動します。
6. 空気圧が車両の空気圧ラベルに表示されている適正値になるように調整します。
   - 昇圧：スイッチ **B** を **I** にする。
   - 減圧：スイッチ **B** を **O** にしてボタン **C** を押す。
7. コンプレッサーを取りはずし、パンク修理キットを元の位置に格納します。

●空気圧ラベルの位置



タイヤの適正空気圧を示した空気圧ラベルは、運転席側のピラー部にあります。

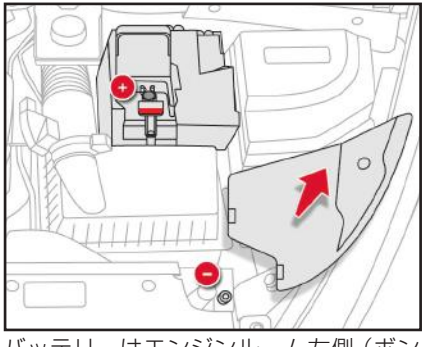
MEMO

ラベルの位置は仕様で異なります。

バッテリーが上がったとき

万一バッテリーが上がってしまったときは、充電器（バッテリーチャージャー）で充電するか、同じ電圧（12V）のバッテリーで始動させます。
接続には、市販のブースターケーブルを使用します。ケーブルの接続時は、車の充電系統に損傷を与えないように正しく接続してください。

●バッテリーの位置

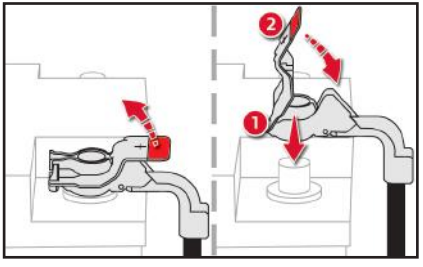


バッテリーはエンジンルーム左側（ボンネットを開いて右側）にあります。
充電器のマイナス端子（−）接続箇所／電源を供給する車のバッテリーのマイナス端子（−）に接続した黒いケーブルを接続する箇所はカバーをはずすとあります。

●充電器を使用して充電

1. バッテリーの（+）ケーブルをはずし、バッテリーの端子に汚れがないことを確認します。
2. 最初に充電器のマイナス端子（−）をボディに接続し、次にプラス端子（+）をバッテリーのプラス端子（+）に接続します。
3. 充電器の取説に従って充電します。

ケーブルのはずしかた／接続のしかた

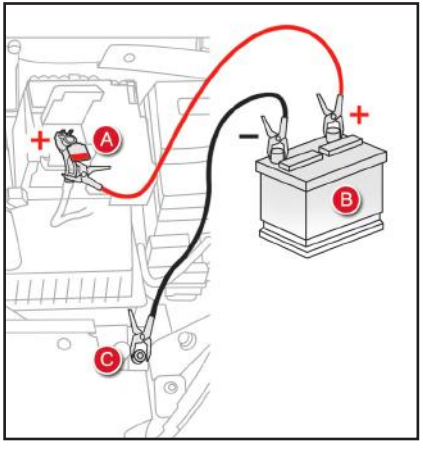


1. ロックタブ②をいっぱいまで起こします。
2. クリップ①がバッテリーのプラス端子（+）の上部に来るように位置を合わせ、クリップ①の位置がずれないように、上からバッテリーに押し当てます。
3. ロックタブ②を倒してクリップ①をロックします。

注 意

クリップは正しい位置にないとロックしません。無理にロックタブを倒さないでください。

●他のバッテリーで始動



1. バッテリーA（上がったバッテリー）・B（電源を供給するバッテリー）のプラス端子（＋）を赤いケーブルで接続します。
2. 電源を供給する側の車のバッテリーBのマイナス端子（−）に、黒いケーブルを接続します。
3. 未接続の黒いケーブルを、バッテリー上がりを起こした車両の車体に接続します。このとき、ケーブルはバッテリーのマイナス端子からなるべく離れた箇所に接続します。
4. スターターを回してエンジンを始動します。
5. アイドリング状態になるのを待ってからエンジンを停止し、ケーブルをはずします。

●バッテリーを再接続したとき

エンジンを始動する前に、イグニッションをオンにしたまま約1分間保持します。電子機器の初期化が行われます。

長時間バッテリーの接続を外していたときは、つぎの機能の初期化や再設定が必要な場合があります。

- リモコン
- コックピットルーフのスライディングサンバイザー
- ナビゲーションシステム

注 意

電子機器に異常を感じたら、当社指定サービス工場にご連絡ください。

MEMO

- ●お車を 1 ヶ月以上使用しない場合は、バッテリーの接続をはずしてください
- ●ストップ＆スタート車では一度バッテリーの接続をはずすと数時間は停止モードになりませんが、これは異常ではありません。

⚠警 告

●バッテリーのプラス端子（＋）とマイナス端子（－）を逆に接続しないでください。
●エンジンの回転中は、バッテリーのターミナルから車両ケーブルをはずさないでください。
●バッテリーの車両ケーブル（＋）を接続したまま充電しないでください。
●アイドリング状態になる前にバッテリーのターミナルからケーブルをはずさないでください。
●ケーブルのプラス端子とマイナス端子を絶対に接触させないでください。
●バッテリーは可燃性のガスを発生しますので、バッテリーの近くでは火気を避けてください。
●バッテリー液は腐食性の強い希硫酸です。万一皮膚にバッテリー液がかかった場合は、大量の水で洗い流してください。
●凍ったバッテリーを充電すると爆発するおそれがあります。バッテリーが凍ったら新品と交換してください。
●電源を供給するバッテリーは 12V のものを使用してください。

⚠警 告

●黒いケーブル（マイナスケーブル）を車体に接続する際には、燃料系統やブレーキホース／パイプに接触させないでください。
●ケーブルやエンジンルーム内の回転部分や可動部分に接触しないよう注意してください。

注 意

●イグニッションをオフにして2分経過してからバッテリーの接続をはずしてください。
●バッテリーからケーブルをはずす前に、パワーウィンドウを閉めてください。
閉めていないと、充電後に再度の初期化が必要になります。

MEMO

バッテリーは硫酸や鉛などの有害物質を含んでいます。環境汚染防止のため、正しく廃棄してください。

エコノミーモード

エンジンが停止してからも、オーディオ機器などへの電源供給を最大30分行います。電源が切れると、メッセージが表示されます。

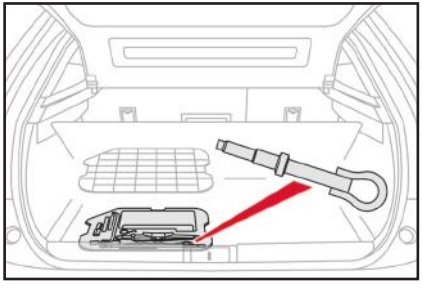
エンジンを再始動すると、電源の供給が再開されます。
すぐにアクセサリーを使用したいときは、エンジンを始動して数分間まわしてください。
エンジンをかけていた時間の倍の間、アクセサリーを使用できます。ただし、この時間は5～30分に限られます。

MEMO

●バッテリーが弱っている時は、エンジンの再始動ができなくなるおそれがあります。
●バッテリーの充電が不十分なときは、電源の供給時間が短くなることがあります。

けん引されるとき

●けん引ボルトの場所



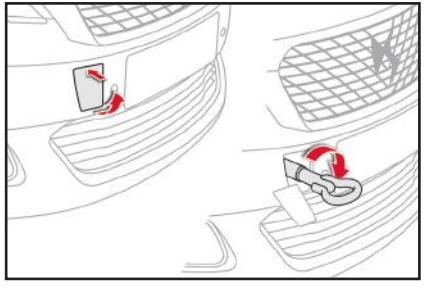
けん引ボルトはラゲッジルーム下に格納された収納ボックスに入っています。

●けん引について

吊り上げずに（４輪が接地した状態で）けん引されるとき

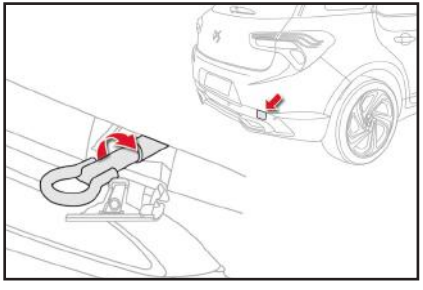
けん引時は、シフトレバーを**N**にしてください。

前からけん引される場合



カバー下側から持ち上げるようにしてはずし、けん引ボルトが止まるまでねじ込みます。

後ろからけん引される場合



カバーの上側を押してはずし、けん引ボルトが止まるまでねじ込みます。

吊り上げて（２輪が接地した状態）けん引されるとき

けん引用の車輪に乗せて移動してください。

⚠警 告

エンジンが始動していない状態でけん引される車両は、ブレーキペダルが重く効きが悪くなっています。けん引している前方の車両に追突しないよう注意してください。また、パワーステアリングも作動していません。ハンドルも重くなっていますので注意してください。

注 意

●以下の場合、けん引は専門業者にご依頼ください。
- ・高速道路で走行中に車両が故障した。
- ・シフトレバーが**N**に入らない、ステアリングのロックが解除できない、またはパーキングブレーキが解除できない。
- ・2 輪が接地した状態でけん引される。
- ・この車専用のけん引ボルトが使用できない。

●けん引されるときは、以下の点にご注意ください。
- ・シフトレバーは**N**にしてください。
- ・シフトレバーを**N**以外でけん引すると、ブレーキシステムが損傷するおそれがあります。また、次回エンジンを作動するとき、ブレーキアシストが作動しないことがあります。
- ・50km 以内の距離を、低速（時速 30km 以下）で移動してください。

注 意

●この車より重量の重い車両でけん引してください。
● 4 輪が接地した状態で車両がけん引されるときは、必ずけん引ボルトを使用してください。
●けん引ボルト以外の箇所にけん引フックをかけないでください。
●けん引される車両は、ハザードランプをオンにしてください。

AdBlue®（尿素水）の補充(ディーゼル車)

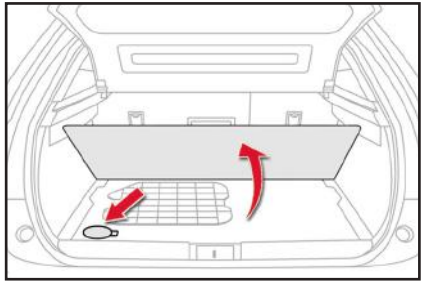
DS 5 は AdBlue® を使用することで、排気ガス中の窒素酸化物を低減します。
AdBlue® は走行すると消費され、減少します。
AdBlue® の補充は、当社指定サービス工場にお申し付けください。

MEMO

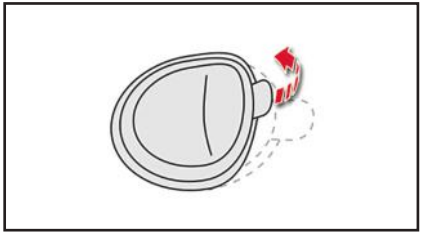
- AdBlue® の補充は、当社指定サービス工場での定期点検整備毎に行われます。
- AdBlue® は最大まで補充した状態から約 20000km 走行すると残量がなくなりますが、走行状況により、早く残量がなくなる場合があります。
- AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。AdBlue® の補充は早めに行ってください。

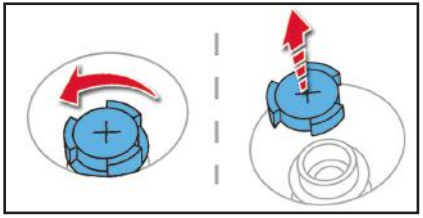
緊急時にお客様がご自分で AdBlue® を補充する

AdBlue® の残量がなくなり、エンジンが始動できなくなったときは、約 3.8 リットル以上の AdBlue® を補充すると、エンジンを始動できるようになります。
AdBlue® タンクは、ラゲッジルームの中敷板の下に格納されています。



1. 平坦な路面で安全な場所に車を停めます。
2. エンジンを停止します。
3. ラゲッジルームの中敷板を上げます。





4. ツマミを引いて黒色のカバーを開きます。
5. 青色のキャップをゆるめ、落とさないようにしながら取り外します。
6. 補充が終わったら、青色のキャップをしっかり締めて戻します。
7. 黒色のカバーを閉めます。

MEMO

●AdBlue® の残量がなくなった場合は、AdBlue® の補充後、約 5 分以上待ってからエンジンを始動してください。
エンジン始動時は、イグニッションをオンにして約 10 秒以上待ってから、エンジンを始動してください。
また、約 5 分以上待つ間、以下の操作は行わないでください。
- 解錠する
- 運転席ドアを開ける
- 車内にスマートキーを持ち込む
- スマートキーをスマートキー挿入スロットに挿入する

●AdBlue® の補充後は、エンジンの始動に通常よりも数秒間長くかかる場合があります。
●AdBlue®はISO規格(ISO 22241-1)に準拠したものを使用してください。
●AdBlue® タンクの容量は約 17 リットルです。
●AdBlue®（アドブルー）はドイツ自動車工業会(VDA) の登録商標です。

⚠注 意

AdBlue® は、無色、透明、無臭で、身体に触れても無害の尿素水溶液です。
万が一目に入ったり、皮膚に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。違和感がある場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
また、誤って飲み込んでしまったときは、コップ 1 ～ 2 杯の水または牛乳を飲み、すぐに医師の診断を受けてください。

注 意

●AdBlue® を補充するときは次のことをお守りください。車両の部品や塗装などを損傷するおそれがあります。
- AdBlue® 以外の尿素水を使用しないでください。
- AdBlue® を水道水などで希釈しないでください。
- AdBlue® を他の薬品と混ぜたりしないでください。
- AdBlue® が車両の塗装面に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。

注 意

●AdBlue® を保管するときは次のことをお守りください。車両の部品や塗装などを損傷したり、AdBlue® の成分が変質して刺激臭が発生するおそれがあります。
- AdBlue® を車内に放置しないでください。
- AdBlue® を指定以外の容器で保管しないでください。
- AdBlue® は容器を密閉し、直射日光の当たらない風通しの良い、気温が 25℃を超えない場所に保管してください。

MEMO

●AdBlue® は凍結しても、解凍すればそのまま使用できます。
●使用済みの AdBlue® の容器は、地域条例に従って廃棄してください。

燃料切れしたとき(ディーゼル車)

燃料を補給後、以下の操作を行い、燃料系統内のエア抜きをしてください。

1. シフトレバーを **P** の位置にします。
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. ブレーキペダルを踏まずに **START/STOP** スイッチを押し、イグニッションをオンにします。
4. 約 6 秒間待って、イグニッションをオフにします。
5. 手順 3 から手順 4 の操作を 10 回繰り返します。
6. エンジンを始動します。

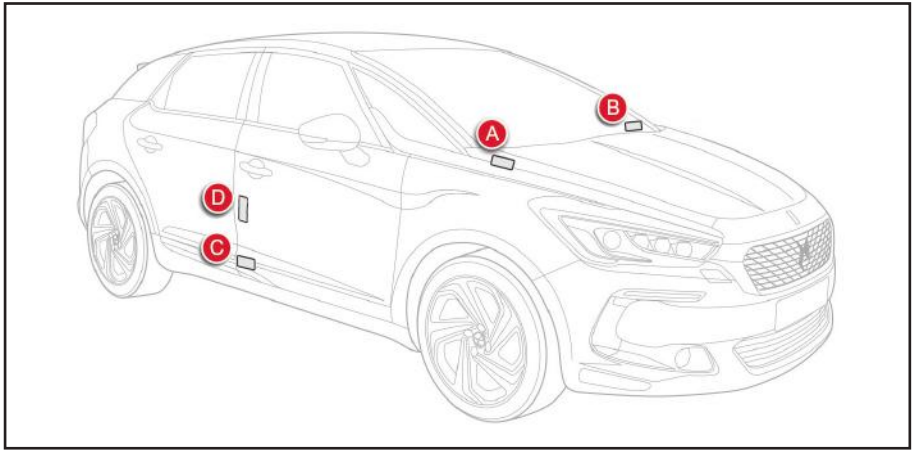
MEMO

- ●エンジンがかからないときは、イグニッションをオフにし、再度エア抜きをしてください。
- ●エア抜きの操作を繰り返してもエンジンがかからないときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

車両データ・アクセサリー類・索引

識別表示 …… 8-2
外形寸法 …… 8-3
アクセサリー類 …… 8-4
索引 …… 8-6
付録 …… 8-13

●識別表示



A　車台番号(エンジンルーム内)
B　車台番号(フロントガラス下側)
C　認証ラベル（運転席側ピラー部）
D　タイヤ仕様と車体塗色コードラベル
タイヤとホイールサイズ、メーカー名、適正空気圧、車体色などが記載されたラベルが、運転席側のピラー部に貼られています。

⚠注 意

タイヤを交換するときは、必ず同サイズ同種類のタイヤを使用してください。他のタイヤを使用すると、安全走行に悪影響を及ぼします。

注 意

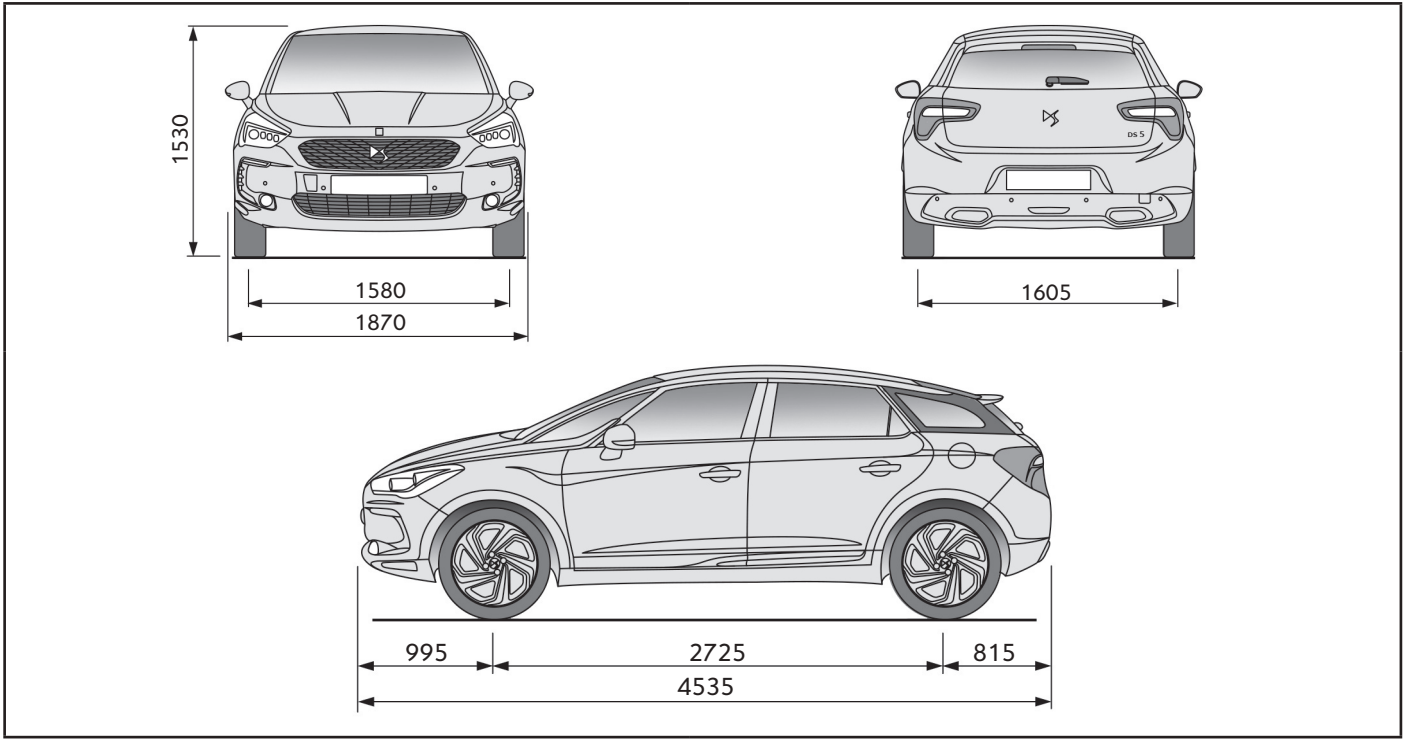
●タイヤのサイズによっては、タイヤチェーンが装着できません。詳しくは当社販売店へお問い合わせください。
●タイヤの空気圧は、走行前少なくとも月一回の割合でチェックしてください。必ず当社が指定する空気圧に調整してください。

MEMO

タイヤの空気圧が低すぎると、燃費が悪くなります。

*ラベルの位置は仕様で異なります。

●外形寸法

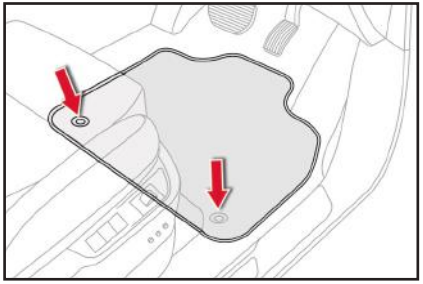


*数値は予告なく変更されることがあります。

アクセサリー類

アクセサリー類は、当社純正部品を使用してください。取り付けは、付属の取扱説明書に従ってください。

フロアマット

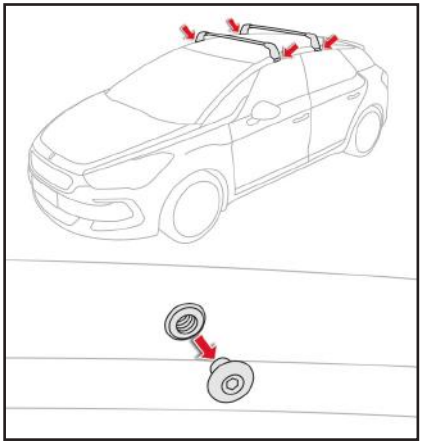


取り付けるときは、フロアマットを正しい位置に合わせ、クリップで留めてください。フロアマットがしっかり固定されていることを確認してください。

⚠警 告

- 車両側に装備されている固定フックに適したフロアマットのみ使用してください。また、2枚以上のフロアマットを重ねて使用しないでください。ペダル操作の妨げになります。
- 当社未指定のフロアマットの使用は、ペダル操作の妨げになるだけでなく、クルーズコントロール／スピードリミッター機能の使用の妨げにもなり、重大な事故につながるおそれがあります。

ルーフキャリア



ルーフキャリアの取り付け

1. 六角レンチを使用してネジ式のキャップを取りはずします。
2. ルーフレールのマークに合わせてキャリアを取り付け、ネジを締め付けます。

キャリアを含めた許容荷重は70kgです。

MEMO

使用しないときはルーフキャリアを取りはずしてください。

⚠警 告

- ルーフキャリアは当社純正品を取扱説明書にしたがって正確に取り付けてください。
- 当社純正以外のルーフキャリアを使用したり、指示通りに取り付けなかったりした場合、ルーフキャリアや荷物が落下し、事故やケガにつながるおそれがあります。
- 荷物の固定には、細すぎたり、損傷したひもや不適切なひもは使用しないでください。荷物を固定する際には、適切なひもを使用し、しっかりと固定してください。やむを得ず荷物がルーフ部分から突き出る場合は、適切な目印を取り付けて周囲に知らせてください。
- ルーフキャリアに荷物を積む際には、ルーフキャリア許容荷重を超えないようにしてください。
- ルーフに重たい荷物や大きな荷物を積んでいると、車両の重心が変わったり風の抵抗が大きくなり走行に影響を与えます。速度を控えたり、急ブレーキ、急ハンドルを避ける等慎重な運転を心がけてください。

注 意

キャリアの高さには注意してください。特に高速走行を行うと、予想以上に負荷がかかるので思わぬトラブルの原因となることがあります。

索 引

数字

12V電源ソケット ····· 5-18

アルファベット

ABS（アンチロックブレーキシステム）····· 3-16
AdBlue® ····· 3-18、7-19
ASR（トラクションコントロール）····· 3-16
AUXソケット ····· 5-18
EBA（ブレーキアシスト）····· 3-16
EBFD（電子式制動力制御装置）····· 3-16
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）··· 3-16
FAP（ディーゼルパティキュレートフィルター）···· 3-21
ISOFIXチャイルドシート ····· 1-20
SCR（選択式還元触媒）システム ····· 3-18
START／STOPスイッチ ····· 13、3-2
USBボックス ····· 5-18、5-20

あ

アームレスト（フロント／リア）··· 5-18、5-19、5-20
アクセサリー類 ····· 8-4
アクティブランバーサポート ····· 1-6
足元照明 ····· 5-17
アナログ時計 ····· 5-19
アラーム ····· 2-12
アンチロックブレーキシステム（ABS）····· 3-16
アンビエンスイルミネーション ····· 5-17
イモビライザー（盗難防止システム）····· 2-8
インストルメントパネル ····· 4-2
インストルメントパネルの調整（リセット、
明るさ調整）····· 4-18
インテリア ····· 5-18
インテリジェントハイビーム ····· 4-21
ウィンドウウォッシャー ····· 10、4-29
ウォッシャー液 ····· 6-8
エアコンディショナー（エアコン）····· 5-2
エアバッグ（フロント／サイド／カーテン）··· 1-22、1-23
エアバッグの作動条件 ····· 1-25
エアフィルター ····· 6-8、6-18、6-19

液晶ディスプレイ(カメラモニター)・・・・・・・・・・・・・・・1-8
エクステリアウェルカムランプ ・・・・・・・・・・・・・・・・4-26
エクステリアサイドランプの交換 ・・・・・・・・・・・・・・・6-11
エコノミーモード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2、7-16
エレクトリックパーキングブレーキ・・・・14、3-9、6-8
エレクトロニックスタビリティコントロール(ESC)・・・ 3-16
エンジンオイル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-19
エンジンオイルの点検／補給／交換・・・・・・・・・・・・・ 6-6
エンジンの始動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13、3-2
エンジンブレーキ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-6
エンジン油量インジケーター・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-15
エンジンルームの点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6-4、6-5
オートドアロック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2-11
オートマチックトランスミッション ・・・・・・・・・・・・・・ 3-5
オートマチックトランスミッションフルード・・・・・・ 6-19
オートライト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10、4-20
オートワイパー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-28
オイル交換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6-6、6-19
オイルフィルター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6-6、6-19
オイル粘度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-19
オクタン価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-27
オドメーター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-18

か

カーテンエアバッグ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-23
カードホルダー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-18
カーペット／フロアマット・・・・・・・・・・・・・・・・・6-3、8-4
外形寸法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8-3
解錠 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2-3、2-4
各種機能の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-9
カスタマイズ(各種機能／表示メッセージ)・・・5-9、5-10
ガソリン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-27
カップホルダー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-18、5-20
カメラモニター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1-8
キセノンヘッドランプ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-9
キックダウン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-6
給油 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6、2-20
緊急用キー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-10
クーラント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6-7、6-19
空気圧の適正値 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1-27、7-13
空気圧ラベル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7-13、8-2
クリープ現象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-6
クルーズコントロール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15、3-28
グローブボックス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-18

索 引

警告灯 ……4-7
軽油 …… 1-27
けん引されるとき……7-17
言語設定 ……5-11
コーナリングライト …… 4-24
工具 ……7-2
故障表示一覧 …… 3-14
コックピットルーフ …… 2-16
小物入れ…… 5-18、5-21

さ

サービスインジケーター …… 4-16
サイドエアバッグ …… 1-22
サイドスイッチパネル……11
サイドビューカメラ……1-9
シート（フロント／リア）……1-2、1-11、6-3
シートの調整……8、1-2、1-3
シートヒーター …… 9、1-6
シートベルト（フロント／リア）…… 9、1-14、6-3
シートベルト着用／非着用警告ディスプレイ… 12、1-15
シートポジションメモリー……1-4
シガーライター……5-18、5-19
識別表示 …… 8-2
室内フィルター……6-8、6-19
自動防眩バックミラー…… 7、1-8
シフトタイミングインジケーター…… 3-8
シフトポジション …… 3-5
シフトレバー …… 3-5
シフトロック …… 3-6
ジャッキ……7-2
収納スペース…… 5-18、5-19、5-20、5-21、5-22
照射角度調整 ……4-26
照射角度自動調整機能 ……4-26
使用燃料について …… 1-27
触媒コンバーター…… 1-29
助手席エアバッグキャンセルスイッチ…… 12、1-23
推奨交換時期 …… 6-19
推奨点検時期 ……6-20
推奨油脂類 …… 6-19
スーパードアロック …… 2-6
スキーフラップ ……5-20

ステータス一覧表 (メッセージ) ····· 5-13
ステアリング ····· 3-36
ステアリングロック ····· 3-36
ストップランプの交換 ····· 6-12
ストップ&スタート ····· 3-22
スノーチェーン／スノーネット ····· 1-28
スパークプラグ ····· 6-19
スピードリミッター ····· 15、3-28、3-31
スペアタイヤ ····· 7-3
スマートキー ····· 6、2-2
スライディングサンバイザー ····· 2-16
スリップサイン ····· 1-27
施錠 ····· 2-5
洗車 ····· 6-2
センターコンソール ····· 5-18、5-19

た

タイヤ空気圧 ····· 1-27、7-13、8-2
タイヤの交換 ····· 6-18、7-2
タイヤの点検 ····· 1-27
チケットホルダー ····· 5-18
チャイルドシート ····· 1-17
チャイルドセーフティ ····· 12、2-15
チルトステアリング ····· 7、3-36
駐車時照明機能 (フォローミーホーム) ····· 4-23
テールゲート ····· 6、2-4、2-18
テールランプ ····· 10、4-19
テールランプの交換 ····· 6-12
ディレクショナルヘッドライト ····· 4-25
電球の交換 ····· 6-9
電子式制動力制御装置 (EBFD) ····· 3-16
電池の交換 (リモコン) ····· 2-7
電動ドアミラー ····· 7、1-7
ドアミラーウインカーの交換 ····· 6-11
ドア／ドアロック ····· 2-10、2-11
冬季用タイヤ ····· 1-28
盗難防止システム (イモビライザー) ····· 2-8

時計（アナログ）…… 5-19
ドライブコンピューター …… 5-14
トラクションコントロール（ASR）…… 3-16
トリップメーター …… 4-18

な

燃費の改善について …… 6-18
燃料 …… 1-27
燃料タンク容量…… 6、2-20

は

パーキングアシスタンス …… 3-34
パーキングブレーキ……14、3-9
パーキングライト …… 4-24
ハイオクガソリン …… 1-27
灰皿 …… 5-18
ハイビーム …… 10、4-19
ハイビームヘッドランプの交換…… 6-9
ハイマウントストップランプの交換…… 6-14
ハザードランプ …… 4-27
バックアイカメラ…… 1-9
バックミラー（自動防眩）…… 7、1-8
パッシング…… 4-19
バッテリー…… 6-8
バッテリーが上がったとき ……7-14
パラメーターの設定…… 5-10
ハロゲンヘッドランプ …… 6-10
パワーウィンドウ …… 2-14
パワーステアリングフルード ……6-7
パンク修理キット……7-8
番号灯の交換 …… 6-13
半ドア警告…… 2-10
非常時のドアロック（マニュアルロック）……2-11
非常ブレーキ …… 3-12
ヒューズの交換…… 6-14
表示言語の設定 ……5-11
表示灯 …… 4-3
表示メッセージ一覧…… 5-10
ヒルスタートアシスタンス …… 3-13

フィルター ……6-5、6-6、6-7、6-8、6-18、6-19
フォグランプ（フロント／リア）…… 10、4-22
フォグランプの交換（フロント／リア）…… 6-11、6-13
フォローミーホーム（駐車時照明機能）…… 4-23
フュエルリッド …… 6、2-20
ブレーキ……3-9、3-16
ブレーキアシスト（EBA）…… 3-16
ブレーキディスク …… 6-8
ブレーキパッド …… 6-8
ブレーキフルード …… 6-7、6-19
プレミアムガソリン …… 1-27
フロアマット／カーペット……6-3、8-4
フロントエアバッグ …… 1-22
フロントシート ……1-2
ヘッドアップディスプレイ …… 3-26
ヘッドライトウォッシャー …… 4-29、6-8
ヘッドライト照射角度調整 ……4-26
ヘッドランプ …… 10、4-19
ヘッドランプの交換 ……6-9、6-10、6-11
ヘッドレスト（フロント／リア）……9、1-4、1-11
ホーン ……3-36
保安炎筒 …… 1-29
ホイールの交換……7-2
ホイールの取りはずし／取り付け／格納… 7-4、7-5、7-6
方向指示器 ……4-27
方向指示器の交換 ……6-11、6-12
ポジションランプ …… 10、4-19
ボンネット …… 2-17

ま

マップランプ（フロント／リア）…… 5-16
マニュアルロック（非常時）……2-11
マルチファンクションディスプレイ …… 5-8
ミラー…… 7、1-7、6-3
無鉛プレミアムガソリン …… 1-27
メッセージ（ステータス一覧表）…… 5-13
モードセレクター …… 3-6

ら

ライトスイッチ…… 10、4-19
ラゲッジルーム……5-22
ランバーサポート ……1-6
リアシート……1-11
リバースランプの交換 …… 6-12
リモコン……2-2
リモコンの初期化……2-7
ルーフキャリア …… 8-5
ルームランプ…… 5-16
冷却水 …… 6-19
冷却水温度計 …… 4-14
冷却水の点検 ……6-7
ロービーム…… 10、4-19
ロービームヘッドランプの交換……6-9、6-10

れ

レーンデパーチャーウォーニング…… 3-25

わ

ワイパー（フロント／リア）……10、4-28、4-30
ワイパーブレードの交換 …… 4-31

⚠警 告

安全上の理由から、各種設定など複雑な操作は、車両を停止し、イグニッションをONにした状態で実施してください。

MEMO

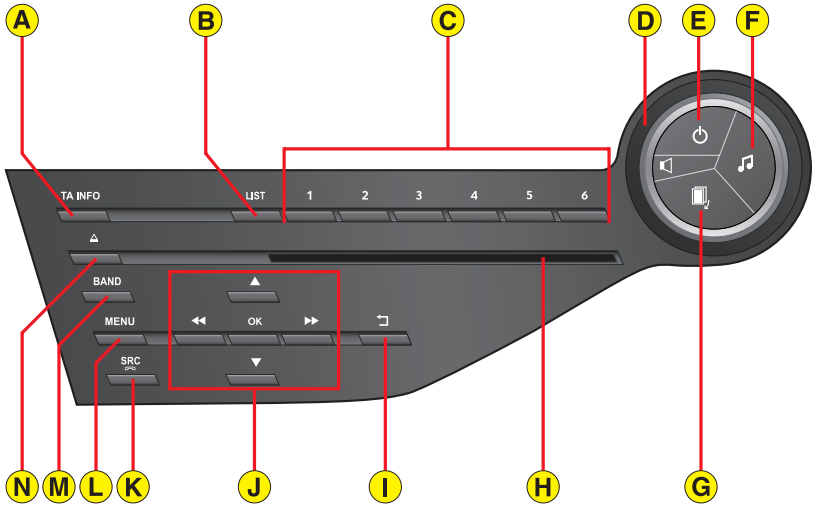
- ●接続するオーディオ機器によっては動作が異なる場合があります。
- ●このオーディオには盗難防止機能が付いています。他の車両では使用できません。
- ●利用可能なBluetoothの機能、およびその表示内容は、携帯電話の種類とその設定、および契約内容によって異なります。詳細はお客様がお使いの携帯電話会社へお問合せください。
- ●Bluetooth® はBluetooth SIG, Inc. の商標です。

オーディオ

6スピーカーAM/FMチューナー付CDプレイヤー

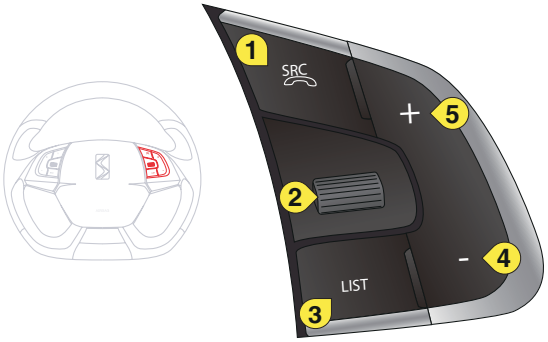
フロントパネル ····· 8-14
ステアリングスイッチ ····· 8-15
基本操作 ····· 8-16
ラジオ ····· 8-18
CD ····· 8-20
USBボックス ····· 8-22
Bluetooth ····· 8-24
FAQ ····· 8-32

フロントパネル



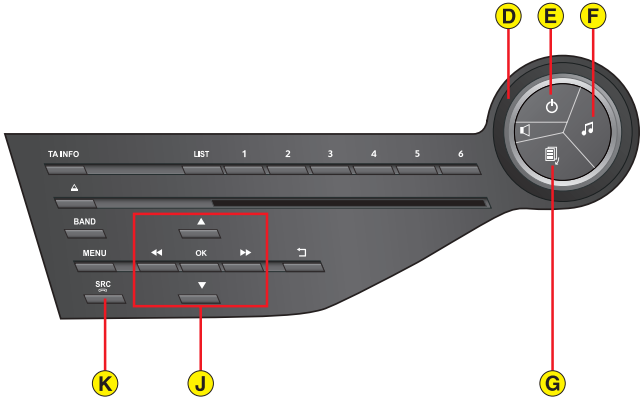
A. 未対応(日本国内)
B. リスト表示
C. 登録放送局呼び出し
D. ボリューム(リング部)
E. 電源
F. サウンド調整
G. ディスプレイ表示切替
H. CD挿入口
I. キャンセル／前画面に戻る
J. メニュー項目選択／確定
K. ソース(ラジオ／CD／USB／AUX)選択
L. メインメニュー表示
M. AM／FM切替
N. CDイジェクト(取り出し)

ステアリングスイッチ



① ソース(ラジオ／CD／USB／AUX)選択
　電話
② 登録放送局選択(ラジオ)
　フォルダ選択(CD／USB)
③ リスト表示
④ ボリューム(−)
⑤ ボリューム(+)

基本操作



●電源

スイッチEを押すと電源が入り、再度押すと切れます。

MEMO

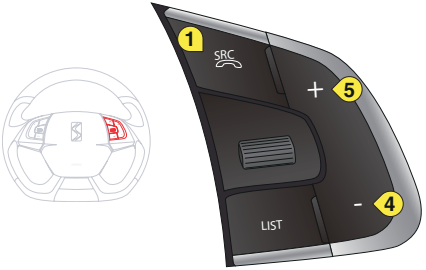
イグニッションがオフの場合でも、オーディオの電源を入れることができます。電源は最長30分後に自動的に切れます。

●ボリューム

リングDを回すとボリュームが増減します。ステアリングスイッチ④⑤でもボリュームの調節ができます。

MEMO

自動音量補正機能がオンのときは、ボリュームは車速に応じて自動的に調節されます。



●ソース選択

ボタンKまたは①を押すたびに、ラジオ、CD、USB、AUXの順にソースが切り替わります。

●サウンド調整

ボタン**F**を押すと、調整画面がマルチファンクションディスプレイに表示されます。
各項目の設定はボタン**J**で調節／選択します。

ページ	画面表示	調整内容
1/2	**Ambience**	音楽に合わせてあらかじめ設定された音質を選択します。
	Bass	低音域の音量を調整します。
	Treble	高音域の音量を調整します。
	Loudness	ラウドネス補正の有無を設定します。
	Other settings	次のメニューに移動します。
2/2	**Distribution**	リスニングポジションに合わせた音量バランスを調整します。
	Balance	左右の音量バランスを調整します。
	Fader	前後の音量バランスを調整します。
	Auto. volume	自動音量補正機能（車速感応式）の有無を設定します。
	Other settings	次のメニューに移動します。

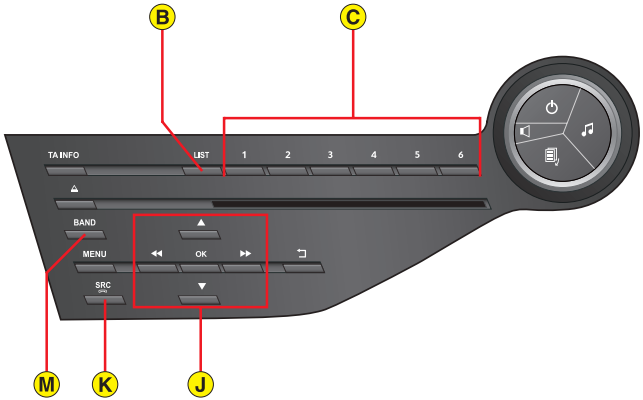
●ディスプレイ表示切替

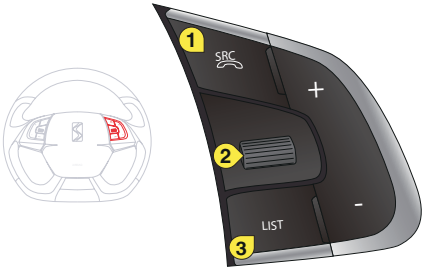
ボタン**G**を押すと、マルチファンクションディスプレイ内のメインとサブの表示が入れ替わります。また、長押しすることにより、不要な照明を消す「ブラックパネルモード」になります。

MEMO

- ●アンビエンスの各メニューは、バス（低音）／トレブル（高音）の値が既に設定されています。これらの値は**Personalised**でさらに変更することができます。
- ●ソース（ラジオ／CD／USB／AUX）ごとに、ラウドネス補正の設定をすることができます。
- ●調整画面中に数秒間操作を行わないと、通常画面に戻ります。

ラジオ





●ラジオモードの選択

ボタンKまたは①を押してラジオモードを選択します。

●受信バンド選択

ボタンMを押すたびに、次の順に受信バンドが切り替わります。
FM1→FM2→AM

●手動サーチ

ボタンJの上下ボタンを押すと、周波数が変わります。ボタンJの上下ボタンを押し続けると、大きく周波数が変わります。

●自動サーチ

ボタンJの左右ボタンを押すと、自動サーチが開始され、受信可能な放送局が見つかったところで止まります。
ボタンJの左右ボタンを押し続けた場合は、その間の放送局をスキップし、ボタンJを放したところから自動サーチを再開します。
ステアリングスイッチ②を上下に回しても自動サーチができます。

MEMO

自動サーチで合わせたい放送局に止まらない場合は、電波状況が弱いなどが考えられます。手動サーチで放送局を設定してください。

●手動プリセット

自動サーチまたは手動サーチでサーチした放送局を各プリセットボタン**C**に登録します。「 1～6 」の中から登録したい番号のボタンを2秒以上押し続けます。

MEMO

登録中は放送が一時的に途切れますが、すぐに元に戻ります。

●登録した放送局の呼び出し

ボタン**M**を押し、受信バンドを選択します。プリセットボタン**C**を押して、登録した放送局を呼び出します。

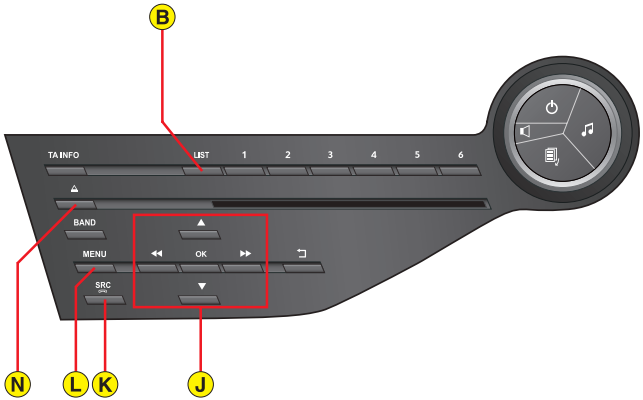
●受信可能放送局リスト

ボタン**B**を押すと、走行中のエリアで受信できる放送局のリストがマルチファンクションディスプレイに表示されます。リスト中の放送局を選択するには、ボタン**J**の上下ボタンと**OK**ボタンで選択／決定します。ステアリングスイッチ②でも同様の操作をすることができます。
リストは10分ごとに更新されます。ボタン**B**を2秒以上押すと、いつでもリストを更新することができます。

●RDSについて

RDS（ラジオデータシステム）は、欧州で実施されているFM電波帯のサービスで、国境を越えて移動しても常に同じ放送内容の局を探しながら受信し続けたり、今聴いている放送局の名前や放送中の曲名をラジオに表示させることができます。お車のラジオには仕様によりこの機能を備えているものがあり、マルチファンクションディスプレイにRDS設定項目が表示されますが、日本ではRDS放送が行われていないため、ご利用いただくことはできません。また、マルチファンクションディスプレイの受信画面に「 RDS 」マークが点灯／点滅することがありますが、異常ではありません。

CD



●CDモードの選択

以下の2つの方法があります。

・CDを挿入します。

・ボタンKを押してCDモードを選択します。（CDがプレイヤーに入っている時）

●トラック選択

以下の2つの方法があります。

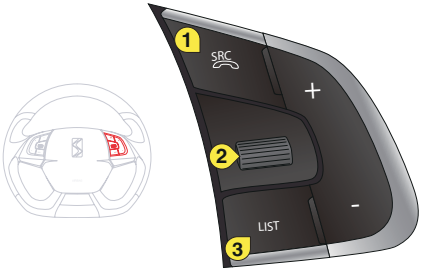
・ボタンJの左右ボタンでトラックを選択します。

・右ボタンを押すと、次のトラックに曲送りになります。

・左ボタンを1回押すと、現在再生中のト

・ラックの最初に戻り、2回押すと1つ前のトラックに曲戻りします。

・ステアリングスイッチ②を回しても同様の操作をすることができます。



・ボタンBを押して、トラックリストを表示させます。

・ボタンJの上下ボタンでトラックを選択し、OKボタンで確定します。

・ステアリングスイッチ②でも同様の操作をすることができます。

MEMO

ディスプレイの制約により、日本語の表示はできません。

●早送り／巻戻し
再生中にボタンJの左右ボタンを押し続けると、早送り／巻戻しを行います。ボタンを放すと通常の再生に戻ります。

●再生オプション
2つの再生オプションが設定できます。

・ノーマル再生
・ランダム再生

設定は以下の方法で行います。
ボタンLを押してメインメニューを表示させます。ボタンJの上下左右ボタンで「オーディオ」の項目から再生オプションを選択し、OKボタンで確定します。

●MP3 CDを聴く場合
このオーディオはMP3フォーマットに対応しています。MP3フォーマットで記録されたCDを挿入して正しく認識された場合は、最初のトラックが再生されます。

MEMO

CD-Rで複製したオーディオCDは認識できないことがあります。

●トラック選択（MP3 CD）
ボタンBを押してフォルダリストを表示させます。ボタンJの上下ボタンでフォルダを選択し、OKボタンでフォルダを開きます。ボタンJの左右ボタンでトラックを選択し、OKボタンで確定します。ステアリングスイッチ②でも同様の操作をすることができます。
ステアリングスイッチ③でフォルダリストを表示することができます。

●CDイジェクト（取り出し）
ボタンNを押すと、プレイヤーからCDが出てきます。ソースは自動的にラジオモードに切り替わります。

MEMO

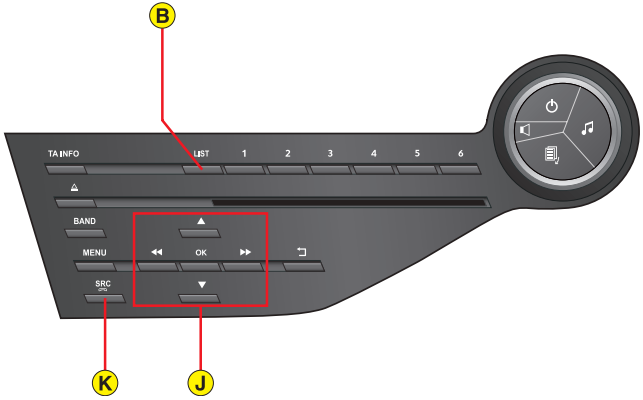
ボタンNを押して、10～15秒以内にCDを取り出さないと、CDはCDプレイヤーに自動的に戻されます。ただし再生は始まりません。

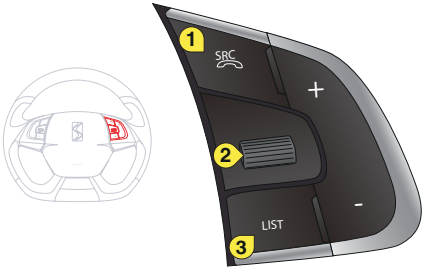
CD取り扱い注意事項
・CDを落とさないでください。
・CDの表面にほこりなどが付かないように保管してください。
・CDの表面は直接手で触れないように取り扱ってください。小さな傷や指紋などの汚れが付くと、音とびなどが起きることがあります。
・CDにステッカー類を貼り付けないでください。
・損傷を受けたり変形したCDを使用しないでください。
・CDは日光にさらしたり、熱源に近づけないように取り扱ってください。
・CDの表面が汚れている場合、やわらかくきれいな布で拭き取ってください。
・悪路走行など激しい振動があるときは、音とびすることがあります。

注 意

気温が非常に高い場合は、保護システムが作動してCDプレイヤーが作動しなくなります。ただし、安全のために気温が60℃以上または-10℃以下のときはCDプレイヤーを使用しないでください。

USBボックス

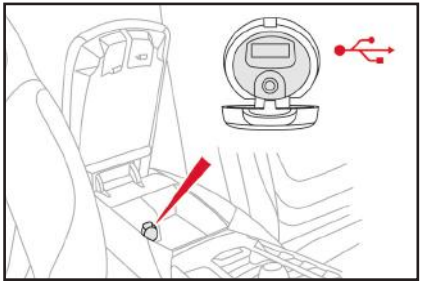




USBポートまたは外部音声入力端子に市販のケーブルでポータブルオーディオなどを接続し、音声をオーディオから再生することができます。

USBポート

USBポートに接続すると自動的に再生が始まります。すでに接続されているときは、ボタンKを押してUSBモードを選択します。



MEMO

- ●接続するオーディオ機器の仕様により認識できないことがあります。
- ●認識可能なファイルフォーマットはMP3（mpeg1のレイヤー3のみ）、WMA（9のみ）です。
- ●対応するUSB規格は1.1、1.2、2.0です。
- ●USBポートに接続できるiPodは第5世代での動作が確認されています。

●再生オプション
OKボタンを押すと、2つの再生オプションが設定できます。

・リピート再生
・ランダム再生

●ルートメニュー選択
ボタンBを長押しして、「Folder」「Artist」「Genre」「Playlist」の中からルートメニューを選択します。ボタンJの左右ボタンで選択し、OKボタンで確定します。ステアリングスイッチ②でも同様の操作をすることができます。

Folder ： 階層にかかわらずすべてのフォルダをアルファベット順に選択します。
Artist ： ID3タグのアーティスト名をアルファベット順に選択します。
Genre ： ID3タグの「ジャンル」を選択します。
Playlist： .m3u、.pls、.wplのプレイリストに従います。

●トラック選択
ボタンBを押してリストを表示させます。ボタンJの上下ボタンでフォルダを選択し、OKボタンでフォルダを開きます。ボタンJの左右ボタンでトラックを選択し、OKボタンで確定します。ステアリングスイッチ②でも同様の操作をすることができます。
ステアリングスイッチ③でフォルダリストを表示することができます。

その他は、CDの操作方法と同じです。

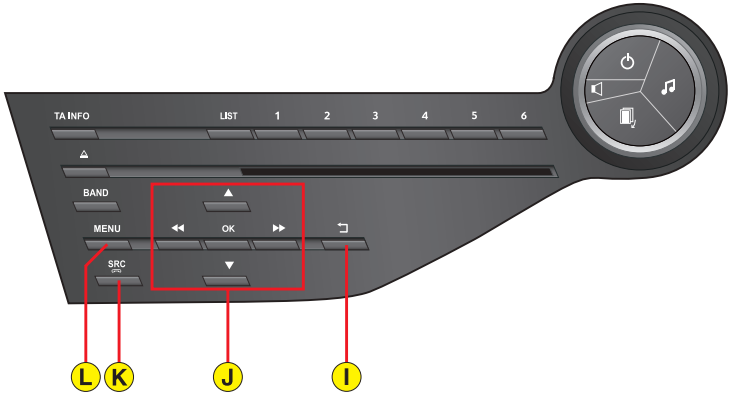
外部音声入力端子（AUX）
ボタンKを押してAUXモードをソース選択し、市販のケーブルを使用して外部音声入力端子に接続します。
操作は接続するポータブルオーディオなどの機器側で行います。
ボリューム調節は、まず接続する側の機器で主調節をします。その後、車両のフロントパネルやステアリングスイッチで調節することができます。

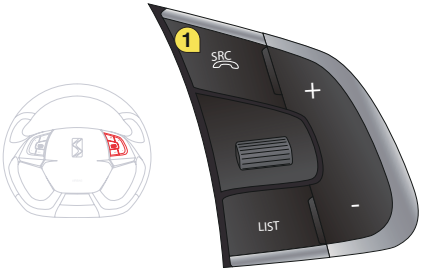
注 意
●1つのオーディオ機器をUSBポートと外部音声入力端子へ同時に差し込まないでください。
●USBポートに、オーディオ機器以外のUSB装置やハードディスクなどを接続しないでください。オーディオが故障するおそれがあります。

MEMO

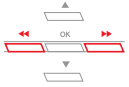
●第4世代までのiPodは外部音声入力端子を使用してください。
●外部音声入力端子を使用しているときは、再生情報はポータブルオーディオなどの画面に表示されます。
●ディスプレイの制約により、日本語のフォルダ名は表示できません。

Bluetooth

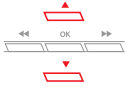




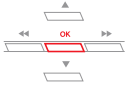
●メニュー項目選択/確定（ボタンJ）



左右ボタン：
このボタンを押して項目を選択します。



上下ボタン：
このボタンを押して項目や数値を選択します。



OKボタン：
選択した内容を確定します。

●通話（ボタンK、1）

・**短く押す：**
着信を受け付けます。
通話中に短く押すと、「Telephone」メニュー（通話の終了、シークレットモード、ハンズフリー切り替え）を表示します。

・**長押しする：**
着信を拒否、または通話を終了します。
通話中でないときに長押しすると、「Telephone」メニュー（ダイヤル、電話帳、通話履歴、留守番電話）を表示します。

MEMO

●オーディオシステムのBluetoothハンズフリーシステムにより通話をしている時にエコノミーモードに入った場合、その通話は約10分間保持されます。
●ディスプレイの制約により、日本語の表示はできません。

電話機との接続（ペアリング）

1.
電話機のBluetooth機能をオンにして、外部から検索可能な状態に設定します(電話機の説明書を参照)。

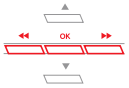
2.

「**MENU**」ボタンLを押します。

3. 「**Bluetooth connection**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。
4. 「**Search for a device**」を選択します。
5. マルチファンクションディスプレイに「**Search in progress…**」が表示されます。
6. 接続したい電話機をリストから選択します。

MEMO

電話機名の代わりに電話機の機種名が表示される場合があります。

7. 

マルチファンクションディスプレイに仮想キーパッドが表示されます。「左右」ボタンと「**OK**」ボタンを使用して、4桁以上のコードを入力します。

8.
電話機の画面にメッセージが表示されます。手順7で設定したコードと同じコードを入力します。
ペアリングに失敗した場合は、一度イグニッションをOFFにして電話機の電源もOFFにするなどして、再度トライしてください。

MEMO

コード入力の操作回数に制限はありません。

9. 電話機への接続を許可します。
10. 接続を確認するメッセージが表示されます。

⚠警 告

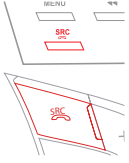
安全上の理由から、Bluetoothハンズフリーシステムのペアリングは、車両を停止し、イグニッションをONにした状態で実施してください。

MEMO

- 一度に接続できる電話機は1台だけです。
- 利用できる機能はネットワーク、SIMカード、および使用する電話機の仕様（互換性）により異なります。
- ペアリング完了後、自動または手動で電話帳の同期が可能になります（互換性のある電話機の場合）。
- エンジンを始動するたびに自動再接続を可能にするには、電話機側での設定が必要な場合があります。
- ペアリングは、電話機からBluetoothデバイスを検索して開始することもできます。

Bluetoothを使ったオーディオファイルの再生

Bluetooth搭載の音楽再生機能付き電話機に保存した音楽ファイルや、インターネットで受信中の音楽等を無線でカーステレオに送信して、車両のスピーカーで再生することができます。

1. 電話機のペアリング/接続をします。手順は「電話機との接続（ペアリング）」の項を参照してください。
2. 

「SRC」ボタンKまたは①を押して、ストリーミングソースを選択します。
音楽が自動的に再生されます。

・音量の調節はオーディオシステムで行ないます。
・音楽ファイルのいくつかの情報が画面に表示されます。

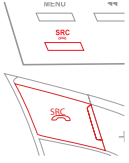
MEMO

●Bluetoothファイル（プロファイルA2DP/AVRCP）をサポートした電話機を使用する必要があります。
●ストリーミング再生は電話機の機能に依存します。
●音質は、電話機からの送信品質によって決まります。
●オーディオファイルの再生・停止などは、電話機で操作しなければならない場合があります。

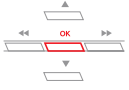
電話をかける

●発信

1. 下記いずれかの操作を行って、「Telephone」メニューを表示させます。

・ 

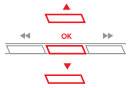
「SRC」ボタンKまたは①を長押しします。

・ 

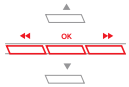
「OK」ボタンを押してメニューを表示させた後、「Call」を選択し、確定します。

・

「MENU」ボタンLを押し、「Telephone」を選択して確定した後、「Call」を選択し、確定します。

2. 

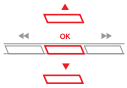
「上下」ボタンで「Dial」を選択して、「OK」ボタンで確定します。
修正する場合は一度に1つの番号を選んで削除します。

3. 

「左右」ボタンを使用して番号を1つずつ選択し、「OK」ボタンで確定します。

4. 「OK」ボタンを押して確定すると、発信を開始します。

●通話履歴からの発信

1. 「●発信」の手順1を実行し、「Telephone」メニューを表示します。
2. 

「上下」ボタンで「Calls list」を選択し、「OK」ボタンで確定します。
3. 「上下」ボタンで番号を選択して「OK」ボタンで確定すると、発信を開始します。

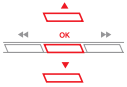
MEMO

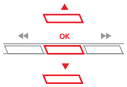
●通話履歴には、接続した電話機により車両経由で行った発信と受信が含まれています。
●電話機により、通話履歴からの発信ができない場合があります。

注 意

電話機から直接発信することも可能です。その場合、安全のため車を駐車してから発信してください。

●電話帳からの発信

1. 「電話をかける」の「●発信」の手順1を実行して、「Telephone」メニューを表示します。
2. 

「上下」ボタンで「Directory」を選択し、「OK」ボタンで確定します。
3. 

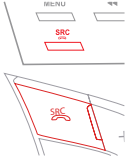
「上下」ボタンで番号を選択し、「OK」ボタンで確定します。

MEMO

接続した電話機の電話帳によっては、先に分類を選択する必要があります。

電話を受ける

1. 受信通話があると、ベルが鳴り、マルチファンクションディスプレイに表示されます。
2. 「OK」ボタンを押して、通話を受けます。



「SRC」ボタンKまたは①を短く押すことでも通話を受けることができます。

受信を拒否するには「⮌」ボタンIを、もしくは「SRC」ボタンKまたは①を長押しします。

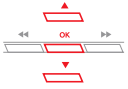
MEMO

あらかじめ「**OK**」ボタンには通話を受ける「**YES**」が設定されています。通話を受けない場合は、「**NO**」を選択し、確定します。

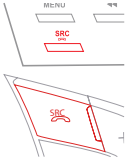
通話中の機能

通話中に「OK」ボタンを押すと、マルチファンクションディスプレイにメニュー画面が表示されます。

Hang up: 通話の終了



「上下」ボタンでこれを選択して「OK」ボタンで確定すると、通話が終了します。



「SRC」ボタンKまたは①を長押しすることでも、通話を終了できます。

Secret - Mute:
相手に聞こえなくする

「上下」ボタンで、

- 「Micro OFF」を選択すると、マイクがオフになって相手に音声が伝わりません。
- 「Micro OFF」を選択解除すると、マイクがオンになります。

Combined mode:
ハンズフリー切り替え機能

通話を終了しないで車を離れたい場合に使用します。
上下ボタンで、

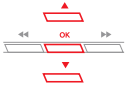
- 「Terephone mode」を選択すると、ハンズフリーをオフにして通話を電話機に転送します。
- 「Terephone mode」を選択解除すると、ハンズフリーがオンになり通話を車両に転送します。

MEMO

- ●電話機によっては、ハンズフリーの解除は、電話機から設定する必要があります。
- ●通話が切れた場合、車両に戻ってから再び接続すると､Bluetooth接続が自動的に回復します。(電話機によって回復しない機種もあります。)

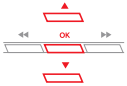
*仕様により異なります。

DTMF tones:
トーン信号送出機能
プッシュホンのボタンに対応する「ピ·ポ·パ」音を発信することができます。



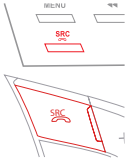
「上下」ボタンでこれを選択して「**DTMF tones**」を選択し、デジタルキーパッドを使用して、希望する信号音を発信します。

Switch:
通話切り替え機能
キャッチホン／割込通話で保留している通話を再開することができます。

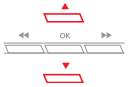


「上下」ボタンで「**Switch**」を選択し、「**OK**」ボタンで確定して切り替えます。

電話帳の表示

1. 

電話帳へのアクセスには、「**SRC**」ボタンKまたは①を長押しするか、または「**OK**」ボタンを押して、メニューから「**Call**」を選選択し、確定します。

2. 
「上下」ボタンで「**Directory**」を選択して、電話番号を確認します。

3.

電話帳を修正するには、「**MENU**」ボタンLを押して、「**Telephone**」を選択し、さらに「**Directory management**」を選択します。*

以下を実行することができます。
・「**Consult an entry**: 内容を修正」
・「**Delete an entry**: 一件削除」
・「**Delete all entries**: 全件削除」

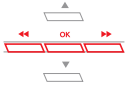
MEMO

- ●電話帳が表示できるのは半角英数字だけです。日本語の表示はできません。
- ●ラジオに記憶される電話帳の内容は、Bluetooth接続に依存します。（電話機によって送られない機種もあります。）
- ●電話機からラジオの電話帳にインポートされた内容は、接続する電話機にかかわりなく、誰もが見ることのできる電話帳ファイルとして保存されます。

接続情報の表示

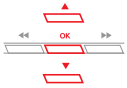
1.

電話や接続の情報を確認するには、「**MENU**」ボタンLを押します。

2. 

「左右」ボタンで「**Telephone**」を選択し、「**OK**」ボタンで確定します。

3. 「**Telephone management**」を選択し、確定します。

4. 

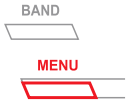
「上下」ボタンで「**Telephone status**」を選択し、「**OK**」ボタンで確定します。
次の項目がマルチファンクションディスプレイに表示されます：
- 電話機名
- ネットワーク名
- ネットワーク信号強度
- Bluetooth接続の確認

接続設定の変更

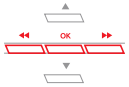
Bluetoothによる電話機との接続には、ハンズフリー接続およびオーディオ接続が含まれます。通常はどちらの機能も自動的に接続されます。

MEMO

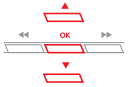
電話機によっては、どちらかひとつの接続しかできない場合があります。

1. 

「**MENU**」ボタンLを押します。

2. 

「左右」ボタンで「**Bluetooth connection**」を選択し、「**OK**」ボタンで確定します。

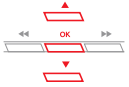
3. 

「上下」ボタンで「**Connections management**」を選択し、「**OK**」ボタンで確定します。ペアリングされた電話機のリストが表示されます。

デバイスが接続されていることを示しています。

オーディオ接続をしていることを示しています。

ハンズフリー接続をしていることを示しています。

4. 

「上下」ボタンで電話機を選択し、「**OK**」ボタンで確定します。

5.「上下」ボタンで以下の設定を選び、変更して「OK」ボタンで確定します。

・「Connect telephone」
「Disconnect telephone」
電話機またはハンズフリー接続だけを接続／切断する。

・「Connect media player」
「Disconnect media player」
オーディオ接続だけを接続／切断する。

・「Connect telephone + media player」
「Disconnect telephone + media player」
ハンズフリーおよびオーディオ接続の両方を接続／切断する。

・「Delete connection」
ペアリングを削除する。

FAQ（良くある質問）

質問	回答	対応方法
ソース（ラジオ／CD／USB／AUX）によって音質が異なるのは？	サウンド調整は、それぞれのソースごとに設定することができます。	それぞれのソースについて、最適のサウンド調整を確認してください。
CDを挿入してもプレイヤーから出てきてしまうのは？	CDの挿入方法が誤っています。	正しい向きでCDを挿入してください。
	CDにダメージがあります。	CDの表面に損傷がある場合は再生できません。
	当オーディオ非対応です。	個人で作成したCDはファイル形式によっては、再生することができません。
		DVDは再生することができません。
ディスプレイに「USB peripheral error」のメッセージが表示されるのは？	USBメモリーが認識されません。 また、壊れている可能性があります。	USBメモリーを初期化してください。
いつもよりCDの音質が悪いときは？	CDにダメージがあります。	良質のCDのみ使用してください。
プリセットした放送局を呼び出すことができないのは？	受信バンドが正しくありません。	BANDボタンを押して、プリセットした放送局に該当する受信バンドを選択してください。
徐々に受信しているラジオの音質が下がっていくのは？	近くに障害物（山、丘、ビルなど）があるときや、放送区域外にいる場合、受信に影響が出る場合があります。	オーディオに異常はありません。電波状況が良い場所に移動すれば、音質不良は解消されます。
エンジンがかかっていないとき、オーディオの電源が数分後に切れてしまうのは？	エコノミーモードに切り替わる時間は最大30分ですが、バッテリーの充電状況により極端に時間が短くなることがあります。	エンジンをかければ、連続して聴くことができます。
ディスプレイに「The audio system is overheating」のメッセージが表示されるのは？	気温が非常に高い場合は、保護システムが作動して、自動的にボリュームが下がり、CDプレイヤーが作動しなくなります。	オーディオの過熱を抑えるため、オーディオの電源をしばらくオフにしてください。

この取扱説明書は、お車のオーナーが最良の状態で車を使用し、維持できるように作成されています。

装備の解説は、このモデルの最上級仕様にもとづいています。

個々のお車においては、販売国の仕様によって、掲載されている装備のいくつかが該当しない場合があります。

テクニカルデータ、仕様、アクセサリーについては予告なく変更される場合があります。

取扱説明書内のイラストは、正確な描写を目的に作成されておりませんので、実車と一致しない場合があります。

オートモビル・シトロエン社の文書による許可を受けていない、この取扱説明書に掲載されている写真、イラスト、文章の一部または全部の転載、複写を禁止します。

編集発行　Groupe PSA Japan株式会社　2016/12

DS AUTOMOBILES

SPIRIT OF
AVANT-GARDE

www.dsautomobiles.jp